病 院 年 報

平成30年

名古屋第一赤十字病院

日本赤十字社

理　　念

皆さまとの出会いを一期のことと心得、その痛みを分かちあい、苦しみを共にしつつ、一日も早く健康の幸せを喜びあえるよう努めます。

基　本　方　針

1．皆さまが安心できる癒しの森といたします。
2．高度・良質で安全な医療をいたします。
3．災害救護活動を積極的に行います。
4．周産期・小児及び救急医療を充実します。
5．医療連携を密にして地域完結型の医療を目指します。
6．職員の教育・研修を推進します。
7．健全経営を維持するように努めます。

ミッションステートメント

リーダーシップを発揮しよう	Leadership
チームワークを大切にしよう	Teamwork
互いにリスペクトする心を持とう	Respect
最高の医療レベルを目指そう	Best Quality
安全第一に心がけよう	Safety

患者さんの権利と責務

当院は、患者さんやご家族のご意向を尊重し、医療者と患者さんとのより良いパートナーシップ（対等な協力関係）を築くため、「患者さんの権利と責務」を明示し、患者さん中心の医療を行うことに最大の努力をいたします。

患者さんの権利

1．人としての尊厳が保たれた最善の医療を受けることができます。
2．病気の内容、治療方法、今後の見通しなどについて十分な説明を受け、自らの意思に基づいて医療を受け、あるいは拒否することができます。
3．患者さんが受けたい診療内容を病院や医師に伝えることができます。また、何らかの理由でご自分の意思を表示できない場合には、ご家族の方や適切な代理人を指定して判断を依頼することができます。なお、依頼した人の方針を拒否することもできます。
4．ご自身の病気の診断や治療について、他の医師や病院を自由に選択し意見（セカンドオピニオン）を求めることができます。

５．所定の手続きを経て、ご自分の診療記録の開示を求めることができます。
６．当院は、患者さんに関する情報を承諾なしに第三者に知らせることはありません。
７．臨床研究に関して十分な説明を受けたうえで、その研究に参加するかどうか、自らの意思に基づき決めることができます。
８．診療内容や入院中の生活において問題や不満がある場合には、医療者にそのことを伝えることができます。このことにより、患者さんの診療に関してなんら不利益を被ることはありません。

医療は、患者さんと医療者が信頼関係を築き協同することが肝要です。
この精神にのっとり患者さんに以下の点を望みます。

患者さんの責務

１．患者さんご自身の病気について、病状、経過、服用している薬など、正確にお伝えください。
２．検査や治療の内容を十分理解し、合意のうえでお受けください。
３．すべての患者さんが適切な医療を受けられるよう、他の方々の治療や病院職員による医療提供に支障が生ずる行為をしないでください。
４．医療者に対して、暴力的な振る舞いや言動はしないでください。
５．入院中は、病院の規則を守ってください。
６．適切な医療を維持するために、医療費をお支払いいただくことが必要です。支払い請求を受けたら、速やかにお支払いください。
７．当院は臨床研修指定病院で、研修医が直接医療に従事します。また、医学生、看護学生などの臨床実習施設でもありますので、臨床教育にご理解とご協力をお願いします。

巻頭言

平成 30 年の当院のメイントピックは、第 54 回日本赤十字社医学会総会が宮田完志名誉院長のもとで 11 月 15-16 日に名古屋国際会議場で開催され、実参加者数 2,300 名を越え、成功裏に終了したことだと思います。この年報にも、赤十字医学会で発表された多くの実績が掲載されています。発表された職員のみならず、会場の運営に携わった職員、また学会中も継続している病院業務を守って戴いた職員に心より御礼申し上げます。

診療環境の整備に関しては、デジタルマンモグラフィと、通常 CT を搭載した Single photon emission computed tomography が導入されました。後者は心筋の血流シンチグラム、骨転移の検索に多く用いられています。

平成 31 年から令和元年に年号が替わりました。既に、最新の CT 装置、採血業務を著しく効率化する補助機器が導入されています。また、改元に関連して 10 連休になりました。この期間には、近隣の二次救急担当病院が数日間の通常の外来診療を行っている事が判ったので、24 時間 365 日三次救急を担当している当院は通常外来診療は行わないことにしました。連休を活用して、最新の MRI を導入するための改装、今まで以上に優れた特定集中治療管理を行うための ICU の改装工事をしました。この成果は令和元年の年報に報告できると思います。

新しい機器・設備を導入することで即ち機能が上がる訳ではなく、それに伴う診断能力の向上や運用の改善によって、はじめて病院の機能改善に繋がります。日進月歩というに相応しい医療を取り巻く状況のなか、最新の知識を吸収して周囲に伝え、組織として更に高度な医療を継続して提供することができますように宜しくお願いいたします。

令和元年　５月　院長　錦見尚道

目　　次

Ⅰ. 業務概要

1. 医事業務管理課
(1)病院年度別患者数 …… 2
(2)病院年度別稼働状況 …… 2
(3)平成30年度診療科別・月別患者数 …… 3
(4)平成30年度診療科別・月別稼働状況 …… 5

2. 医事サービス第二課
(1)平成30年度科別救急患者数 …… 7
(2)平成30年度曜日別救急患者数 …… 7
(3)平成30年度月別救急患者数 …… 8
(4)平成30年度地域別救急患者数 …… 8

3. 栄養課
(1)平成30年度栄養指導集計表 …… 9

4. 企画情報課
(1)大分類別退院患者数 …… 10
(2)大分類別退院患者数の推移 …… 11
(3)住所別退院患者数 …… 12
(4)主要疾患別退院患者数の推移 …… 13
(5)診療科別上位疾患別科別退院患者数及び平均在院日数 …… 15

5. 放射線科部
(1)平成30年度診療科別被検者数 …… 17
(2)年度別検査項目別件数 …… 19
(3)年度別放射線治療患者数 …… 19

6. 病理部・細胞診分子病理診断部
(1)診療科別生検検体数 …… 20
(2)病理特殊検査検体数 …… 20
(3)院外受託検査 …… 21
(4)剖検検体数(科別検体数、月別検体数) …… 21
(5)細胞診件数(検体種別検体数) …… 22
(6)遺伝子件数 …… 22

7. 輸血部
(1)平成30年度検査年報集計 …… 23
(2)平成30年度院内廃棄血集計(輸血管理室) …… 23
(3)平成30年度造血幹細胞移植症例数(分子細胞検査室) …… 24
(4)平成30年度成分採血室稼働状況 …… 24

８．健診部
平成30年度健診実績 ･･ 25

９．薬剤部
(1)入院・外来処方せん枚数 ･･ 26
(2)入院薬剤管理指導料算定数 ･･･ 26
(3)妊娠と薬外来の相談件数 ･･ 26
(4)薬学生実務実習受け入れ人数 ･･･ 26
(5)抗がん剤調製延患者数 ･･･ 27
(6)新規の治験・製造販売後調査受託件数 ････････････････････････････････････ 27
(7)専門薬剤師資格取得薬剤師数 ･･･ 27

１０．検査部
(1)平成30年度検査種別稼動集計 ･･ 28
(2)平成30年度判断料 ･･ 30
(3)平成30年度検査加算・管理料 ･･･ 31

１１．看護部
(1)看護部の理念 ･･ 32
(2)基本方針 ･･･ 32
(3)看護部目標 ･･ 32
(4)専門分野と人数 ･･･ 32
(5)平成30年度看護部行事・看護職員対象研修等一覧 ･････････････････････････････ 34
(6)育児休業復帰プログラムの実施 ･･･ 37
(7)看護専門外来月別患者数 ･･ 37
(8)「こころの相談室」利用者状況 ･･ 38
(9)看護師研修・学生実習受け入れ延べ人数 ････････････････････････････････････ 83

１２．リハビリテーション科部
(1)リハビリ依頼件数 ･･･ 39
(2)平成30年度診療科別依頼件数 ･･ 39
(3)PT/OT/ST 別　処方件数 ･･･ 39
(4)平成30年度リハビリ延べ実施件数 ･･･ 39
(5)平成30年度リハビリ稼働集計 ･･･ 40
(6)平成30年度 ADL の改善状況 ･･ 40

Ⅱ．業績
１．著書 ･･ 42

２．論文 ･･ 45

３．学会 ･･ 61

４．学術講演等記録 ･･ 104

Ⅲ. 医療社会事業部

1. 地域医療連携室

(1) 地域医療支援病院 【紹介・逆紹介件数と率】 (年度別推移) ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 110
(2) 地域医療支援病院 【紹介率・逆紹介率】(年度月別推移) ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 110
(3)【診療科別】 紹介件数 (過去5年度比較) ・・・ 111
(4)【診療科別】 逆紹介件数 (過去5年度比較) ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 111
(5)【診療科別】 初診件数 (過去5年度比較) ・・・ 112
(6)【診療科別】 紹介・逆紹介率 (H30年度) ・・・ 112
(7)【地域、医療圏別】 2 次医療圏別紹介元動向(過去5年度比較) ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 113
(8)【地域、医療圏別】 2 次医療圏別逆紹介先動向(過去5年度比較) ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 113
(9) 平成30年度医療機器等の共同利用の実績 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 114
(10) 病診連携システム学術セミナー開催状況 ・・ 115
(11) 平成30年度地域医療研修プログラム実績 ・・ 117

2. 医療社会事業課

(1) 平成30年度年間援助件数 ・・・ 129
(2) 平成30年度科別援助件数 ・・・ 130
(3) 平成30年度がん相談支援センター援助件数 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 131

3. 社会課

(1) 平成30年度災害救護訓練・研修派遣実績 ・・ 133
(2) 病院ボランティア活動状況 ・・・ 135
(3) 地域福祉活動状況 ・・ 136

Ⅰ. 業　務　概　要

1．医事業務管理課

（1）病院年度別患者数

		平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
外来	新患者数	43,740	39,527	39,483	36,738	36,474	36,932
	患者延数	407,408	400,199	406,607	404,379	399,482	402,895
	1日平均	1,676.6	1,646.9	1,680.2	1,664.1	1,644.0	1,658.0
入院	入院患者数	20,374	20,875	21,767	21,478	21,237	21,853
	退院患者数	20,329	20,855	21,773	21,474	21,311	21,855
	在院患者延数	255,955	258,196	258,519	258,867	260,833	261,682
	入院患者延数	276,284	279,051	280,292	280,341	282,144	283,537
	1日平均	756.9	764.5	765.8	768.1	773.0	776.8

※平成20年4月1日以降　許可病床数852床（一般病床）

（2）病院年度別稼働状況（単位：千円）

		平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
外来	外来診療	6,341,447	6,489,495	6,944,856	7,167,963	7,781,271	8,172,840
入院	包括評価	7,867,980	7,642,402	7,803,605	8,383,750	8,523,999	8,713,029
	出来高	11,256,893	11,763,040	12,448,994	12,241,283	12,736,568	12,995,132
	合計	19,124,873	19,405,442	20,252,599	20,625,033	21,260,567	21,708,161

（3）平成30年度診療科別・月別患者数（患者延数）

	各　科	4月	5月	6月	7月	8月	9月
外来	内科	77	92	82	88	105	74
	腎臓内科	662	688	660	666	766	600
	内分泌科	1,566	1,548	1,584	1,548	1,668	1,372
	血液内科	1,272	1,321	1,299	1,372	1,423	1,224
	化学療法内科	6	9	5	8	8	3
	総合診療科	47	37	33	44	45	35
	精神科	30	38	35	34	42	30
	神経内科	1,752	1,779	1,867	1,842	1,946	1,585
	呼吸器内科	1,816	1,849	1,881	1,869	1,993	1,690
	消化器内科	3,355	3,379	3,532	3,690	3,672	3,150
	循環器内科	2,043	2,057	2,027	2,091	2,194	1,734
	小児科	1,816	1,664	1,708	1,897	2,236	1,740
	一般・消化器外科	1,527	1,506	1,597	1,414	1,583	1,301
	乳腺・内分泌外科	497	479	487	623	677	611
	整形外科	2,855	2,994	2,943	3,024	3,291	2,533
	形成外科	314	389	368	359	372	299
	脳神経外科	786	744	771	761	770	702
	呼吸器外科	369	276	378	316	302	338
	心臓血管外科	498	532	498	540	522	488
	血管外科	275	296	267	269	278	234
	小児外科	121	116	100	130	111	94
	皮膚科	1,082	1,200	1,208	1,371	1,478	1,058
	泌尿器科	1,615	1,509	1,621	1,522	1,677	1,502
	女性泌尿器科	567	601	456	672	479	518
	産婦人科	1,923	2,018	2,057	2,029	2,096	1,828
	眼科	775	794	917	769	797	787
	耳鼻咽喉科	1,753	1,819	1,787	1,884	2,035	1,585
	放射線科	643	599	654	659	782	610
	リハビリ	499	479	519	554	600	561
	歯科口腔外科	2,641	2,614	2,682	2,794	2,920	2,462
	合計	33,182	33,426	34,023	34,839	36,868	30,748

	各　科	4月	5月	6月	7月	8月	9月
入院	内科	0	0	0	0	0	0
	腎臓内科	429	400	404	433	519	336
	内分泌科	319	260	186	268	204	204
	血液内科	2,126	1,985	2,183	2,410	2,238	2,046
	化学療法内科	0	0	0	0	0	0
	総合診療科	0	0	0	0	0	0
	精神科						
	神経内科	1,180	1,197	1,599	1,613	1,655	1,567
	呼吸器内科	2,526	2,554	2,154	2,257	2,316	2,587
	消化器内科	2,294	2,315	2,568	2,159	2,573	2,286
	循環器内科	1,487	1,235	1,187	1,402	1,624	1,356
	小児科	2,588	2,796	2,671	2,715	2,513	2,656
	一般・消化器外科	1,841	1,766	1,690	2,052	1,566	1,668
	乳腺・内分泌外科	248	279	388	385	381	300
	整形外科	1,522	1,505	1,575	1,587	1,848	1,604
	形成外科	127	93	96	106	115	88
	脳神経外科	839	913	918	862	771	944
	呼吸器外科	562	347	392	475	418	381
	心臓血管外科	851	727	800	594	731	781
	血管外科	154	118	122	116	184	178
	小児外科	54	90	40	64	105	28
	皮膚科	105	91	156	183	189	123
	泌尿器科	724	865	743	858	795	740
	女性泌尿器科	172	143	143	157	186	170
	産婦人科	2,520	2,621	2,770	2,576	2,634	2,472
	眼科	10	21	8	0	10	2
	耳鼻咽喉科	746	659	808	983	956	713
	放射線科						
	リハビリ						
	歯科口腔外科	209	252	166	146	311	335
	合計	23,633	23,232	23,767	24,401	24,842	23,565

10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	各　科
76	72	87	162	91	105	1,111	内科
696	625	641	688	637	590	7,919	腎臓内科
1,683	1,502	1,535	1,468	1,404	1,489	18,367	内分泌科
1,355	1,406	1,242	1,289	1,228	1,243	15,674	血液内科
6	4	3	2	3	7	64	化学療法内科
26	43	30	41	36	34	451	総合診療科
37	36	33	40	32	40	427	精神科
1,842	1,747	1,685	1,704	1,522	1,707	20,978	神経内科
1,999	1,842	1,922	1,931	1,747	1,839	22,378	呼吸器内科
3,760	3,372	3,373	3,155	3,023	3,296	40,757	消化器内科
2,095	2,089	1,949	2,032	1,925	1,984	24,220	循環器内科
1,810	1,655	1,948	1,839	1,712	1,992	22,017	小児科
1,483	1,385	1,406	1,352	1,321	1,447	17,322	一般・消化器外科
719	722	644	665	638	660	7,422	乳腺・内分泌外科
2,983	2,776	2,701	2,616	2,453	2,811	33,980	整形外科
379	323	325	274	271	387	4,060	形成外科
826	822	796	753	698	871	9,300	脳神経外科
369	302	365	337	297	381	4,030	呼吸器外科
594	517	488	490	441	505	6,113	心臓血管外科
302	288	260	253	236	250	3,208	血管外科
143	114	133	100	123	130	1,415	小児外科
1,332	1,153	1,224	1,011	1,102	1,170	14,389	皮膚科
1,547	1,416	1,485	1,424	1,284	1,472	18,074	泌尿器科
621	578	521	524	512	543	6,592	女性泌尿器科
2,238	2,007	1,927	1,994	1,853	1,990	23,960	産婦人科
893	754	727	701	819	869	9,602	眼科
1,768	1,860	1,874	2,073	1,785	2,047	22,270	耳鼻咽喉科
758	755	633	593	691	653	8,030	放射線科
661	604	571	523	564	577	6,712	リハビリ
2,901	2,610	2,483	2,453	2,563	2,930	32,053	歯科口腔外科
35,902	33,379	33,011	32,487	31,011	34,019	402,895	合計

10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	各　科
0	0	0	0	0	0	0	内科
404	243	394	501	446	373	4,882	腎臓内科
192	225	226	215	203	216	2,718	内分泌科
2,141	1,953	1,877	1,941	1,963	2,081	24,944	血液内科
0	0	0	0	0	0	0	化学療法内科
0	0	0	0	0	0	0	総合診療科
							精神科
1,512	1,532	1,650	1,778	1,494	1,901	18,678	神経内科
2,629	2,343	2,378	2,579	2,273	2,079	28,675	呼吸器内科
2,152	2,154	2,344	2,221	2,144	2,521	27,731	消化器内科
1,334	1,191	1,252	1,345	1,450	1,544	16,407	循環器内科
2,788	2,211	2,469	2,292	2,135	2,632	30,466	小児科
1,545	1,840	1,682	1,625	1,625	1,769	20,669	一般・消化器外科
424	354	346	248	339	365	4,057	乳腺・内分泌外科
1,611	1,489	1,767	1,646	1,491	1,749	19,394	整形外科
82	152	81	97	89	80	1,206	形成外科
1,043	940	984	897	755	728	10,594	脳神経外科
439	442	435	410	511	437	5,249	呼吸器外科
785	841	909	678	651	770	9,118	心臓血管外科
152	196	272	222	206	147	2,067	血管外科
44	55	160	54	45	56	795	小児外科
161	170	67	56	71	97	1,469	皮膚科
821	990	876	705	698	778	9,593	泌尿器科
220	202	186	178	154	199	2,110	女性泌尿器科
2,714	2,351	2,501	2,419	2,332	2,606	30,516	産婦人科
19	3	8	0	5	7	93	眼科
721	574	680	687	730	793	9,050	耳鼻咽喉科
							放射線科
							リハビリ
302	307	288	205	190	345	3,056	歯科口腔外科
24,235	22,758	23,832	22,999	22,000	24,273	283,537	合計

（4）平成30年度診療科別・月別稼働状況（単位：千円）

	各　科	4月	5月	6月	7月	8月	9月
外来	内科	784	742	583	1,303	1,172	750
	腎臓内科	10,095	10,835	9,839	10,243	11,412	8,844
	内分泌科	26,320	24,185	24,647	24,429	26,081	22,361
	血液内科	87,891	91,833	90,404	91,297	104,404	80,805
	化学療法内科	82	305	204	604	422	188
	総合診療科	407	308	255	286	283	179
	精神科	187	278	253	273	321	209
	神経内科	20,890	21,900	22,679	23,749	22,319	18,318
	呼吸器内科	74,304	80,915	73,769	73,287	82,178	71,455
	消化器内科	66,393	73,062	77,974	76,004	77,087	65,427
	循環器内科	31,148	31,547	31,492	33,038	34,082	26,763
	小児科	64,052	34,275	34,206	33,395	52,198	50,746
	一般・消化器外科	46,764	49,162	48,732	44,652	53,892	37,468
	乳腺・内分泌外科	17,665	19,357	18,577	23,327	28,709	25,285
	整形外科	34,651	38,158	36,795	38,966	40,519	32,918
	形成外科	2,042	3,202	2,154	2,269	2,191	1,606
	脳神経外科	10,839	11,075	10,842	10,336	11,948	10,015
	呼吸器外科	12,852	10,833	13,924	12,854	11,273	10,369
	心臓血管外科	5,553	6,293	6,105	6,266	6,370	5,520
	血管外科	2,730	3,039	2,503	2,545	2,578	2,598
	小児外科	588	612	561	703	539	451
	皮膚科	9,000	10,407	9,707	12,438	13,520	8,130
	泌尿器科	37,104	37,743	41,364	38,519	38,406	34,253
	女性泌尿器科	5,432	6,471	4,537	6,212	5,522	5,820
	産婦人科	32,183	31,786	35,038	35,131	35,215	31,183
	眼科	9,263	10,018	12,751	9,263	8,294	10,344
	耳鼻咽喉科	21,279	22,998	22,853	24,302	26,820	20,343
	放射線科	15,037	13,590	14,978	16,787	19,348	14,214
	リハビリ	3,080	3,036	3,052	3,301	3,763	3,223
	歯科口腔外科	13,214	13,926	13,381	14,893	15,666	13,937
	合計	661,829	661,891	664,159	670,672	736,532	613,722

	各　科	4月	5月	6月	7月	8月	9月
入院	内科	175	343	524	165	721	0
	腎臓内科	20,921	22,495	20,038	20,093	23,850	16,042
	内分泌科	13,737	10,591	7,873	12,494	8,592	9,208
	血液内科	178,900	168,157	182,625	178,156	154,573	158,543
	化学療法内科	0	0	0	0	0	0
	総合診療科	0	0	0	0	0	0
	精神科						
	神経内科	55,053	55,552	76,459	71,338	79,263	70,234
	呼吸器内科	127,553	127,454	102,906	116,857	117,190	120,079
	消化器内科	113,234	116,576	128,154	106,493	130,128	113,347
	循環器内科	151,893	148,989	167,422	155,828	174,929	133,400
	小児科	201,808	216,399	206,698	212,952	206,681	206,042
	一般・消化器外科	124,566	114,356	122,614	141,181	107,339	112,715
	乳腺・内分泌外科	19,269	22,249	27,673	29,637	29,898	22,043
	整形外科	123,730	119,828	139,949	133,296	154,069	112,318
	形成外科	6,178	6,007	6,506	6,684	7,502	6,137
	脳神経外科	70,267	93,343	67,180	81,283	67,776	96,124
	呼吸器外科	61,443	48,123	51,508	59,414	47,351	44,441
	心臓血管外科	176,097	150,958	161,692	135,705	210,066	185,458
	血管外科	36,128	28,777	26,855	26,339	30,568	33,184
	小児外科	11,825	13,910	7,739	10,180	13,610	6,159
	皮膚科	3,910	3,739	7,509	6,550	8,970	6,252
	泌尿器科	47,555	58,193	46,432	54,334	51,191	44,653
	女性泌尿器科	15,967	12,636	14,265	15,081	18,517	16,497
	産婦人科	191,830	194,459	212,834	196,178	202,363	180,373
	眼科	1,096	2,054	526	0	1,097	629
	耳鼻咽喉科	41,303	34,745	44,920	51,131	51,962	36,878
	放射線科						
	リハビリ						
	歯科口腔外科	13,427	14,181	10,594	8,894	22,142	19,728
	合計	1,807,865	1,784,114	1,841,495	1,830,263	1,920,348	1,750,484

10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	各　科
785	408	914	1,508	663	978	10,590	内科
9,681	9,394	10,126	9,763	9,178	8,490	117,900	腎臓内科
26,000	23,108	24,824	24,019	23,355	23,354	292,683	内分泌科
94,957	102,821	95,701	96,946	91,361	100,590	1,129,010	血液内科
266	150	394	179	156	259	3,209	化学療法内科
183	300	318	378	230	217	3,344	総合診療科
273	276	220	240	255	245	3,030	精神科
22,445	21,450	19,366	20,242	19,255	21,538	254,151	神経内科
89,318	82,832	79,747	79,755	74,054	84,362	945,976	呼吸器内科
77,486	70,588	73,527	67,486	68,944	72,464	866,442	消化器内科
33,619	31,055	29,132	31,026	30,236	30,208	373,346	循環器内科
53,017	54,033	62,900	64,195	64,159	70,261	637,437	小児科
48,376	49,831	45,577	46,750	43,691	42,220	557,115	一般・消化器外科
27,571	25,493	21,523	26,557	24,778	24,800	283,642	乳腺・内分泌外科
38,850	37,315	35,933	34,834	33,219	36,789	438,947	整形外科
2,200	1,885	1,577	1,659	1,630	2,364	24,779	形成外科
10,557	10,932	11,814	9,587	8,756	11,615	128,316	脳神経外科
10,730	9,140	11,707	9,815	11,425	11,266	136,188	呼吸器外科
6,983	6,255	5,663	5,453	4,978	5,625	71,064	心臓血管外科
3,060	2,924	2,261	2,808	2,006	2,327	31,379	血管外科
948	648	622	617	660	741	7,690	小児外科
12,653	11,813	11,156	11,191	10,108	9,136	129,259	皮膚科
39,132	32,581	32,744	35,343	31,475	36,978	435,642	泌尿器科
5,995	6,473	5,774	5,489	5,075	5,309	68,109	女性泌尿器科
36,570	35,555	33,867	38,388	35,948	37,715	418,579	産婦人科
11,627	10,262	8,947	9,439	10,469	11,196	121,873	眼科
22,696	21,845	24,260	24,964	20,737	25,396	278,493	耳鼻咽喉科
16,928	16,949	14,153	14,161	17,566	15,924	189,635	放射線科
4,164	3,743	3,363	3,045	3,108	3,274	40,152	リハビリ
16,837	15,123	13,396	13,732	13,702	17,053	174,860	歯科口腔外科
723,907	695,182	681,506	689,569	661,177	712,694	8,172,840	合計

10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	各　科
443	213	0	698	561	498	4,341	内科
21,704	13,593	20,095	23,856	23,507	18,142	244,336	腎臓内科
8,080	10,230	9,034	8,598	8,064	8,729	115,230	内分泌科
162,407	136,604	129,906	145,632	146,043	161,206	1,902,752	血液内科
0	0	0	0	0	0	0	化学療法内科
0	0	0	0	0	0	0	総合診療科
							精神科
67,713	69,007	79,061	82,290	65,555	85,841	857,366	神経内科
134,182	117,922	122,916	138,021	120,420	109,284	1,454,784	呼吸器内科
112,076	105,300	117,184	112,388	106,295	125,319	1,386,494	消化器内科
138,525	146,173	135,511	140,396	162,755	140,878	1,796,699	循環器内科
220,203	187,372	198,312	190,601	179,239	216,225	2,442,532	小児科
116,930	132,590	111,992	107,577	112,544	120,831	1,425,235	一般・消化器外科
33,349	26,725	21,407	22,129	29,822	27,585	311,786	乳腺・内分泌外科
137,357	130,594	141,015	118,268	125,728	141,779	1,577,931	整形外科
6,610	8,855	5,847	5,693	5,266	4,718	76,003	形成外科
96,671	76,139	87,674	81,841	70,958	82,085	971,341	脳神経外科
61,828	53,566	50,085	56,702	61,624	60,447	656,532	呼吸器外科
150,031	184,148	199,901	157,022	162,191	186,011	2,059,280	心臓血管外科
45,815	36,294	53,451	37,337	34,809	27,232	416,789	血管外科
7,711	9,742	21,306	8,323	7,830	10,361	128,696	小児外科
7,457	6,634	2,489	2,104	2,588	3,809	62,011	皮膚科
51,114	55,208	50,791	44,219	42,761	47,372	593,823	泌尿器科
20,684	18,277	15,834	16,578	16,400	19,409	200,145	女性泌尿器科
211,414	184,018	196,391	192,990	172,470	188,980	2,324,300	産婦人科
1,453	304	477	432	824	881	9,773	眼科
42,041	36,158	38,813	35,189	41,734	42,215	497,089	耳鼻咽喉科
							放射線科
							リハビリ
15,980	23,373	18,974	14,492	11,955	19,153	192,893	歯科口腔外科
1,871,778	1,769,039	1,828,466	1,743,376	1,711,943	1,848,990	21,708,161	合計

２．医事サービス第二課

（１） 平成３０年度科別救急患者数

	入院	外来	計	%
内科	3	256	259	1.1
腎臓内科	138	125	263	1.1
内分泌内科	72	147	219	0.9
血液内科	140	158	298	1.3
消化器内科	756	1,958	2,714	11.7
呼吸器内科	673	987	1,660	7.2
神経内科	624	1,226	1,850	8.0
循環器内科	592	1,225	1,817	7.8
一般消化器外科	367	367	734	3.2
呼吸器外科	33	30	63	0.3
心臓血管外科	135	156	291	1.3
血管外科	25	47	72	0.3
乳腺内分泌外科	22	22	44	0.2
小児外科	7	16	23	0.1
整形外科	421	2,189	2,610	11.2
リハビリ科	0	1	1	0.0
脳神経外科	309	1,140	1,449	6.2
産婦人科	518	720	1,238	5.3
小児科	723	2,636	3,359	14.5
耳鼻咽喉科	119	1,865	1,984	8.5
皮膚科	40	827	867	3.7
形成外科	0	126	126	0.5
泌尿器科	136	711	847	3.6
女性泌尿器科	2	12	14	0.1
眼科	2	96	98	0.4
歯科口腔外科	22	281	303	1.3
精神科	0	0	0	0.0
総合診療科	0	1	1	0.0
化学療法内科	0	0	0	0.0
放射線科	0	2	2	0.0
救急科	0	0	0	0.0
計	5,879	17,327	23,206	100.0

（２） 平成３０年度曜日別救急患者数

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日	日曜日、休日	計	１日平均
４月	221	194	194	225	201	289	469	1,793	59.8
５月	221	214	277	225	154	322	595	2,008	64.8
６月	232	218	194	211	275	322	332	1,784	59.5
７月	249	319	230	249	262	327	561	2,197	70.9
８月	251	217	293	281	303	306	310	1,961	63.3
９月	112	207	207	200	184	349	587	1,846	61.5
１０月	218	248	249	206	239	315	390	1,865	60.2
１１月	246	204	188	256	209	311	361	1,775	59.2
１２月	151	211	192	228	250	365	680	2,077	67.0
１月	173	249	238	244	262	338	932	2,436	78.6
２月	156	193	206	187	205	274	396	1,617	57.8
３月	199	200	213	149	293	360	433	1,847	59.6
合計	2,429	2,674	2,681	2,661	2,837	3,878	6,046	23,206	63.6
平均	202.4	222.8	223.4	221.8	236.4	323.2	503.8	1,933.8	276.3
%	10.5	11.5	11.6	11.5	12.2	16.7	26.1	100.0	

（３） 平成３０年度月別救急患者数

	入　院			外　来			合　計
	時間内	時間外	深　夜	時間内	時間外	深　夜	
４月	(83) 112	(109) 231	(56) 118	(83) 233	(145) 778	(68) 321	(544) 1,793
５月	(75) 115	(120) 241	(67) 124	(82) 235	(179) 927	(92) 366	(615) 2,008
６月	(75) 109	(116) 232	(73) 146	(79) 242	(163) 752	(91) 303	(597) 1,784
７月	(96) 129	(138) 248	(75) 141	(115) 299	(250) 958	(123) 423	(797) 2,198
８月	(99) 141	(118) 229	(71) 136	(95) 333	(152) 743	(91) 379	(626) 1,961
９月	(58) 85	(135) 269	(83) 139	(59) 213	(144) 821	(76) 319	(555) 1,846
１０月	(83) 125	(114) 215	(75) 136	(70) 269	(172) 771	(92) 349	(606) 1,865
１１月	(96) 134	(128) 237	(65) 127	(79) 216	(164) 771	(76) 290	(608) 1,775
１２月	(78) 121	(151) 262	(73) 115	(91) 260	(191) 982	(87) 337	(671) 2,077
１月	(96) 132	(140) 265	(81) 126	(85) 316	(198) 1,189	(86) 408	(686) 2,436
２月	(68) 106	(108) 233	(65) 106	(66) 236	(125) 687	(57) 249	(489) 1,617
３月	(75) 119	(137) 245	(69) 130	(83) 236	(167) 814	(86) 303	(617) 1,847
合計	(982) 1,428	(1,514) 2,907	(853) 1,544	(987) 3,088	(2,050) 10,193	(1,025) 4,047	(7,411) 23,207
１日平均	(2.7) 3.9	(4.1) 8.0	(2.3) 4.2	(2.7) 8.5	(5.6) 27.9	(2.8) 11.1	(20.3)

※（　　）内、救急車及びパトカーでの搬入件数再掲

（４） 平成３０年度地域別救急患者数

地域		患者数	地域		患者数
名古屋市内	中村区	7,848	名古屋市以外	清須市	1,528
	中川区	3,540		津島市	311
	西区	1,380		北名古屋市	175
	北区	365		稲沢市	231
	中区	431		愛西市	159
				あま市	2,549
	その他	1,320		その他	875
	小計	14,884		小計	5,828
海部郡	大治町	1,449	西春日井郡	豊山町	17
	蟹江町	195		その他	0
	その他	4		小計	17
			その他	県外	824
	小計	1,648		不明	22

３．栄養課

（１） 平成３０年度栄養指導集計表

【 個人指導 】 ［ 単位＝件 ］

		糖尿病食	心臓病食	脂質異常症	腎臓病食	胃切術後食	潰瘍食	低残渣食	痛風食	肝臓食	その他	合計
入　院	29年度	203	311	11	99	131	77	8	0	3	208	1051
	30年度	241	310	30	114	141	64	5	0	5	469	1379
外　来	29年度	235	47	61	91	2	0	1	2	5	73	517
	30年度	275	49	32	146	0	1	1	7	3	90	604
合　　計	29年度	438	358	72	190	133	77	9	2	8	281	1,568
	30年度	516	359	62	260	141	65	6	7	8	559	1983

【 集団指導 】 ［ 単位＝人 ］

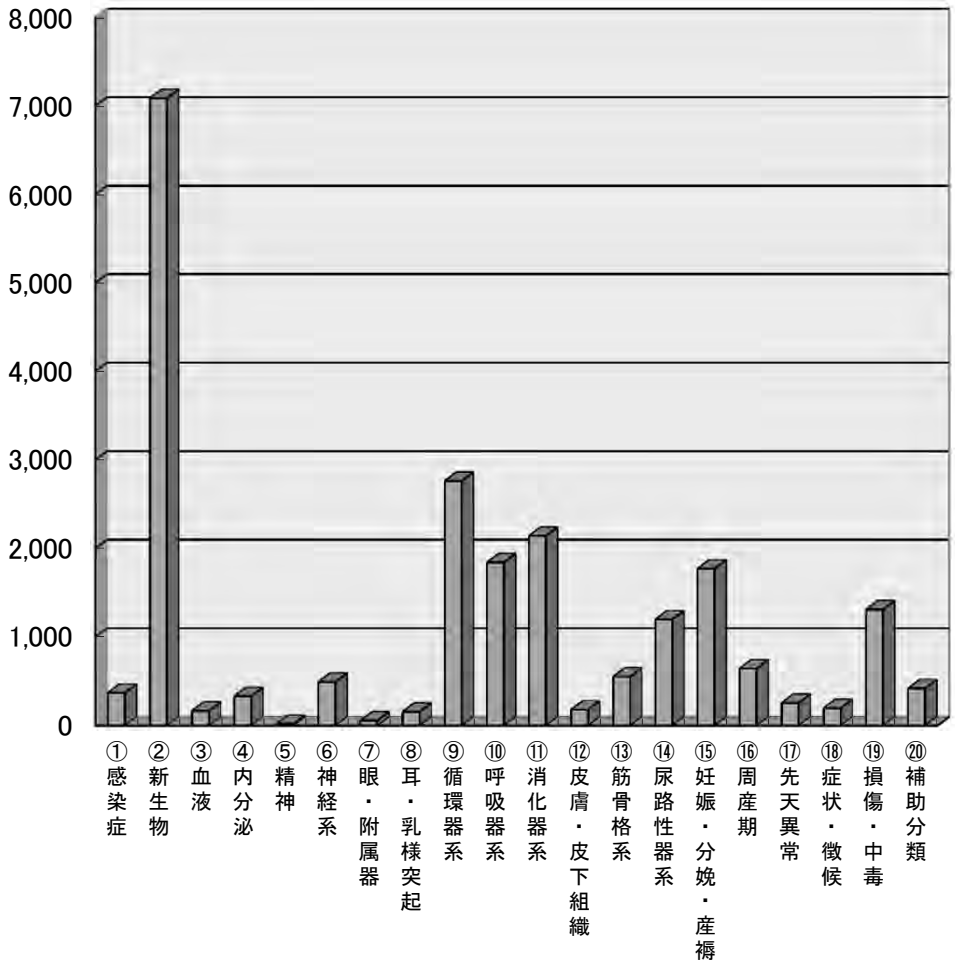
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
糖尿病	29年度	9	4	12	5	13	5	8	7	8	7	15	12	105
	30年度	11	10	4	8	4	5	3	7	7	0	6	13	78

4. 企画情報課

平成30年退院患者に関する諸統計

（1）大分類別退院患者数

＜基準＞
・2018/1/1～2018/12/31　退院
・患者数 ⇒ 延人数
・退院時診療科



国際大分類	患者数	国際大分類	患者数
①感染症	369	⑪消化器系	2,142
②新生物	7,088	⑫皮膚・皮下組織	180
③血液	167	⑬筋骨格系	553
④内分泌	331	⑭尿路性器系	1,198
⑤精神	16	⑮妊娠・分娩・産褥	1,771
⑥神経系	493	⑯周産期	643
⑦眼・附属器	56	⑰先天異常	256
⑧耳・乳様突起	155	⑱症状・徴候	198
⑨循環器系	2,762	⑲損傷・中毒	1,309
⑩呼吸器系	1,842	⑳補助分類	419
合計		21,948	

（２） 大分類別退院患者数の推移（2006年～2018年）

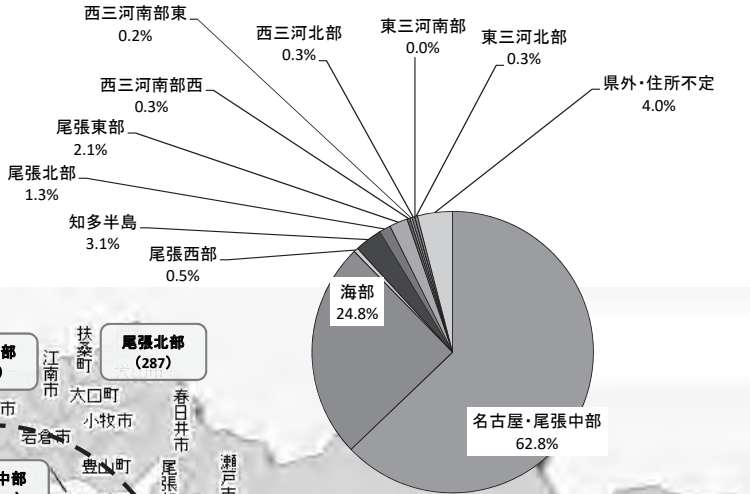
大 分 類 / 年	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018
①感染症	457	352	351	379	398	436	473	501	511	463	429	390	369
②新生物	3,910	4,380	4,557	4,805	5,443	5,711	5,861	5,874	5,841	6,557	6,786	6,758	7,088
③血液	126	136	126	127	140	149	163	163	196	175	182	164	167
④内分泌	390	289	276	230	314	248	298	285	322	306	342	346	331
⑤精神	34	17	18	17	9	15	10	16	13	6	19	20	16
⑥神経系	491	479	467	387	448	471	502	544	510	463	422	432	493
⑦眼および附属器	403	446	428	460	380	243	107	101	76	27	48	40	56
⑧耳・乳様突起	215	215	194	154	124	148	127	164	162	177	154	148	155
⑨循環器系	2,487	2,491	2,493	2,465	2,592	2,486	2,565	2,625	2,634	2,738	2,799	2,826	2,762
⑩呼吸器系	1,415	1,421	1,343	1,295	1,586	1,603	1,662	1,784	1,707	1,811	1,708	1,747	1,842
⑪消化器系	1,598	1,647	1,698	1,617	1,854	1,909	2,041	1,970	2,040	2,043	2,033	1,993	2,142
⑫皮膚・皮下組織	140	142	158	134	125	182	151	164	165	197	165	155	180
⑬筋骨格系	492	506	516	476	545	474	450	519	519	496	518	514	553
⑭尿路性器系	712	937	1,011	983	1,012	1,126	1,152	1,131	1,195	1,233	1,292	1,254	1,198
⑮妊娠・分娩・産褥	1,533	1,632	1,524	1,734	1,890	1,898	1,988	1,896	2,007	2,044	2,013	1,841	1,771
⑯周産期	603	672	625	589	602	572	582	626	621	659	629	543	643
⑰先天異常	266	322	307	241	220	222	249	217	206	223	221	261	256
⑱症状・診断不明確	271	224	143	101	56	91	65	53	81	93	138	135	198
⑲損傷・中毒	853	962	914	860	972	1,175	1,110	1,064	1,184	1,083	1,148	1,173	1,309
⑳補助分類	626	516	430	384	458	517	567	534	560	545	437	460	419
合　　計	17,022	17,786	17,579	17,438	19,168	19,676	20,123	20,231	20,550	21,339	21,483	21,200	21,948

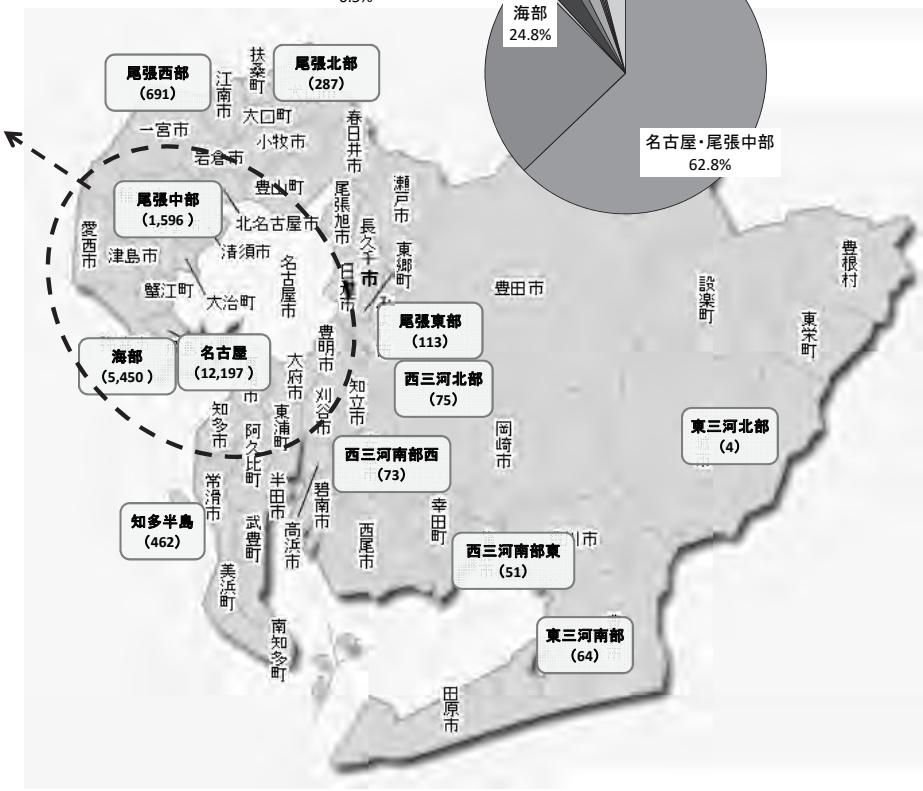
（3）住所別退院患者数

県内・外	二次医療圏	合計	①感染症	②新生物	③血液	④内分泌	⑤精神	⑥神経系	⑦眼および附属器	⑧耳・乳様突起	⑨循環器系	⑩呼吸器系	⑪消化器系	⑫皮膚・皮下組織	⑬筋骨格系	⑭尿路性器系	⑮妊娠・分娩・産褥	⑯周産期	⑰先天異常	⑱症状・診断不明確	⑲損傷・中毒	⑳補助分類
	名古屋・尾張中部	13,793	251	4,214	99	225	－	319	33	100	1,742	1,247	1,401	121	374	696	1,122	416	130	141	885	251
	海部	5,450	89	2,063	46	80	－	126	14	29	719	471	568	28	130	274	232	90	40	42	296	110
	尾張東部	113	－	20	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	20	－	－	－	－	－
	尾張西部	691	－	281	－	－	－	14	－	－	58	36	54	－	16	45	65	24	19	－	24	15
	尾張北部	287	－	65	－	－	－	－	－	－	44	－	22	－	－	27	52	14	－	－	15	－
	知多半島	462	－	102	－	－	－	－	－	－	98	18	24	－	－	20	93	39	13	－	18	14
	西三河北部	75	－	32	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	西三河南部東	51	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	西三河南部西	73	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	15	15	－	－	－	－	－
	東三河北部	4	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	東三河南部	64	－	23	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	小計	21,063	361	6,820	161	321	13	482	56	141	2,686	1,795	2,088	176	540	1,111	1,619	600	233	194	1,263	403
県外	岐阜	287	－	110	－	－	－	－	－	－	20	11	19	－	－	44	11	－	－	－	23	－
	三重県	306	－	107	－	－	－	－	－	12	35	26	21	－	－	29	30	－	－	－	－	－
	静岡	17	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	その他	274	－	44	－	－	－	－	－	－	19	－	14	－	－	11	107	28	－	－	15	－
	住所不定	1	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	小計	885	8	268	6	10	3	11	0	14	76	47	54	4	13	87	152	43	23	4	46	16
総計		21,948	369	7,088	167	331	16	493	56	155	2,762	1,842	2,142	180	553	1,198	1,771	643	256	198	1,309	419

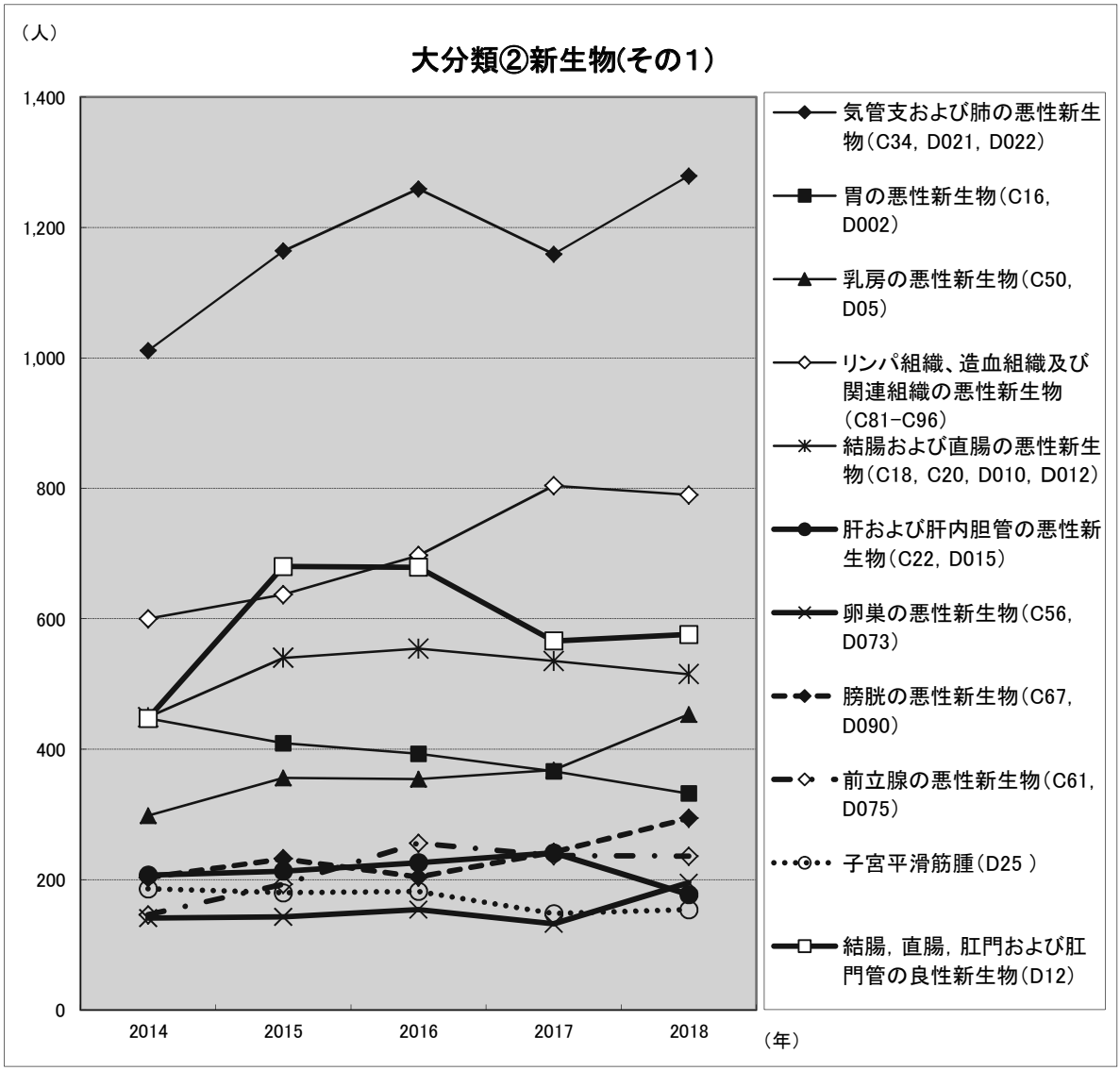
※10件以下（0を含む）は、「－」とした。

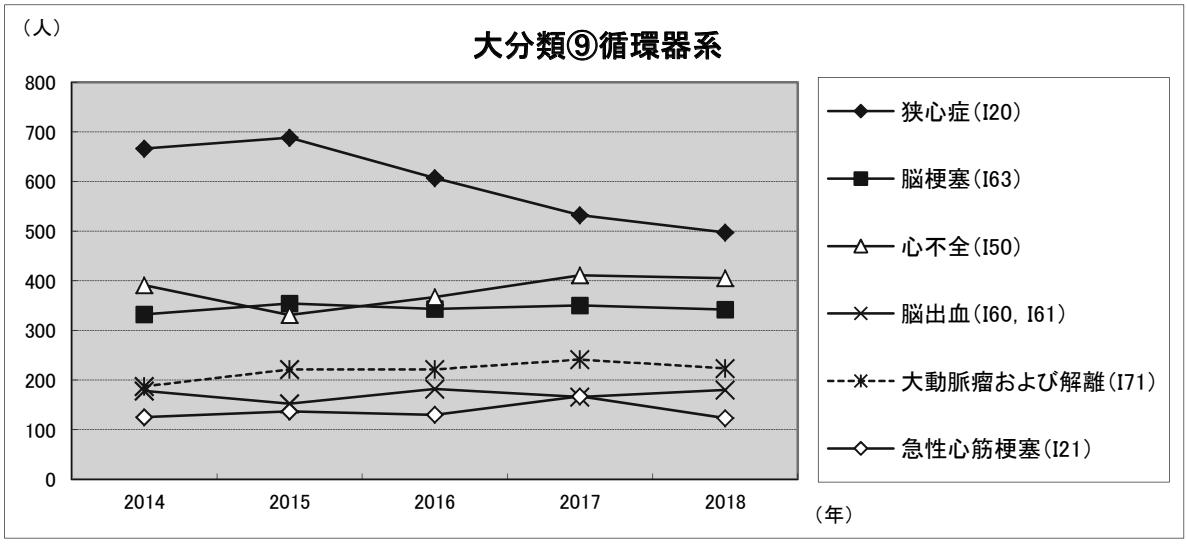
二次医療圏	地区	延人数
名古屋尾張中部	中村区	5,641
	中川区	3,330
	西区	1,155
	港区	367
	中区	287
	北区	270
	緑区	144
	千種区	152
	熱田区	140
	守山区	125
	名東区	104
	南区	121
	東区	137
	瑞穂区	71
	天白区	73
	昭和区	80
	清須市	1,299
	北名古屋市	280
	豊山町	17
海部	あま市	2,752
	大治町	1,292
	津島市	591
	愛西市	366
	蟹江町	342
	弥富市	99
	飛島村	8

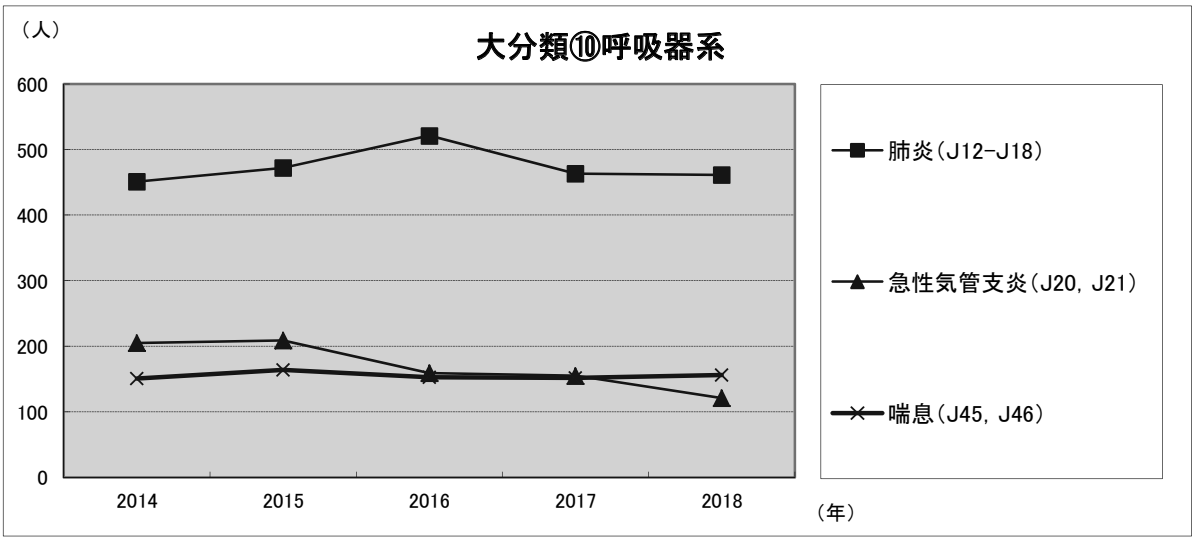


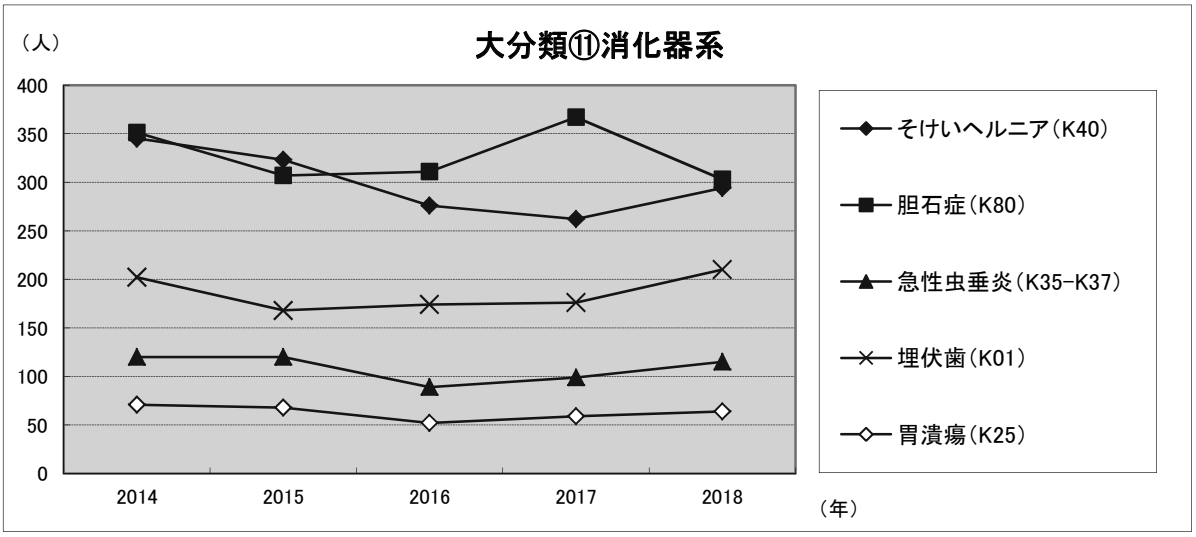


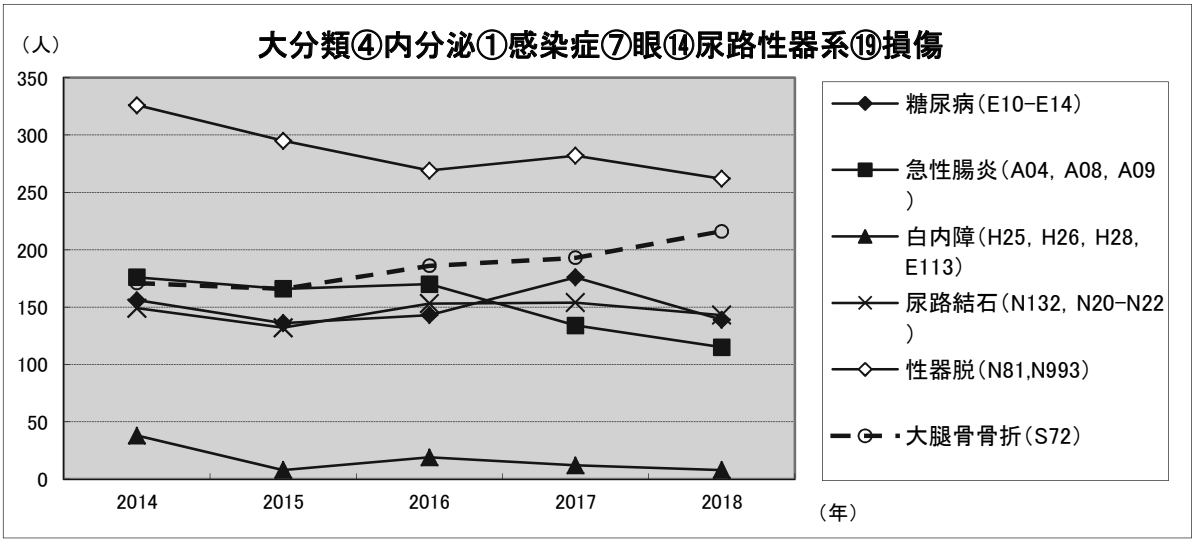
（４）主要疾患別退院患者数の推移（2014年～2018年）






大分類⑩呼吸器系
（人）
600
500
400
300
200
100
0
2014
2015
2016
2017
2018
（年）
肺炎（J12-J18）
急性気管支炎（J20, J21）
喘息（J45, J46）


大分類⑪消化器系
（人）
400
350
300
250
200
150
100
50
0
2014
2015
2016
2017
2018
（年）
そけいヘルニア（K40）
胆石症（K80）
急性虫垂炎（K35-K37）
埋伏歯（K01）
胃潰瘍（K25）


大分類④内分泌①感染症⑦眼⑭尿路性器系⑲損傷
（人）
350
300
250
200
150
100
50
0
2014
2015
2016
2017
2018
（年）
糖尿病（E10-E14）
急性腸炎（A04, A08, A09）
白内障（H25, H26, H28, E113）
尿路結石（N132, N20-N22）
性器脱（N81,N993）
・大腿骨骨折（S72）

（5）診療科別上位疾患別科別退院患者数及び平均在院日数

（上段：患者数，下段：平均在院日数）

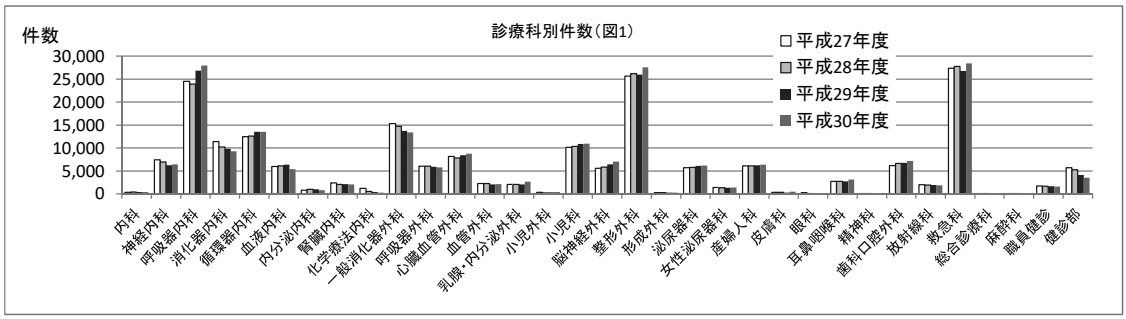
診療科	1病名		2 病名		3 病名		4 病名		5 病名	
総合診療科										
内　科										
化学療法内科										
呼吸器内科	C34　気管支及び肺の悪性新生物	999 13.8	J69　固形物及び液状物による肺臓炎	118 19.3	J15　細菌性肺炎，他に分類されないもの	116 13.9	J84　その他の間質性肺疾患	93 20.8	J18　肺炎，病原体不明	74 13.7
循環器内科	I20　狭心症	394 3.7	I50　心不全	347 22.6	I48　心房細動及び粗動	176 4.7	I21　急性心筋梗塞	104 18.3	I35　非リウマチ性大動脈弁障害	47 8.8
消化器内科	D12　結腸，直腸，肛門及び肛門管の良性新生物	573 2.5	K80　胆石症	180 12.4	C16　胃の悪性新生物	169 15.4	C22　肝及び肝内胆管の悪性新生物	156 16.5	C25　膵の悪性新生物	139 17.0
神経内科	I63　脳梗塞	301 19.8	I61　脳内出血	99 19.9	G45　一過性脳虚血発作及び関連症候群	39 8.4	J69　固形物及び液状物による肺臓炎	38 32.5	G40　てんかん	37 17.0
血液内科	C92　骨髄性白血病	170 41.5	C83　非ろ<濾>胞性リンパ腫	155 25.0	C91　リンパ性白血病	85 38.8	C90　多発性骨髄腫及び悪性形質細胞性新生物	61 29.7	C82　ろ<濾>胞性リンパ腫	39 19.9
内分泌内科	E11　2型<インスリン非依存性>糖尿病<NIDDM>	84 15.7	E87　その他の体液，電解質及び酸塩基平衡障害	16 14.5	E10　1型<インスリン依存性>糖尿病<IDDM>	15 13.3	E23　下垂体機能低下症及びその他の下垂体障害	7 3.7	N39　尿路系のその他の障害	7 15.0
腎臓内科	N18　慢性腎臓病	136 11.3	N02　反復性及び持続性血尿	38 4.3	N10　急性尿細管間質性腎炎	25 14.7	I50　心不全	22 23.7	N04　ネフローゼ症候群	18 19.9
一般消化器外科	C18　結腸の悪性新生物	225 16.4	K40　そけい<鼠径>ヘルニア	174 2.7	C16　胃の悪性新生物	162 17.5	K80　胆石症	121 6.9	K91　消化器系の処置後障害，他に分類されないもの	117 11.0
血管外科	I70　アテローム<じゅく<粥>状>硬化(症)	116 5.2	I71　大動脈瘤及び解離	79 10.8	I83　下肢の静脈瘤	28 2.1	I72　その他の動脈瘤及び解離	25 5.3	T82　心臓及び血管のプロステーシス，挿入物及び移植片の合併症	8 6.6
乳腺・内分泌外科	C50　乳房の悪性新生物	357 8.6	C73　甲状腺の悪性新生物	22 9.2	D05　乳房の上皮内癌	22 9.2	D24　乳房の良性新生物	11 2.5	E05　甲状腺中毒症[甲状腺機能亢進症]	7 5.9
呼吸器外科	C34　気管支及び肺の悪性新生物	258 15.5	J93　気胸	71 10.3	C78　呼吸器及び消化器の続発性悪性新生物	32 7.1	D02　中耳及び呼吸器系の上皮内癌	15 9.3	S27　その他及び詳細不明の胸腔内臓器の損傷	13 15.2
小児外科	K40　そけい<鼠径>ヘルニア	120 2.3	K42　臍ヘルニア	36 3.0	Q53　停留精巣<睾丸>	19 3.0	K35　急性虫垂炎	17 9.4	Q43　腸のその他の先天奇形	6 5.3
心臓血管外科	I71　大動脈瘤及び解離	128 23.0	I20　狭心症	103 16.1	I35　非リウマチ性大動脈弁障害	93 16.3	I34　非リウマチ性僧帽弁障害	56 12.3	I08　連合弁膜症	31 16.7
産婦人科	O70　分娩における会陰裂傷<laceration>	451 6.8	O34　既知の母体骨盤臓器の異常又はその疑いのための母体ケア	250 8.4	O47　偽陣痛	206 25.4	C56　卵巣の悪性新生物	195 11.8	C53　子宮頚部の悪性新生物	193 17.2
小児科	P07　妊娠期間短縮及び低出生体重に関連する障害，他に分類されないもの	368 33.2	J18　肺炎，病原体不詳	94 7.5	P22　新生児の呼吸窮<促>迫	88 13.9	J20　急性気管支炎	84 5.5	R56　けいれん<痙攣>，他に分類されないもの	80 3.8
整形外科	S72　大腿骨骨折	216 20.0	Z47　その他の整形外科的経過観察<フォローアップ>ケア	176 2.6	S52　前腕の骨折	151 4.1	M48　その他の脊椎障害	102 16.2	S42　肩及び上腕の骨折	87 7.2
脳神経外科	S06　頭蓋内損傷	142 15.6	I60　くも膜下出血	50 34.6	I63　脳梗塞	36 28.6	I67　その他の脳血管疾患	36 14.5	C71　脳の悪性新生物	33 37.8
泌尿器科	C61　前立腺の悪性新生物	236 5.9	C67　膀胱の悪性新生物	180 10.7	Z03　疾病及び病態の疑いに対する医学的観察及び評価	115 2.1	D09　その他及び部位不明の上皮内癌	114 6.3	N20　腎結石及び尿管結石	84 6.5
女性泌尿器科	N81　女性性器脱	235 6.0	N39　尿路系のその他の障害	57 3.0	N99　腎尿路生殖器系の処置後障害，他に分類されないもの	28 5.7	N36　尿道のその他の障害	5 3.6	C67　膀胱の悪性新生物	3 7.3
耳鼻咽喉科	J35　扁桃及びアデノイドの慢性疾患	86 7.0	J32　慢性副鼻腔炎	44 7.8	H71　中耳真珠腫	40 13.2	J36　扁桃周囲膿瘍	40 6.5	C12　梨状陥凹<洞>の悪性新生物	35 19.5
眼科	H25　老人性白内障	6 2.5	H43　硝子体の障害	4 2.5	H05　眼窩の障害	2 4.5	H02　眼瞼のその他の障害	2 3.0	H35　その他の網膜障害	2 6.0
皮膚科	L03　蜂巣炎<蜂窩織炎>	36 12.8	B02　帯状疱疹［帯状ヘルペス］	15 10.3	C44　皮膚のその他の悪性新生物	7 7.9	L27　摂取物質による皮膚炎	6 14.2	A46　丹毒	5 15.6
形成外科	H02　眼瞼のその他の障害	26 3.2	D17　良性脂肪腫性新生物(脂肪腫を含む)	19 4.2	L72　皮膚及び皮下組織の毛包のう<嚢>胞	15 6.1	Q17　耳のその他の先天奇形	10 3.3	C50　乳房の悪性新生物	8 8.5
歯科口腔外科	K01　埋伏歯	210 2.1	K05　歯肉炎及び歯周疾患	65 2.2	K04　歯髄及び根尖部歯周組織の疾患	40 2.7	C03　歯肉の悪性新生物	28 32.8	S02　頭蓋骨及び顔面骨の骨折	27 7.8

診療科	6 病名		7 病名		8 病名		9 病名		10 病名	
総合診療科										
内　科										
化学療法内科										
呼吸器内科	J93　気胸	52	J44　その他の慢性閉塞性肺疾患	50	J46　喘息発作重積状態	50	J13　肺炎連鎖球菌による肺炎	30	R91　肺の画像診断における異常所見	24
		16.0		13.8		8.3		19.7		2.4
循環器内科	I25　慢性虚血性心疾患	37	I44　房室ブロック及び左脚ブロック	35	T82　心臓及び血管のプロステーシス，挿入物及び移植片の合併症	33	I49 その他の不整脈	29	I47　発作性頻拍(症)	28
		3.1		11.1		9.2		14.0		7.6
消化器内科	C15　食道の悪性新生物	125	K57　腸の憩室性疾患	75	C18　結腸の悪性新生物	69	D01　その他及び部位不明の消化器の上皮内癌	59	K63　腸のその他の疾患	58
		11.7		9.0		12.5		3.7		2.7
神経内科	G20　パーキンソン<Parkinson>病	33	G23　基底核のその他の変性疾患	31	G12　脊髄性筋萎縮症及び関連症候群	19	G61　炎症性多発(性)ニューロパチ<シ>ー	17	G31　神経系のその他の変性疾患，他に分類されないもの	10
		29.9		21.9		25.2		22.5		17.5
血液内科	D46　骨髄異形成症候群	31	C94　組織型の明示されたその他の白血病	24	C84　成熟T/NK細胞リンパ腫	21	Z52　臓器及び組織の提供者<ドナー>	20	C86　T/NK細胞リンパ腫のその他の明示された型	19
		40.3		37.7		25.4		4.4		31.9
内分泌内科	C73　甲状腺の悪性新生物	4	E05　甲状腺中毒症[甲状腺機能亢進症]	4	J69　固形物及び液状物による肺臓炎	4	J10　その他のインフルエンザウイルスが分離されたインフルエンザ	3	E83　ミネラル<鉱質>代謝障害	3
		21.3		18.8		24.8		6.3		21.0
腎臓内科	J69　固形物及び液状物による肺臓炎	16	N17　急性腎不全	7	M31　その他のえ<壊>死性血管障害	7	A41　その他の敗血症	7	E86　体液量減少(症)	6
		22.7		28.0		25.6		26.1		26.5
一般消化器外科	C20　直腸の悪性新生物	114	K35　急性虫垂炎	83	C19　直腸S状結腸移行部の悪性新生物	62	C50　乳房の悪性新生物	60	C15　食道の悪性新生物	51
		16.7		9.0		14.6		8.6		15.5
血管外科	I74　動脈の塞栓症及び血栓症	5	I77　動脈及び細動脈のその他の障害	3	A41　その他の敗血症	2	T81　処置の合併症，他に分類されないもの	2	K31　胃及び十二指腸のその他の疾患	2
		8.8		3.7		28.0		5.0		12.0
乳腺・内分泌外科	D35　その他及び部位不明の内分泌腺の良性新生物	7	E04　その他の非中毒性甲状腺腫	6	E21　副甲状腺＜上皮小体＞機能亢進症及びその他の副甲状腺＜上皮小体＞障害	3	D34　甲状腺の良性新生物	3	L03　蜂巣炎<蜂窩織炎>	2
		6.1		6.2		7.3		5.7		8.0
呼吸器外科	C37　胸腺の悪性新生物	11	J84　その他の間質性肺疾患	7	J18　肺炎，病原体不祥	4	D14　中耳及び呼吸器系の良性新生物	4	D36　その他の部位及び部位不明の良性新生物	4
		7.9		8.3		16.0		7.3		6.3
小児外科	Q40　上部消化管のその他の先天奇形	5	N50　男性生殖器のその他の障害	3	N47　過長包皮，包茎及びかん<嵌>頓包茎	3	K59　その他の腸の機能障害	3	K36　その他の虫垂炎	2
		5.8		3.0		3.3		1.7		5.0
心臓血管外科	I50　心不全	16	I21　急性心筋梗塞	16	T82　心臓及び血管のプロステーシス，挿入物及び移植片の合併症	10	T81　処置の合併症，他に分類されないもの	7	I25　慢性虚血性心疾患	7
		20.6		32.6		26.9		24.6		10.1
産婦人科	C54　子宮体部の悪性新生物	154	D25　子宮平滑筋腫	154	D27　卵巣の良性新生物	120	O43　胎盤障害	115	O62　娩出力の異常	83
		7.4		8.0		6.2		10.5		6.7
小児科	C91　リンパ性白血病	74	P59　その他及び詳細不明の原因による新生児黄疸	69	J46　喘息発作重積状態	62	J06　多部位及び部位不明の急性上気道感染症	50	M30　結節性多発(性)動脈炎及び関連病態	49
		40.7		2.9		6.5		4.9		14.0
整形外科	S82　下腿の骨折，足首を含む	79	G56　上肢の単ニューロパチ<シ>ー	75	M47　脊椎症	62	S83　膝の関節及び靭帯の脱臼、捻挫及びストレイン	48	S32　腰椎及び骨盤の骨折	37
		14.8		2.0		17.3		11.8		26.0
脳神経外科	I61　脳内出血	29	I65　脳実質外動脈の閉塞及び狭窄，脳梗塞に至らなかったもの	18	G91　水頭症	18	D43　脳及び中枢神経系の性状不詳又は不明の新生物	11	C79　その他の部位及び部位不明の続発性悪性新生物	9
		30.2		12.9		15.9		17.8		22.1
泌尿器科	C64　腎盂を除く腎の悪性新生物	57	N13　閉塞性尿路疾患及び逆流性尿路疾患	56	N10　急性尿細管間質性腎炎	36	N40　前立腺肥大（症）	23	C66　尿管の悪性新生物	22
		12.8		8.9		13.3		7.1		9.0
女性泌尿器科	C65　腎盂の悪性新生物	2	T88　外科的及び内科的ケアのその他の合併症，他に分類されないもの	1	N20　腎結石及び尿管結石	1	N82　女性性器を含む瘻	1	D09　その他及び部位不明の上皮内癌	1
		21.0		3.0		2.0		14.0		6.0
耳鼻咽喉科	C32　喉頭の悪性新生物	29	H65　非化膿性中耳炎	27	H66　化膿性及び詳細不明の中耳炎	23	D11　大唾液腺の良性新生物	22	J38　声帯及び喉頭の疾患，他に分類されないもの	21
		27.8		3.4		7.1		7.3		6.7
眼科	Q15　眼のその他の先天奇形	1	H47　視神経[第2脳神経]及び視(覚)路のその他の障害	1	H27　水晶体のその他の障害	1	E11　2型<インスリン非依存性>糖尿病<NIDDM>	1	H50　その他の斜視	1
		3.0		2.0		3.0		2.0		3.0
皮膚科	L12　類天疱瘡	4	D04　皮膚の上皮内癌	4	L51 多形紅斑	4	L20　アトピー性皮膚炎	3	L05　毛巣のう<嚢>胞	3
		22.8		8.0		21.5		13.7		13.3
形成外科	Z42　形成手術後の経過観察<フォローアップ>ケア	6	L91　皮膚の肥厚性障害	6	E11　2型<インスリン非依存性>糖尿病<NIDDM>	6	D36　その他の部位及び部位不明の良性新生物	3	L89　じょく<褥>瘡性潰瘍及び圧迫領域	3
		7.5		3.7		50.2		4.3		19.3
歯科口腔外科	K07　歯顎顔面(先天)異常[不正咬合を含む]	16	C02　舌のその他及び部位不明の悪性新生物	14	K10　顎骨のその他の疾患	14	C06　その他及び部位不明の口腔の悪性新生物	11	K09　口腔部のう<嚢>胞，他に分類されないもの	10
		8.7		27.7		7.4		12.5		4.0

５．放射線科部

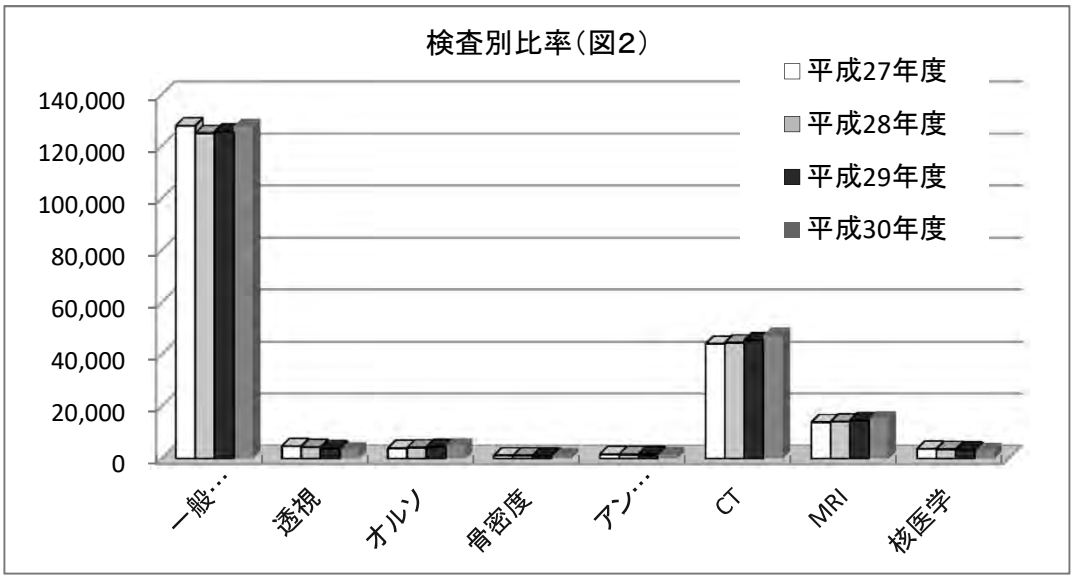
（１） 平成３０年度診療科別被検者数（外来＋入院）

検査種	一般撮影				透視撮影				オルソ／断層撮影				骨密度／破砕				血管／心カテ			
科名／年度	H27	H28	H29	H30	H27	H28	H29	H30	H27	H28	H29	H30	H27	H28	H29	H30	H27	H28	H29	H30
内科	281	332	262	289	4		2				1	1					1	2		
神経内科	2,007	1,545	1,510	1,692		3		2				2	12	14	19	14				
呼吸器内科	17,811	17,445	19,618	20,102	53	63	80	80		1		1	11	14	11	12	5	4	1	
消化器内科	3,340	2,220	1,999	1,931	568	505	477	422					26	8	11	7	74	88	67	56
循環器内科	8,862	9,144	9,745	10,014	1	1		1									1,187	1,073	1,143	1,091
血液内科	3,327	3,424	3,422	3,056	222	255	291	236	10	3	1	3	150	161	163	148	1		1	
内分泌内科	349	448	392	252	3	2	5	5					44	35	41	30				
腎臓内科	1,686	1,440	1,545	1,522	26	17	4	12			2		25	16	43	31		4	3	2
化学療法内科	479	336	269	207									2	1						
一般消化器外科	10,232	9,390	8,723	8,679	874	807	731	649					26	29	25	29	4	8	3	2
呼吸器外科	4,248	4,130	3,920	3,820	1	2	2	2												
心臓血管外科	7,033	6,702	7,170	7,435	1	1											58	57	59	63
血管外科	1,231	1,213	1,002	1,034		1	1	8									236	257	233	212
乳腺・内分泌外科	1,581	1,585	1,550	1,807		4	4	1					14	5	8	8				
小児外科	332	193	319	369	29	7	19	46												
小児科	8,936	9,081	9,574	9,617	61	78	49	62	10	1	1	4	37	61	85	68	10	22	20	28
脳神経外科	1,113	1,393	1,646	1,718	3	1	3	3									70	60	112	131
整形外科	21,230	21,463	21,304	22,168	402	414	413	384				1	609	694	593	644		1		
形成外科	124	152	129	117	4	16	4		2	2	1	1								
泌尿器科	3,103	3,239	3,244	3,057	424	459	507	558		1			70	33	18	6	6	2		
女性泌尿器科	1,073	1,052	1,051	1,029	87	55	61	65					19	8	6	11				
産婦人科	4,205	4,222	4,171	4,257	48	40	34	36					37	17	40	23	2	1	2	4
皮膚科	161	146	121	200	1								5	11	8	9				
眼科	214	18	24	18																
耳鼻咽喉科	851	818	891	1,075	17	19	30	15	5	1	3	1								
精神科		1																		
歯科口腔外科	1,370	1,500	1,390	1,422	103	119	150	104	3,954	4,190	4,460	5,006								
放射線科	6	3	8	10													1			
救急科	18,222	17,957	16,792	17,393	19	30	23	28	77	75	61	87	1				53	84	46	24
総合診療科	14	17	8	17									2	1	3	1				
麻酔科	2	11	53	66																
職員健診	1,703	1,693	1,691	1,581																
健診部	2,922	2,823	2,159	1,897	1,874	1,583	1,077	761	5				127	118	117	108				
合計	128,048	125,136	125,702	127,851	4,825	4,482	3,967	3,480	4,063	4,274	4,530	5,107	1,217	1,226	1,191	1,149	1,708	1,663	1,690	1,613



CT				MRI				核医学（RI）				核医学（PET）				合計			
H27	H28	H29	H30	H27	H28	H29	H30	H27	H28	H29	H30	H27	H28	H29	H30	H27	H28	H29	H30
58	74	112	101	13	7	4	6									357	415	381	397
2,498	2,302	1,755	1,697	2,454	2,655	2,467	2,466	440	458	480	541	6	3	3	7	7,417	6,980	6,234	6,421
5,285	5,032	5,595	6,162	792	851	1,012	1,115	1		5		560	488	530	509	24,518	23,898	26,852	27,981
6,119	5,982	5,789	5,514	993	1,066	1,292	1,268	10	13	14	10	307	300	175	88	11,437	10,182	9,824	9,296
1,908	1,900	2,058	1,885	85	63	101	110	416	436	457	427	6	5	4	10	12,465	12,622	13,508	13,538
1,612	1,657	1,843	1,564	90	98	137	74			1	1	529	533	488	308	5,941	6,131	6,347	5,390
282	394	392	369	82	86	96	103	52	45	47	45	1	1	3	3	813	1,011	976	807
598	527	481	454	29	29	45	36	2		1		1	1	2		2,367	2,034	2,126	2,057
663	189	106	90	39	4	3	5	9	2			15	7	3	3	1,207	539	381	305
3,819	4,090	3,924	3,790	190	172	158	152	82	90	104	72	108	114	65	47	15,335	14,700	13,733	13,420
1,528	1,653	1,697	1,731	169	159	185	141	4	5	2	1	100	69	88	95	6,050	6,018	5,894	5,790
1,028	1,039	1,165	1,211	32	27	30	27				1		4	2	2	8,152	7,830	8,426	8,739
749	750	802	833	27	14	11	12									2,243	2,235	2,049	2,099
361	306	330	559	70	97	119	172	48	45	46	117	5	9	12	14	2,079	2,051	2,069	2,678
2	3	3	8	4	4	7	4		1							367	208	348	427
266	345	365	433	738	691	743	624	60	54	43	66	26	27	16	35	10,144	10,360	10,896	10,937
1,906	1,893	2,054	2,296	2,430	2,487	2,586	2,849	21	11	6	12	2	7	8	6	5,545	5,852	6,415	7,015
1,554	1,649	1,747	2,075	1,845	1,978	1,921	2,322	6	2	1	3	4		4	4	25,650	26,201	25,983	27,601
63	74	86	63	56	62	55	62									249	306	275	243
1,623	1,632	1,861	2,023	236	190	274	300	215	221	189	195	12	15	13	15	5,689	5,792	6,106	6,154
175	169	148	191	39	55	59	58	16	19	10	17	1			2	1,410	1,358	1,335	1,373
966	1,068	1,153	1,236	810	714	806	809					23	19	26	22	6,091	6,081	6,232	6,387
124	123	130	208	48	35	38	30		1	1		3	1	1		342	317	299	447
42	30	34	19	49	46	29	41									305	94	87	78
1,296	1,365	1,371	1,600	380	387	290	322	3	1	2		162	140	110	83	2,714	2,731	2,697	3,096
			1	1												1	1	0	1
636	726	653	558	36	40	41	28	1			2	44	48	42	48	6,144	6,623	6,736	7,168
1,060	1,077	1,078	1,089	822	768	754	688	4	5	8	2	81	76	67	61	1,974	1,929	1,915	1,850
7,916	8,515	8,695	9,642	1,063	1,090	1,140	1,291									27,351	27,751	26,757	28,465
27	32	15	16	3	2	2		1								47	52	28	34
		2			4											2	15	55	66
																1,703	1,693	1,691	1,581
		63	102	386	377	336	324					420	375	349	335	5,734	5,276	4,101	3,527
44,164	44,596	45,507	47,520	14,011	14,258	14,741	15,439	1,391	1,409	1,417	1,512	2,416	2,242	2,011	1,697	201,843	199,286	200,756	205,368

（２）年度別検査項目別件数



	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
一般撮影	128,048	125,136	125,702	127,851
透視	4,825	4,482	3,967	3,480
オルソ	4,063	4,274	4,530	5,107
骨密度	1,217	1,226	1,191	1,149
アンギオ	1,708	1,663	1,690	1,613
CT	44,164	44,596	45,507	47,520
MRI	14,011	14,258	14,741	15,439
核医学	3,807	3,651	3,428	3,209

（３）年度別放射線治療患者数

	年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
放射線治療（患者数）	ライナック治療(RT)	536	587	596	640
	全身照射(TBI)	57	37	37	32
	定位照射（SRS、SRT）	51	47	50	74
	強度変調放射線治療（IMRT）	15	34	45	21
	全身リンパ節照射(TLI)	0	0	0	0

６. 病理部・細胞診分子病理診断部

（1）診療科別生検検体数

診療科名	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度
内科	3	0	2	42
消化器内科	3,840	3,548	3,583	3,455
血液内科	2,017	1,943	2,036	1,986
呼吸器内科	595	574	770	683
循環器内科	35	33	36	42
内分泌内科	2	0	0	1
神経内科	3	0	0	1
腎臓内科	55	51	45	59
小児科	929	742	716	655
一般消化器外科	1,060	1,119	1,062	1,053
小児外科	28	17	29	32
心臓血管外科	47	36	37	45
呼吸器外科	436	416	457	475
乳腺内分泌外科	312	339	494	586
産婦人科	1,962	1,915	1,938	1,993
泌尿器科	670	653	673	640
女性泌尿器科	93	117	143	179
脳神経外科	171	144	198	196
整形外科	92	88	97	106
皮膚科	977	1179	941	1,010
形成外科	286	249	262	263
耳鼻咽喉科	529	559	570	593
歯科口腔外科	450	490	472	522
血管外科	25	7	3	2
眼科	5	3	1	3
救急科	7	7	10	7
総合診療科	0	0	0	2
健診部	7	0	0	0
化学療法内科	2	0	0	0
合計	14,638	14,229	14,575	14,631

（2）病理特殊検査検体数

特殊検査	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度
免疫染色	4,480	4,399	4,668	4,666
コンサルテーション症例数	553	397	406	416

（3）院外受託検査

受託検査	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度
骨髄病理検査	1,316	1,196	1,176	1,258
テレパソロジー検査	11	12	8	7

（4）剖検検体数（科別検体数、月別検体数）

科別検体数

診療科名	H27 年度	H28 年度	H29 年度	H30 年度
一般消化器外科	0	2	1	0
血液内科	4	3	6	4
呼吸器内科	2	7	6	3
循環器内科	4	1	0	1
小児科	3	0	0	1
消化器内科	4	0	1	0
神経内科	4	8	6	5
呼吸器外科	0	0	0	0
内分泌内科	0	0	0	0
産婦人科	2	2	0	4
心臓血管外科	1	1	2	0
脳神経外科	1	0	1	0
腎臓内科	1	1	1	0
整形外科	1	0	0	0
耳鼻科	0	0	0	0
救急科	0	2	0	0
泌尿器科	0	0	0	0
合計	27	27	24	18

月別検体数

	H27 年度	H28 年度	H29 年度	H30 年度
4 月	1	2	3	1
5 月	2	5	2	1
6 月	2	0	1	1
7 月	2	3	2	4
8 月	1	0	1	0
9 月	3	2	2	0
10 月	5	0	0	1
11 月	0	3	1	0
12 月	4	2	5	1
1 月	2	5	5	3
2 月	4	2	2	2
3 月	1	3	0	4
合計	27	27	24	18

（5）細胞診件数（検体種別検体数）

細胞診件数	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度
一般細胞診	5,020 件	4,645 件	5,098 件	4,541 件
婦人科細胞診	4,395 件	4,297 件	4,059 件	4,082 件
ドック細胞診	644 件	595 件	438 件	412 件
合計	10,059 件	9,537 件	9,595 件	9,035 件

（6）遺伝子件数

特殊検査	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度
FISH・遺伝子検査	6,497 件	7,268 件	7,120 件	6,923 件
受託遺伝子検査	116 件	153 件	177 件	164 件

７．　輸血部

（１）平成３０年度検査年報集計

		件　数			点　数		
		当年度	前年度	比（%）	当年度	前年度	比（%）
輸血管理	入院	17,366	17,536	-1.0	538,033	522,282	3.0
	外来	17,030	17,470	-2.5	458,142	424,256	8.0
	他	34	262	-87.0	0	0	-
	小計	34,430	35,268	-2.4	996,175	946,538	5.2
分子細胞検査	入院	1,007	1,188	-15.2	1,718,330	1,921,650	-10.6
	外来	870	941	-7.5	924,340	976,640	-5.4
	小計	1,877	2,129	-11.8	2,642,670	2,898,290	-8.8
合　計	入院	18,373	18,724	-1.9	2,256,363	2,443,932	-7.7
	外来	17,900	18,411	-2.8	1,382,482	1,400,896	-1.3
	他	34	262	-87.0	0	0	-
総　合　計		36,307	37,397	-2.9	3,638,845	3,844,828	-5.4

上の表に含まれる輸血管理時間外検査（入院、外来）

件数	点数
4,939	92,555

加算・管理料

	件　数			点　数		
	入院	外来	件数合計	当年度	前年度	比（%）
輸血管理料Ｉ	2,195	507	2,702	903,480	944,820	-4.4
不規則抗体検査加算	1,833	476	2,309	454,873	507,669	-10.4
輸血に伴う血液型加算	1,075	72	1,147	61,938	52,896	17.1
総　合　計	5,103	1,055	6,158	1,420,291	1,505,385	-5.7

（２）　平成３０年度院内廃棄血集計（輸血管理室）

血液製剤総購入額　　472,322,183円の0.031　%
血液製剤総使用数　　12,147バッグの0.066　%

品　　名	略　　号	廃棄数（本）	薬　価（円）	合　計（円）	処理日	廃棄理由
照射赤血球液-ＬＲ「日赤」	IrRBC-LR－2	1	17,726	17,726	5月21日	使用期限を超過した為
照射赤血球液-ＬＲ「日赤」	IrRBC-LR－2	2	17,726	35,452	5月25日	手術室の薬品用保冷庫内で翌朝まで放置した為
照射赤血球液-ＬＲ「日赤」	IrRBC-LR－2	1	17,726	17,726	6月7日	ICUの保冷庫が温度上昇し、輸血管理室で保管するまで1時間以上室温に放置
照射赤血球液-ＬＲ「日赤」	IrRBC-LR－2	1	17,726	17,726	11月18日	4単位出庫し、1本目終了時に発熱を認めたため2本目中止
照射赤血球液-ＬＲ「日赤」	IrRBC-LR－2	2	17,726	35,452	11月26日	患者状態悪化し手術のためにオーダーしたが、手術が中止となったため
新鮮凍結血漿「日赤」	ＦＦＰ-LR-480	1	23,617	23,617	3月16日	8単位融解したが4単位輸血で状態改善、容量負荷となるため4単位中止
総　計		8		147,699		

（３）平成３０年度造血幹細胞移植症例数（分子細胞検査室）

造血幹細胞移植関連

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	小計
細胞保存	60	68	62	57	56	47	58	47	49	58	53	59	674
ＰＢＳＣ保存	5	2	4	3	1	1	1	3	1	2	3	1	27
ＡＢＭ保存	1	1	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	4
ＤＬＩ保存	1	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	3
ＣＤ34測定	22	10	16	9	11	8	6	13	12	13	19	4	143
ＰＢＳＣ輸注	1	2	2	1	0	1	1	2	1	1	2	1	15
ＣＢＳＣ輸注	0	0	3	0	3	4	3	1	1	0	3	1	19
ＤＬＩ輸注	1	0	1	1	0	0	0	1	0	0	1	0	5
テムセル	8	13	16	4	0	0	0	0	0	5	3	6	55
クリオ調整	5	3	5	8	5	8	4	7	3	4	1	3	56
合　計	104	99	110	84	76	69	74	74	67	83	86	75	1001

	移 植 症 例 数				保険点数小計
	内科	小児科	合計	保険点数	
血縁者間骨髄移植	4	0	4	65,600	262,400
非血縁者間骨髄移植	15	4	19	65,600	1,246,400
同種末梢血幹細胞移植	4	0	4	65,600	262,400
自家末梢血幹細胞移植	11	0	11	30,000	330,000
非血縁間末梢血幹細胞移植	3	0	3	65,600	196,800
臍帯血	15	4	19	44,300	841,700
自家骨髄移植	0	3	3	25,000	75,000
骨髄採取術	15	8	23	21,640	497,720
合　　計	67	19	86		4,328,120

	症例数		保険点数	保険点数小計
ドナーリンパ球輸注	1回目	3	750	2,250
	2回目以降	2	760	1,520
合　計				3,770

	血縁	非血縁	合計	保険点数	保険点数小計
ドナーリンパ球採取			0	9,850	0

（４）平成３０年度成分採血室稼動状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	小計
自己血採取	2	4	2	5	4	1	3	3	0	5	3	4	36
末梢血幹細胞採取	5	2	4	3	1	1	1	3	1	3	3	1	28
骨髄濃縮	4	1	0	0	2	0	1	2	1	2	2	0	15
リンパ球採取	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
顆粒球採取	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
バンク確認検査	6	7	1	8	8	11	8	7	3	5	11	11	86
最終同意	0	2	2	2	0	3	2	2	4	1	2	3	23
術前検査	2	1	5	4	3	5	5	0	5	4	1	4	39
術後検診	3	1	2	1	2	4	2	2	2	1	1	2	23
骨髄引き渡し	1	1	1	2	3	0	1	2	1	0	2	2	16
HLA検査	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合　計	23	19	17	25	23	25	23	21	17	21	25	27	266

８．健診部

（１）平成３０年度健診実績

（人）/（千円）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	２月	３月	合計
一日ドック	43	56	82	76	76	66	92	67	61	42	52	52	765
	2,870	3,570	4,858	5,026	5,103	4,021	5,711	3,985	3,910	2,683	2,976	3,412	48,125
総合ドック	14	23	30	17	23	29	18	26	18	13	21	21	253
	2,449	4,102	5,179	2,838	3,764	5,129	3,034	4,410	3,162	2,420	3,787	3,900	44,174
PETドック	8	7	6	12	9	2	4	2	9	6	5	5	75
	959	839	719	1,445	1,073	240	480	240	1,088	733	630	610	9,056
企業健診	38	48	41	41	24	31	42	51	39	50	36	46	487
	2,382	2,678	2,351	2,163	1,204	1,599	2,467	2,477	2,016	2,664	1,832	2,678	26,511
日赤健保	1	0	4	1	3	2	2	2	3	0	3	7	28
	38	0	157	36	122	88	90	66	120	0	125	248	1,090
福島県県民健康診査	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
特定保健指導	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1
	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1
平成30年度合計（人）	104	134	163	147	136	130	158	148	130	111	117	131	1,609
平成30年度合計（千円）	8,698	11,189	13,264	11,508	11,267	11,077	11,782	11,178	10,296	8,500	9,350	10,848	128,957

９. 薬剤部

（1） 入院･外来処方せん枚数

	入院		外来		合計総枚数	
	29 年度	30 年度	29 年度	30 年度	29 年度	30 年度
月平均枚数	15,935	15,507	17,677	17,340	33,612	32,847
年間合計枚数	191,222	186,089	212,118	208,078	403,340	394,167
院外処方せん発行率			78.0%	77.3%		

（2） 入院薬剤管理指導料算定数

	薬剤管理指導料算定数	
	29 年度	30 年度
月平均人数（名）	1,196.9	1,334.2
月平均件数（件）	1,723.8	1,848.4
年間合計人数（名）	14,363	16,011
年間合計件数（件）	20,685	22,181

（3） 妊娠と薬外来の相談件数

	相談件数(件)	
	29 年度	30 年度
妊娠前	4	4
妊娠後	4	3
授乳	0	0

（4） 薬学生実務実習受け入れ人数

	受け入れ人数(人)	
	29 年度	30 年度
第一期	0	0
第二期	5	0
第三期	4	5

（5） 抗がん剤調製延患者数

	延調製患者数(人)	
	29 年度	30 年度
外来	7,661	7,997
入院	8,224	8,218

（6） 新規の治験･製造販売後調査受託件数

	新規の受託件数（件）	
	29 年度	30 年度
治　験	9	7
製造販売後調査	27	18
臨床試験	84	42

（7） 専門薬剤師資格取得薬剤師数

	取得薬剤師数（人）
	30 年度
日本薬剤師研修センター 認定薬剤師	23
日本薬剤師研修センター　認定実務実習指導薬剤師	11
日本医療薬学会 がん専門・指導薬剤師	専門：5　　指導：3
日本医療薬学会　薬物療法専門薬剤師	2
日本医療薬学会　認定・指導薬剤師	認定：4　　指導：1
日本病院薬剤師会　妊婦授乳婦認定薬剤師	3
日本病院薬剤師会　感染制御専門薬剤師	1
日本化学療法学会　抗菌化学療法薬剤師	1
日本緩和医療薬学会　緩和薬物療法認定薬剤師	2
糖尿病療養指導士	5
日本静脈経腸栄養学会 NST 専門療養士	6
介護支援専門員	
日本 DMAT 隊員	

10. 検査部

（1）平成30年度検査種別稼動集計

臨床検査		件数			点数		
		当年度	前年度	比（%）	当年度	前年度	比（%）
血液	入院	75,450	83,437	-9.6	2,810,175	3,290,152	-14.6
	外来	281,636	285,650	-1.4	6,454,824	6,570,478	-1.8
	その他	5,338	6,106	-12.6	0	0	-
	時間外入院	163,597	172,346	-5.1	4,035,656	4,512,860	-10.6
	時間外外来	56,343	51,320	9.8	1,426,932	1,306,981	9.2
	小計	582,364	598,859	-2.8	14,727,587	15,680,471	-6.1
一般	入院	20,996	21,882	-4.0	669,602	724,172	-7.5
	外来	73,954	74,972	-1.4	2,483,321	2,567,478	-3.3
	その他	8,887	9,721	-8.6	0	0	-
	時間外入院	4,343	4,970	-12.6	165,906	201,451	-17.6
	時間外外来	12,726	13,381	-4.9	720,563	783,300	-8.0
	小計	120,906	124,926	-3.2	4,039,392	4,276,401	-5.5
生化学	入院	330,511	347,226	-4.8	5,230,838	5,535,277	-5.5
	外来	1,900,440	1,904,998	-0.2	18,567,436	18,089,429	2.6
	その他	55,060	59,675	-7.7	0	0	-
	時間外入院	962,917	982,671	-2.0	10,878,091	11,216,933	-3.0
	時間外外来	399,358	362,242	10.2	4,068,017	3,625,383	12.2
	小計	3,648,286	3,656,812	-0.2	38,744,382	38,467,022	0.7
薬物血中濃度	入院	3,671	3,823	-4.0	特定薬剤治療管理料として算出		
	外来	1,932	1,942	-0.5			
	その他	0	0	-			
	小計	5,603	5,765	-2.8			
免疫血清	入院	24,755	25,188	-1.7	2,936,910	3,053,907	-3.8
	外来	177,830	176,784	0.6	19,587,970	19,690,661	-0.5
	その他	9,643	9,982	-3.4	0	0	-
	時間外入院	25,052	25,840	-3.0	3,632,963	3,853,874	-5.7
	時間外外来	20,317	18,055	12.5	2,422,975	2,231,356	8.6
	小計	257,597	255,849	0.7	28,580,818	28,829,798	-0.9
細菌	入院	46,587	45,400	2.6	7,497,984	6,985,145	7.3
	外来	30,840	25,630	20.3	4,576,609	3,847,444	19.0
	その他	324	472	-31.4	0	0	-
	時間外入院	0	0	-	0	0	-
	時間外外来	0	0	-	0	0	-
	小計	77,751	71,502	8.7	12,074,593	10,832,589	11.5

☆細菌検査は、平成２４年度から件数の集計方法が変わりました。
☆生化学検査は、平成２９年度から件数の集計方法が変わりました。
☆その他の内訳（心カテ・ＥＣＧ、聴力、血流検査以外のドック検査・職員健診・当院健診等）

生理検査		件数			点数		
		当年度	前年度	比（%）	当年度	前年度	比（%）
脳波	入院	749	773	-3.1	658,430	587,850	12.0
	外来	1,242	1,299	-4.4	1,203,240	1,100,650	9.3
	小計	1,991	2,072	-3.9	1,861,670	1,688,500	10.3
筋電図	入院	589	538	9.5	494,158	439,160	12.5
	外来	1,395	1,375	1.5	1,241,886	1,150,390	8.0
	小計	1,984	1,913	3.7	1,736,044	1,589,550	9.2
心電図	入院	7,990	8,309	-3.8	1,653,780	1,600,650	3.3
	外来	30,442	29,037	4.8	6,119,390	5,346,120	14.5
	その他	2,016	2,108	-4.4	0	0	-
	小計	40,448	39,454	2.5	7,773,170	6,946,770	11.9
心大血管リハビリ	入院	158	227	-30.4	140,455	143,070	-1.8
	外来	1,759	1,862	-5.5	1,800,955	1,572,565	14.5
	小計	1,917	2,089	-8.2	1,941,410	1,715,635	13.2
肺機能	入院	1,432	1,518	-5.7	158,730	162,455	-2.3
	外来	10,637	9,802	8.5	1,111,520	998,460	11.3
	その他	1,507	1,587	-5.0	0	0	-
	小計	13,576	12,907	5.2	1,270,250	1,160,915	9.4
超音波	入院	8,734	8,546	2.2	7,505,860	7,236,590	3.7
	外来	18,756	18,485	1.5	12,532,250	12,326,000	1.7
	その他	1,861	1,928	-3.5	0	0	-
	小計	29,351	28,959	1.4	20,038,110	19,562,590	2.4
ドック（ＥＣＧ･聴力）検査	その他	3,067	3,655	-16.1	0	0	-

		件数			点数		
		当年度	前年度	比%	当年度	前年度	比%
総合計	入院	521,622	546,867	-4.6	29,756,922	29,758,428	0.0
	外来	2,530,863	2,531,836	0.0	75,679,401	73,259,675	3.3
	その他	87,703	95,234	-7.9	0	0	-
	時間外入院	1,155,909	1,185,827	-2.5	18,712,616	19,785,118	-5.4
	時間外外来	488,744	444,998	9.8	8,638,487	7,947,020	8.7
	合計	4,784,841	4,804,762	-0.4	132,787,426	130,750,241	1.6

（２） 平成３０年度判断料

１．包括前後

保険点数	項目	件数		点数		
		包括前	包括後	包括前	包括後	比（%）
34	尿・糞便検査判断料	20,718	17,641	704,412	599,794	-14.9
125	血液学的判断料	115,749	100,931	14,468,625	12,616,375	-12.8
144	生化学的判断料　Ⅰ	116,294	101,118	16,746,336	14,560,992	-13.0
144	生化学的判断料Ⅱ(RI)	30,374	25,987	4,373,856	3,742,128	-14.4
144	免疫血清学的判断料	82,386	68,253	11,863,584	9,828,432	-17.2
150	微生物学的判断料	16,475	10,402	2,471,250	1,560,300	-36.9
150	病理学的判断料	3,586	3,586	537,900	537,900	0.0
140	呼吸機能学的判断料	4,586	4,139	642,040	579,460	-9.7
180	脳波検査判断料	1,563	1,317	281,340	237,060	-15.7
180	神経・筋検査判断料	690	582	124,200	104,760	-15.7
	合計	392,421	333,956	52,213,543	44,367,201	-15.0

２．包括後前年比

保険点数	項目	件数		点数		
		当年度	前年度	当年度	前年度	比（%）
34	尿・糞便検査判断料	17,641	18,368	599,794	624,512	-4.0
125	血液学的判断料	100,931	99,863	12,616,375	12,482,875	1.1
144	生化学的判断料　Ⅰ	101,118	99,527	14,560,992	14,331,888	1.6
144	生化学的判断料Ⅱ(RI)	25,987	25,821	3,742,128	3,718,224	0.6
144	免疫血清学的判断料	68,253	67,243	9,828,432	9,682,992	1.5
150	微生物学的判断料	10,402	9,567	1,560,300	1,435,050	8.7
150	病理学的判断料	3,586	3,548	537,900	532,200	1.1
140	呼吸機能学的判断料	4,139	3,843	579,460	538,020	7.7
180	脳波検査判断料	1,317	1,325	237,060	238,500	-0.6
180	神経・筋検査判断料	582	429	104,760	77,220	35.7
	合計	333,956	329,534	44,367,201	43,661,481	1.6

（３） 平成３０年度検査加算・管理料(検査部)

１．包括前

加算・管理料点数	加算項目	件数		合計	点数		合計
		入院	外来		入院	外来	
470・740	特定薬剤治療管理料	2,224	1,756	3,980	1,157,170	798,290	1,955,460
280	薬剤初回算定月加算	165	63	228	46,200	17,640	63,840
2740	臓器移植後免疫抑制剤加算	125	0	125	342,500	0	342,500
20	血液化学入院初回加算	12,924		12,924	258,480		258,480
10	外来迅速検体検査加算	20,768	474,875	495,643	207,680	4,748,750	4,956,430
200	時間外緊急院内検査加算	2,440	5,305	7,745	488,000	1,061,000	1,549,000
240	骨髄像診断加算	803	386	1,189	192,720	92,640	285,360
500	検体検査管理加算Ⅳ	19,246		19,246	9,623,000		9,623,000
40	検体検査管理加算Ⅰ		111,218	111,218		4,448,720	4,448,720
	総合計	58,695	593,603	652,298	12,315,750	11,167,040	23,482,790

２．包括後

加算・管理料点数	加算項目	件数		合計	点数		合計
		入院	外来		入院	外来	
470・740	特定薬剤治療管理料	746	1,719	2,465	352,510	810,360	1,162,870
280	薬剤初回算定月加算	0	0	0	0	0	0
2740	臓器移植後免疫抑制剤加算	0	0	0	0	0	0
20	血液化学入院初回加算	897		897	17,940		17,940
10	外来迅速検体検査加算	764	474,875	475,639	7,640	4,748,750	4,756,390
200	時間外緊急院内検査加算	51	5,284	5,335	9,200	964,000	973,200
240	骨髄像診断加算	10	4	14	3,400	93,520	96,920
500	検体検査管理加算Ⅳ	2,426		2,426	1,213,000		1,213,000
40	検体検査管理加算Ⅰ		474,875	474,875		4,448,720	4,448,720
	総合計	4,894	956,757	961,651	1,603,690	11,065,350	12,669,040

１１．看護部

（１）看護部の理念

赤十字の看護師として、おひとりおひとりの患者さんを大切にした看護を目指します

（２）基本方針

１．　安全で安楽な看護技術を提供します
２．　継続教育を充実させ看護の専門性を追及します
３．　地域のみなさまの健康保持増進を支援します
４．　他部門と協動し、病院の健全な運営に取組みます
５．　救護活動や赤十字の講習会の普及に取組みます

（３）看護部目標

１．患者・家族参画型の看護を提供する

（４）専門分野と人数

専門看護師	
精神看護専門看護師	服部 希恵　舘 理江
母性看護専門看護師	木全 美智代
がん看護専門看護師	牛山 喜久恵
小児看護専門看護師	加藤 美也子　中村 愛
認定看護師	
皮膚・排泄ケア看護認定看護師	伊藤 真粧美　福山 直美 西澤 政子　野中 由佳
集中ケア認定看護師	秋江 百合子　佐藤 史子
がん化学療法看護認定看護師	濱嶋 なぎさ　天野 真由美 大路 小千代　竹内 麻里加
新生児集中ケア認定看護師	平岩 美緒　渡辺 綾子　上渡 めぐみ
緩和ケア認定看護師	平野 美枝子　武藤 直美
救急看護認定看護師	安藤 俊子　柚木 さよ 高田 恵理　田辺 由紀子
摂食・嚥下障害看護認定看護師	山本 利恵子　坂口 真那美
感染管理認定看護師	高坂 久美子　吉村 敦子
手術看護認定看護師	加納 朋子　二宮 結花
がん性疼痛看護認定看護師	志村 みゆき　尾関 美代子
認知症看護認定看護師	岡田 朋子
透析看護認定看護師	日野 佐智子

認定看護師	
がん放射線療法看護認定看護師	峯田 知子
脳卒中リハビリテーション看護認定看護師	井内 豊子
慢性呼吸器疾患看護認定看護師	山北 利恵
その他	
認定看護管理者	坂之上 ひとみ　真野 真紀子　川瀬　とし子 秋江 百合子　近森　清美　古市　めぐみ 川北 洋子

（５）　平成３０年度　看護部行事・看護職員対象研修等一覧

名古屋第一赤十字病院　看護部

開催月	研修会・勉強会・実践委員会等	開催日	参加人数	時間内・外	会場	参加者
4月	新入看護職員採用時研修会	4/2（月）～4/13（金）				
	辞令交付式、院長のことば、病院概要、各部門の紹介、看護部門の役割 医療安全の基本的な事故防止と行動、医療安全の概要、就業規則・勤務評定・給与 個人情報の取扱い・福利厚生、健康管理、メンタルヘルス	2（月）　終日	110	時間内	内ヶ島講堂	新入看護職員
	赤十字概論Ⅰ「赤十字のあゆみと活動」	3（火）　終日	110	時間内	ウィルあいち	
	災害救護、感染対策・医療廃棄物、医療情報・図書室の使い方、職業倫理と臨床倫理 放射線防護・MRIの危険性、出会う・知り合う・語り合う、労働組合について	4（水）　終日	110	時間内	内ヶ島講堂	
	オリエンテーション、看護職員に望むこと、自己紹介 身嗜みとマナー、労務管理、薬剤管理	5（木）　終日	110	時間内	演習室Ⅰ　他	
	業務管理、看護倫理、教育体制と教育プログラム、評価表について 看護基準・手順	6（金）　終日	110	時間内		
	安全確保の技術、救命救急処置技術、安全な輸液管理、静脈注射ＳＴＥＰ１ 情報管理、口腔感染予防	9（月）　終日	110	時間内		
	感染防止技術、創傷感染予防、安全な日常生活援助技術	10（火）　終日	110	時間内		
	医療安全・看護記録の見方、安全な看護技術　（採血・翼状針による点滴静脈注射）	11（水）　終日	110	時間内		
	赤十字概論　Ⅱ「赤十字の現況と課題」/Ⅲ「赤十字の基本原則と国際人道法」	12（木）　8：30～12：00　/　13：30～17：00	116	時間内		新入看護職員、未受講者
	安全な医療機器の取扱い　（輸液ポンプ・シリンジポンプ）	8：30～12：30　/　13：00～17：00	110			新入看護職員
	病棟における医療安全 メンタルヘルス、新人語り合う会Ⅰ	13（金）　終日	110	時間内		
	病院説明会・インターンシップ	4/21（土）・4/28（土）　9：00～16：00	109		演習室1	看護学生　経験者看護師
5月	看護事務・助手・介護士研修会　①	5/11（金）・5/14（月）　15：30～16：30	141	時間内	演習室１	看護事務・助手・介護士
	NST勉強会	5/14（月）　18：00～19：00	18	時間外	内ヶ島講堂	全職員
	新入看護職員研修会Ⅰ(呼吸管理・安全な食事介助・DM基礎・褥瘡予防)	5/15（火）・5/17（木）・5/21（月）・5/22（火）　終日	110	時間内	演習室１	新入看護職員
	ナーシング リサーチカフェⅠ	5/21（月）　16：30～17：30	6	時間外	研修室２	看護職員
	がん看護基礎研修「がんの疫学」「がんサバイバーシップ」	5/24(木)　18：00～19：00	68	時間外	内ヶ島講堂	レベルⅠ～Ⅱ
	経験者語り合う会①	5/29（火）　13：30～17：00	10	時間内	演習室1	新入看護職員（経験者）
	トリアージブラッシュアップ研修	5/29（火）　17：30～18：30	29	時間外	演習室1	救急外来トリアージナース
6月	病院説明会・インターンシップ	6/2（土）・6/30（土）　8：30～16：00	61		演習室１	看護師
	看護業務実践委員会　①	6/5（火）　13：30～14：30		時間内	演習室２・研修室３	実践委員
	褥瘡勉強会「スキンケアナースの役割・褥瘡診療予防計画書の記入方法」	6/5（火）　16：00～17：00	53	時間内	演習室１	レベルⅡ・Ⅲ
	緩和ケアチーム「アドバンス・ケア・プランニングについて」	6/7（木）　18：00～19：00	27	時間外	内ヶ島講堂	全職員
	糖尿病勉強会	6/7（木）　18：00～19：00	27	時間外	演習室１	全職員
	NST勉強会	6/11（月）　18：00～19：00	7	時間外	内ヶ島講堂	全職員
	プリセプターシップ振り返りの会	6/11（月）・6/12（火）　13：30～17：00	75	時間内	演習室１	プリセプター（レベルⅡ相当）
	医療安全推進週間	6/18（月）～6/22（金）	903	時間内	内ヶ島講堂	全職員
	ＩＣＭ研修会	6/14（木）　15：00～16：00	37	時間内	演習室１	ＩＣＭ
	看護部長講演会	6/4（月）・6/15（金）　17：30～18：30	219	時間内	演習室１	看護職員
	ナーシング リサーチカフェⅡ	6/18（月）　16：30～17：30	3	時間外	研修室２	看護職員
	新入看護職員研修会Ⅱ（心電図Ⅰ・救命救急処置・新人語り合う会）	6/19（火）・6/22（金）・6/26（火）・6/28（木）　8：30～15：30	109	時間内	演習室１	新入看護職員
	新人語り合う会②	6/19（月）・6/22（金）・6/26（火）・6/28（木）　15：30～17：00	99	時間内	演習室１	新入看護職員（新卒者）
	防災備品使用説明会	6/22（金）　15：00～16：30		時間内	会議室１・２	防災係
	看護技術研修（口腔ケア）	7/3（火）・7/18（水）　17：30～18：30	44	時間外	演習室２・研修室３	看護職員
	リーダーシップ研修会	7/5（木）・7/6（金）　終日	27	時間内	演習室１	レベルⅢ
	NST勉強会「経腸栄養について」	7/9（月）　18：00～19：00	12	時間外	内ヶ島講堂	全職員
	RST勉強会	7/10（火）　18：00～19：00	55	時間外	内ヶ島講堂	全職員
	医療安全ワークショップ	7/11（水）　16：00～18：00	29	時間外	内ヶ島講堂	全職員

7月	看護記録実践委員会　①	7/12（木）　13：30～14：30		時間内	演習室２・研修室３	実践委員
	看護基準手順実践委員会　①	7/19（木）　15：00～16：00		時間内	演習室２・研修室３	実践委員
	がん看護基礎研修「緩和ケアと緩和ケアチームの活動」	7/19（木）　18：00～19：00	39	時間外	内ヶ島講堂	レベルⅠ～Ⅱ
	災害救護基礎研修	7/20（金）・A日程：7/25（水）・B日程：8/29（水） 13：00～17：00	30	時間内	内ヶ島講堂	レベルⅠ・Ⅱ
	院内看護研究発表会	7/23（月）　17：30～19：00	71	時間外	演習室１	看護職員
	褥瘡勉強会「DESIGN-R/褥瘡ケア選択基準」「ポジショニング演習」	7/23（月）　17：30～18：30	46	時間外	演習室２・研修室３	レベルⅠ・Ⅱ
	日常生活援助技術指導者研修会	7/24（火）　13：00～17：00	28	時間内	演習室１	レベルⅢ
	意識向上実践委員会　①	7/26（木）　16：30～17：00		時間内	演習室２・研修室３	実践委員
	看護協会等総会報告会	7/26（木）　17：00～18：00	40	時間外	演習室２・研修室３	実践委員・看護職員
	病院見学会・インターンシップ	7/28（土）　8：30～16：00	51		演習室１	看護師
	RST勉強会「呼吸音の聴取について」	7/30（月）　18：00～19：00	13	時間外	演習室２	全職員
8月	看護技術研修（導尿）	8/7（火）・8/15（水）　17：30～18：30	32	時間外	演習室2・研修室3	看護職員
	糖尿病勉強会	8/9（木）　18：00～19：00	53	時間外	演習室１	全職員
	感染対策研修会Ⅱ「医療器具関連感染防止対策」	8/10（金）・8/13（月）	83	時間内	演習室１	レベルⅠ・Ⅱ
	事例で学ぶ対象理解	8/11（土）　終日	64	時間外	演習室Ⅰ	レベルⅠ・Ⅱ
	各看護単位BLS技術指導者講習会	8/14（火）　13：00～17：00	30	時間内	演習室１	レベルⅡ・ⅢかつICLS受講者・今年度受講予定者
	がん看護基礎研修「がん化学療法とは・抗癌剤の安全な取扱・主な副作用」	8/16（木）　18：00～19：00	43	時間外	内ヶ島講堂	レベルⅠ～Ⅱ
	ナーシング リサーチカフェⅠ	8/20（月）　16：30～17：30	4	時間外	研修室２	看護職員
	家族看護研修会	8/20（月）　13：00～17：00	27	時間内	演習室１	レベルⅡ・Ⅲ
	臨地実習指導者研修会	8/22(水)　　終日	23	時間内	演習室１	レベルⅡ・Ⅲ
	看護部　講演会	8/30（木）　17：30～19：00	93	時間外	演習室１	看護職員
	RST勉強会	8/27（月）　18：00～19：00	47	時間外	内ヶ島講堂	全職員
9月	看護業務実践員会②	9/4（火）　13：30～14：30		時間内	演習室２・研修室３	実践委員
	病院見学会・インターンシップ	9/7（金）　8：30～16：00	47		演習室１	看護師
	NST勉強会「NSTとは」「栄養管理手順について」	9/10（月）　18：00～19：00	48	時間外	内ヶ島講堂	全職員
	2年目研修（痛みのケア・看取りの看護・症状観察・廃用症候群の予防ケア・看護倫理Ⅱ）	9/11（火）・9/13（木）・9/18（火）　終日	100	時間内	演習室１	2年目
	摂食嚥下勉強会	9/11（火）　17：30～18：30	32	時間外	演習室1	摂食嚥下リンクナース・看護職員
	RST勉強会	9/11（火）　18：00～19：00	33	時間外	内ヶ島講堂	全職員
	心電図Ⅱ	9/13（木）・9/18（火）　17：30～18：30	87	時間外	演習室１	看護職員
	経験者語り合う会②	9/14(金)　15：00～17：00	10	時間内	演習室１	新入看護職員（経験者）
	看護技術研修（摘便・浣腸）	9/19（水）・10/5（金）　17：30～18：30	50	時間外	演習室２・研修室３	看護職員
	感染対策研修会Ⅲ「注意すべき病原体の感染防止対策」	9/25（火）・9/27（木）　16：00～17：00	46	時間外	演習室１	レベルⅡ以上
	がん看護基礎研修「がん化学療法看護：過敏症・血管外漏出」	9/27（木）　18：00～19：00	57	時間外	内ヶ島講堂	レベルⅠ～Ⅱ
	褥瘡勉強会「褥瘡と栄養について」「使用する薬剤について」	9/28（金）　17：30～18：30	25	時間外	演習室２・研修室３	レベルⅠ～Ⅲ
	防災訓練（東5・東6・東7・東8・西2・西3・緩和C・化療C）	9/28（金）　15：00～16：00		時間内	各看護単位	新人・レベルⅠ・レベルⅡ
10月	看護技術研修（包帯法）	10/2（火）・10/17（水）　17：30～18：30	54	時間外	演習室２・研修室３	看護職員
	災害看護論Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ	10/4（木）　13：00～17：00	29	時間内	内ヶ島講堂	未受講者
	糖尿病勉強会	10/4（木）　18：00～19：00	11	時間外	演習室１	全職員
	事例検討会	10/9（火）・10/16（火）　9：00～17：00	60	時間内	演習室１	「平成30年度　事例で学ぶ対象理解」受講者
	摂食嚥下勉強会	10/9（火）　17：30～18：30	20	時間外	演習室１	摂食嚥下リンクナース・看護職員
	医療安全ワークショップ	10/10（水）　18：00～19：00	34	時間外	内ヶ島講堂	全職員
	病院見学会・インターンシップ	10/13（土）　8：30～16：00	64		演習室１	看護師
	ナーシング リサーチカフェ　「文献検索ワークショップ」	10/15（月）　16：30～17：30	12	時間外	研修室２	レベルⅡ・Ⅲ
	NST勉強会「栄養評価法について」	10/15（月）　18：00～19：00	23	時間外	演習室１	全職員
	褥瘡勉強会「褥瘡と皮膚疾患・下肢潰瘍」「スキンテア・医療機器関連創傷」	10/22（月）　17：30～18：30	35	時間外	演習室１	レベルⅠ・Ⅱ
	トリアージブラッシュアップ研修	10/23（火）　17：30～18：30	23	時間外	演習室1	救急外来トリアージナース
	がん看護基礎研修「がん放射線療法看護」	10/25（木）　18：00～19：15	54	時間外	内ヶ島講堂	レベルⅠ～Ⅱ
	防災訓練(西7・西8Ａ・西8Ｂ・西9Ａ・西9Ｂ・OPE・NICU)	10/26（金）　15：00～16：00		時間内	各看護単位	新人・レベルⅠ・レベルⅡ
	看護助手・介護士研修会②	10/26（金）　14：00～16：00	54	時間内	演習室１・２・研修室３	看護助手・介護士

	RST勉強会	10/29（月）　18：00～19：00	47	時間外	内ヶ島講堂	全職員
	医療安全推進週間	10/29（月）～11/2（金）	869	時間内	内ヶ島講堂・演習室１	全職員
11月	糖尿病勉強会	11/1（木）　18：00～19：00	34	時間外	演習室１	全職員
	看護助手・介護士研修会②	11/2（金）　15：00～16：00	49	時間内	演習室１・２・研修室３	看護助手・介護士
	看護技術研修（死後処置）	11/6（火）・11/21（水）　17：30～18：30	74	時間外	演習室１・２・研修室３	看護職員
	看護記録実践委員会②	11/8（木）　13：30～14：30		時間内	演習室２・研修室３	実践委員
	NST勉強会「経腸栄養法について」	11/12（月）　18：00～19：00	24	時間外	内ヶ島講堂	
	RST勉強会	11/13（火）　18：00～19：00	29	時間外	内ヶ島講堂	全職員
	摂食嚥下勉強会	11/13（火）　17：30～18：30	22	時間外	演習室１	摂食嚥下リンクナース・看護職員
	看護基準手順実践委員会　②	11/15（木）　15：00～16：00		時間内	演習室２・研修室３	実践委員
	ナーシング リサーチカフェⅡ	11/19（月）　16：30～17：30	0	時間外	研修室２	看護職員
	褥瘡勉強会「褥瘡処置デブリードマン洗浄」「在宅にむけての社会資源」	11/19（月）　17：30～18：30	15	時間外	演習室２・研修室３	レベルⅡ・Ⅲ
	新入看護職員研修Ⅲ（静脈注射STEP3，4・認知症とせん妄症状アセスメントと看護ケア・症状観察）	11/20（火）・11/22（木）・11/27（火）・11/30（金）8：30～15：00	101	時間内	演習室１	新入看護職員
	新人語り合う会③	11/20（火）・11/22（木）・11/27（火）・11/30（金）15：00～17：00	92	時間内	演習室１	新入看護職員（新卒者）
	意識向上実践委員会　②	11/22（木）　16：30～17：30		時間内	演習室２・研修室３	実践委員
	がん看護基礎研修「症状アセスメント：がん性疼痛」	11/15（木）　18：00～19：15	43	時間外	内ヶ島講堂	レベルⅠ～Ⅱ
	排尿ケア研修会	11/28（水）　17：30～18：30	46	時間外	研修室３	全看護職員
	防災訓練(西10Ａ・西10Ｂ・西11Ａ・西11Ｂ・西12Ａ・西12Ｂ)	11/30（金）　15：00～16：00		時間内	各看護単位	新人・レベルⅠ・レベルⅡ
12月	RST勉強会	12/3（月）　18：00～19：00	38	時間外	内ヶ島講堂	全職員
	看護業務実践委員会　③	12/4（火）　13：30～14：30		時間内	演習室２・研修室３	実践委員
	看護技術研修（吸引：開放式・閉鎖式）	12/4（火）・19（水）　17：30～18：30	59	時間外	演習室２・研修室３	看護職員
	ナーシングリ サーチカフェⅡ	12/17（月）　16：30～17：30	1	時間外	研修室２	看護職員
1月	看護技術研修（口腔ケア）	1/8（火）・16（水）　17：30～18：30	18	時間外	演習室２・研修室３	看護職員
	糖尿病勉強会	1/10（木）　18：00～19：00	26	時間外	演習室１	全職員
	災害看護論Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ	1/15（火）　13：00～17：00	33	時間内	内ヶ島講堂	未受講者
	摂食嚥下勉強会	1/15（火）　17：30～18：30	20	時間外	演習室１	摂食嚥下リンクナース・看護職員
	ナーシング リサーチカフェⅠ	1/21（月）　16：30～17：30	1	時間外	研修室２	看護職員
	NST勉強会「末梢静脈栄養について」	1/21（月）　18：00～19：00	7	時間外	内ヶ島講堂	全職員
	RST勉強会	1/21（月）　18：00～19：00	19	時間外	内ヶ島講堂	全職員
	がん看護基礎研修「呼吸困難、倦怠感、嘔気嘔吐などの症状アセスメントとケア」	1/24（木）　18：00～19：00	21	時間外	内ヶ島講堂	レベルⅠ～Ⅱ
	防災訓練(西５Ａ・救命Ａ・救命Ｂ・ＩＣＵ・ＭＦＩＣＵ・西６・ハースセンター・西１・初療室)	1/25（金）　15：00～16：00		時間内	各看護単位	新人・レベルⅠ・レベルⅡ
	リーダーシップ実践報告会	1/28（月）　12：50～17：10	27	時間内	演習室１	平成30年度リーダーシップ研修会受講者
2月	赤十字救急法	2/1（金）・2/4（月）・2/5（火）　8：30～17：10	19	時間内	演習室１	レベルⅢ
	看護技術研修（気管挿管介助）	2/5（火）・2/20（水）　17：30～18：30	57	時間外	演習室２・研修室３	看護職員
	心電図Ⅲ	2/12（火）　17：30～18：30	43	時間外	演習室１	看護職員
	医療安全ワークショップ	2/13（水）　16：00～18：00	32	時間外	内ヶ島講堂	全職員
	後輩指導Ⅲ　OJTリーダー養成研修会	2/14（木）　終日	22	時間内	演習室１	平成31年度　ＯＪＴリーダー予定者
	ナーシング リサーチカフェⅡ	2/18（月）　16：30～17：30	1	時間外	研修室２	看護職員
	NST勉強会「中心静脈栄養について」	2/18（月）　18：00～19：00	1	時間外	演習室１	全職員
	がん看護基礎研修「がん患者の心理反応」	2/21（木）　18：00～19：00	24	時間外	演習室１	レベルⅠ～Ⅱ
3月	後輩指導Ⅰ　プリセプター研修会	3/1(金)・5（火）　終日	83	時間内	演習室１	平成31年度　プリセプター予定者
	救護員としての赤十字看護師養成研修フォローアップ研修	3/7（木）　終日	12	時間内	内ヶ島講堂	レベルⅢ
	病院見学会・インターンシップ	3/8（金）・22（金）　8：30～16：00	113		演習室１	看護師
	ウォーミングアップ研修	3/7（木）・16（金）・19（月）　13：00～16：00	107		演習室１	平成31年度　新入看護職員
	看護研究講演会	3/11（月）　17：30～19：00	27	時間外	演習室１	看護職員
	後輩指導Ⅱ　新人指導者研修会	3/12（火）・19（火）　13：00～17：00	59	時間内	演習室１	平成31年度　新人指導者予定者
	看護基準手順実践委員会③	3/14（木）　15：00～16：00		時間内	演習室２・研修室３	実践委員
	がん看護基礎研修「身体・心理・社会・スピリチュアルのアセスメント」	3/14（木）　18：00～19：00	30	時間外	内ヶ島講堂	レベルⅠ～Ⅱ

実績：　総研修数112（時間内43/ 時間外69　　受講延べ人数5123名　【新入看護職員採用時研修会・実践委員会・就職説明会/ｲﾝﾀｰﾝｼｯﾌﾟ・ウォーミングアップ研修を除く】）

（６）育児休業復帰プログラムの実施

月/日	曜日	研修内容	対象者	参加者数	開催時間
5月11日	金	育児休暇復帰プログラム（3時間）	7月1日育児休業復帰 7月16日育児休業復帰 8月25日育児休業復帰 9月1日育児休業復帰 9月28日育児休業復帰	1名 1名 1名 1名 1名	3時間
8月3日	金	育児休暇復帰プログラム（3時間）	10月4日育児休業復帰 10月10日育児休業復帰 10月16日育児休業復帰 10月28日育児休業復帰	1名 1名 1名 1名	3時間
11月2日	金	育児休暇復帰プログラム（3時間）	12月15日育児休業復帰 1月15日育児休業復帰 1月26日育児休業復帰 2月3日育児休業復帰	1名 2名 1名 1名	3時間
2月2日	金	育児休暇復帰プログラム（3時間）	4月1日育児休業復帰 4月9日育児休業復帰 4月15日育児休業復帰 4月22日育児休業復帰 4月30日育児休業復帰 5月10日育児休業復帰 6月12日育児休業復帰 6月18日育児休業復帰 6月26日育児休業復帰	3名 1名 4名 1名 4名 1名 1名 1名 1名	3時間

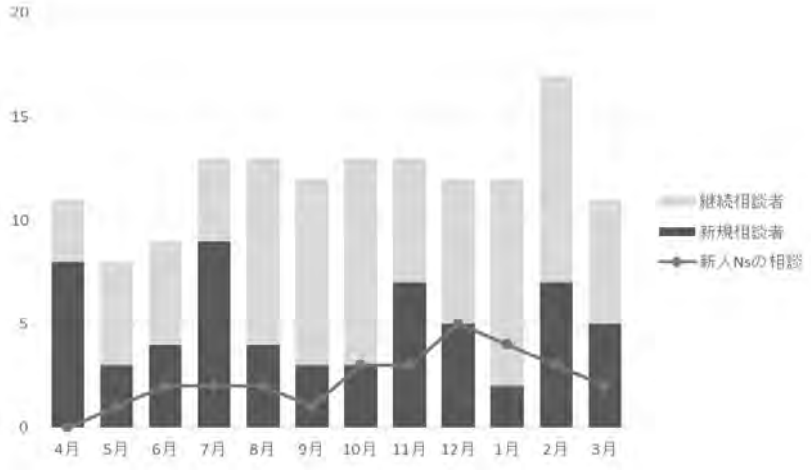
（７）看護専門外来月別患者数

H30年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
ストーマ 〈外科〉 第1・2・3・4 （木）午後	22	32	25	22	33	30	31	30	31	5	22	26	309
ストーマ 〈泌尿器科〉 第1・3 （水）午後	14	9	11	11	14	15	13	12	10	7	12	9	137
助産師外来 月～金	276	362	295	268	271	211	264	221	218	224	204	219	3033
計	312	403	331	301	318	256	308	263	259	236	238	254	3479

（８）「こころの相談室」利用者状況

（平成30年4月～平成31年3月末）

●利用回数　計　249 回/年
●利用者(相談者)　　8 ～17 人/月
●月別相談者（継続/新規、新人Nsの割合）



●利用者64人/年　の内訳

１）勤務年数

1年目	16	25.8%
2年目	12	19.4%
3年目～5年目	11	17.7%
6年目～10年目	6	9.7%
11年以上	17	27.4%
計	62	100.0%

２）職種別

看護師・看護要員	43	69.4%
その他	19	30.6%
計	62	100.0%

３）利用目的

復帰支援(今年度)	13	21.0%
復帰支援(継続)	4	6.5%
仕事	21	33.9%
職場の人間関係	9	14.5%
家族	8	12.9%
ストレスチェック後面接	5	8.1%
その他	2	3.2%
計	62	100.0%

（９）看護師研修・学生実習受け入れ延べ人数

《看護師》	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
認定看護師研修				49	99					21	39		208
専門看護師研修					3								3
看護管理研修													
上記以外の研修										4			4
合計				49	102					25	39		215

《看護学生・大学院生》	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
日本赤十字豊田看護大学		24	294	548	42	198	447	394	419	210	140		2716
愛知県立大学		16	69				477	208	104	130	181		1185
中部大学							28	28					56
椙山女学園大学						12	48	32	246	161	185		684
人間環境大学				100	152	30	83	85	60	63	451		1024
名古屋大学			24		24								48
西南女学院大学				3	15								18
愛知県立大学　大学院				31	13	24	4	22	32	35	22	2	185

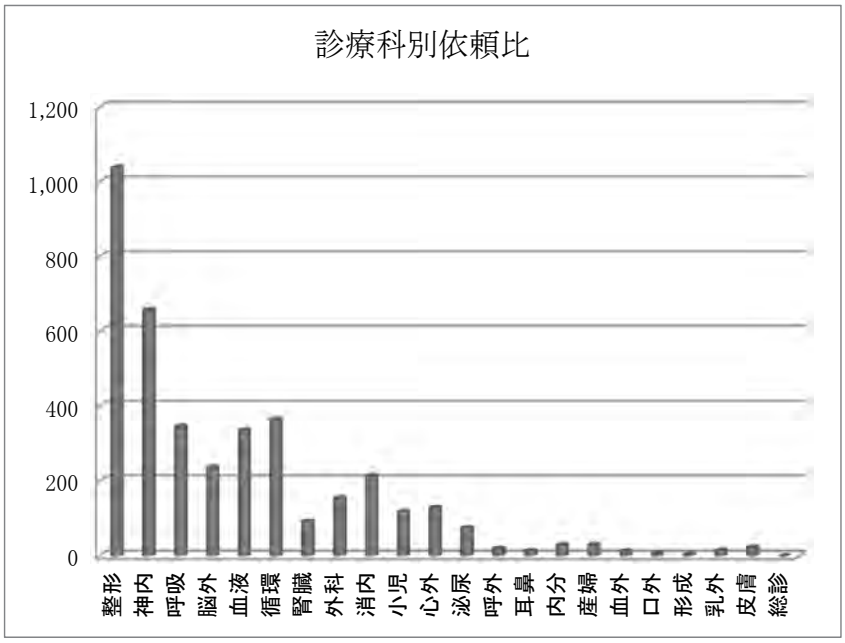
12. リハビリテーション科部

（1） リハビリ依頼件数

	平27年度	平28年度	平29年度	平30年度
入院	2,295	2,674	3,139	3,701
外来	157	251	257	226

（2） 平成３０年度診療科別依頼件数

整形	1,039
神内	658
呼吸	346
脳外	237
血液	337
循環	367
腎臓	93
外科	155
消内	214
小児	119
心外	129
泌尿	76
呼外	20
耳鼻	15
内分	29
産婦	30
血外	14
口外	6
形成	4
乳外	16
皮膚	23
総診	0



（3） ＰＴ/ＯＴ/ＳＴ別 処方件数

	平27年度	平28年度	平29年度	平30年度
ＰＴ	2,233	2,618	3,074	3,701
ＯＴ	446	709	819	834
ＳＴ	242	337	557	759

（4） 平成３０年度リハビリ延べ実施件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
脳血管疾患等リハ料	2,211	2,477	2,697	2,510	2,597	2,247	2,696	2,568	2,596	2,947	2,585	2,990	31,121
廃用症候群リハ料	587	644	532	616	862	665	958	724	650	608	577	615	8,038
運動器リハ料（Ⅰ）	1,132	1,088	1,113	1,111	1,394	1,095	1,349	1,400	1,366	1,275	1,235	1,206	14,764
呼吸器リハ料	524	511	320	329	521	399	474	433	393	364	545	386	5,199
心大血管疾患リハ料	320	243	234	317	404	277	354	333	289	361	337	349	3,818
がん患者	947	980	1,155	1,143	973	753	1,034	1,029	878	796	837	818	11,343
基本診療	199	163	167	178	196	174	243	202	175	172	174	192	2,235
緩和ケア	1,143	1,214	1,420	1,398	1,290	1,007	1,240	1,386	1,230	1,155	1,138	1,166	14,787
緩和ケア(基本診療)	0	0	1	0	12	4	2	0	10	3	2	1	35
早期加算（14日）	2,425	2,598	2,789	2,794	3,183	2,637	2,960	2,887	2,820	2,632	2,602	2,785	33,112
早期加算（30日）	1,478	1,589	1,698	1,455	1,811	1,526	1,836	1,660	1,767	1,916	1,745	1,793	20,274
退院時リハビリ指導料	81	78	78	92	110	88	110	116	93	60	86	108	1,100
リハ総合計画評価料	306	292	314	329	379	345	414	374	374	340	316	333	4,116
リハ総合計画評価料(介護へ)	0	2	4	4	2	3	5	3	5	1	4	8	41
精密知覚機能検査	4	8	9	11	11	13	10	14	13	8	13	18	132
目標設定加算（初回）	2	3	6	2	2	19	3	4	1	4	1	2	49
目標設定加算（２回目以降）	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	2
摂食機能療法	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1

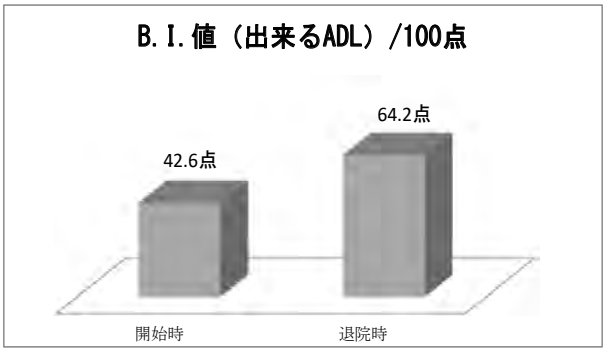
（５） 平成３０年度リハビリ稼働集計（点数）

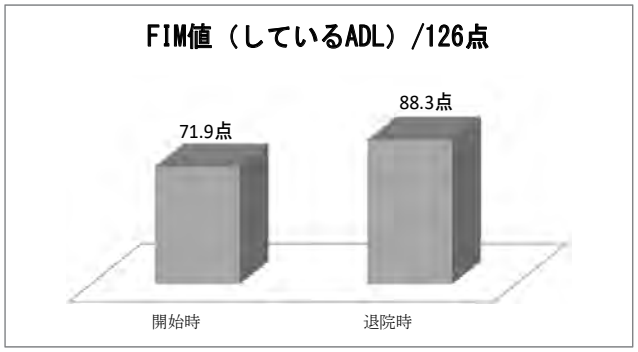
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
脳血管疾患等リハ料	906,500	996,758	1,030,127	980,392	1,005,676	857,745	1,047,865	971,180	997,640	1,045,170	958,440	1,101,765	11,899,258
廃用症候群リハ料	126,900	160,740	132,840	149,580	213,300	170,352	239,328	192,060	167,580	152,676	136,008	152,532	1,993,896
運動器リハ料（Ⅰ）	426,592	411,394	413,193	464,961	573,426	430,222	561,235	544,270	522,482	498,654	486,652	479,913	5,812,991
呼吸器リハ料	131,425	134,575	81,200	75,775	126,350	93,100	113,750	112,350	95,025	88,025	123,025	91,525	1,266,125
心大血管疾患リハ料	106,190	86,305	87,125	106,600	138,990	84,460	111,315	117,670	108,240	127,100	118,900	115,620	1,308,515
がん患者	245,200	257,200	304,200	301,000	265,600	212,400	278,200	305,600	259,800	234,600	229,800	234,800	3,128,400
基本診療	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
緩和ケア	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
緩和ケア(基本診療)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
早期加算（14日）	209,850	222,000	231,225	235,575	270,600	218,550	240,900	240,600	237,398	218,126	218,475	238,425	2,781,724
早期加算（30日）	51,150	55,230	57,120	49,380	61,710	51,301	61,560	56,220	61,710	65,564	59,670	59,220	689,834
退院時リハビリ指導料	24,300	23,400	23,400	27,600	33,000	26,400	33,000	34,800	27,900	18,000	25,800	32,400	330,000
リハ総合計画評価料	91,800	87,600	94,200	98,700	113,700	103,500	124,200	112,200	112,200	102,000	94,800	99,900	1,234,800
リハ総合計画評価料(介護へ)	0	480	960	960	480	720	1,200	720	1,200	240	960	1,920	9,840
精密知覚機能検査	1,120	2,240	2,520	3,080	3,080	3,640	2,800	3,920	3,640	2,240	3,640	5,040	36,960
目標設定加算（初回）	500	750	1,500	500	500	4,750	750	1,000	250	1,000	250	500	12,250
目標設定加算（２回目以降）	0	0	0	0	100	100	0	0	0	0	0	0	200
摂食機能療法	0	0	0	0	0	185	0	0	0	0	0	0	185
合計（点）													30,445,543

（６） 平成３０年度 ADLの改善状況　　（開始時 ⇒ 退院時）

入院患者 3,701人の平均

B.I.値（出来るADL）	開始時	42.6 点 /100点
	退院時	64.2 点 /100点
FIM値（しているADL）	開始時	71.9 点 /126点
	退院時	88.3 点 /126点





病棟	B.I.（100点）		FIM（126点）	
	初期	退院時	初期	退院時
１２Ａ	40.8	64.9	70.1	88.2
１２Ｂ	33.3	55.5	64.5	82.0
１１Ａ	38.0	52.9	66.7	75.4
１１Ｂ	30.9	63.0	60.4	86.3
１０Ａ	34.0	58.7	61.0	80.7
１０Ｂ	42.2	62.9	69.7	85.5
９Ａ	40.1	64.1	69.3	87.5
９Ｂ	35.6	55.4	66.8	79.7
８Ａ	37.3	59.9	66.6	84.4
８Ｂ	38.6	73.8	72.2	99.9
５Ａ	37.0	64.1	66.0	88.1
東８	87.0	94.4	114.1	120.8
東７	52.9	69.2	81.3	93.8
東６	46.1	65.1	74.9	86.8
東５	45.6	59.2	75.1	85.4

Ⅱ．業　　績

１．著　書

平成 30 年 1 月～12 月
（一部 平成 29 年分含）

血液内科

序～GVHD 予防・診断・治療の歩みと今後の課題～
宮村耕一
特集　移植片対宿主病（GVHD）－病態解明と治療法の進歩－. 血液フロンティア. 2018; 28(4): 17-22

呼吸器内科

主治医からのアドバイス-1
田中一大[1],**横山俊彦**,**野村史郎**
1:名古屋大学呼吸器内科
嚢胞性線維症の診療の手引き（改訂 2 版）　101-104　2018　研究代表者：仁尾正記、研究分担者：成瀬達、石黒洋
名古屋大学消費者生活協同組合印刷部

心臓血管外科

大動脈内バルーンパンピングと補助循環
山鹿彰[1],**伊藤敏明**,吉川雅治[2],前田正信[3],阿部稔雄[4]
1:医療技術部　2:今伊勢よしかわクリニック　3:あいち小児保健医療総合センター　4:阿部医院
最新　人工心肺-理論と実際　第 5 版　p217-233　2017 年 7 月　名古屋大学出版会

小児科

2 章「NICUの常識」 3 章「感染対策の常識」 4 章「NICUの器具・器材と感染対策」
大城誠
日常診療と看護ケアのための NICU 感染対策 14-43, 2018　森岡一朗　編著　株式会社ヴァン　メディカル　発行

第 11 章「血液・免疫・感染」13「NICU における感染管理、感染症の検査」
大城誠
新生児学テキスト　617-622, 2018　日本新生児成育医学会編　株式会社メディカ出版　発

脳神経外科

完全版　脳血管内治療学
岡本剛
宮地茂,松丸祐司,田中美千裕　大阪　メディカ出版　314-317　2018 年 10 月

精神科

心の専門家養成講座③　心理アセスメント　心理検査のミニマムエッセンス
丹羽早智子,脇田菜摘[1]
1:大阪府済生会吹田病院
「4. 医療における心理アセスメントの実践④　小児領域」 2018 年 3 月　ナカニシヤ出版

「小児医療・療育の現場で働く心理職のためのミニマルエッセンス」
丹羽早智子
小児の精神と神経　第 58 巻　増刊号　2018 年 5 月

ネオネイタルケア　メディカ出版　周産期の心理士のまなざし「多職種で支えるーNICU に心理士が「いる」ということー」
丹羽早智子,山下沙織
「公認心理師用語集」 2018 年 6 月　遠見書房

医療技術部

栄養課

栄養指導の○と×
林衛
NutritionCare　2018 vol18 no.8 57-62,2018　メディカ出版　発行

患者さんとナースのための食品目安量フォトガイド 282
伴野広幸
透析ケア　2018 vol24 no.1 42-45,2018　メディカ出版　発行

臨床工学技術課

カプノメータのしくみと取り扱いの注意点
開正宏
人体のメカニズムから学ぶ　呼吸治療学　p268-277　2017 年 3 月　磨田　裕　監　メジカルビュー社

手術中の「人工心肺装置」の操作も臨床工学技士の仕事です
開正宏
医療・福祉の仕事 見る知るシリーズ「臨床工学技士の一日」--10 代の君の「知りたい」に答えます--
P33 2017 年 6 月 WILL こども知育研究所 編 保育社

人工心肺側モニタリング・生体側モニタリング
開正宏
新 ME 早わかり Q&A 人工心肺・補助循環装置 p86-88,97-104 2017 年 6 月 見目恭一 編 南江堂

大動脈内バルーンパンピングと補助循環
山鹿彰,伊藤敏明[1],吉川雅治[2],前田正信[3],阿部稔雄[4]
1:心臓血管外科 2:今伊勢よしかわクリニック 3:あいち小児保健医療総合センター 4:阿部医院
最新 人工心肺-理論と実際 第 5 版 p217-233 2017 年 7 月 名古屋大学出版会

ハイフローセラピーのなぜ？どうして？不思議 50 使い方にまつわる「なぜ？」「どうして？」(発展編)
開正宏
呼吸器ケア p27-28 2017 年 7 月 メディカ出版社

ハイフローセラピーのなぜ？どうして？不思議 50 メカにまつわる「なぜ？」「どうして？」(構造編)
中井悠二
呼吸器ケア p30 2017 年 7 月 メディカ出版社

ハイフローセラピーのなぜ？どうして？不思議 50(Theme2)使い方にまつわる「なぜ？」「どうして？」
ハイフローはやればやるほど赤字ってホントですか？(Q&A/特集)
開正宏
呼吸器ケア p764 2017 年 8 月 メディカ出版社

ハイフローセラピーのなぜ？どうして？不思議 50(Theme2)使い方にまつわる「なぜ？」「どうして？」
ハイフローなら一般病棟でも大丈夫ですよね？(Q&A/特集)
開正宏
呼吸器ケア p764 2017 年 8 月 メディカ出版社

ECMO
開正宏
専門臨床工学技士 呼吸治療編 第 3 版 p107-128 2017 年 9 月 公益社団法人日本臨床工学技士会

ICU における患者アセスメントと診療記録の実際
開正宏
クリニカルエンジニアリング p871-878 2017 年 10 月 学研メディカル秀潤社

Ⅱ．業　　績

２．論　文

平成 30 年 1 月～12 月
（一部 平成 29 年分含）

腎臓内科

慢性腎臓病治療における終末期医療に係わる諸問題
石川英昭
Geriatric Medicine（老年医学） 56(2):145-148,2018

新しい非カフ型カテーテルの脱血不良改善効果の検討
瀧本さち[1],開正宏[1],**石川英昭**,**市田靜憲**
1:臨床工学技術課
日本透析医学会雑誌 51(10):585-590,2018

Chronic kidney disease is associated with physical impairment
Ishikawa H[1,2], Hibino T[3], Moriyama Y[4]
1: Department of Nephrology, Japanese Red Cross Nagoya Daiichi Hospital, Nagoya, Japan 2:Department of Nephrology, Kaikoukai Josai Hospital, Nagoya, Japan 3: Department of Rehabilitation, Kaikoukai Josai Hospital, Nagoya, Japan 4:Department of Health Fitness Programmer, Nagoya Kyoritsu Hospital, Nagoya, Japan
Journal of Rehabilitation Medicine Clinical Communications 2:1-5 2018

内分泌内科

ニボルマブ投与後に副腎不全に至った肺腺癌の１例
吉藤真梨子,**岡崎美香子**,**柳沼裕史**,**安田寛子**,**渡邊保子**,**清田篤志**,横山俊彦[1],野村史郎[1],**尾崎信暁**
1:呼吸器内科
日本内科学会雑誌 107(4):746-751 2018

Successful treatment of myxedema coma with a combination of levothyroxine and liothyronine
Ueda K, Kiyota A, Tsuchida M, Okazaki M, Ozaki N
Endocrine Journal in press

クローン病難治例に対する治療戦略
春田純一[1],吉岡裕一郎[2],**清田篤志**,竹山廣光[3],高橋広城[3]
1:消化器内科 2:一般消化器外科 3:名古屋市立大学消化器外科
明日の臨床 30(1):1-5 2018

血液内科

発熱および高プロカルシトニン血症を伴う患者の短期予後予測因子
西山秀樹[1],湯浅典博[1],美濃島慎[1],小澤賀子[2],髙阪久美子[2],黒野康正[3],野村史郎[4],**宮村耕一**
1:検査部 2:看護部 3:薬剤部 4:呼吸器内科
日本環境感染学会誌 29(1):3-7 2018

骨髄バンクコーディネートの現状 Japan Marrow Donor Program and its coordinating process: corrent situations
平川経晃[1,2],田島絹子[1],山崎裕介[1],池田奈未[3],小島裕人[3],田中秀樹[3],金森平和[4],**宮村耕一**[5],小寺良尚[6],福田隆浩[1]
1:国立がん研究センター中央病院造血幹細胞移植科 2:日本医科大学血液内科 3:公益財団法人 HLA 研究所 4:神奈川県立がんセンター血液内科 5:名古屋第一赤十字病院血液内科 6:愛知医科大学医学部造血細胞移植振興寄付講座
臨床血液 59(2):153-160,2018

Homozygous HLA-C1 is Associated with Reduced Risk of Relapse after HLA-Matched Transplantation in Patients with Myeloid Leukemia
Arima N[1],Kanda J[2], Tanaka J[3], Yabe T[4], Morishima Y[5],Kim SW[6], Najima Y[7], **Ozawa Y**[8], Eto T[9], Kanamori H[10], Mori T[11], Kobayashi N[12], Kondo T[2], Nakamae H[13], Uchida N[14], Inoue M[15], Fukuda T[6], Ichinohe T[16], Atsuta Y[17], Kanda Y[18]
1:Department of Hematology, Medical Research Institute Kitano Hospital 2:Department of Hematology and Oncology, Graduate School of Medicine, Kyoto University 3:Department of Hematology, Tokyo Women's Medical University 4:Hematology Division, Japanese Red Cross Tokyo Metropolitan Blood Center 5:Division of Epidemiology and Prevention, Aichi Cancer Center Research Institute 6:Department of Hematopoietic Stem Cell Transplantation, National Cancer Center Hospital 7:Hematology Division, Metropolitan Cancer and Infectious Diseases Center 8:Department of Hematology, Japanese Red Cross Nagoya First Hospital 9:Department of Hematology, Hamanomachi Hospital 10:Department of Hematology, Kanagawa Cancer Center 11:Department of Hematology, Keio University School of Medicine 12:Department of Hematology, Sapporo Hokuyu Hospital 13:Department of Hematology, Osaka City University Hospital 14:Department of Hematology, Toranomon Hospital 15:Department of Hematology/Oncology, Osaka Women's and Children's Hospital 16:Department of Hematology and Oncology, Research Institute for Radiation Biology and Medicine, Hiroshima University 17:Japanese Data Center for Hematopoietic Cell Transplantation, Nagoya, Japan; Department of Healthcare Administration, Nagoya University Graduate School of Medicine 18:Devision of Hematology, Department of Medicine, Jichi Medical University
Biology of Blood and Marrow Transplantation 24(4):717-725 2018

Prognostic Impact of Donor Source on Allogeneic Hematopoietic Stem Cell Transplantation Outcomes in Adults with Chronic Myelomonocytic Leukemia: A Nationwide Retrospective Analysis in Japan
Itonaga H[1], Aoki K[2], Aoki J[3], Ishikawa T[4], Ishiyama K[5], Uchida N[6], Sakura T[7], Ohashi K[8], Kurokawa M[9], **Ozawa Y**[10], Matsuoka KI[11], Nakamura Y[12], Kimura F[13], Iwato K[14], Nawa Y[15], Hirokawa M[16], Kato K[17], Ichinohe T[18], Atsuta Y[19], Miyazaki Y[20]
1:Department of Hematology, Nagasaki University Hospital 2:Department of Hematology and Oncology, Graduate School of Medicine 3:Department of Hematology, Kanagawa Cancer Center, Yokohama, Japan 4:Department of Hematology, Kobe City Medical Center General Hospital, Kobe, Japan 5:Department of Hematology, Kanazawa University Hospital, Kanazawa, Japan 6:Department of Hematology, Federation of National Public Service Personnel Mutual Aid Associations Toranomon Hospital 7:Leukemia Research Center, Saiseikai Maebashi Hospital, Maebashi, Japan 8:Hematology Division, Tokyo Metropolitan Cancer and Infectious Diseases Center, Komagome Hospital 9:Department of Cell Therapy and Transplantation Medicine, The University of Tokyo Hospital 10:Department of Hematology, Japanese Red Cross Nagoya First Hospital 11:Department of Hematology and Oncology, Okayama University, Okayama, Japan 12:Third Department of Internal of Medicine, Yamaguchi University School of Medicine 13:Division of Hematology, Department of Internal Medicine, National Defense Medical College 14:Department of Hematology, Hiroshima Red Cross Hospital and Atomic Bomb Survivors Hospital 15:Division of Hematology, Ehime Prefectural Central Hospital 16:Department of General Internal Medicine and Clinical Laboratory Medicine, Akita University Graduate School of Medicine 17:Department of

Hematology and Oncology, Children's Medical Center, Japanese Red Cross Nagoya First Hospital 18:Department of Hematology and Oncology, Research Institute for Radiation Biology and Medicine, Hiroshima University 19:Japanese Data Center for Hematopoietic Cell Transplantation, Nagoya, Japan; Department of Healthcare Administration, Nagoya University Graduate School of Medicine 20:Department of Hematology, Nagasaki University Hospital, Nagasaki, Japan; Department of Hematology, Atomic Bomb Disease and Hibakusha Medicine Unit, Atomic Bomb Disease Institute, Nagasaki University

Blood and Marrow Transplantation 24(4):840-848 2018

Impact of pretransplant leukemic blast% in bone marrow and peripheral blood on transplantation outcomes of patients with acute myeloid leukemia undergoing allogeneic stem cell transplantation in non-CR

Ogawa H[1], Ikegame K[1], Daimon T[2], Uchida N[3], Fukuda T[4], Kakihana K[5], Eto T[6], **Ozawa Y**[7], Kanamori H[8], Hidaka M[9], Iwato Y[10], Ichinohe T[11], Takanashi M[12], Atsuta Y[13], Kanda Y[14]

1:Division of Hematology, Department of Internal Medicine, Hyogo College of Medicine 2:Department of Biostatistics, Hyogo College of Medicine 3:Department of Hematology, Federation of National Public Service Personnel Mutual Aid Associations, Toranomon Hospital 4:Department of Hematopoietic Stem Cell Transplantation, National Cancer Center Hospital 5:Hematology Division, Tokyo Metropolitan Cancer and Infectious Diseases Center, Komagome Hospital 6:Department of Hematology, Hamanomachi Hospital 7:Department of Hematology, Japanese Red Cross Nagoya First Hospital 8:Department of Hematology, Kanagawa Cancer Center 9:Department of Hematology, National Hospital Organization Kumamoto Medical Center 10:Department of Hematology, Hiroshima Red Cross Hospital & Atomic-bomb Survivors Hospital 11:Department of Hematology, Research Institute for Radiation Biology and Medicine, Hiroshima University 12:Blood Service Headquarters, Japanese Red Cross Society 13:Japanese Data Center for Hematopoietic Cell Transplantation, Department of Healthcare Administration, Nagoya University Graduate School of Medicine 14:Division of Hematology, Saitama Medical Center, Jichi Medical University

Blood and Marrow Transplantation 53(4):478-482 2018

Allogeneic haematopoietic cell transplantation for adult acute myeloid leukaemia in second remission: a retrospective study of the Adult Acute Myeloid Leukaemia Working Group of the Japan Society for Haematopoietic Cell Transplantation (JSHCT).

Konuma T[1], Yanada M[2], Yamasaki S[3], Kuwatsuka Y[4], Fukuda T[5], Kobayashi T[6], **Ozawa Y**[7], Uchida N[8], Ota S[9], Hoshino T[10], Takahashi S[11], Kanda Y[12], Ueda Y[13], Takanashi M[14], Kanda J[15], Ichinohe T[16], Atsuta Y[17,18], Yano S[19]

1: Department of Haematology/Oncology, The Institute of Medical Science, The University of Tokyo 2:Department of Haematology, Fujita Health University School of Medicine 3: Department of Haematology and Clinical Research Institute, National Hospital Organization Kyushu Medical Centre 4:Centre for Advanced Medicine and Clinical Research, Nagoya University Hospital 5:Department of Haematopoietic Stem Cell Transplantation, National Cancer Centre Hospital 6:Haematology Division, Tokyo Metropolitan Cancer and Infectious Diseases Centre, Komagome Hospital 7:Department of Haematology, Japanese Red Cross Nagoya First Hospital 8:Department of Haematology, Federation of National Public Service Personnel Mutual Aid Associations Toranomon Hospital 9:Department of Haematology, Sapporo Hokuyu Hospital 10:Leukaemia Research Centre, Saiseikai Maebashi Hospital 11: Division of Molecular Therapy, The Advanced Clinical Research Centre, The Institute of Medical Science, The University of Tokyo 12:Division of Haematology, Saitama Medical Centr, Jichi Medical University 13:Department of Haematology and Oncology, Kurashiki Central Hospital 14:Blood Service Headquarters, Japanese Red Cross Society 15:Department of Haematology and Oncology, Graduate School of Medicine, Kyoto University 16:Department of Haematology and Oncology, Research Institute for Radiation Biology and Medicine, Hiroshima University 17:Japanese Data Centre for Haematopoietic Cell Transplantation 18:Department of Healthcare Administration, Nagoya University Graduate School of Medicine 19:Division of Clinical Oncology and Haematology, Department of Internal Medicine, Jikei University School of Medicine

British journal of haematology Jul;182(2):245-250 2018

Impact of hospital length of stay on the risk of readmission and overall survival after allogeneic stem cell transplantation

Seto A[1], Atsuta Y[2,3], Kawashima N[4], **Ozawa Y**[5], **Miyamura K**[5], Kiyoi H[4]

1:Department of Hematology and Oncology, Nagoya University Graduate School of Medicine 2:Department of Healthcare Administration, Nagoya University Graduate School of Medicine, Nagoya, Japan 3:Japanese Data Center for Hematopoietic Cell Transplantation, Nagoya, Japan 4:Department of Hematology and Oncology, Nagoya University Graduate School of Medicine 5:Department of Hematology, Japanese Red Cross Nagoya First Hospital

International journal of hematology 108(3):290-297 2018

Extracorporeal photopheresis with TC-V in Japanese patients with steroid-resistant chronic graft-versus-host disease

Okamoto S[1], Teshima T[2], Kosugi-Kanaya M[2], Kahata K[3], **Kawashima N**[4], Kato J[5], Mori T[5], **Ozawa Y**[4], **Miyamura K**[4]

1:Division of Hematology, Department of Medicine, Keio University School of Medicine 2:Hematology, Hokkaido University Faculty of Medicine and Graduate School of Medicine 3: Laboratory and Transfusion Medicine, Hokkaido University Hospital 4:Hematology, Japanese Red Cross Nagoya First Hospital 5:Division of Hematology, Department of Medicine, Keio University School of Medicine

International journal of hematology 108(3):298-305 2018

Origin of cancer-associated fibroblasts and tumor-associated macrophages in humans after sex-mismatched bone marrow transplantation

Kurashige M[1], Kohara M[1], Ohshima K[1], Tahara S[1], Hori Y[1], Nojima S[1], Wada N[1], Ikeda JI[1], **Miyamura K**[2], Ito M[3], Morii E[1]

1:Department of Pathology, Graduate School of Medicine, Osaka University 2:Department of Hematology, Japanese Red Cross Nagoya First Hospital 3:Department of Pathology, Japanese Red Cross Nagoya First Hospital

Communications biology 3(1)131 2018

Iodine staining and p16 immunohistochemistry as a novel screening for secondary esophageal neoplasm after hematopoietic stem cell transplantation

Sato T[1], **Seto A**[1], **Kagaya Y**[1], **Kawashima N**[1], **Koyama D**[1], **Morishita T**[1], **Ozawa Y**[1], **Miyamura K**[1], Yamaguchi T[2], Haruta J[2], Ito M[3]

1:Department of Hematology, Japanese Red Cross Nagoya First Hospital 2:Department of Gastroenterology, Japanese Red Cross Nagoya First Hospital 3:Department of Pathology, Japanese Red Cross Nagoya First Hospital

Bone Marrow Transplantation 53(10):1359-1363 2018

Additional Cytogenetic Abnormalities with Philadelphia Chromosome-Positive Acute Lymphoblastic Leukemia on Allogeneic Stem Cell Transplantation in the Tyrosine Kinase Inhibitor Era

Akahoshi Y[1], Mizuta S[2], Shimizu H[3], Uchida N[4], Fukuda T[5], Kanamori H[6], Onizuka M[7], **Ozawa Y**[8], Ohashi K[9], Ohta S[10], Eto T[11], Tanaka J[12], Atsuta Y[13], Kako S[1]; Adult Acute Lymphoblastic Leukemia Working Group of the Japan Society for Hematopoietic Cell Transplantation.

1:Division of Hematology, Saitama Medical Center, Jichi Medical University 2:Department of Hematology and Immunology, Medicine, Kanazawa Medical University 3:Department of Medicine and Clinical Science, Gunma University Graduate School of Medicine 4:Department of Hematology, Federation of National Public Service Personnel Mutual Aid Associations Toranomon Hospital 5:Division of Hematopoietic Stem Cell Transplantation, National Cancer Center Hospital 6:Department of Hematology, Kanagawa Cancer Center 7:Department of Hematology and Oncology, Tokai University School of Medicine 8:Department of Hematology, Japanese Red Cross Nagoya First Hospital 9:Hematology Division, Tokyo Metropolitan Cancer and Infectious Diseases Center, Komagome Hospital 10:Department of Hematology, Sapporo Hokuyu Hospital 11:Department of Hematology, Hamanomachi Hospital 12:

Department of Hematology, Tokyo Women's Medical University 13:Japanese Data Center for Hematopoietic Cell Transplantation
Biology of blood and marrow transplantation: journal of the American Society for Blood and Marrow Transplantation 24(10):2009-2016 2018

Prognostic impact of melphalan dose and total body irradiation use in patients with acute myeloid leukemia undergoing allogeneic stem cell transplantation with reduced-intensity conditioning
Harada K[1],Yanada M[2],Machida S[1],Kanamori H[3],Onizuka M[1], **Ozawa Y**[4], Kobayashi H[5], Sawa M[6], Katayama Y[7], Ohashi K[8], Kanda J[9], Ichinohe T[10], Atsuta Y[11,12], Yano S[13]
1: Department of Hematology and Oncology, Tokai University School of Medicine 2: Department of Hematology and Cell Therapy, Aichi Cancer Center 3: Department of Hematology, Kanagawa Cancer Center 4: Department of Hematology, Japanese Red Cross Nagoya First Hospital 5: Department of Hematology, Nagano Red Cross Hospital 6: Department of Hematology and Oncology, Anjo Kosei Hospital 7: Department of Hematology, Hiroshima Red Cross Hospital & Atomic-bomb Survivors Hospital 8: Hematology Division, Tokyo Metropolitan Cancer and Infectious Diseases Center, Komagome Hospital 9: Department of Hematology and Oncology, Graduate School of Medicine, Kyoto University 10: Department of Hematology and Oncology, Research Institute for Radiation Biology and Medicine, Hiroshima University 11: Japanese Data Center for Hematopoietic Cell Transplantation 12: Department of Healthcare Administration, Nagoya University Graduate School of Medicine 13: Division of Clinical Oncology and Hematology, The Jikei University School of Medicine
Leukemia & lymphoma 20:1-10 2018

Effects of HLA mismatch on cytomegalovirus reactivation in cord blood transplantation
Yokoyama H[1],Kanda J[2],Kato S[3],Kondo E[4],Maeda Y[5],Saji H[6],Takahashi S[7],Onizuka M[8],Onishi Y[9],**Ozawa Y**[10],Kanamori H[11],Ishikawa J[12],Ohno Y[13],Ichinohe T[14],Takanashi M[15],Kato K[16], Atsuta Y[17,18],Kanda Y[19,20]; HLA Working Group of the Japan Society for Hematopoietic Cell Transplantation
1: Department of Hematology, Sendai Medical Center, National Hospital Organization 2:Department of Hematology and Oncology, Kyoto University Graduate School of Medicine 3: Department of Cell Transplantation and Regenerative Medicine, Tokai University School of Medicine 4:Department of Hematology, Kawasaki Medical School 5:Department of Hematology and Oncology, Okayama University 6:HLA Laboratory 7:Division of Molecular Therapy, The Advanced Clinical Research Center, The Institute of Medical Science, The University of Tokyo 8:Department of Hematology/Oncology, Tokai University School of Medicine 9:Department of Hematology and Rheumatology, Tohoku University Hospital 10: Department of Hematology, Japanese Red Cross Nagoya First Hospital 11:Department of Hematology, Kanagawa Cancer Center 12:Department of Hematology, Osaka International Cancer Institute 13:Department of Internal Medicine, Kitakyushu Municipal Medical Center 14:Department of Hematology and Oncology, Research Institute for Radiation Biology and Medicine, Hiroshima University 15:Blood Service Headquarters, Japanese Red Cross Society 16:Department of Hematology and Oncology, Children's Medical Center, Japanese Red Cross Nagoya First Hospital 17:Japanese Data Center for Hematopoietic Cell Transplantation 18:Department of Healthcare Administration, Nagoya University Graduate School of Medicine 19:Division of Hematology, Jichi Medical University Saitama Medical Center 20:Division of Hematology, Department of Medicine, Jichi Medical University
Bone Marrow Transplantation (6)2018

Higher Peak Tacrolimus Concentrations after Allogeneic Hematopoietic Stem Cell Transplantation Increase the Risk of Endothelial Cell Damage Complications
Morishita T, Okabe M, Kawaguchi Y, Lee Y, Ohbiki M, Osaki M, Goto M, Araie H, Sato T, Goto T, Ozawa Y, Miyamura K
Biology of blood and marrow transplantation 24(12):2509-2516 2018

Japan Marrow Donor Program and its coordinating process: current situations
Hirakawa T[1,2], Kurosawa S[1], Tajima K[1], Yamazaki Y[1], Ikeda N[3], Kojima H[3], Tanaka H[3], Kanamori H[4], **Miyamura K**[5], Kodera Y[6], Fukuda T[1], Program JMD[7].
1: Department of Hematopoietic Stem Cell Transplantation, National Cancer Center Hospital 2: Division of Hematology, Department of Internal Medicine, Nippon Medical School 3: HLA Foundation Laboratory 4: Department of Hematology, Kanagawa Cancer Center 5: Department of Hematology, Japanese Red Cross Nagoya First Hospital 6: Department of Promotion for Blood and Marrow Transplantation, Aichi Medical University 7: Japan Marrow Donor Program
Rinsho Ketsueki 59(2):153-160 2018

Introduction and the current status of unrelated peripheral blood stem cells transplantation in Japan
Miyamura K
Rinsho Ketsueki 59(10):2323-2333 2018

Recipient ADAMTS13 Single-Nucleotide Polymorphism Predicts Relapse after Unrelated Bone Marrow Transplantation for Hematologic Malignancy
Nomoto H[1],Takami A[2,3], Espinoza JL[4],Onizuka M[5],Kashiwase K[6],Morishima Y[7],Fukuda T[8], Kodera Y[9],Doki N[10], **Miyamura K**[11], Mori T[12], Nakao S[13], Morishita E[14]
1: Department of Clinical Laboratory Science, Kanazawa University School of Medical Sciences 2: Division of Hematology, Department of Internal Medicine, Aichi Medical University School of Medicine 3: Hematopoietic Cell Transplantation Center, Aichi Medical University Hospital 4: Department of Hematology and Rheumatology, Faculty of Medicine, Kindai University 5: Department of Hematology and Oncology, Tokai University School of Medicine 6: Japanese Red Cross Kanto-Koshinetsu Block Blood Center 7: Department of Hematology and Cell Therapy, Aichi Cancer Center Hospital 8: Hematopoietic Stem Cell Transplantation Unit, National Cancer Center Hospital 9: Hematopoietic Cell Transplantation Center, Aichi Medical University Hospital 10: Hematology Division, Tokyo Metropolitan Cancer and Infectious Diseases Center Komagome Hospital 11: Department of Hematology, Japanese Red Cross Nagoya First Hospital 12: Division of Hematology, Department of Medicine, Keio University School of Medicine 13: Hematology/Respiratory Medicine, Faculty of Medicine, Institute of Medical Pharmaceutical and Health Sciences, Kanazawa University 14: Department of Clinical Laboratory Science, Kanazawa University School of Medical Sciences
International journal of molecular sciences 8;20(1) 2018

神経内科

無菌性髄膜炎の経過中に樹氷状網膜血管炎を呈した１例
宇佐美欽通[1],小林三砂紀[1],佐藤英津子[1],**森盟**,**真野和夫**
1:眼科
眼科臨床紀要 11(6):485 2018

パーキンソン病における血圧と起立不耐性の季節変動
新美由紀[1],長谷川康博[2],山名和子[1],**真野和夫**,古池保雄[2]
1:津島市民病院神経内科 2:名古屋第二赤十字病院脳神経内科
臨床神経学 58:265 2018

脊髄小脳失調症 6 型の線条体機能
堀本佳彦[1,6],林絵美[2,3],伊藤良麿[2,3],飯田昭彦[2,3],**後藤洋二**[4],加藤重典[5],大喜多賢治[5],田島稔久[1,3],稲垣亜紀[1],日比野敬明[1],深川和利[1],松川則之[6],蒲澤秀洋[1]
1:名古屋市総合リハビリテーションセンター神経内科 2:名古屋市総合リハビリテーションセンター放射線科 3:名古屋市総合リハビリテーションセンター企画研究局 4: 神経内科 5:名古屋第二赤十字病院 神経内科 6:名古屋市立大学神経内科
臨床神経学 58:265 2018

認知症ケアチームのチームカンファレンス記録の現状と課題
岡田朋子[1],鈴木小央里[1],榎本伸一[2],**後藤洋二**[3]
1:看護部 2:医療社会事業部 3:神経内科
日赤医学 70(1):165 2018

パーキンソン病における安静時・起立時血圧の季節変動
新美由紀[1],長谷川康博[2],山名和子[1],**真野和夫**,古池保雄[2]
1:津島市民病院神経内科 2:中部大学生命健康科学部
日本自律神経学会総会抄録集 112 2018

Paraneoplastic autoimmune encephalitis associated with pleomorphic lung carcinoma: An autopsy case report
Ando T[1], **Goto Y**[2], **Mano K**[2], Nomura F[3], Kurashige M[4], Ito M[4], Mimuro M[5], Iwasaki Y[5], Katsuno M[6], Yoshida M[5]
1: Department of Neurology, Nagoya University Graduate School of Medicine Nagoya, Japan/ Department of Neuropathology, Institute for Medical Science of Aging, Aichi Medical University Nagakute, Japan 2: Department of Neurology, Japanese Red Cross Nagoya Daiichi Hospital, Nagoya, Japan 3: Department of Respiratory Medicine, Japanese Red Cross Nagoya Daiichi Hospital Nagoya, Japan 4:Department of Pathology, Japanese Red Cross Nagoya Daiichi Hospital Nagoya, Japan 5:Department of Neuropathology, Institute for Medical Science of Aging, Aichi Medical University, Nagakute, Japan 6: Department of Neurology, Nagoya University Graduate School of Medicine Nagoya, Japan
Japanese Society of Neuropathology 38 4:448-454 2018

循環器内科

Comparison of two dosing methods for immediate administration of tolvaptan in acute decompensated heart failure
Oguri M[1],Ishii H[2],Ohguchi S[3],Takahara K[3],Kawamura Y[3],Yokoi Y[3], Izumi K[3], Takahashi H[4],**Kamiya H**[5],Murohara T[2]
1: Department of Cardiology, Kasugai Municipal Hospital, Kasugai, Japan 2: Department of Cardiology, Nagoya University Graduate School of Medicine, Nagoya, Japan 3: Department of Cardiology, Kasugai Municipal Hospital, Kasugai, Japan 4: Division of Medical Statistics, Fujita Health University, Toyoake, Japan 5: Department of Cardiology, Japanese Red Cross Nagoya Daiichi Hospital, Nagoya, Japan
Journal of Cardiology 72(3):234-239.2018

Association between the ratio of anti-angiogenic isoform of VEGF-A to total VEGF-A and adverse clinical outcomes in patients after acute myocardial infarction
Harada K[1],Kikuchi R[2],Ishii H[1],**Shibata Y**[3],Suzuki S[1],Tanaka A[1],Suzuki A[2],Hirayama K[1],Murohara T[1]
1: Department of Cardiology, Nagoya University Graduate School of Medicine, Japan 2: Department of Medical Technique, Nagoya University Hospital, Japan 3: Department of Cardiology, Japanese Red Cross Nagoya Daiichi Hospital, Japan
International Journal of Cardiology Heart & Vasculature 19:3-7 2018

Bystander による心肺蘇生によって肝損傷・出血性ショックをきたした 1 例
Liver Injury and Hemorrhagic Shock Secondary to Cardiopulmonary Resuscitation that May Have Been Performed Inappropriately -A Case Report-
太田有香[1],前田真吾[1],湯浅典博[1],竹内英司[1],三宅秀夫[1],宮田完志[1],**安田健一郎**
1:一般消化器外科
日本臨床外科学会雑誌 79(1):124-130,2018

呼吸器内科

発熱および高プロカルシトニン血症を伴う患者の短期予後予測因子
西山秀樹[1],湯浅典博[1],美濃島慎[1],小澤賀子[2],髙阪久美子[2],黒野康正[3],**野村史郎**,宮村耕一[4]
1:検査部 2:看護部 3:薬剤部 4:血液内科
日本環境感染学会誌 29(1):3-7 2018

ニボルマブ投与後に副腎不全に至った肺腺癌の 1 例
吉藤真梨子[1],岡崎美香子[1],柳沼裕史[1],安田寛子[1],渡邊保子[1],清田篤志[1],**横山俊彦**,**野村史郎**,尾﨑信暁[1]
1:内分泌内科
日本内科学会雑誌 107(4):746-751 2018

Paraneoplastic autoimmune encephalitis associated with pleomorphic lung carcinoma: An autopsy case report
Ando T[1], Goto Y[2], Mano K[2], **Nomura F**[3], Kurashige M[4], Ito M[4], Mimuro M[5], Iwasaki Y[5], Katsuno M[6], Yoshida M[5]
1: Department of Neurology, Nagoya University Graduate School of Medicine Nagoya, Japan/ Department of Neuropathology, Institute for Medical Science of Aging, Aichi Medical University Nagakute, Japan 2: Department of Neurology, Japanese Red Cross Nagoya Daiichi Hospital, Nagoya, Japan 3: Department of Respiratory Medicine, Japanese Red Cross Nagoya Daiichi Hospital Nagoya, Japan 4:Department of Pathology, Japanese Red Cross Nagoya Daiichi Hospital Nagoya, Japan 5:Department of Neuropathology, Institute for Medical Science of Aging, Aichi Medical University, Nagakute, Japan 6: Department of Neurology, Nagoya University Graduate School of Medicine Nagoya, Japan
Japanese Society of Neuropathology 38 4:448-454 2018

消化器内科

内視鏡的に止血し得た出血性小腸 GIST の 1 例
早川史広,春田純一,中村一平

日本消化器内視鏡学会雑誌 60(6):1213-1218 2018

消化器診療における緊急内視鏡の役割
春田純一,山口丈夫,土居崎正雄,鷲見肇,村手健太郎
臨床消化器内科 Vol.33 No.5 ; 475-480, 2018

クローン病難治例に対する治療戦略
春田純一,吉岡裕一郎[1],清田篤志[2],竹山廣光[3],高橋広城[3]
1:一般消化器外科 2:内分泌内科 3:名古屋市立大学消化器外科
明日の臨床 30(1):1-5 2018

Iodine staining and p16 immunohistochemistry as a novel screening for secondary esophageal neoplasm after hematopoietic stem cell transplantation
Sato T[1], Seto A[1], Kagaya Y[1], Kawashima N[1], Koyama D[1], Morishita T[1], Ozawa Y[1], Miyamura K[1], **Yamaguchi T**[2], **Haruta J**[2], Ito M[3]
1:Department of Hematology, Japanese Red Cross Nagoya First Hospital 2:Department of Gastroenterology, Japanese Red Cross Nagoya First Hospital 3:Department of Pathology, Japanese Red Cross Nagoya First Hospital
Bone Marrow Transplantation 53(10):1359-1363 2018

小児科

KIAA2022 遺伝子異常症の 1 例
橋本佑樹,安田彩子,村松友佳子,浅井幸奈,落合加奈代,濱崎咲也子,新井紗記子,田中龍一,大城誠,鬼頭修
日本小児科学会雑誌 122(5):933 2018

集学的治療にも関わらず致死的経過を辿った乳児腎悪性ラブドイド腫瘍の一例
北井文恵,成田幸太郎,片岡伸介,濱田太立,鈴木喬悟,村瀬成彦[1],**坂口大俊,吉田奈央**,金子健一郎[1],伊藤雅文[2],**加藤剛二**
1:小児外科 2:病理部
日本小児血液・がん学会雑誌 55(3):315-319 2018

MIRAGE syndrome is a rare cause of 46, XY DSD born SGA without adrenal insufficiency
Shima H[1,2], Hayashi M[3], Tachibana T[4], **Oshiro M**, Amano N[3], Ishii T[3], Haruna H[5], Igarashi M[1], Kon M[1], Fukuzawa R[6], Tanaka Y[7], Fukami M[1], Hasegawa T[3], Narumi S[1]
1: Department of Molecular Endocrinology, National Research Institute for Child Health and Development, Tokyo, Japan 2: Department of Advanced Pediatric Medicine, Tohoku University School of Medicine, Tokyo, Japan 3: Department of Pediatrics, Keio University School of Medicine, Tokyo, Japan 4: Department of Pediatrics, Nagoya University Graduate School of Medicine, Nagoya, Japan 5: Department of Pediatrics and Adolescent Medicine, Juntendo University School of Medicine, Tokyo, Japan 6: Department of Pathology, International University of Health and Welfare, Tokyo, Japan 7: Department of Pathology, Kanagawa Children's Medical Center, Yokohama City, Japan
PLoS One 13(11):e0206184 2018

新しく開発された薬―血液疾患・腫瘍性疾患
慢性特発性血小板減少性紫斑病、再生不良性貧血:エルトロンボパグ(トロンボポエチン受容体作動薬)
濱麻人
小児内科 50:1509-1512, 2018 東京医学社

再生不良性貧血 小児疾患の診断治療基準(第 5 版)
吉田奈央
小児内科 50(増刊):586-587, 2018 東京医学社 「小児内科」「小児外科」編集委員会共編

造血細胞移植ガイドライン:再生不良性貧血(小児) 第 3 版
吉田奈央,小林良二[1],矢部普正[2],小島勢二[3]
1:札幌北楡病院 2:東海大学小児科 3:名古屋大学小児科
平成 30 学会年度日本造血細胞移植学会ガイドライン委員会編集 JSHCT monograph 60, 2018

造血細胞移植ガイドライン:骨髄異形成症候群・骨髄増殖性腫瘍(小児) 第 3 版
真部淳[1],長谷川大輔[1],**濱麻人,吉田奈央**
1:聖路加国際病院
平成 30 学会年度日本造血細胞移植学会ガイドライン委員会編集 JSHCT monograph 69, 2018

造血細胞移植ガイドライン:小児急性リンパ性白血病 第 3 版
康勝好[1],**加藤剛二**,堀越泰雄[2],加藤元博[3],**坂口大俊**,石丸紗恵[4],荒川ゆうき[5]
1:埼玉県立小児医療センター血液・腫瘍科 2:静岡県立こども病院血液腫瘍科 3:国立成育医療研究センター病院小児がんセンター移植細胞治療科 4:国立がんセンター中央病院小児腫瘍科 5:埼玉県立小児医療センター血液腫瘍科
平成 30 学会年度日本造血細胞移植学会ガイドライン委員会編集 JSHCT monograph 62, 2018

Impact of low-dose irradiation and in vivo T-cell depletion on hematopoietic stem cell transplantation for non-malignant diseases using fludarabine-based reduced-intensity conditioning
Umeda K[1], Yabe H[2], **Kato K**[3], Imai K[4], Kobayashi M[5], Takahashi Y[6], **Yoshida N**[3], Sato M[7], Sasahara Y[8], Kato K[9], Adachi S[10], Koga Y[11], Okada K[12], Inoue M[7], Hashii Y[13], Atsuta Y[14], Morio T[4]; Inherited Disease Working Group of the Japan Society for Hematopoietic Cell Transplantation.
1: Department of Pediatrics, Graduate School of Medicine, Kyoto University, Kyoto, Japan 2: Department of Cell Transplantation and Regenerative Medicine, Tokai University School of Medicine, Isehara, Japan 3: Department of Hematology and Oncology, Children's Medical Center, Japanese Red Cross Nagoya First Hospital, Nagoya, Japan 4: Department of Community Pediatrics, Perinatal and Maternal Medicine, Tokyo Medical and Dental University, Tokyo, Japan 5: Department of Pediatrics, Hiroshima University Graduate School of Biomedical and Health Sciences, Hiroshima, Japan 6: Department of Pediatrics, Nagoya University Graduate School of Medicine, Nagoya, Japan 7: Department of Hematology/Oncology,

Osaka Women's and Children's Hospital, Izumi, Japan 8: Department of Pediatrics, Tohoku University Graduate School of Medicine, Sendai, Japan 9: Division of Pediatrics Hematology and Oncology, Ibaraki Children's Hospital, Mito, Japan 10: Department of Human Health Sciences, Graduate School of Medicine, Kyoto University, Kyoto, Japan 11: Department of Pediatrics, Graduate School of Medical Sciences, Kyushu University, Fukuoka, Japan 12: Department of Pediatrics Hematology/Oncology, Osaka City General Hospital, Osaka, Japan 13: Department of Pediatrics, Osaka University Graduate School of Medicine, Suita, Japan 14: Japanese Data Center for Hematopoietic Cell Transplantation, Nagoya, Japan
Bone Marrow Transplant 2018 [Epub ahead of print]

Effects of HLA mismatch on cytomegalovirus reactivation in cord blood transplantation

Yokoyama H[1],Kanda J[2],Kato S[3],Kondo E[4],Maeda Y[5],Saji H[6],Takahashi S[7],Onizuka M[8],Onishi Y[9],Ozawa Y[10],Kanamori H[11],Ishikawa J[12],Ohno Y[13],Ichinohe T[14],Takanashi M[15],**Kato K**[16], Atsuta Y[17,18],Kanda Y[19,20]; HLA Working Group of the Japan Society for Hematopoietic Cell Transplantation

1: Department of Hematology, Sendai Medical Center, National Hospital Organization 2:Department of Hematology and Oncology, Kyoto University Graduate School of Medicine 3: Department of Cell Transplantation and Regenerative Medicine, Tokai University School of Medicine 4:Department of Hematology, Kawasaki Medical School 5:Department of Hematology and Oncology, Okayama University 6:HLA Laboratory 7:Division of Molecular Therapy, The Advanced Clinical Research Center, The Institute of Medical Science, The University of Tokyo 8:Department of Hematology/Oncology, Tokai University School of Medicine 9:Department of Hematology and Rheumatology, Tohoku University Hospital 10: Department of Hematology, Japanese Red Cross Nagoya First Hospital 11:Department of Hematology, Kanagawa Cancer Center 12:Department of Hematology, Osaka International Cancer Institute 13:Department of Internal Medicine, Kitakyushu Municipal Medical Center 14:Department of Hematology and Oncology, Research Institute for Radiation Biology and Medicine, Hiroshima University 15:Blood Service Headquarters, Japanese Red Cross Society 16:Department of Hematology and Oncology, Children's Medical Center, Japanese Red Cross Nagoya First Hospital 17:Japanese Data Center for Hematopoietic Cell Transplantation 18:Department of Healthcare Administration, Nagoya University Graduate School of Medicine 19:Division of Hematology, Jichi Medical University Saitama Medical Center 20:Division of Hematology, Department of Medicine, Jichi Medical University
Bone Marrow Transplantation (6)2018

Allogeneic stem cell transplantation with reduced intensity conditioning for patients with adrenoleukodystrophy

Kato K[1], **Maemura R**[1], **Wakamatsu M**[1], **Yamamori A**[1], **Hamada M**[1], **Kataoka S**[1], **Narita A**[1], **Miwata S**[1], Sekiya Y[2], **Kawashima N**[1], **Suzuki K**[1], **Narita K**[1], **Doisaki S**[1], **Muramatsu H**[1], **Sakaguchi H**[1], **Matsumoto K**[1], Koike Y[2], Onodera O[2], Kaga M[3], **Shimozawa N**[1], **Yoshida N**[1]

1: Department of Hematology and Oncology, Children's Medical Center, Japanese Red Cross Nagoya First Hospital, Nagoya, Japan 2: Department of Neurology, Clinical Neuroscience Branch, Brain Research Institute, Niigata, Japan 3: Department of Developmental Disorders, National Center of Neurology and Psychiatry, National Institute of Mental Health, Tokyo, Japan 4: Division of Genomics Research, Life Science Research Center, Gifu University, Gifu, Japan
Molecular Genetics and Metabolism Reports Journal 20(18):1-6 2018

Updated Guidelines for the Treatment of Acquired Aplastic Anemia in Children

Yoshida N, Kojima S[1]

1: Department of Pediatrics, Nagoya University Graduate School of Medicine
Current Oncology Reports 20(9): Article 67, 2018

Dominant-negative IKZF1 mutations cause a T, B, and myeloid cell combined immunodeficiency

Boutboul D[1], Kuehn HS[2], Van de Wyngaert Z[1,3], Niemela JE[2], Callebaut I[4], Stoddard J[2], Lenoir C[1], Barlogis V[5], Farnarier C[6], Vely F[7], **Yoshida N**[8], Kojima S[9], Kanegane H[10], Hoshino A[10], Hauck F[11], Lhermitte L[12], Asnafi V[12], Roehrs P[13], Chen S[14], Verbsky JW[14], Calvo KR[15], Husami A[16], Zhang K[16], Roberts J[17], Amrol D[18], Sleaseman J[17], Hsu AP[19], Holland SM[19], Marsh R[16], Fischer A[3,20,21], Fleisher TA[2], Picard C[1,22], Latour S[1], Rosenzweig SD[2]

1: Laboratory of Lymphocyte Activation and Susceptibility to EBV Infection, Inserm UMR 1163, Paris, France 2: Immunology Service, Department of Laboratory Medicine, Clinical Center, NIH Bethesda, Maryland, USA 3: University Paris Descartes Sorbonne Paris Cite, Imagine Institute, Paris, France 4: Centre National de la Recherche Scientifique UMR 7590, Sorbonne Universities, University Pierre et Marie Curie-Paris6-MNHN-IRD-IUC, Paris, France 5:Department of Paediatric Haematology-Oncology, La Timone Hospital, Marseille, France 6: Assistance Publique-Hopitaux de Marseille(APHM) Hopital Timone Enfants, Service d'Immunologie- Marseille, France Aix Marseille University, APHM, CNRS, Inserm, Centre d'Immunologie de Marseille-Luminy(CIML), Hopital Timone Enfants, Service d'Immunologie- Marseile France 8: Department of Hematology and Oncology, Children's Medical Center, Japanese Red Cross Nagoya First Hospital, Nagoya, Japan 9: Department of Pediatrics, Nagoya University Graduate School of Medicine, Nagoya, Japan 10: Department of Pediatrics and Developmental Biology, Graduate School of Medical and Dental Sciences, Tokyo Medical and Dental University, Tokyo, Japan 11: Department of Pediatric Immunology and Rheumatology, Dr von Hauner Children's Hospital, Luddwig-Maximilians-Universitat(LMU), Munich, Germany 12: University Paris Descartes Sorbonne Cite, Institut Necker-Enfants Malades(INEM), Inserm 1151 and Laboratory of Onco-Hematology, Assistance Publique-Hopitaux de Paris(APHP), Necker-Enfants Malades Hospital, Paris, France 13: Levine Children's Hospital, Carolinas Healthcare System, Charlotte, North Carolina, USA 14: Department of Pediatrics, Division of Pediatrics, Division of Rheumatology, Medical College of Wisconsin, Madison, Wisconsin, USA 15: Hematology section, Department of Laboratory Medicine, Clinical Center, NIH, Bethesda, Maryland, USA 16: Division of Human Genetics and Division of Immune Deficiency and Bone Marrow Transplant, Cincinnati Ohio, USA 17: Department of Pediatrics, Duke University Medical Center, Durham, North Carolina, USA 18: University of South Carolina School of Medicine, Columbia, South Carolina, USA 19: Laboratory of Clinical Infectious Diseases, NIAID,NH, Bethesda, Maryland, USA 20: Department of Pediatric Immunology, Hematology and Rheumatology, Necker-Enfants Malades Hospital, APHP, Paris, France 21: College de France, Paris, France 22: Centere d'Etude des Deficts Marades Hospital, APHP, Paris, France
The Journal of Clinical Investtigation 128(7):3071-3087 2018

Danaparoid reduces transplant-related mortality in stem cell transplantation for children.

Kato K[1], **Sakaguchi H**[1], **Muramatsu H**[1,2], **Sekiya Y**[1,2], **Kawashima N**[1,2], **Narita A**[1,2], **Doisaki S**[1], **Watanabe N**[1,3], **Yoshida N**[1], **Matsumoto K**[1,4]

1: Department of Hematology and Oncology, Children's Medical Center, Japanese Red Cross Nagoya First Hospital, Nagoya, Japan 2: Department of Pediatrics, Nagoya University Graduate School of Medicine, Nagoya, Japan : Department of Pediatrics, Meitetsu Hospital, Nagoya, Japan : Children's Cancer Center, National Center for Child Health and Development, Tokyo, Japan
Pediatric Transplantation 22(2) 2018

De Novo Mutations Activating Germline TP53 in an Inherited Bone-Marrow-Failure Syndrome

Toki T[1,20], Yoshida K[2,3,20], Wang R[1,4,20], Nakamura S[5,20], Maekawa T[6], Goi K[7], Katoh MC[8,9], Mizuno S[9], Sugiyama F[9], Kanezaki R[1], Uechi T[10], Nakajima Y[10], Sato Y[2,3], Okuno Y[2,11], Sato-Otsubo A[2,3], Shiozawa Y[3], Kataoka K[3], Shiraishi Y[12], Sanada M[2,3], Chiba K[12], Tanaka H[13], Terui K[1], Sato T[1], Kamio T[1], **Sakaguchi H**[11], Ohga S[14], Kuramitsu M[15], Hamaguchi I[15], Ohara A[16], Kanno H[17], Miyano S[12,13], Kojima S[11], Ishiguro A[18], Sugita K[7], Kenmochi N[10], Takahashi S[8,9], Eto K[5], Ogawa S[2,3,19,21], Ito E[1,21]

1: Department of Pediatrics, Hirosaki University Graduate School of Medicine, HIrosaki, Japan 2: Cancer Genomics Project, Graduate School of Medicine, the University of Tokyo, Tokyo, Japan 3: Department of Pathology and Tumor Biology, Graduate School of Medicine, Kyoto, Kyoto, Japan 4: Department of Pediatrics, Shengjing Hospital of China Medical University Shenyang, Liaoning, China 5: Department of Clinical Application, Center for iPS Cell Research and Application, Kyoto University, Kyoto, Japan 6: Department of General Pediatric and

Interversity of Yamanashi, Yamanashi, Japan 8: Department of Anatomy and Embryology, Faculty of Medicine, University of Tsukuba, Tsukuba, Japan 9: Laboratory Animal Resource Center, Factulty of Medicine, University of Tsukuba, Japan 10: Frontier Science Research Center, University of Miyazaki, Miyazaki, Japan 11: Department of Pediatrics, Nagoya University Graduate School of Medicine, Nagoya, Japan 12: Laboratory of DNA Information Analysis, Human Genome Center, Institute of Medical Science, the University of Tokyo, Tokyo, Japan 13: Laboratory of Sequence Analysis, Human Genome Center, Institute of Medical Science, the University of Tokyo, Tokyo, Japan 114: Department of Pediatrics, Graduate School of Medical Sciences, Kyushu University, Fukuoka, Japan 15: Department of Safety Research on Blood and Biological Products, National Institute of Infectious Diseases, Tokyo, Japan 16: Department of Pediatrics, Omori Medical Center, Toho University, Tokyo, Japan 17: Department of Transfusion Medicine and Cell Processing, Tokyo Women's Medical University, Tokyo, Japan 18: Division of Hematology, National Center for Child Health and Development, Tokyo, Japan 19: Deparment of Medicine, Karolinska Institute, Center for Hematology and Regenerative Medicine, Stockholm, Sweden 20: These authors contributed equally to this work 21:These authors contributed equally to this work
The American Journal of Human Genetics 2018 Sep 6;103(3):440-447. doi: 10.1016/j.ajhg.2018.07.020. Epub 2018 Aug 23.

Integrated molecular profiling of juvenile myelomonocytic leukemia
Murakami N[1], Okuno Y[2], Yoshida K[3], Shiraishi Y[4], Nagae G[5], Suzuki K[1], Narita A[1], **Sakaguchi H**[6], Kawashima N[1], Wang X[1], Xu Y[1], Chiba K[4], Tanaka H[4], Hama A[1], Sanada M[3,7], Ito M[8], Hirayama M[9], Watanabe A[9], Ueno T[10], Kojima S[1], Aburatani H[5], Mano H[10], Miyano S[4,11], Ogawa S[3], Takahashi Y[1], Muramatsu H[1]
1: Department of Pediatrics, Nagoya University Graduate School of Medicine, Nagoya, Japan 2: Center for Advanced Medicine and Clinical Research, Nagoya University Hospital, Nagoya, Japan 3: Department of Pathology and Tumor Biology, Graduate School of Medicine, Kyoto University, Kyoto, Japan 4: Laboratory of DNA Information Analysis, Human Genome Center, Institute of Medical Science and 5: Genome Science Division, Research Center for Advanced Science and Technology, The University of Tokyo, Tokyo, Japan 6: Department of Pediatric Hematology/Oncology, Japanese Red Cross Nagoya First Hospital, Nagoya, Japan 7: Department of Advanced Diagnosis, Clinical Research Center, National Hospital Organization Nagoya Medical Center, Nagoya, Japan 8: Department of Pathology, Japanese Red Cross Nagoya First Hospital, Nagoya, Japan 9: Department of Pediatrics, Nakadori General Hospital, Akita, Japan 10: Department of Cellular Signaling graduate School of Medicine 11: Laboratory of Sequence Analysis, Human Genome Center, Institute of Medical Science, The University of Tokyo, Tokyo, Japan
Blood 5;131(14):1576-1586 2018

孤立性動脈管開存症の自然経過と開存危険因子
濱口直子,三井さやか,岸本泰明,福見大地,大城誠,羽田野爲夫
日本小児科学会雑誌 122(10)1547-1552 2018

Prognostic Impact of Donor Source on Allogeneic Hematopoietic Stem Cell Transplantation Outcomes in Adults with Chronic Myelomonocytic Leukemia: A Nationwide Retrospective Analysis in Japan
Itonaga H[1], Aoki K[2], Aoki J[3], Ishikawa T[4], Ishiyama K[5], Uchida N[6], Sakura T[7], Ohashi K[8], Kurokawa M[9], Ozawa Y[10], Matsuoka KI[11], Nakamura Y[12], Kimura F[13], Iwato K[14], Nawa Y[15], Hirokawa M[16], **Kato K**[17], Ichinohe T[18], Atsuta Y[19], Miyazaki Y[20]
1:Department of Hematology, Nagasaki University Hospital 2:Department of Hematology and Oncology, Graduate School of Medicine 3:Department of Hematology, Kanagawa Cancer Center, Yokohama, Japan 4:Department of Hematology, Kobe City Medical Center General Hospital, Kobe, Japan 5:Department of Hematology, Kanazawa University Hospital, Kanazawa, Japan 6:Department of Hematology, Federation of National Public Service Personnel Mutual Aid Associations Toranomon Hospital 7:Leukemia Research Center, Saiseikai Maebashi Hospital, Maebashi, Japan 8:Hematology Division, Tokyo Metropolitan Cancer and Infectious Diseases Center, Komagome Hospital 9:Department of Cell Therapy and Transplantation Medicine, The University of Tokyo Hospital 10:Department of Hematology, Japanese Red Cross Nagoya First Hospital 11:Department of Hematology and Oncology, Okayama University, Okayama, Japan 12:Third Department of Internal of Medicine, Yamaguchi University School of Medicine 13:Division of Hematology, Department of Internal Medicine, National Defense Medical College 14:Department of Hematology, Hiroshima Red Cross Hospital and Atomic Bomb Survivors Hospital 15:Division of Hematology, Ehime Prefectural Central Hospital 16:Department of General Internal Medicine and Clinical Laboratory Medicine, Akita University Graduate School of Medicine 17:Department of Hematology and Oncology, Children's Medical Center, Japanese Red Cross Nagoya First Hospital 18:Department of Hematology and Oncology, Research Institute for Radiation Biology and Medicine, Hiroshima University 19:Japanese Data Center for Hematopoietic Cell Transplantation, Nagoya, Japan; Department of Healthcare Administration, Nagoya University Graduate School of Medicine 20:Department of Hematology, Nagasaki University Hospital, Nagasaki, Japan; Department of Hematology, Atomic Bomb Disease and Hibakusha Medicine Unit, Atomic Bomb Disease Institute, Nagasaki University
Blood and Marrow Transplantation 24(4):840-848 2018

一般消化器外科・乳腺内分泌外科・緩和ケア科

The mean corpuscular volume as a prognostic factor for colorectal cancer
Nagai H, Yuasa N, Takeuchi E, Miyake H, Yoshioka Y, Miyata K
Surgery Today 48(2):186-194 2018

胸部食道癌に併存した食道 mucosal bridge の 1 例
宇佐美沙弥,湯浅典博,竹内英司,三宅秀夫,永井英雅,南貴之,宮田完志,藤野雅彦[1]
1:細胞診分子病理診断部
消化器外科 41(2):237-243,2018

Bystander による心肺蘇生によって肝損傷・出血性ショックをきたした 1 例
Liver Injury and Hemorrhagic Shock Secondary to Cardiopulmonary Resuscitation that May Have Been Performed Inappropriately -A Case Report-
太田有香,前田真吾,湯浅典博,竹内英司,三宅秀夫,宮田完志,安田健一郎[1]
1:循環器内科
日本臨床外科学会雑誌 79(1):124-130,2018

急性虫垂炎と比較した虫垂憩室炎の臨床的特徴
梅村将成,湯浅典博,竹内英司,後藤康友,三宅秀夫,永井英雅,吉岡裕一郎,深田浩志,宮田完志,藤野雅彦[1]
1:細胞診分子病理診断部
日本臨床外科学会雑誌 78(11),2391-2397,2018

男性乳腺 invasive carcinoma with neuroendocrine differentiation の 1 例
深田浩志,田中寛,後藤康友,藤野雅彦[1],**宮田完志**
1:細胞診分子病理診断部

日本臨床外科学会雑誌 79(3):481-484,2018

Micropapillary components を伴う胃癌の 3 例
清水大輔,湯浅典博,竹内英司,三宅秀夫,永井英雅,宮田完志,藤野雅彦 [1]
1:細胞診分子病理診断部
日本臨床外科学会雑誌 79:1463-1468 2018

Superficially Spreading Signet-Ring Cell Carcinoma Perpendicularly Colliding with Gastric Adenoma: a Rare Case Report
Minami T, Yuasa N, Takeuchi E, Miyake H, Nagai H, Miyata K, Kiriyama A[1]
1:病理部
Journal of Gastrointestinal Cancer 2018

Laboratory prognostic score for predicting 30-day mortality in terminally ill cancer patients
Kawai N, Yuasa N
Nagoya Journal of Medical Science 80:571-582 2018

MIB-1 index is unlikely to predict relapse-free survival in patients who underwent R0-esophagectomy for esophageal squamous cell carcinoma
Minami T, Yuasa N, Miyake H, Takeuchi E, Nagai H, Ito M[1], Kiriyama A[1], Miyata K
1:病理部
Diseases of the Esophagus 31(5) 2018

Clinical significance of SUVmax on preoperative 18F-fluorodeoxyglucose positron emission tomography in patients who underwent R0-esophagectomy for esophageal cancer
Shimizu D, Yuasa N, Miyake H, Takeuchi E, Miyata K, Ito S[1]
1:放射線科
Nagoya Journal of Medical Science 80(401-409) 2018

クローン病難治例に対する治療戦略
春田純一 [1],吉岡裕一郎,清田篤志 [2],竹山廣光 [3],高橋広城 [3]
1:消化器内科 2:内分泌内科 3:名古屋市立大学消化器外科
明日の臨床 30(1):1-5 2018

心臓血管外科

低侵襲僧帽弁手術後の収縮性心膜炎に対し心膜切除術が奏功した 1 例
尾関貴啓,伊藤敏明,前川厚生,澤木完成,所正佳,柳澤淳次,折居衛,雑賀俊行
日本心臓血管外科学会雑誌 47(5):239-242,2018

小児外科

集学的治療にも関わらず致死的経過を辿った乳児腎悪性ラブドイド腫瘍の一例
北井文恵 [1],成田幸太郎 [1],片岡伸介 [1],濱田太立 [1],鈴木喬悟 [1],村瀬成彦,坂口大俊 [1],吉田奈央 [1],金子健一郎,伊藤雅文 [2],加藤剛二 [1]
1:小児科 2:病理部
日本小児血液・がん学会雑誌 55(3):315-319 2018

呼吸器外科

卵巣子宮内膜症性嚢胞に対する薬物治療中に自然気胸を繰り返し、外科的治療を要した胸腔内子宮内膜症の 1 例
福原伸彦 [1],安藤智子 [1],上田真子 [1],大西主真 [1],江崎正俊 [1],木村晶子 [1],三澤研人 [1],坂田慶子 [1],夫馬和也 [1],猪飼恵 [1],三宅菜月 [1],西子裕規 [1],柵木善旭 [1],栗林ももこ [1],手塚敦子 [1],坂堂美央子 [1],齋藤愛 [1],廣村勝彦 [1],津田弘之 [1],森正一,水野公雄 [1]
1:産婦人科
東海産科婦人科学会雑誌 54:241-245 2018

荒蕪肺を伴う続発性気管支動脈蔓状血管腫に対して左肺全摘術を施行した一例
門松由佳,川角佑太,上野陽史,宇佐美範泰 [1],内山美佳,森正一
1:一宮市立市民病院呼吸器外科
日本呼吸器外科学会雑誌 32(4):458-463,2018

皮膚科

A Japanese Case of Galli-Galli Disease due to a Previously Unreported POGLUT1 Mutation
Kono M[1], Sawada M[2], Nakazawa Y[3,4], Ogi T[3,4], Muro Y[1], Akiyama M[1]
1,3:Department of [1]Dermatology and [3]Human Genetics and Molecular Biology, Nagoya University Graduate School of Medicine, Nagoya 2:Division of Dermatology, Japanese Red Cross Nagoya Daiichi Hospital 4:Department of Genetics, Research Institute of Envionmental Medicine, Nagoya University, Nagoya, Japan
Acta Dermato Venereologica 99(4):458-459 2018

整形外科・リハビリテーション科

びまん性特発性骨増殖症に伴う椎体骨折に対する Balloon Kyphoplasty(BKP)の有用性
八木秀樹,井上英則,長谷康弘,平野健一,大澤良充
Journal of Spine Research 9(4):876-880

軟部腫瘍により trigger wrist をきたした 1 例
風間悠介,堀井恵美子,洪淑貴,山賀崇,田中佑樹
中部日本整形外科災害外科学会雑誌 61(5):1007-1008,2018

Surgical Treatment for Kirner's Deformity-Single Osteotomy through a Palmar Approach
Horii E, Otsuka J, Koh S
Plastic and Reconstructive Surgery Global Open 26;6(2):e1683 2018

新鮮肘関節側副靱帯複合体損傷の保存療法
洪淑貴,堀井恵美子
Monthly Book Orthopaedics 31(2):37-42 2018

小児肘関節周囲骨折治療のボーダーライン
洪淑貴,堀井恵美子
Monthly Book Orthopaedics 31(11):43-48 2018

水泳選手に行った関節鏡下股関節唇形成術の 3 例
田中佑樹,山本英樹,高木寛人
東海スポーツ傷害研究会会誌 l(36):49—51 2018

合指症の総合的術後評価 日手会術後成績評価表を用いて
大塚純子,福本恵三[1],小平聡[1]
1:埼玉成恵会病院 埼玉手外科研究所
日本手外科学会雑誌 35(3):489-492 2018

脳神経外科

Subarachnoid hemorrhage induces neuronal nitric oxide synthase phosphorylation at Ser1412 in the dentate gyrus of the rat brain
Wada K, Osuka K, Watanabe Y, Usuda N, Fukasawa M, Araki Y, Okamoto S, Wakabayashi T
Nitric Oxide In press 2018

泌尿器科・女性泌尿器科

骨盤臓器脱リスク因子としての腹腔内腫瘤・腹水貯留
加藤久美子,鈴木省治,川西秀治,永山洵,松井宏考,佐野友康,平林裕樹,鈴木弘一,服部良平
日本泌尿器科学会雑誌 109(2):96-101 2018

骨盤臓器脱の術式別にみた術後慢性疼痛の検討
加藤久美子,鈴木省治,川西秀治,永山洵,松井宏考,佐野友康,平林裕樹,鈴木弘一,山本茂樹,服部良平
日本泌尿器科学会雑誌 109(2):90-95 2018

【まるごと 泌尿器科の検査・処置・sys 周術期管理】女性泌尿器科の検査
加藤久美子,鈴木省治,鈴木弘一
泌尿器 Care&Cure Uro-lo 23(1):64-67 2018

【難治性過活動膀胱治療のニューフロンティア】骨盤臓器脱に合併した過活動膀胱・行動療法・器具・薬物療法・手術
加藤久美子,鈴木省治,鈴木弘一,服部良平
泌尿器外科 31(2):163-168 2018

【骨盤臓器脱の治療 up to date】TVM－conventional TVM と modified TVM
加藤久美子,鈴木省治,鈴木弘一,服部良平
産婦人科の実際 67:161-167 2018

【難治性過活動膀胱治療のニューフロンティア】骨盤臓器脱に合併した過活動膀胱:行動療法, 装具, 薬物療法, 手術
加藤久美子,鈴木省治,鈴木弘一,服部良平
泌尿器外科 31(2):163-168 2018

Uro-Break 小さな症例報告
加藤久美子
LUTS PLAZZA メディカルレビュー社・東京 9:14 2018

超高齢化社会における骨盤臓器脱管理
加藤久美子,鈴木省治,服部良平
腎臓内科・泌尿器科 8(5):488-495 2018

【匠の伝承-手術を極めたいあなたへ】女性骨盤底手術 中部尿道スリング手術(TVT・TOT)
加藤久美子
臨泌 72:751-754 2018

Medium-term follow-up after supervised pelvic floor muscle training for patients with anterior vaginal wall prolapse
Ouchi M[1], Kitta T[1], Kanno Y[1], Moriya K[1], Suzuki S[1], Shinohara N[1], Kato K
1: Department of Urology, Hokkaido University

European Journal of Obstetrics & Gynecology and Reproductive Biology 225:95-100 2018

Prognostic parameter for high risk prostate cancer patients at initial presentation
Kato M[1], Kimura K[2], Hirakawa A[3], Kobayashi Y[4], Ishida R[5], Kamihira O[6], Majima T[1], Funahashi Y[1], Sassa N[1], Matsukawa Y[1], **Hattori R**[7], Gotoh M[1], Tsuzuki T[8]
1: Department of Urology, Nagoya University Graduate School of Medicine, Nagoya, Japan 2: Department of Urology, National Hospital Organization Nagoya Medical Center, Nagoya, Japan 3: Department of Biostatistics and Bioinformatics, Graduate School of Medicine, The University of Tokyo, Tokyo, Japan 4: Statistical Analysis Section, Center for Advanced Medicine and Clinical Research, Nagoya University Hospital, Nagoya, Japan 5: Department of Urology, Japanese Red Cross Nagoya Daini Hospital, Nagoya, Japan 6: Department of Urology, Komaki City Hospital, Komaki, Japan 7: Department of Urology, Japanese Red Cross Nagoya Daiichi Hospital, Nagoya, Japan 8: Department of Surgical Pathology, School of Medicine, Aichi Medical University, Nagakute, Japan
Prostate 78(1):11-16 2018

Efficacy of docetaxel in castration-resistant prostate cancer patients with intraductal carcinoma of the prostate
Yamamoto A[1], Kato M[2], **Matsui H**[3], Ishida R[4], Kimura T[5], Funahashi Y[2], Sassa N[2], Matsukawa Y[2], Kamihira O[6], **Hattori R**[3], Gotoh M[2], Tsuzuki T[7]
1: Department of Urology, Toyohashi Municipal Hospital 2: Department of Urology, Nagoya University Graduate School of Medicine, Nagoya, Japan 3: Department of Urology, Japanese Red Cross Nagoya Daiichi Hospital, Nagoya, Japan 4: Department of Urology, Japanese Red Cross Nagoya Daini Hospital, Nagoya, Japan 5: Department of Urology, Chukyo Hospital, Nagoya, Japan 6: Department of Urology, Komaki City Hospital, Komaki, Japan 7: Department of Surgical Pathology, School of Medicine, Aichi Medical University
International Journal of Clinical Oncology 23(3):584-590 2018

女性に多い下部尿路機能障害③瘻孔やその他の疾患
加藤久美子,鈴木省治
リハスタッフのための排泄リハビリテーション実践アプローチ メジカルビュー社・東京 2018

産婦人科

造血細胞移植後の妊孕性と周産期予後の検討～造血細胞移植後の妊娠・分娩管理の経験から～
齋藤愛,江口智子,安藤智子
日本受精着床学会雑誌 35(1):106-111 2018

膀胱子宮瘻に対して膀胱鏡を併用し腹腔鏡下修復術を施行した 1 例
廣村勝彦,近藤壯[1],平吹信弥[1],佐々木博正[1],宮城徹[1],干場勉[1]
1:石川県立中央病院
日本内視鏡外科学会雑誌 23(2):241-245 2018

腹腔鏡下子宮全摘後に膣断端部から Mycoplasma hominis による上行性感染が考えられた1例
三澤研人,市川義一[1],橋本正広[1],佐竹恵[1],加藤恵[1],江河由起子[1],鈴木まり子[1],根本泰子[1]
1:静岡赤十字病院産婦人科
静岡産科婦人科学会雑誌 7(1):55-60 2018

小腸悪性リンパ腫を術前に推定し得た子宮体癌の一例
長尾有佳里,廣村勝彦,江崎正俊,三澤研人,猪飼恵,夫馬和也,西子裕規,三宅菜月,坂堂美央子,水野公雄
日本婦人科腫瘍学会雑誌 36(2)285-291 2018

異型ポリープ状腺筋腫の診断後に子宮摘出を施行した 3 例の検討
新保暁子[1],長坂徹郎[1],梶山広明[1],吉川史隆[1],藤井多久磨[2],**水野公雄**
1:名古屋大学 2:藤田保健衛生大学
日本婦人科腫瘍学会雑誌 36(2):315-322 2018

The impact of fertility treatment on the neonatal respiratory outcomes and amniotic lamellar body counts in twin pregnancies
Tsuda H, Kotani T[1], Ushida T[1], Kenji I[1], Nakano T[1], Hirakawa A[2], Takahashi Y[3], Iwagaki S[3], Kikkawa F[1]
1: Department of Obstetrics and Gymecology, Nagoya University Graduate School of Medicine 2: Biostatics Laboratory, Nagoya University Graduate School of Medicine 3: Department of Fetal and Maternal medicine, Nagara Medical Center
Clinica Chimica Acta 484:192-196 2018

The rate of neonatal respiratory distress syndrome/transient tachypnea in the newborn and amniotic lamellar body count in twin pregnancies compared with singleton pregnancies
Tsuda H, Kotani T[1], Ushida T[1], Kenji I[1], Nakano T[1], Hirakawa A[2], Takahashi Y[3], Iwagaki S[3], Kikkawa F[1]
1: Department of Obstetrics and Gymecology, Nagoya University Graduate School of Medicine 2: Biostatics Laboratory, Nagoya University Graduate School of Medicine 3 Department of Fetal and Maternal medicine, Nagara Medical Center
Clinica Chimica Acta 484:293-297 2018

月経血流出異常を伴う生殖器奇形の分類に関する考察
三宅菜月,村瀬充香,木村晶子,猪飼恵,福原伸彦,西子裕規,柵木善旭,栗林ももこ,坂堂美央子,齋藤愛,安藤智子
日本女性医学会学会雑誌 25(2):144-148 2018

止血困難や癒着強度のために帝王切開を完遂できず搬送された 5 症例についての検討
栗林ももこ,古橋円,夫馬和也,西子裕規,三宅菜月,柵木善旭,手塚敦子,津田弘之,水野公雄
日本周産期・新生児医学会雑誌 54(1):194-199 2018

卵巣子宮内膜症性嚢胞に対する薬物治療中に自然気胸を繰り返し、外科的治療を要した胸腔内子宮内膜症の 1 例
福原伸彦,安藤智子,上田真子,大西主真,江崎正俊,木村晶子,三澤研人,坂田慶子,夫馬和也,猪飼恵,三宅菜月,西子裕規,柵木善旭,栗林ももこ,

手塚敦子,坂堂美央子,齋藤愛,廣村勝彦,津田弘之,森正一[1],水野公雄
1:呼吸器外科
東海産科婦人科学会雑誌 54:241-245 2018

第 19 回名古屋第一赤十字病院 産婦人科
水野公雄
産科と婦人科 85(7):843-847,2018

卵巣原発性非妊娠絨毛癌の1例
新井綾希子[1],山田恵一郎[1],村井淳志[1],富家未来[1],河合雄一[1],**福原伸彦**[2],安藤良太[3],伊藤茂樹[1]
1:放射線診断科 2:産婦人科 3:病理部
臨床放射線 63 p1027-1030 2018

The possible existence of occult metastasis in patients with ovarian clear cell carcinoma who underwent complete resection without any residual tumors
Kajiyama H[1], Suzuki S[1], Yoshihara M[1], Nishino K[1], Yoshikawa N[1], Utsumi F[1], Niimi K[1], Mizuno M[2], Kawai M[3], Oguchi H[4], **Mizuno K**, Yamamuro O[5], Nagasaka T[6], Shibata K[7], Kikkawa K[1]
1: Department of Obstetrics and Gymecology, Graduate School of Medicine, Nagoya University 2: Department of Gymecology, Aichi Cancer Hospital 3: Department of obstetrics and Gymecology, Toyohashi Municipal Hospital 4: Department of obstetrics and Gymecology, Toyota Memorial Hospital 5: Department of obstetrics and Gymecology, Nagoya Second Red Cross Hospital 6:Division of Medical Laboratory Sciences, School of Health Science, Nagoya University 7: Department of obstetrics and Gymecology, Banbuntane Hotokukai Hospital, Fujita Health University
Oncotarget 9(5):6298-6307 2018

Continuous amnioinfusion in women with PPROM at periviable gestational ages
Esaki M, **Maseki Y**, **Tezuka A**, Furuhashi M[1]
1: Department of Obstetrics, Nagara Medical Center
The Journal of Maternal-Fetal and Neonatal Medicine 23:1-6 2018

妊娠悪阻に対する点滴治療中に感染性心内膜炎および脳塞栓を生じた一例
江崎正俊,猪飼恵,坂田慶子,夫馬和也,柵木善旭,手塚敦子,古橋円
産科と婦人科 8(1):1134-1138 2018

Dengue fever during pregnancy
Tien DT[1], Kotani T[2], Yamamoto E[3], Shibata K[2,4], Moriyama Y[2], **Tsuda H**, Yamashita M[5], Kajiyama H[2], Duc Thein Minh D[1], Quang Thanh L[1], Kikkawa F[2]
1: Delivery Room, Tu Du Hospital 2: Department of Obstetrics and Gymecology, Nagoya University Graduate School of Medicine 3: Department of Healthcare Administration, Nagoya Graduate University School of Medicine 4: Department of Obstetrics and Gymecology, Banbuntane-Houtokukai Hospital Fujita Health University School of Medicine 5: Kishokai Medical Corporation
Nagoya Journal of Medical Science 80(2):241-247 2018

Administration of molecular hydrogen during pregnancy improves behavioral abnormalities of offspring in a maternal immune activation model
Imai K[1], Kotani T[1], **Tsuda H**, Nakano T[1], Ushida T[1], Iwase A[1], Nagai T[2], Toyokuni S[3], Suzumura A[4], Kikkawa F[1]
1: Department of Obstetrics and Gymecology, Nagoya University Graduate School of Medicine 2: Department of Neurosychopharmacology and Hospital Pharmacy, Nagoya University Graduate School of Medicine 3: Department of Pathology and Biologocal Response, Nagoya University Graduate School of Medicine 4:Department of Neuroimmunology, Research Institute pf Environmental Medicine, Nagoya University
Scientific Reports 15(8):9221 2018

Effect of molecular hydrogen on uterine inflammation during preterm labor
Nakano T[1], Kotani T[1], Imai K[1], Iitani Y[1], Ushida T[1], **Tsuda H**, Li H[2], Iwase A[1], Toyokuni S[3], Kikkawa F[1]
1: Department of Obstetrics and Gymecology, Nagoya University Graduate School of Medicine 2: Department of Neurology, Yanbian University Hospital 3: Department of Pathology and Biologocal Response, Nagoya University Graduate School of Medicine Medicine, Nagoya University
Biomedical Reports 8(5):454-460 2018

Altered proteomic profile in umbilical arterial serum from mothers with schizophrenia
Moriyama Y[1], Kotani T[1], Ushida T[1], Imai K[1], Nakano T[1], **Tsuda H**, Kikkawa F[1]
1: Department of Obstetrics and Gymecology, Nagoya University Graduate School of Medicine
Schizophrenia Research S0920-9964:30101-30104 2018

The expression of Toll-like receptor 5 in preterm histologic chorioamnionitis
Moroi H[1,2], Kotani T[1], Miki R[3], **Tsuda H**, Mizuno M[1,2], Ito Y[1], Ushida T[1], Imai K[1], Nakano T[1], Li H[1,4], Sumigama S[5], Yamamoto E[6], Iwase A[1], Kikkawa F[1]
1: Department of Obstetrics and Gymecology, Nagoya University Graduate School of Medicine 2: Department of Obstetrics and Gymecology, Handa City Hospital 3: Laboratory of Bell research Centre-Department of Obstetrics and Gynaecology Collaborative Research, Nagoya Graduate University School of Medicine 4: Department of Neurology, Yanbian University Hospital 5: Office of international Affairs, Nagoya Graduate University School of Medicine 6: Department of Healthcare Administration, Nagoya Graduate University School of Medicine
Journal of Clinical Biochemistry and Nutrition 62(1):63-67 2018

Simulation training is useful for shortening the decision-to-delivery interval in cases of emergent cesarean section
Iitani Y[1], **Tsuda H**, Ito Y[1], Moriyama Y[1], Nakano T[1], Imai K[1], Kotani T[1], Kikkawa F[1]
1: Department of Obstetrics and Gymecology, Nagoya University Graduate School of Medicine
Journal of Maternal-Fetal and Neonatal Medicine 31(23):3128-3132 2018

眼科

無菌性髄膜炎の経過中に樹氷状網膜血管炎を呈した１例
宇佐美欽通,**小林三砂紀**,**佐藤英津子**,森盟[1],真野和夫[1]
1:神経内科
眼科臨床紀要　11(6):485　2018

耳鼻咽喉科

補聴器両耳装用により語音弁別能が著明改善した症例の検討
小林万純,**柘植勇人**,**三宅杏李**,曾根三千彦[1]
1:名古屋大学医学部耳鼻咽喉科
日本耳鼻咽喉科学会会報　121(10):1273-1278,2018

補聴器外来における工夫
大西俊,**柘植勇人**,**鈴木克尚**,**伊藤潤平**,**鈴木淳志**,**寺田聡広**,曾根三千彦[1]
1:名古屋大学医学部耳鼻咽喉科
日本耳鼻咽喉科学会会報　121(4):560-560,2018

耳鳴補聴から難聴者の補聴器フィッティングへの活用－装用途中の「聴覚過敏の壁」対策と補聴の効率化－
柘植勇人,**加藤大介**,**三宅杏季**,**藥師寺政美**,**加藤由紀**,**鈴木克尚**,曾根三千彦[1]
1:名古屋大学耳鼻咽喉科
AUDIOLOGY　JAPAN　61(5):428　2018

中等度一側難聴の補聴器活用についての考察
加藤大介,**柘植勇人**,**三宅杏季**,**藥師寺政美**,**加藤由紀**
AUDIOLOGY　JAPAN　61(5):428　2018

当院における真珠腫性中耳炎手術症例の検討
伊藤潤平,**柘植勇人**,植田広海[1],曾根三千彦[2]
1:愛知医科大学医学部耳鼻咽喉科　2:名古屋大学医学部耳鼻咽喉科
日本耳科学会会報　28(5):668-674,2018

麻酔科

血小板抗 HLA 抗体陽性症例においてランダムマッチ血小板輸血で血小板数の増加を認めた経験
森玲央那,貝沼関志[1],鈴木喬悟[2],西脇公俊[2]
1:名古屋大学医学部附属病院外科集中治療部　2:名古屋大学医学部附属病院麻酔科
麻酔　67(6):642-646,2018

Mitral Valve Repair in Infective Endocarditis during Pregnancy
Tamura T[1], **Yokota S**
1: Department of Anesthesiology, Nagoya University Graduate School of Medicine
Annals of Cardiac Anaesthesia　21(2):189-191　2018

化学療法内科

Plasma ICAM-1 and plasma IL-8 level as biomarker of metastatidc colorectal cancer patients treated with mFOLFOX6/XELOX plus bevacizumab (WJOG7612GTR)
Yamamoto Y[1], Okamoto W[2], Makiyama A[3], Shitara K[2], Denda T[4], Ogura T[5], **Nakano Y**[6], Nishina T[7], Komoda M[8], Hara H[9], Ozaki Y[10], Kawakami H[11], Boku N[12], Hyodo I[1], Yamazaki K[13], Hironaka S[4], Sakai K[11], Yamanaka T[14], Muro K[15], Nishio K[11]
1: University of Tsukuba　2: National Cancer Center Hospital East　3: Community Healthcare Organization Kyushu Hospital　4: Chiba Cancer Center　5: St. Marianna University School of Medicine　6: Japanese Red Cross Nagoya Daiichi Hospital　7: National Hospital Organization Shikoku Cancer Center　8: National Kyushu Cancer Center　9: Saitama Cancer Center Hospital　10: Toranomon Hospital　11: Kindai University Faculty of Medicine　12: National Cancer Center Hospital　13: Shizuoka Cancer Center　14: Yokohama City University School of Medicine 15: Aichi Cancer Center Hospital
Abstract #202833

Plasma VEGF-A level in efficacy analysis of metastatic colorectal cancer patients treated with mFOLFOX6 / XELOX plus bevacizumab
Okamoto W[1], Makiyama A[2], Yamamoto Y[3], Shitara K[1], Denda T[4], Izawa N[5], **Nakano Y**[6], Nishina T[7], Esaki T[8], Hara H[9], Ozaki Y[10], Okuda H[11], Boku N[12], Hyodo I[3], Yamazaki K[13], Hironaka S[4], Sakai K[14], Yamanaka T[15], Muro K[16], Nishio K[14]
1: National Cancer Center Hospital East　2: Japan Community Healthcare Organization Kyushu Hospital　3: University of Tsukuba　4: Chiba Cancer Center　5: St. Marianna University School of Medicine　6: Japanese Red Cross Nagoya Daiichi Hospital　7: National Hospital Organization Shikoku Cancer Center　8: National Kyushu Cancer Center　9: Saitama Cancer Center Hospital　10: Toranomon Hospital　11: Koiyukai Sapporo Hospital　12: National Cancer Center Hospital　Shizuoka Cancer Center　14: Kindai University Faculty of Medicine　15: Yokohama City University School　16: Aichi Cancer Center of Medicine Hospital
Abstract#202589

放射線科

卵巣原発性非妊娠絨毛癌の1例
新井綾希子[1],**山田恵一郎**[1],**村井淳志**[1],**富家未来**[1],**河合雄一**[1],福原伸彦[2],安藤良太[3],**伊藤茂樹**[1]
1:放射線診断科　2:産婦人科　3:病理部
臨床放射線 63　1027-1030　2018

2018 Shimizu Clinical significance of SUVmax on preoperative 18F-fluorodeoxyglucose positron emission tomography in patients who underwent R0-esophagectomy for esophageal cancer
Shimizu D[1], Yuasa N[1], Miyake H[1], Takeuchi E[1], Miyata K[1], **Ito S**
1:一般消化器外科
Nagoya Journal of Medical Science 80(401-409) 2018

精神科

精神鑑定の私の実践―気分障害の責任能力について－
舟橋龍秀
臨床精神医学 47(11):1251-1256 2018

日本におけるオープンダイアローグの実践可能性
飯田大輔
プリーフサイコセラピー研究 26(2)58-60,2018

病理部・細胞診分子病理診断部（Dr.・臨床検査技師）

卵巣原発性非妊娠絨毛癌の1例
新井綾希子[1],山田恵一郎[1],村井淳志[1],富家未来[1],河合雄一[1],福原伸彦[2],**安藤良太**[3],伊藤茂樹[1]
1:放射線診断科 2:産婦人科 3:病理部
臨床放射線 63 p1027-1030 2018

胸部食道癌に併存した食道 mucosal bridge の 1 例
宇佐美沙弥[1],湯浅典博[1],竹内英司[1],三宅秀夫[1],永井英雅[1],南貴之[1],宮田完志[1],**藤野雅彦**
1:一般消化器外科
消化器外科 41(2):237-243,2018

急性虫垂炎と比較した虫垂憩室炎の臨床的特徴
梅村将成[1],湯浅典博[1],竹内英司[1],後藤康友[1],三宅秀夫[1],永井英雅[1],吉岡裕一郎[1],深田浩志[1],宮田完志[1],**藤野雅彦**
1:一般消化器外科
日本臨床外科学会雑誌 78(11),2391-2397,2018

FISH 解析が有用であった髄液細胞診の二症例
杉山知咲季,伊藤雅文,藤野雅彦,郡司昌治,山下比鶴,村上佳穂
日本臨床細胞学会雑誌 57:207-207,2018

骨髄の細胞診と病理
伊藤雅文
日本臨床細胞学会雑誌 57:118-118,2018

Iodine staining and p16 immunohistochemistry as a novel screening for secondary esophageal neoplasm after hematopoietic stem cell transplantation
Sato T[1], Seto A[1], Kagaya Y[1], Kawashima N[1], Koyama D[1], Morishita T[1], Ozawa Y[1], Miyamura K[1], Yamaguchi T[2], Haruta J[2], **Ito M**[3]
1:Department of Hematology, Japanese Red Cross Nagoya First Hospital 2:Department of Gastroenterology, Japanese Red Cross Nagoya First Hospital 3:Department of Pathology, Japanese Red Cross Nagoya First Hospital
Bone Marrow Transplantation 53(10):1359-1363 2018

集学的治療にも関わらず致死的経過を辿った乳児腎悪性ラブドイド腫瘍の一例
北井文恵[1],成田幸太郎[1],片岡伸介[1],濱田太立[1],鈴木喬悟[1],村瀬成彦[2],坂口大俊[1],吉田奈央[1],金子健一郎[2],**伊藤雅文**,加藤剛二[1]
1:小児科 2:小児外科
日本小児血液・がん学会雑誌 55(3):315-319 2018

移植片対宿主病（GVHD)の病理
伊藤雅文
血液フロンティア 28(4):501-507 2018

Highlights: Focus on Bone Marrow Pathology
Ito M
Journal of Clinical and Experimental Hematopathology 58(2):43-44 2018

The histopathology of myeloma in the bone marrow
Fujino M
Journal of Clinical and Experimental Hematopathology 58(2):61-67 2018

Osteogenic differentiation in dedifferentiated liposarcoma: a study of 36 cases in comparison to the cases without ossification
Yamashita K[1], Kohashi K[2], Yamada Y[2], Ishii T[2], Nishida Y[3], Urakawa H[3], Ito I[4], Takahashi M[5], Inoue T[6], **Ito M**, Ohara Y[1], OdaY[2], Toyokuni S[1]
1: Department of Pathology and Biological Responses, Nagoya University Graduate School of Medicine 2: Department of Anatomic Pathology, Graduate School of Medical Sciences, Kyushu University 3: Department of Orthopedic Surgery, Nagoya University Graduate School and School of Medicine 4: Department of Pathology, Shizuoka Cancer Center Hospital 5: Division of Orthopedic Oncology, Shizuoka Cancer Center Hospital 6: Department of Pathology, Osaka City General Hospital
Histopathology 72(5):729-738 2018

Integrated molecular profiling of juvenile myelomonocytic leukemia
Murakami N[1], Okuno Y[2], Yoshida K[3], Shiraishi Y[4], Nagae G[5], Suzuki K[1], Narita A[1], Sakaguchi H[6], Kawashima N[1], Wang X[1], Xu Y[1], Chiba K[4], Tanaka H[4], Hama A[1], Sanada M[3,7], **Ito M**[8], Hirayama M[9], Watanabe A[9], Ueno T[10], Kojima S[1], Aburatani H[5], Mano H[10], Miyano S[4,11], Ogawa S[3], Takahashi Y[1], Muramatsu H[1]
1: Department of Pediatrics, Nagoya University Graduate School of Medicine, Nagoya, Japan 2: Center for Advanced Medicine and Clinical Research, Nagoya University Hospital, Nagoya, Japan 3: Department of Pathology and Tumor Biology, Graduate School of Medicine, Kyoto University, Kyoto, Japan 4: Laboratory of DNA Information Analysis, Human Genome Center, Institute of Medical Science and 5: Genome Science Division, Research Center for Advanced Science and Technology, The University of Tokyo, Tokyo, Japan 6: Department of Pediatric Hematology/Oncology, Japanese Red Cross Nagoya First Hospital, Nagoya, Japan 7: Department of Advanced Diagnosis, Clinical Research Center, National Hospital Organization Nagoya Medical Center, Nagoya, Japan 8: Department of Pathology, Japanese Red Cross Nagoya First Hospital, Nagoya, Japan 9: Department of Pediatrics, Nakadori General Hospital, Akita, Japan 10: Department of Cellular Signaling graduate School of Medicine 11: Laboratory of Sequence Analysis, Human Genome Center, Institute of Medical Science, The University of Tokyo, Tokyo, Japan
Blood 5;131(14):1576-1586 2018

Early/prefibrotic primary myelofibrosis in patients who were initially diagnosed with essential thrombocythemia
Kamiunten A[1], Shide K[1], Kameda T[1], **Ito M**, Sekine M[1], Kubuki Y[1], Hidaka T[1], Akizuki K[1], Toyama T[2], Kawano N[2], Marutsuka K[2], Maeda K[3], Takeuchi M[4], Kawano H[4], Sato S[5], Ishizaki J[6], Shimoda H[1], Yamashita K[7], Matsuoka H[4], Shimoda K[1]
1: Department of Gastroenterology and Hematology, Faculty of Medicine, University of Miyazaki 2: Miyazaki Prefectural Nobeoka Hospital 3: Miyakonojo Medical Center 4: Koga General Hospital 5: Fujimoto General Hospital 6: Miyazaki Aisenkai Nichinan Hospital
International Journal of Hematology 108(4):411-415 2018

Origin of cancer-associated fibroblasts and tumor-associated macrophages in humans after sex-mismatched bone marrow transplantation
Kurashige M[1], Kohara M[1], Ohshima K[1], Tahara S[1], Hori Y[1], Nojima S[1], Wada N[1], Ikeda JI[1], Miyamura K[2], **Ito M**[3], Morii E[1]
1:Department of Pathology, Graduate School of Medicine, Osaka University 2:Department of Hematology, Japanese Red Cross Nagoya First Hospital 3:Department of Pathology, Japanese Red Cross Nagoya First Hospital
Communications biology 3(1)131 2018

Thrombohemorrhagic events, disease progression, and survival in polycythemia vera and essential thrombocythemia: a retrospective survey in Miyazaki prefecture, Japan
Kamiunten A[1], Shide K[1], Kameda T[1], Sekine M[1], Kubuki Y[1], **Ito M**, Toyama T[2], Kawano N[3], Marutsuka K[3], Maeda K[4], Takeuchi M[5], Kawano H[5],Sato S[6], Ishizaki J[7], Akizuki K[1], Tahira Y[1], Shimoda H[1], Hidaka T[1], Yamashita K[3], Matsuoka H[5], Shimoda K[1]
1: Department of Gastroenterology and Hematology, Faculty of Medicine, University of Miyazaki 2: Miyazaki Prefectural Nobeoka Hospital 3: Miyazaki Prefectural Miyazaki Hospital 4: Miyakonojo Medical Center 5: Koga General Hospital 6: Fujimoto General Hospital 7: Miyazaki Aisenkai Nichinan Hospital
International Journal of Hematology 107(6):681-688 2018

Successful treatment of primary bone marrow Hodgkin lymphoma with brentuximab vedotin: a case report and review of the literature
Nagaharu K[1], Masuya M[2], Kageyama Y[2], Yamaguchi T[3], Ito R[3], Kawakami K[3], **Ito M**, Katayama N[3]
1: Department of Hematology and Oncology, Suzuka General Hospital, Department of Hematology and Oncology, Mie University Graduate School of Medicine 2: Department of Hematology and Oncology, Mie University Graduate School of Medicine 3: Department of Hematology and Oncology, Suzuka General Hospital
Journal of Medical Case Reports 12(1):151 2018

Paraneoplastic autoimmune encephalitis associated with pleomorphic lung carcinoma: An autopsy case report
Ando T[1], Goto Y[2], Mano K[2], Nomura F[3], **Kurashige M**[4], **Ito M**[4], Mimuro M[5], Iwasaki Y[5], Katsuno M[6], Yoshida M[5]
1: Department of Neurology, Nagoya University Graduate School of Medicine Nagoya, Japan/ Department of Neuropathology, Institute for Medical Science of Aging, Aichi Medical University Nagakute, Japan 2: Department of Neurology, Japanese Red Cross Nagoya Daiichi Hospital, Nagoya, Japan 3: Department of Respiratory Medicine, Japanese Red Cross Nagoya Daiichi Hospital Nagoya, Japan 4:Department of Pathology, Japanese Red Cross Nagoya Daiichi Hospital Nagoya, Japan 5:Department of Neuropathology, Institute for Medical Science of Aging, Aichi Medical University, Nagakute, Japan 6: Department of Neurology, Nagoya University Graduate School of Medicine Nagoya, Japan
Japanese Society of Neuropathology 38 4:448-454 2018

男性乳腺 invasive carcinoma with neuroendocrine differentiation の 1 例
深田浩志[1],田中寛[1],後藤康友[1],**藤野雅彦**,宮田完志[1]
1:一般消化器外科
日本臨床外科学会雑誌 79(3):481-484,2018

Micropapillary components を伴う胃癌の 3 例
清水大輔[1],湯浅典博[1],竹内英司[1],三宅秀夫[1],永井英雅[1],宮田完志[1],**藤野雅彦**
1:一般消化器外科
日本臨床外科学会雑誌 79:1463-1468 2018

Superficially Spreading Signet-Ring Cell Carcinoma Perpendicularly Colliding with Gastric Adenoma: a Rare Case Report
Minami T[1], Yuasa N[1], Takeuchi E[1], Miyake H[1], Nagai H[1], Miyata K[1], **Kiriyama A**
1:一般消化器外科
Journal of Gastrointestinal Cancer 2018

MIB-1 index is unlikely to predict relapse-free survival in patients who underwent R0-esophagectomy for esophageal squamous cell carcinoma
Minami T[1], Yuasa N[1], Miyake H[1], Takeuchi E[1], Nagai H[1], **Ito M**, **Kiriyama A**, Miyata K[1]
1:一般消化器外科
Diseases of the Esophagus 31(5) 2018

検査部・輸血部（Dr.・臨床検査技師）

発熱および高プロカルシトニン血症を伴う患者の短期予後予測因子
西山秀樹,湯浅典博,美濃島慎,小澤賀子[1],髙阪久美子[1],黒野康正[2],野村史郎[3],宮村耕一[4]
1:看護部 2:薬剤部 3:呼吸器内科 4:血液内科
日本環境感染学会誌 29(1):3-7 2018

慢性腎臓病患者における心電図所見と長期予後との関連
松浦菜摘,倉田貴規,宮嶋悦子,柳沼莉絵,牧俊哉,加藤秀樹,湯浅典博
医学検査 2018(3):281-288,2018

18 年間に扱った血液製剤 100 万単位廃棄率と廃棄要因
遠藤美紀子,村上和代,檜本和美,古賀江利加,恒川浩二郎,小澤幸泰,加藤秀樹,湯浅典博
医学検査 67(1):70-77,2018

新生児・乳児における自動聴性脳幹反応と聴覚障害ハイリスク因子との関連
山内淳平,伊藤修,臼井理加,加藤秀樹,湯浅典博
医学検査 67(5):631-635 2018

臨床検査技師のノンテクニカルスキル向上のための取り組み
杉浦由季,牧俊哉,広瀬美沙,加藤敦美,有吉彩,加藤秀樹,湯浅典博
医学検査 67(5):652-659,2018

女性における血清レムナントリポ蛋白と動脈硬化との関連
山森雅大,永山円,遠藤美紀子,加藤敦美,堀田美佐,前岡悦子,加藤秀樹,湯浅典博
医学検査 66(6):1-7 2017

薬剤部

がん化学療法情報共有システムによる多職種連携―名古屋第一赤十字病院の取り組み
櫛原秀之
月刊薬事 60(4):693-696,2018

発熱および高プロカルシトニン血症を伴う患者の短期予後予測因子
西山秀樹[1],湯浅典博[1],美濃島慎[1],小澤賀子[2],髙阪久美子[2],**黒野康正**,野村史郎[3],宮村耕一[4]
1:検査部 2:看護部 3:呼吸器内科 4:血液内科
日本環境感染学会誌 29(1):3-7 2018

医療技術部

透析時の酸素療法
開正宏
日本血液浄化技術学会雑誌 26:75-75,2018

新しい非カフ型カテーテルの脱血不良改善効果の検討
瀧本さち,開正宏,石川英昭[1],市田靜憲[1]
1:腎臓内科
日本透析医学会雑誌 51(10):585-590,2018

看護部

発熱および高プロカルシトニン血症を伴う患者の短期予後予測因子
西山秀樹[1],湯浅典博[1],美濃島慎[1],**小澤賀子,髙阪久美子**,黒野康正[2],野村史郎[3],宮村耕一[4]
1:検査部 2:薬剤部 3:呼吸器内科 4:血液内科
日本環境感染学会誌 29(1):3-7 2018

認知症ケアチームのチームカンファレンス記録の現状と課題
岡田朋子[1],**鈴木小央里**[1],榎本伸一[2],後藤洋二[3]
1:看護部 2:医療社会事業部 3:神経内科
日赤医学 70(1):165 2018

医療社会事業部

認知症ケアチームのチームカンファレンス記録の現状と課題
岡田朋子[1],鈴木小央里[1],**榎本伸一**[2],後藤洋二[3]
1:看護部 2:医療社会事業部 3:神経内科
日赤医学 70(1):165 2018

Ⅱ．業　　績

３．学　会

平成 30 年 1 月～12 月
（一部 平成 29 年分含）

腎臓内科

軽鎖沈着症により間質腎炎を主体とした高度な腎障害をきたし BD 療法が著効した一例
木村仁美,田中友規,中瀬裕貴子,鷲野将也,遠藤信英,石川英昭
第 48 回日本腎臓学会東部学術大会　2018 年 10 月　東京都新宿区

終末期腎臓病診療におけるアドバンスケアについて考える
石川英昭
第 54 回日本赤十字社医学会総会　2018 年 11 月　名古屋市

MPO-ANCA 関連腎炎の寛解中に ANCA 力価の上昇を伴わずに硬膜・髄膜炎を呈した多発血管炎性肉芽腫の 1 例
本田大祐[1],髙阪勇輔[1],森盟[1],小森祥太[1],平野聡子[1],渡邉はづき[1],馬渕直紀[1],後藤洋二[1],真野和夫[1],波多野寿[2],伊藤藍[3],**鷲野将也**
1:神経内科　2:脳神経外科　3:病理部
第 152 回日本神経学会東海北陸地方会　2018 年 11 月　名古屋市

内分泌内科

57 歳で診断された先天性腎性尿崩症の一例
尾﨑信暁,吉藤真梨子,岡崎美香子,柳沼裕史,安田寛子,清田篤志,尾崎信暁
第 28 回バゾプレシン研究会　2018 年 1 月　東京都

びまん性大細胞型 B 細胞性リンパ腫に合併した SIADH に対してトルバプタンを使用した一例
大引真理恵[1],加賀谷裕介[1],**柳沼裕史**,小澤幸泰[1], **尾﨑信暁**,宮村耕一[1]
1:血液内科
日本内科学会東海支部主催第 234 回東海地方会　2018 年 2 月　名古屋市

抗 GAD 抗体関連てんかんを合併した多腺性自己免疫症候群 2 型の 1 例
清田篤志,髙阪勇輔[1],**吉藤真梨子,岡崎美香子,上田一裕,渡邉保子**,真野和夫[1],**尾﨑信暁**
1:神経内科
第 91 回日本内分泌学会学術総会　2018 年 4 月　宮崎市

褐色細胞腫クリーゼ発症を契機に多発性内分泌腫瘍症 2B 型と診断された1例
水谷圭吾,清田篤志,吉藤真梨子,岡崎美香子,上田一裕,大川哲司[1],後藤康友[2],服部良平[3], **尾﨑信暁**
1:岐阜県立多治見病院　2:乳腺内分泌外科　3:泌尿器科
日本内科学会東海支部主催第 235 回東海地方会　2018 年 7 月　浜松市

当院における妊娠糖尿病患者の臨床像について
土田真梨子,清田篤志,岡崎美香子,上田一裕,渡邉保子,尾﨑信暁
第 92 回日本糖尿病学会中部地方会　2018 年 9 月　名古屋市

急性ポルフィリン症に合併した SIADH の1例
上田一裕,土田真梨子,岡崎美香子,清田篤志,尾﨑信暁
第 18 回日本内分泌学会東海支部学術集会　2018 年 10 月　津市

入院後早期からの NST 介入への取り組み
伴野広幸[1],春田純一[1],**清田篤志**[1],黒野康正[1]
1:名古屋第一赤十字病院　NST
第 54 回日本赤十字社医学会総会　2018 年 10 月　名古屋市

複数の腫瘍性病変を伴った 21 水酸化酵素欠損症の一例
土田真梨子,清田篤志,岡崎美香子,上田一裕,渡邉保子, 尾﨑信暁
第 28 回臨床内分泌代謝 Update　2018 年 11 月　福岡市

無痛性甲状腺炎として治療されていたプランマー病の一例
土田真梨子,清田篤志,岡崎美香子,上田一裕,渡邉保子,尾﨑信暁
第 61 回日本甲状腺学会学術集会　2018 年 11 月　川越市

当院における HBOC 診療の立ち上げと課題
安藤智子[1],森山育実[2],畠山未来[2],坂堂美央子[1],後藤康友[3],**尾﨑信暁**[4]
1:産婦人科　2:遺伝カウンセリングセンター　3:乳腺内分泌外科　4:内分泌内科
第 54 回日本赤十字社医学会総会　2018 年 11 月　名古屋市

血液内科

放射線事故被害者への対応について
宮村耕一
第 40 回日本造血細胞移植学会総会　2018 年 2 月　札幌市

慢性 GVHD の慢性安定経過中に誘引なく心嚢水貯留,腹膜炎による急性増悪を呈した 1 例
岡部基人,森下番允,川口裕佳,李尹河,大引真理恵,尾崎正英,吉野実世,新家裕朗,池野世新,佐藤貴彦,加賀谷裕介,小澤幸泰,宮村耕一
第 40 回日本造血細胞移植学会総会 2018 年 2 月 札幌市

当院の造血幹細胞移植症例における病理解剖の臨床的意義についての検討
李尹河,川口裕佳,岡部基人,大引真理恵,尾崎正英,吉野実世,新家裕朗,池野世新,佐藤貴彦,加賀谷裕介,森下番允,小澤幸泰,伊藤藍 [1],伊藤雅文 [1],宮村耕一
1:病理部
第 40 回日本造血細胞移植学会総会 2018 年 2 月 札幌市

同種造血細胞移植後の好中球減少期に Bacillus cereus による敗血症・出血性脳梗塞をきたした一例
川口裕佳,佐藤貴彦,岡部基人,李尹河,大引真理恵,尾崎正英,吉野実世,新家裕朗,池野世新,加賀谷裕介,森下番允,小澤幸泰,宮村耕一
第 40 回日本造血細胞移植学会総会 2018 年 2 月 札幌市

同種造血幹細胞移植における真菌感染症の薬剤別予防効果
吉野実世,川口裕佳,岡部基人,李尹河,大引真理恵,尾崎正英,吉野実世,新家裕朗,池野世新,佐藤貴彦,加賀谷裕介,森下番允,小澤幸泰,宮村耕一
第 40 回日本造血細胞移植学会総会 2018 年 2 月 札幌市

ヒドロコルチゾンの使用が血液悪性疾患に対する同種造血幹細胞移植の予後に与える影響
佐藤貴彦,岡部基人,川口裕佳,李尹河,大引真理恵,吉野実世,尾崎正英,新家裕朗,池野世新,加賀谷裕介,森下番允,小澤幸泰,宮村耕一
第 40 回日本造血細胞移植学会総会 2018 年 2 月 札幌市

同種造血幹細胞移植前の軽度腎機能障害と予後の後方視的解析
尾崎正英,岡部基人,川口裕佳,李尹河,大引真理恵,吉野実世,新家裕朗,池野世新,佐藤貴彦,加賀谷裕介,森下番允,小澤幸泰,宮村耕一
第 40 回日本造血細胞移植学会総会 2018 年 2 月 札幌市

同種造血幹細胞移植患者の生存率に運動機能因子は影響するか
中村和司 [1],佐藤貴彦 [2],松永佑哉 [1],永井将貴 [1],中山靖唯 [1],早川勝 [1],小澤幸泰 [2],宮村耕一 [2]
1:リハビリテーション科 2:血液内科
第 40 回日本造血細胞移植学会総会 2018 年 2 月 札幌市

非血縁間骨髄移植と臍帯血移植における膝伸展筋力の変化の比較
永井将貴 [1],佐藤貴彦 [2],中村和司 [1],松永佑哉 [1],藍澤洋介 [1],中山靖唯 [1],早川勝 [1],小澤幸泰 [2],宮村耕一 [2]
1:リハビリテーション科 2:血液内科
第 40 回日本造血細胞移植学会総会 2018 年 2 月 札幌市

同種造血幹細胞移植後の理学療法実施率に影響する因子の検討
松永佑哉 [1],佐藤貴彦 [2],中村和司 [1],永井将貴 [1],中山靖唯 [1],早川勝 [1],小澤幸泰 [2],宮村耕一 [2]
1:リハビリテーション科 2:血液内科
第 40 回日本造血細胞移植学会総会 2018 年 2 月 札幌市

びまん性大細胞型 B 細胞性リンパ腫に合併した SIADH に対してトルバプタンを使用した一例
大引真理恵,加賀谷裕介,柳沼裕史 [1],小澤幸泰,尾崎信暁 [1],宮村耕一
1:内分泌内科
日本内科学会東海支部主催第 234 回東海地方会 2018 年 2 月 名古屋市

Dasatinib-induced cytomegalovirus reactivation induces earlier molecular response in patients with Philadelphia chromosome-positive acute lymphoblastic leukemia without improvement of transplant outcome
Osaki M
44th Annual Meeting of the European Society for Blood and Marrow Transplantation 18-21 March 2018. Lisbon, Portgal

Successful washout with direct hemoperfusion after methotrexate poisoning induce by high-dose methotrexate therapy
森下番允,岡部基人,川口裕佳,李尹河,大引真理恵,尾崎正英,吉野実世,新家裕朗,池野世新,佐藤貴彦,小澤幸泰,宮村耕一
第 16 回日本臨床腫瘍学会 2018 年 7 月 神戸市

Myelodysplastic syndrome with trisomy 8 pathologically diagnosed intestinal Bechet disease
Ichiki T[1], Osaki M[1],Nakashima M[2], Okabe M[1], Kawaguchi Y[1], Ohbiki M[1], Lee Y[1], Goto M[1], Araie H[1], Ikeno S[1], Sato T[1], Kurashige M[3], Goto T[1], Morishita T[1], Ozawa Y[1], Ito M[4], Miyamura K[1]
1: Department of Hematology, Japanese Red Cross Nagoya Daiichi Hospital 2: Department of Hematology, Chutoen General Medical Center 3: Department of Diagnostic Pathology, Osaka University Hospital 4: Department of Pathology, Japanese Red Cross Nagoya Daiichi Hospital
第 80 回日本血液学会学術集会 2018 年 10 月 大阪市

Adding TBI to FluBu4 before allo HSCT may improve outcome in poor prognosis patient of elderly
Araie H, Ichiki T, Kawaguchi Y, Okabe M, Lee Y, Ohbiki M, Osaki M, Goto M, Sato T, Goto T, Morishita T, Ozawa Y, Miyamura K
第 80 回日本血液学会学術集会 2018 年 10 月 大阪市

Efficacy of cocktail-therapy for obstructive disease after hematopoietic stem cell transplantation
Sato T[1], Yaginuma R[2], Kawaguchi Y[1], Okabe M[1], Lee Y[1], Ohbiki M[1], Osaki M[1], Goto M[1], Ikeno S[1], Araie H[1], Morishita T[1], Ozawa Y[1], Miyamura K[1]
1: Dept. Hematology, Japanese Red Cross Nagoya First Hospital 2: Dept. Laboratory Medicine, Japanese Red Cross Nagoya First Hospital
第 80 回日本血液学会学術集会 2018 年 10 月 大阪市

The association between a SNP in the SOAT1 gene and the incidence of chronic GVHD after allo-HSCT
Kamoshita S[1], Murata M[1], Koyama D[1], Sakai T[1], Okazaki S[1], Okuno S[1], Julamanee J[1], Takagi E[1], Miyao K[1], Goto T[1], Ozawa Y[2], Miyamura K[2], Terakura S[1], Nishida T[1], Kiyoi H[1]
1: Dept. Hematology and Oncology, Naogoya University 2: Dept. Hematology, Japanese Red Cross Nagoya First Hospital
第 80 回日本血液学会学術集会 2018 年 10 月 大阪市

Dasatinib-induced cytomegalovirus reactivation induce earlier molecular respomsr in Ph+ALL
Osaki M, Ichiki T, Okabe M, kawaguchi Y, Lee Y, Ohbiki M, Goto M, Araie H, Ikeno S, Sato T, Goto T, Morishita T, Ozawa Y, Miyamura K
第 80 回日本血液学会学術集会 2018 年 10 月 大阪市

TKI 中止後の CMLBC の分子モニターの適切な間隔の検討
宮村耕一[1],西脇聡史[2]
1:名古屋第一赤十字病院血液内科 2:名古屋大学先端医療臨床研究支援センター
第 80 回日本血液学会学術集会 2018 年 10 月 大阪市

Medical cooperation between the hub hospitals of allogeneic HSCT and referral hospitals
Yamaga Y[1], Suzuki Y[1], Iwai M[1], Miyamura K
1: Dept. Hematology, Gifu Prefectural Tajimi Hospital
第 80 回日本血液学会学術集会 2018 年 10 月 大阪市

Coincidence of Leclercia Carboxylata bactermia in patients after hematopoietic cell transplantation
Okabe M, Kawaguchi Y, Ohbiki M, Lee Y, Osaki M, Goto M, Araie H, Sato T, Goto T, Morishita T, Ozawa Y, Miyamura K
第 80 回日本血液学会学術集会 2018 年 10 月 大阪市

A myelofibrosis patient with severe thrombocytopenia treated with low dose ruxolitinib
Ishigiwa K, Osaki M, Kawashima N, Ichiki T, Okabe M, Kawaguchi Y, Lee Y, Ohbiki M, Goto M, Araie H, Ikeno S, Sato T, Goto T, Morishita T, Ozawa Y, Miyamura K
第 80 回日本血液学会学術集会 2018 年 10 月 大阪市

Efficacy of eculizumb for aplastic anemia developed to paroximal nocturnal hemogrobinuria after IST
Ikeno S[1,2], Okabe M[1], Kawaguchi Y[1], Ohbiki M[1], Lee Y[1], Osaki M[1], Goto M[1], Araie H[1], Sato T[1], Morishita T[1], Ozawa Y[1], Katsumi A[2], Miyamura K[1]
1: Dept. Hematology, Japanese Red Cross Nagoya First Hospital 2: Dept. Hematology, National Center for Geriatrics and Gerontology
第 80 回日本血液学会学術集会 2018 年 10 月 大阪市

A case of chronic myeloid leukemia suspected by fundus observation
Kawaguchi Y, Okabe M, Lee Y, Ohbiki M, Osaki M, Goto M, Araie H, Ikeno S, Sato T, Goto T, Morishita T, OzawaY, Ito R[1], Miyamura K
1: Kamiyashiro Eye Clinic
第 80 回日本血液学会学術集会 2018 年 10 月 大阪市

Introduction and the current status of unrelated peripheral blood stem cells tranplantation in Japan
Miyamura K
第 80 回日本血液学会学術集会 2018 年 10 月 大阪市

The Prediction of Clinical Outcome By Controlling Nutrition Status (CONUT) before Allogeneic Hematopoietic Stem Cell Transplantation in Myeloid Malignancies
Araie H, Ichiki T, Okabe M, Kawaguchi Y, Lee Y, Ohbiki M, Osaki M, Goto M, Sato T, Goto T, Morishita T, Ozawa Y, Miyamura K
60th ASH Annual Meeting and Exposition 2018 年 12 月 SanDiago, CA

神経内科

抗 GAD 抗体関連てんかんを合併した多腺性自己免疫症候群 2 型の 1 例
清田篤志[1],高阪勇輔,吉藤真梨子[1],岡崎美香子[1],上田一裕[1],渡邉保子[1],真野和夫,尾﨑信暁[1]
1:内分泌内科
第 91 回日本内分泌学会学術総会 2018 年 4 月 宮崎市

パーキンソン病における血圧と起立不耐性の季節変動
新美由紀[1],長谷川康博[2],山名和子[1],真野和夫,古池保雄[2]
1:津島市民病院 神経内科 2:中部大学生命健康科学部
第 151 回日本神経学会東海北陸地方会 2018 年 6 月 名古屋市

脊髄小脳失調症 6 型の線条体機能
堀本佳彦[1,6],林絵美[2,3],伊藤良麿[2,3],飯田昭彦[2,3],**後藤洋二**[4],加藤重典[5],大喜多賢治[5],田島稔久[1,3],稲垣亜紀[1],日比野敬明[1],深川和利[1],松川則之[6],蒲澤秀洋[1]
1:名古屋市総合リハビリテーションセンター神経内科 2:名古屋市総合リハビリテーションセンター放射線科 3:名古屋市総合リハビリテーションセンター企画研究局 4: 神経内科 5:名古屋第二赤十字病院 神経内科 6:名古屋市立大学神経内科
第 151 回日本神経学会東海北陸地方会 2018 年 6 月 名古屋市

パーキンソン病における安静時・起立時血圧の季節変動
新美由紀[1],長谷川康博[2],**真野和夫**,古池保雄[2]
1:津島市民病院 神経内科 2:中部大学生命健康科学部
第 71 回日本自律神経学会総会 2018 年 10 月 さいたま市

MPO-ANCA 関連腎炎の寛解中に ANCA 力価の上昇を伴わずに硬膜・髄膜炎を呈した多発血管炎性肉芽腫の 1 例
本田大祐,高阪勇輔,森盟,小森祥太,平野聡子,渡邉はづき,馬渕直紀,後藤洋二,真野和夫,波多野寿[1],伊藤藍[2],鷲野将也[3]
1:脳神経外科 2:病理部 3:腎臓内科
第 152 回日本神経学会東海北陸地方会 2018 年 11 月 名古屋市

認知症ケアチームカンファレンス記録の現状と課題
岡田朋子[1],鈴木小央里[2],榎本伸一[3],**後藤洋二**
1:看護部 2:精神科 3:医療社会事業課
第 54 回日本赤十字社医学会総会 2018 年 11 月 名古屋市

循環器内科

急性下壁梗塞に対する治療中に急性前壁梗塞を発症した 1 例
平松武宏,神谷春雄,柴田義久,嶋野祐之,清水真也,宮田紳治郎,森下佳洋,柴田陽平,安田健一郎,清水洋,岡部慧,近藤喜代太,山田修司
第 40 回日本心血管インターベンション治療学会東海北陸地方会 2018 年 10 月 静岡市

TAVI100 例の経験
柴田義久
第 40 回日本心血管インターベンション治療学会東海北陸地方会 2018 年 10 月 静岡市

大動脈弁膜瘤を認めた一例
山田修司,神谷春雄,柴田義久,嶋野祐之,清水真也,宮田紳治朗,森下佳洋,柴田陽平,安田健一郎,清水洋,近藤喜代太,岡部慧,平松武宏
日本循環器学会第 152 回東海・第 137 回北陸合同地方会 2018 年 10 月

心房細動アブレーションにおける TactiCath Sensor Enabled の有効性
柳沼莉絵[1],**嶋野祐之**,倉田貴規[1],安田健一郎[2],**森下佳洋,宮田紳治朗,柴田義久**
1:検査部 2:春日井市民病院循環器内科
カテーテルアブレーション関連秋季大会 2018 2018 年 11 月 宜野湾市

呼吸器内科

重症レジオネラ肺炎の 2 例
木村令,酒井麻里,稲垣雅康,町井春花,横山佑衣子,谷本光希,佐野未来,西山裕乃,篠塚怜衣,山田衣里子,高納崇,青山大輔,横山俊彦,野村史郎
第 84 回東海呼吸器感染症研究会 2018 年 1 月 名古屋市

関節リウマチにおける肺合併症のマネジメント
高納崇
膠原病・リウマチ疾患リスクマネジメントセミナー 2018 年 3 月 京都市

当院で経験した抗 ARS 抗体陽性間質性肺炎 12 例の検討
町井春花,稲垣雅康,酒井麻里,谷本光希,横山佑衣子,木村令,佐野未来,西山裕乃,篠塚怜衣,山田衣里子,高納崇,青山大輔,横山俊彦,野村史郎
第 58 回日本呼吸器学会学術講演会 2018 年 4 月 大阪市

当院における Osimertinib 投与例 24 例の検討
谷本光希,横山佑衣子,町井春花,木村令,佐野未来,西山裕乃,篠塚怜衣,山田衣里子,高納崇,青山大輔,横山俊彦,野村史郎
第 58 回日本呼吸器学会学術講演会 2018 年 4 月 大阪市

当院におけるアレルギー性気管支肺真菌症(ABPM)14 症例の臨床的検討
西山裕乃,酒井麻里,稲垣雅康,谷本光希,横山佑衣子,町井春花,佐野未来,木村令,篠塚怜衣,山田衣里子,高納崇,青山大輔,横山俊彦,野村史郎
第 58 回日本呼吸器学会学術講演会 2018 年 4 月 大阪市

早期からリハビリテーション介入を行い独歩にて自宅退院を果たした抗 MDA5抗体陽性皮膚筋炎に合併した急速進行性間質性肺炎の一例
西川大樹[1],松永佑哉[1],永井将貴[1],海老原恵理[1],近藤希依[1],武藤健人[1],藍澤洋介[1],岩田彩加[1],**町井春花**[2],**西山裕乃**[2],**横山俊彦**[2]

1:リハビリテーション科 2:呼吸器内科
第 5 回日本呼吸ケア・リハビリテーション学会東海地方会 2018 年 4 月 名古屋市

Osimertinib 治療中にうっ血性心不全を発症した肺腺癌の 1 例
稲垣雅康,酒井麻里,谷本光希,町井春花,横山佑衣子,佐野未来,西山裕乃,篠塚怜衣,高納崇,青山大輔,横山俊彦,野村史郎
第 131 回日本結核病学会東海地方学会,第 113 回日本呼吸器学会東海地方学会,第 16 回日本サルコイドーシス/肉芽腫性疾患学会中部支部会 2018 年 5 月 名古屋市

筋炎症状に間質性肺炎が先行した抗 ARS 抗体症候群の一例
酒井麻里,稲垣雅康,谷本光希,町井春花,横山佑衣子,木村令,佐野未来,西山裕乃,高納崇,青山大輔,横山俊彦,野村史郎
第 131 回日本結核病学会東海地方学会,第 113 回日本呼吸器学会東海地方学会,第 16 回日本サルコイドーシス/肉芽腫性疾患学会中部支部会 2018 年 5 月 名古屋市

経気管支生検にて診断し気管支鏡による AMPH-B 局所療法を施行した肺ムコール症の一例
横山佑衣子,稲垣雅康,酒井麻里,谷本光希,町井春花,木村令,佐野未来,西山裕乃,篠塚怜衣,高納崇,青山大輔,横山俊彦,野村史郎,森正一 [1],若松学 [2],坂口大俊 [2],吉田奈央 [2],加藤剛二 [2]
1:呼吸器外科 2:小児科
第 41 回日本呼吸器内視鏡学会学術集会 2018 年 5 月 東京都

慢性骨髄性白血病治療中に出現した大量胸水に対して胸膜生検施行し,Dasatinib による胸水貯留と診断した 1 例
篠塚怜衣,西山裕乃,酒井麻里,稲垣雅康,横山佑衣子,谷本光希,町井春花,佐野未来,木村令,山田衣里子,高納崇,青山大輔,横山俊彦,野村史郎
第 41 回日本呼吸器内視鏡学会学術集会 2018 年 5 月 東京都

がん検診のすすめ
野村史郎
中村区におけるがんの出張講座 2018 年 6 月 名古屋市中村区 中村図書館

固形癌患者における中心静脈ポート術後早期のポート感染・抜去例の検討
田中寛 [1],中野祐往 [2],永井英雅 [3],櫛原秀之 [4],濱嶋なぎさ [5],天野真由美 [5],**野村史郎**
1:乳腺内分泌外科 2:化学療法内科 3:一般消化器外科 4:薬剤部 5:看護部
第 16 回日本臨床腫瘍学会学術集会 2018 年 7 月 神戸市

HIV 関連感染症として発症したニューモシスチス肺炎の 1 例
荒木甫,稲垣雅康,酒井麻里,町井春花,谷本光希,横山佑衣子,高納崇,青山大輔,横山俊彦,野村史郎
日本内科学会東海支部主催第 235 回東海地方会 2018 年 7 月 浜松市

当院でのニボルマブの使用経験
谷本光希
Immuno-Oncology Seminar in NAGOYA 2018 年 9 月 名古屋市

集学的治療が奏効した肺ムコール症の一例
横山佑衣子 [1],横山俊彦 [1],青山大輔 [1],高納崇 [1],西山裕乃 [1],佐野未来 [1],谷本光希 [1],町井春花 [1],稲垣雅康 [1],酒井麻里 [1],野村史郎 [1],加藤剛二 [2],吉田奈央 [2],坂口大俊 [2],若松学 [2],森正一 [3]
1:呼吸器内科 2:小児科 3:呼吸器外科
第 85 回東海呼吸器感染症研究会 2018 年 9 月 名古屋市

高齢者肺炎とその予防について
野村史郎
平成 30 年度中村区医療・介護市民公開セミナー 2018 年 10 月 名古屋市中村区 中村区役所

手指衛生直接観察導入初年度の報告
吉村敦子 [1],美濃島慎 [2],向山直樹 [3],西山秀樹 [4],高坂久美子 [1],黒野康正 [3],**横山俊彦,野村史郎**
1:看護部 2:細胞診分子病理診断部 3:薬剤部 4:検査部
第 54 回日本赤十字社医学会総会 2018 年 11 月 名古屋市

名古屋第一赤十字病院におけるピンクリボン運動への取り組み
對比地美枝 [1],天野真由美 [1],大路小千代 [1],佐藤ひとみ [1],濱嶋なぎさ [1],太田浩美 [1],櫛原秀之 [2],中野祐往 [3],後藤康友 [4],**野村史郎**
1:看護部 2:薬剤部 3:化学療法内科 4:乳腺内分泌外科
第 54 回日本赤十字社医学会総会 2018 年 11 月 名古屋市

当院救命救急センターICU における人工呼吸器離脱プロトコール導入後の現状
山北利恵 [1],大岩未佳 [1],錦戸幸 [1],**横山俊彦**
1:看護部
第 54 回日本赤十字社医学会総会 2018 年 11 月 名古屋市

1st-line EGFR TKI 耐性後の非小細胞肺癌に対する Carboplatin+Pemetrexed+Bevacizumab 療法：CJLSG0908
高橋孝輔[1],後藤康洋[2],小笠原智彦[3],進藤丈[4],木村智樹[5],杉野安輝[6],中西亨[7],**野村史郎**,野崎裕広[8],竹山佳宏[9],今泉和良[2],齋藤博[1],長谷川好規[10]
1:愛知県がんセンター愛知病院呼吸器内科 2:藤田保健衛生大学 3:名古屋第二赤十字病院 4:大垣市民病院 5:公立陶生病院 6:小牧市民病院 7:公立西知多総合病院 8:常滑市民病院 9:豊橋市民病院 10:名古屋大学医学部
第 59 回日本肺癌学会学術集会 2018 年 11 月 東京都新宿区

当院における ALK 阻害剤投与症例 25 例の治療成績
谷本光希,野村史郎,横山俊彦,青山大輔,高納崇,篠塚怜衣,西山裕乃,佐野未来,横山佑衣子,町井春花,酒井麻里,稲垣雅康
第 59 回日本肺癌学会学術集会 2018 年 11 月 東京都新宿区

消化器内科

von Recklinghausen 病に十二指腸 GIST と膵体部癌を合併した 1 例
高野宏平
日本消化器病学会地方会 2018 年 6 月 名古屋市

大腸癌肝転移と鑑別困難だった空腸間膜リンパ節胚中心伸展性異形成の 1 例
谷本由佳[1],田中寛[1],湯浅典博[1],竹内英司[1],後藤康友[1],三宅秀夫[1],永井英雅[1],安藤良太[2],**春田純一**,宮田完志[1]
1:一般消化器外科 2:病理部
第 73 回日本消化器外科学会総会 2018 年 7 月 鹿児島市

入院後早期からの NST 介入への取り組み
伴野広幸[1],**春田純一**[1],清田篤志[1],黒野康正[1]
1:名古屋第一赤十字病院 NST
第 54 回日本赤十字社医学会総会 2018 年 10 月 名古屋市

A 型肝炎後に連続してサイトメガロウイルスを発症し肝障害が遷延した 1 例
上田遼太
日本消化器病学会東海支部第 129 回例会 2018 年 11 月 名古屋市

当院の潰瘍性大腸炎における Golimumab 使用例の検討
高野宏平
日本消化器病学会地方会 2018 年 11 月 名古屋市

小児科

出生から在宅への移行 －18 トリソミーを中心に－
丹羽早智子[1],**安田彩子**
1:精神科
第 3 回 周産期精神保健研究会 2018 年 1 月 名古屋市

小児再生不良性貧血に対するハプロ一致造血幹細胞移植の成績
成田敦[1],高橋義行[1],村松秀城[1],佐藤真穂[2],矢部普正[3],橋井佳子[4],田渕健[5,6],**吉田奈央**[7]
1:名古屋大学小児科 2:大阪母子医療センター血液・腫瘍科 3:東海大学小児科・細胞移植再生医療科 4:大阪大学小児科 5:東京都立駒込病院 小児科 6:東京都福祉保険局東京都地域がん登録室 7:小児血液腫瘍科
第 40 回日本造血細胞移植学会総会 2018 年 2 月 札幌市

小児に対する造血細胞移植後の非感染性肺合併症の発症と予後
坂口大俊,奥山美沙恵,前村遼,山森彩子,若松学,土居崎小夜子,吉田奈央,加藤剛二
第 40 回日本造血細胞移植学会総会 2018 年 2 月 札幌市

非寛解期小児急性白血病に対する造血細胞移植の成績
吉田奈央,奥山美沙恵,前村遼,山森彩子,若松学,坂口大俊,加藤剛二
第 40 回日本造血細胞移植学会総会 2018 年 2 月 札幌市

小児血液悪性疾患に対する同種造血細胞移植後の急性移植片対宿主病の後方視的検討
若松学,奥山美沙恵,前村遼,山森彩子,坂口大俊,吉田奈央,加藤剛二
第 40 回日本造血細胞移植学会総会 2018 年 2 月 札幌市

HLA 半合致移植後に播種性アスペルギルス症を発症した慢性肉芽腫症の一例
前村遼,奥山美沙恵,山森彩子,若松学,坂口大俊,吉田奈央,二神良治[1],唐川修平[1],小林正夫[1],亀井克彦[2],加藤剛二
1:広島大学大学院医歯薬保健学研究科小児科学 2:千葉大学真菌医学研究センター臨床感染症分野／附属病院 感染症内科
第 40 回日本造血細胞移植学会総会 2018 年 2 月 札幌市

HLA-DPB1 1 抗原不一致非血縁者間骨髄移植後に重症急性 GVHD を発症した 1 例
奥山美沙恵,前村遼,山森彩子,若松学,坂口大俊,吉田奈央,伊藤剛[1],**加藤剛二**
1:豊橋市民病院 小児科

第 40 回日本造血細胞移植学会総会　2018 年 2 月　札幌市

HLA 半合致移植後に播種性アスペルギルス症を発症した慢性肉芽腫症の1例
前村遼[1],**奥山美沙恵**[1],**山森彩子**[1],**若松学**[1],**坂口大俊**[1],**吉田奈央**[1],二神良治[2],唐川修平[2],小林正夫[2],亀井克彦[3],**加藤剛二**[1]
1:小児医療センター血液腫瘍科　2:広島大学大学院医歯薬保健学研究科小児科学　3:千葉大学真菌医学研究センター臨床感染症分野／附属病院　感染症内科
第 40 回日本造血細胞移植学会総会　2018 年 2 月　札幌市

Updated Treatment Algorithm for Children with Acquired Aplastic Anemia: A Report from the Japan Childhood Aplastic Anemia Study Group
Yoshida N, Narita A[1], Muramatsu H[1], Kobayashi R[2], Yabe H[3], Kudo K[4], Yagasaki H[5], Watanabe K[6], Morimoto A[7], Ito E[8], Ohga S[9], Ohara A[10], Takahashi Y[1], Kojima S[1]
1: Department of Pediatrics, Nagoya University Graduate School of Medicine, Nagoya, Japan　2: Department of Pediatrics, Sapporo Hokuyu Hospital, Sapporo, Japan　3: Department of Cell Transplantation and Regenerative Medicine, Tokai University School of Medicine, Isehara, Japan　4: Department of Pediatrics, Fujita Health University School of Medicine, Toyoake, Japan　5: Department of Pediatrics, Nihon University School of Medicine, Tokyo, Japan　6: Division of Hematology and Oncology, Shizuoka Children's Hospital, Shizuoka, Japan　7: Department of Pediatrics, Jichi Medical University School of Medicine, Shimotsuke, Japan　8: Department of Pediatrics, Hirosaki University Graduate School of Medicine, Hirosaki, Japan　9: Department of Pediatrics, Graduate School of Medical Sciences, Kyushu University, Fukuoka, Japan　10: Department of Pediatrics, Toho University School of Medicine, Tokyo, Japan
44th Annual Meeting of the European Society for Blood and Marrow Transplantation,　2018 年 3 月 Lisbon, Portugal

ベバシズマブ後の未熟児網膜症にレーザー治療を行い,網膜嚢胞所見を認めた一例
宇佐美欽通[1],小林三砂紀[1],佐藤英津子[1],**濱崎咲也子**,**落合加奈代**,**大城誠**
1:眼科
第 43 回日本小児眼科学会総会　2018 年 3 月　名古屋市

子どもの未来を守る医療
吉田奈央
第 7 回日本血液学会東海地方会　2018 年 4 月　名古屋市

小児再発難治性急性リンパ性白血病に対するクロファラビン併用療法
山森彩子,**前村遼**,**若松学**,**坂口大俊**,**吉田奈央**,**加藤剛二**
第 7 回日本血液学会東海地方会　2018 年 4 月　名古屋市

小児難治性特発性血小板減少性紫斑病に対するエルトロンボパグの使用経験
前村遼,**山森彩子**,**若松学**,**坂口大俊**,**吉田奈央**,**加藤剛二**
第 7 回日本血液学会東海地方会　2018 年 4 月　名古屋市

当院における成人先天性心疾患外来開設と今後の課題
福見大地,**三井さやか**,**大島康徳**
第 125 回東海小児循環器談話会　2018 年 4 月　名古屋市

神経調節性失神におけるヘッドアップティルトの自律神経機能解析
大島康徳,**三井さやか**,**福見大地**
第 121 回日本小児科学会学術集会　2018 年 4 月　福岡市

日本における Upfront-URBMT の可能性
吉田奈央,村松秀城[1],矢部普正[2],小林良二[3],工藤寿子[4],渡邉健一郎[5],高橋義行[1],小島勢二[1]
1:名古屋大学医学部附属病院小児科　2:東海大学細胞移植再生医療科　3:札幌北楡病院小児科　4:藤田保健衛生大学小児科　5:静岡県立こども病院血液腫瘍科
第 25 回小児再生不良性貧血治療研究会　2018 年 5 月　名古屋市

経気管支生検にて診断し気管支鏡による AMPH-B 局所療法を施行した肺無コール症の一例
横山佑衣子[1],稲垣雅康[1],酒井麻里[1],谷本光希[1],町井春花[1],木村令[1],佐野未来[1],西山裕乃[1],篠塚怜衣[1],高納崇[1],青山大輔[1],横山俊彦[1],野村史郎[1],森正一[2],**若松学**,**坂口大俊**,**吉田奈央**,**加藤剛二**
1:呼吸器内科　2:呼吸器外科
第 41 回日本呼吸器内視鏡学会学術集会　2018 年 5 月　東京都

小児の突然死を踏まえたジュニアアスリートへの対応
福見大地
第 10 回愛知県アスレティックトレーナー連絡協議会　2018 年 5 月　名古屋市

サイトメガロウイルス感染に関連した急性散在性脳脊髄炎に末梢神経障害を合併した小児の 1 例
竹内智哉
第 60 回日本小児神経学会学術集会　2018 年 5 月　千葉市

川崎病の 3rd therapy について
福見大地
第 38 回東海川崎病研究会　2018 年 5 月　名古屋市

小児再生不良性貧血・骨髄異形成症候群の診断と治療について
吉田奈央

第 30 回再生つばさの会総会・シンポジウム 2018 年 6 月 東京都

臍帯血移植を行ったガラクトシアリドーシス患児に対するリハビリテーション治療の経験
岩田彩加[1],中村和司[1],藍澤洋介[1],西川大樹[1],中山靖唯[1],早川勝[1],**前村遼**[2],**若松学**[2],**加藤剛二**[2]
1:リハビリテーション科 2:小児医療センター血液腫瘍科
第 55 回リハビリテーション医学会学術集会 2018 年 6 月 福岡市

新生児期から乳児期の軽症肺動脈弁狭窄の自然経過～新生児期に予測可能か？～
三井さやか,岸本泰明,福見大地,羽田野爲夫[1]
1:愛知県三河青い鳥医療療育センター
第 54 回日本小児循環器学会・学術集会 2018 年 7 月 横浜市

正常構造心の乳児における左室流入血流速波形と僧帽弁輪運動速波形の変化の検討
三井さやか,岸本泰明,福見大地,羽田野爲夫[1]
1:愛知県三河青い鳥医療療育センター
第 54 回日本小児循環器学会総会・学術集会 2018 年 7 月 横浜市

当院で在宅移行ができた 18 トリソミーの心合併症への介入の検討
朱逸清,三井さやか,岸本泰明,福見大地
第 54 回日本小児循環器学会総会・学術集会 2018 年 7 月 横浜市

極低出生体重児の発達評価における乳幼児自閉症チェックリスト修正版(M-CHAT)の有用性について
中山淳,鬼頭修,橋本佑樹,浅井幸奈,濱崎咲也子,藤城尚純,落合加奈代,新井紗記子,安田彩子,大城誠,丹羽早智子[1]
1:精神科
第 54 回日本周産期・新生児医学会学術集会 2018 年 7 月 東京都千代田区

臍肉芽腫に対する吉草酸ベタメタゾン軟膏の有用性に関する多施設共同無作為化比較試験
濱崎咲也子,佐藤義朗[1],棚橋義浩[2],杉山裕一朗[2],城所博之[3],早川昌弘[1]
1:名古屋大学病院総合周産期母子医療センター新生児部門 2:愛知県厚生連安城更生病院小児科 3:名古屋大学大学院医学系研究科小児科学
第 54 回日本周産期・新生児医学会学術集会 2018 年 7 月 東京都千代田区

供血児が失血性ショックによる低酸素虚脳症に陥った acute peripartum TTTS の一例
浅井幸奈,濱崎咲也子,橋本佑樹,新井紗記子,落合加奈代,藤城尚純,中山淳,安田彩子,大城誠,鬼頭修
第 54 回日本周産期・新生児医学会学術集会 2018 年 7 月 東京都千代田区

松果体腫瘍を発症した Down 症の 1 例
山下大紀,佐治木大知,山森彩子,前村遼,坂口大俊,吉田奈央,濱麻人,波多野寿[1],荻野浩幸[2]
1:脳神経外科 2:名古屋市立西部医療センター陽子線治療科
第 273 回日本小児科学会東海地方会 2018 年 7 月 名古屋市

Upfront UBMT for SAA
Yoshida N
APBMT SAAWP Consensus Meeting 2018 年 7 月 名古屋市

小児外来診療における抗菌薬の適正使用の推進
吉田奈央
第 20 回なかむら学術セミナー 2018 年 7 月 名古屋市

Engraftment syndrome: How to distinguish and treat?
Sakaguchi H
The International Congress of BMT 2018, 2018 年 8 月 Busan, Korea

Proteus mirabilis による 髄膜炎と多発膿瘍を来して 治療に難渋した新生児の 1 例
藤城尚純,浅井幸奈,間宮野里花,落合加奈代,新井紗記子,濱崎咲也子,中山淳,安田彩子,大城誠,鬼頭修
第 54 回中部日本小児科学会 2018 年 8 月 金沢市

集学的治療が奏効した肺ムコール症の一例
横山佑衣子[1],横山俊彦[1],青山大輔[1],高納崇[1],西山裕乃[1],佐野未来[1],谷本光希[1],町井春花[1],稲垣雅康[1],酒井麻里[1],野村史郎[1],**加藤剛二**[2],**吉田奈央**[2],**坂口大俊**[2],**若松学**[2],森正一[3]
1:呼吸器内科 2:小児科 3:呼吸器外科
第 85 回東海呼吸器感染症研究会 2018 年 9 月 名古屋市

小児再生不良性貧血・骨髄異形成症候群の診断と治療について.
吉田奈央
再生つばさの会 名古屋医療講演会 2018 年 9 月 名古屋市

先天性水頭症発症の１年後に診断された膠芽腫の１例
山森彩子,奥山美沙恵,山下大紀,佐治木大知,前村遼,坂口大俊,吉田奈央,伊藤雅文[1],波多野寿[2],濱麻人
1:病理部 2:脳神経外科
第 74 回東海小児がん研究会 2018 年 9 月 名古屋市

小児後天性再生不良性貧血の治療アルゴリズムー日本小児再生不良性貧血治療研究会よりー
吉田奈央,成田敦[1],村松秀城[1],小林良二[2],矢部普正[3],工藤寿子[4],谷ヶ崎博[6],渡邉健一郎[5],森本哲[7],伊藤悦朗[8],大賀正一[9],小原明[10],小島勢二[1],高橋義行[1]
1:名古屋大学小児科 2:札幌北楡病院小児科 3:東海大学細胞移植再生医療科 4:藤田保健衛生大学小児科 5:静岡県立こども病院血液腫瘍科 6:自治医科大学小児科 7:早稲田大学 8:九州大学小児科 9:東邦大学医療センター大森病院
第 80 回日本血液学会学術集会 2018 年 10 月 大阪市

小児移植後合併症に対する組み換え可溶性トロンボモジュリンによる治療
坂口大俊,前村遼,山森彩子,吉田奈央,濱麻人
第 80 回日本血液学会学術集会 2018 年 10 月 大阪市

外陰部の蜂窩織炎で発症した遅発型 B 群溶血性連鎖球菌感染症の一例
間宮野里花,尾関翔子,朱逸清,高本幸奈,藤城尚純,落合加奈代,新井紗記子,濱崎咲也子,中山淳,安田彩子,鬼頭修,大城誠
第 27 回東海新生児研究会 2018 年 11 月 名古屋市

当院における選定療養費導入よる小児救急時間外受診患者の変化
高本幸奈,佐治木大知,大城誠,北裏幸代[1],小島俊行[2],花木芳洋[2]
1:業務部医事サービス第二課 2:救急部
第 54 回日本赤十字社医学会総会 2018 年 11 月 名古屋市

組織的改善行動導入前後における極低出生体重児の暦 3 歳時予後
大城誠,高本幸奈,間宮野里花,藤城尚純,落合加奈代,濱崎咲也子,新井紗記子,中山淳,安田彩子,鬼頭修
第 63 回日本新生児成育医学会 2018 年 11 月 東京都千代田区

髄外病変を有す小児急性骨髄性白血病に対する同種造血細胞移植の成績
坂口大俊[1],宮村能子[2],富澤大輔[3],多賀崇[4],石田宏之[5],康勝好[6],後藤裕明[7],吉田奈央[1],佐藤真穂[8],野口磨依子[9],原純一[10],井上雅美[8],橋井佳子[2],熱田由子[11],日本造血細胞移植学会小児急性骨髄性白血病ワーキンググループ
1:名古屋第一赤十字病院小児医療センター血液腫瘍科 2:大阪大学小児科 3:国立成育医療センター病院小児がんセンター血液腫瘍科 4:滋賀医科大学小児科 5:京都市立病院小児科 6:埼玉県立小児医療センター血液・腫瘍科 7:神奈川県立こども医療センター血液・腫瘍科 8:大阪母子医療センター血液・腫瘍科 9:独立行政法人国立病院機構:九州がんセンター小児科 10:大阪市立総合医療センター小児血液腫瘍科 11:日本造血細胞データセンター
第 60 回日本小児血液・がん学会学術集会 2018 年 11 月 京都市

小児骨髄異形成症候群に対する臍帯血移植の成績.
吉田奈央,渡邉健一郎[1],濱麻人,山本将平[2],野口磨依子[3],笹原洋二[4],坂口大俊,橋井佳子[5],佐藤篤[6],熱田由子[7],長谷川大一郎[8]
1:静岡県立こども病院血液腫瘍科 2:昭和大学藤が丘病院 小児科 3:国立病院機構九州がんセンター 4:東北大学小児科 5:大阪大学大学院医学系研究科小児科学 6:宮城県立こども病院血液腫瘍科 7:日本造血細胞移植センター
第 60 回日本小児血液・がん学会学術集会 2018 年 11 月 京都市

小児難治性免疫性血小板減少性紫斑病に対するエルトロンボパグ療法
前村遼,山下大紀,佐治木大知,山森彩子,坂口大俊,吉田奈央,濱麻人
第 60 回日本小児血液・がん学会学術集会 2018 年 11 月 京都市

再発性若年性骨髄単球性白血病に対する HLA 半合致骨髄移植後に侵襲性肺炎球菌感染症を発症した１例
佐治木大知,山下大紀,前村遼,山森彩子,若松学,坂口大俊,吉田奈央,濱麻人
第 60 回日本小児血液・がん学会学術集会 2018 年 11 月 京都市

ダウン症関連急性巨核芽球性白血病再発例に対する同種骨髄移植
山森彩子,山下大紀,佐治木大知,前村遼,坂口大俊,吉田奈央,濱麻人
第 60 回日本小児血液・がん学会学術集会 2018 年 11 月 京都市

頭蓋内胚細胞腫瘍を発症した Down 症の１例
山下大紀[1],佐治木大知[1],前村遼[1],山森彩子[1],坂口大俊[1],吉田奈央[1],波多野寿[2],荻野浩幸[3],濱麻人[1]
1:小児医療センター血液腫瘍科 2:脳神経外科 3:名古屋市立西部医療センター 陽子線治療科
第 60 回日本小児血液・がん学会学術集会 2018 年 11 月 京都市

遺伝性骨髄不全症候群における骨髄形態学的特徴
濱麻人,長谷川大輔[1],真部淳[1],野沢和江[2],成田敦[3],奥野友介[3],村松秀城[3],高橋義行[3],渡邉健一郎[4],小原明[5],伊藤雅文[6],小島勢二[3]
1:聖路加国際病院小児科 2:聖路加国際病院臨床検査医学 3:名古屋大学大学院医学系研究科小児科 4:静岡県立こども病院 5:東邦大学医療センター輸血部 6:病理部
第 60 回日本小児血液・がん学会学術集会 2018 年 11 月 京都市

無熱期に冠動脈病変を来した不全型川崎病の１例
松本一希,大島康徳,三井さやか,福見大地

第 274 回日本小児科学会東海地方会　2018 年 11 月　名古屋市

Clinical utility of long-term follow-up program in patients who underwent hematopoietic stem cell transplantation in childhood
Doisaki S[1], Maemura R[1], Yamamori A[1], Nishikado Y[2], Sakaguchi H[1], Yoshida N[1], Ando T[3], Goto Y[4], Hattori R[5], Kato K[1], Hama A[1]
1: Department of Hematology and Oncology, Children's Medical Center, Japanese Red Cross Nagoya First Hospital 2: Department of Endocrinology, Children's Medical Center, Japanese Red Cross Nagoya First Hospital 3: Department of Obstetrics and Gynecology, Japanese Red Cross Nagoya First Hospital 4: Department of Breast and Endocrine Surgery, Japanese Red Cross Nagoya First Hospital 5. Department of Urology, Japanese Red Cross Nagoya First Hospital
The 50th Annual Congress of the International Society of Paediatric Oncology (SIOP 2018) in Kyoto, Japan, 16-19 November, 2018.

Hematopoietic Cell Transplantation for Children with Acute Megakaryoblastic Leukemia without Down Syndrome
Hama A[1], Taga T[2], Tomizawa D[3], Muramatsu H[4], Hasegawa D[5], Adachi S[6], Yoshida N[1], Noguchi M[7], Inoue M[8], Okada K[9], Koh K[10], Atsuta Y[11], Ishida H[12]
1: Department of Hematology and Oncology, Children's Medical Center, Japanese Red Cross Nagoya First Hospital, Nagoya 2: Department of Pediatrics, Shiga Medical University, Otsu 3: Division of Leukemia and Lymphoma, Children's Cancer Center, National Center for Child Health and Development, Tokyo 4: Department of Pediatrics, Nagoya University Graduate School of Medicine, Nagoya 5: Department of Hematology/Oncology, Hyogo Prefectural Kobe Children's Hospital, Kobe 6: Department of Human Health Science, Kyoto University, Kyoto 7: Department of Pediatrics, National Kyushu Cancer Center, Fukuoka 8: Department of Hematology/Oncology, Osaka Women's and Children's Hospital, Izumi 9: Department of Pediatric Hematology/Oncology, Osaka City General Hospital, Osaka 10: Department of Hematology/Oncology, Saitama Children's Medical Center, Saitama 11: Japanese Data Center for Hematopoietic Cell Transplantation, Nagoya 12: Department of Pediatrics, Kyoto City Hospital, Kyoto
The 60th Annual Meeting of the American Society of Hematology in San Diego, U.S.A, 3 December, 2018

一般消化器外科・乳腺内分泌外科

Stage Ⅱ,Ⅲ切除例における右側大腸癌の臨床病理学的特徴
深田浩志,湯浅典博,竹内英司,三宅秀夫,永井英雅,吉岡裕一郎,宮田完志
第 88 回大腸癌研究会　2018 年 1 月　東京都

胆管癌と膵癌の同時性重複癌の 1 例
山田恵一郎[1],村井淳志[1],富家未来[1],新井綾希子[1],河合雄一[1],伊藤茂樹[1],吉岡裕一郎,安藤良太[2],藤野雅彦[3]
1:放射線科 2:病理部 3:細胞診分子病理診断部
第 163 回日本医学放射線学会中部地方会　2018 年 2 月　名古屋市

幽門狭窄を呈した早期胃癌の 1 例
三木大地,吉岡裕一郎,湯浅典博,竹内英司,後藤康友,三宅秀夫,永井英雅,奥野正隆,田中寛,宮田完志
第 49 回愛知臨床外科学会　2018 年 2 月　名古屋市

Mucosal bridge を伴った巨大直腸絨毛状腺癌の 1 例
中瀬敦,南貴之,湯浅典博,竹内英司,後藤康友,三宅秀夫,永井英雅,吉岡裕一郎,奥野正隆,田中寛,宮田完志
第 49 回愛知臨床外科学会　2018 年 2 月　名古屋市

特徴的な臨床病理所見を呈した大腸癌による閉塞性腸炎の 2 例
杉浦孝太,奥野正隆,湯浅典博,竹内英司,後藤康友,三宅秀夫,永井英雅,吉岡裕一郎,田中寛
第 49 回愛知臨床外科学会　2018 年 2 月　名古屋市

Obesity is a poor prognostic factor for patients who had gastrectomy for Stage II/III gastric cancer
神原祐一,湯浅典博,竹内英司,三宅秀夫,永井英雅,吉岡裕一郎,奥野正隆,毛利康一,水野宏論,宮田完志
第 90 回日本胃癌学会総会　2018 年 3 月　横浜市

Prognostic value og blood data for long-term outcome in resected stage Ⅱ and Ⅲ gastric cancer
長尾拓哉,湯浅典博,竹内英司,三宅秀夫,永井英雅,吉岡裕一郎,宮田完志
第 90 回日本胃癌学会総会　2018 年 3 月　横浜市

Clinicopathological features of synchronous more than two gastric cancers
深田浩志,湯浅典博,竹内英司,三宅秀夫,永井英雅,吉岡裕一郎,奥野正隆,田中寛,長尾拓哉,前田真吾,神原祐一,浅井真理子,水野宏論,鶴田成昭,宮田完志
第 90 回日本胃癌学会総会　2018 年 3 月　横浜市

大腸閉塞に対する経肛門イレウス管留置に関連した合併症の検討
前田真吾,湯浅典博,竹内英司,後藤康友,三宅秀夫,永井英雅,吉岡裕一郎,奥野正隆,田中寛,宮田完志
第 54 回日本腹部救急医学会総会　2018 年 3 月　東京都

鼠径ヘルニア嵌頓により腹壁膿瘍を形成した S 状結腸癌の 1 例
水野宏論,湯浅典博,前田真吾,竹内英司,三宅秀夫,永井英雅,吉岡裕一郎,奥野正隆,田中寛,宮田完志
第 54 回日本腹部救急医学会総会　2018 年 3 月　東京都

StageⅡ/Ⅲ胃癌における CONUT 法の有用性の検討
奥野正隆,湯浅典博,竹内英司,後藤康友,三宅秀夫,永井英雅,吉岡裕一郎,田中寛,長尾拓哉,宮田完志
第 118 回日本外科学会定期学術集会　2018 年 4 月　東京都

大腸癌治癒切除症例予後予測因子としての術前平均赤血球容積および CONUT
吉岡裕一郎,湯浅典博,竹内英司,三宅秀夫,後藤康友,永井英雅,奥野正隆,田中寛,南貴之,長尾拓哉,前田真吾,毛利康一,浅井真理子,深田浩志,水野宏論,鶴田成昭,宮田完志
第 118 回日本外科学会定期学術集会 2018 年 4 月 東京都

胃癌根治切除例の長期予後を予測する心電図検査所見
毛利康一,湯浅典博,竹内英司,三宅秀夫,永井英雅,吉岡裕一郎,宮田完志
第 118 回日本外科学会定期学術集会 2018 年 4 月 東京都

大腸癌根治切除例の長期予後を予測する心電図検査所見
永井英雅,湯浅典博,竹内英司,後藤康友,三宅秀夫,吉岡裕一郎,宮田完志
第 118 回日本外科学会定期学術集会 2018 年 4 月 東京都

直腸癌術後に局所再発と鑑別困難な異物肉芽腫を生じた 1 例
堀田侑義,吉岡裕一郎,後藤康友,竹内英司,三宅秀夫,永井英雅,奥野正隆,田中寛,長尾拓哉,神原祐一,前田真吾,深田浩志,浅井真理子,水野宏論,鶴田成昭,宮田完志
第 118 回日本外科学会定期学術集会 2018 年 4 月 東京都

衝突を伴った同時性3多発胃癌の 1 例
黒柳雅文,長尾拓哉,湯浅典博,竹内英司,後藤康友,三宅秀夫,永井英雅,吉岡裕一郎,奥野正隆,田中寛,宮田完志
第 118 回日本外科学会定期学術集会 2018 年 4 月 東京都

S 状結腸癌術後に子宮転移を認めた結腸癌の 1 例
石際康平,湯浅典博,竹内英司,後藤康友,三宅秀夫,永井英雅,吉岡裕一郎,奥野正隆,田中寛,長尾拓哉,神原祐一,前田真吾,浅井真理子,深田浩志,水野宏論,鶴田成昭,宮田完志
第 118 回日本外科学会定期学術集会 2018 年 4 月 東京都

小腸大量切除により救命しえた大動脈解離による上腸間膜動脈血流障害の 2 例
水野宏論,湯浅典博,前田真吾,竹内英司,三宅秀夫,永井英雅,吉岡裕一郎,奥野正隆,田中寛,宮田完志
第 295 回東海外科学会総会 2018 年 4 月 名古屋市

鼠径部腫瘤に対する超音波検査の役割
杉浦孝太,湯浅典博,竹内英司,後藤康友,三宅秀夫,永井英雅,吉岡裕一郎,奥野正隆,田中寛,長尾拓哉,神原祐一,浅井真理子,深田浩志,水野宏論,鶴田成昭,宮田完志
第 295 回東海外科学会総会 2018 年 4 月 名古屋市

早期胃癌と胃悪性リンパ腫が同時に併存した 1 例
澤美麗,長尾拓哉,湯浅典博,竹内英司,後藤康友,三宅秀夫,永井英雅,吉岡裕一郎,宮田完志
第 295 回東海外科学会総会 2018 年 4 月 名古屋市

メッシュプラグの周囲に膿瘍を形成した結腸憩室炎の1例
岩田真衣,前田真吾,湯浅典博,竹内英司,後藤康友,三宅秀夫,永井英雅,吉岡裕一郎,奥野正隆,宮田完志
第 295 回東海外科学会総会 2018 年 4 月 名古屋市

慢性骨髄性白血病に対する骨髄移植後に異時性両側乳癌を発症し 4 回の手術を施行した 1 例
浅井真理子,後藤康友,湯浅典博,竹内英司,三宅秀夫,永井英雅,吉岡裕一郎,奥野正隆,田中寛,長尾拓哉,神原祐一,深田浩志,水野宏論,鶴田成昭,杉浦孝太,宮田完志
第 26 回日本乳癌学会学術総会 2018 年 5 月 京都市

膵頭十二指腸領域の悪性腫瘍を同時合併し術前診断が困難であった膵癌の 2 例
伊藤茂樹[1],山田恵一郎[1],村井淳志[1],富家未来[1],新井綾希子[1],河合雄一[1],**前田真吾**[2],**吉岡裕一郎**[2],安藤良太[3],伊藤藍[3],藤野雅彦[4]
1:放射線診断科 2:一般消化器外科 3: 病理部 4:細胞診分子病理診断部
第 32 回日本腹部放射線学会 2018 年 5 月 鎌倉市

A case of carcinoma of the ampulla of Vater with intestinal malrotation treated by pancreaticoduodenectomy
奥野正隆,三宅秀夫,永井英雅,吉岡裕一郎,田中寛
第 30 回日本肝胆膵外科学会・学術集会 2018 年 6 月 横浜市

待機的に腹腔鏡下天蓋切除術を施行した CEA 上昇を伴う脾嚢胞破裂の 1 例
奥野正隆,湯浅典博,竹内英司,後藤康友,三宅秀夫,永井英雅,吉岡裕一郎,田中寛,宮田完志
第 73 回日本消化器外科学会総会 2018 年 7 月 鹿児島市

鼠径部腫瘤を呈した子宮円索静脈瘤 11 例の臨床的検討
深田浩志,湯浅典博,竹内英司,三宅秀夫,永井英雅,吉岡裕一郎,奥野正隆,田中寛,長尾拓哉,神原祐一,浅井真理子,水野宏論,鶴田成昭,宮田完志
第 73 回日本消化器外科学会総会 2018 年 7 月 鹿児島市

大腸癌治癒切除例の長期予後を予測する血球マーカー
水野宏論,湯浅典博,竹内英司,三宅秀夫,永井英雅,吉岡裕一郎,宮田完志
第 73 回日本消化器外科学会総会 2018 年 7 月 鹿児島市

食道神経内分泌癌の1例
杉浦孝太,湯浅典博,竹内英司,後藤康友,三宅秀夫,永井英雅,吉岡裕一郎,奥野正隆,田中寛
第 73 回日本消化器外科学会総会 2018 年 7 月 鹿児島市

von Recklinghausen 病に十二指腸 GIST・膵癌を合併した 1 例
伊藤大貴,湯浅典博,竹内英司,後藤康友,三宅秀夫,永井英雅,吉岡裕一郎,奥野正隆,田中寛,長尾拓哉,前田真吾,神原祐一,深田浩志,浅井真理子,水野宏論,鶴田成昭,杉浦孝太,宮田完志
第 73 回日本消化器外科学会総会 2018 年 7 月 鹿児島市

von Hippel-Lindau 病にともなう 4 多発膵 NET の 1 例
太田美穂子,永井英雅,湯浅典博,竹内英司,後藤康友,三宅秀夫,吉岡裕一郎,奥野正隆,田中寛,宮田完志
第 73 回日本消化器外科学会総会 2018 年 7 月 鹿児島市

大腸癌肝転移と鑑別困難だった空腸間膜リンパ節胚中心伸展性異形成の 1 例
谷本由佳,田中寛,湯浅典博,竹内英司,後藤康友,三宅秀夫,永井英雅,安藤良太[1],春田純一[2],宮田完志
1:病理部 2:消化器内科
第 73 回日本消化器外科学会総会 2018 年 7 月 鹿児島市

術前 CT 診断し得た虫垂憩室炎の 2 例
重本有実,長尾拓哉,湯浅典博,竹内英司,三宅秀夫,永井英雅,吉岡裕一郎,宮田完志
第 73 回日本消化器外科学会総会 2018 年 7 月 鹿児島市

腸閉塞症例に対する 3D-CT-enterography の意義
長尾拓哉,湯浅典博,竹内英司,後藤康友,三宅秀夫,永井英雅,吉岡裕一郎,奥野正隆,田中寛,宮田完志
第 50 回愛知臨床外科学会 2018 年 7 月 名古屋市

水疱性類天疱瘡に合併した食道癌の一例
中島悠,湯浅典博,竹内英司,後藤康友,三宅秀夫,永井英雅,吉岡裕一郎,奥野正隆,宮田完志
第 50 回愛知臨床外科学会 2018 年 7 月 名古屋市

術前診断困難であった回盲部に多発した悪性リンパ腫の 1 例
大野由以佳,神原祐一,湯浅典博,竹内英司,後藤康友,三宅秀夫,永井英雅,吉岡裕一郎,奥野正隆,宮田完志
第 50 回愛知臨床外科学会 2018 年 7 月 名古屋市

静脈性血管炎による限局性小腸壊死の一例
鶴田成昭,湯浅典博,竹内英司,後藤康友,三宅秀夫,永井英雅,吉岡裕一郎,奥野正隆,田中寛,宮田完志
第 50 回愛知臨床外科学会 2018 年 7 月 名古屋市

固形癌患者における中心静脈ポート術後早期のポート感染・抜去例の検討
田中寛,中野祐往[1],永井英雅,櫛原秀之[2],濱嶋なぎさ[3],天野真由美[3],野村史郎[4]
1:化学療法内科 2:薬剤部 3:看護部 4:呼吸器内科
第 16 回日本臨床腫瘍学会学術集会 2018 年 7 月 神戸市

褐色細胞腫クリーゼ発症を契機に多発性内分泌腫瘍症 2B 型と診断された1例
水谷圭吾[1],清田篤志[1],吉藤真梨子[1],岡崎美香子[1],上田一裕[1],大川哲司[2],後藤康友,服部良平[3], 尾﨑信暁[1]
1:内分泌内科 2:岐阜県立多治見病院 3:泌尿器科
日本内科学会東海支部主催第 235 回東海地方会 2018 年 7 月 浜松市

卵巣転移で発見された虫垂の Goblet cell carcinoid の 1 例
伊藤茂樹[1],村井淳志[1],富家未来[1],新井綾希子[1],河合雄一[1],西子裕規[2],水野公雄[2],田中寛[3],桐山理美[4],藤野雅彦[5]
1:放射線診断科 2: 産婦人科 3:一般消化器外科 4:病理部 5:細胞診分子病理診断部
第 19 回 Japanese society for the advancemant of women's imaging 2018 年 8 月 淡路市

Overweight or obesity is an unfavourable long-term prognostic factor for patients who underwent gastrectomy for Stage II/III gastric cancer
Kambara Y, Yuasa N, Takeuchi E, Miyake H, Nagai H, Yoshioka Y, Okuno M, Miyata K
第 30 回 World congress of International Association of Surgeons, Gastroenterologists and Oncologists 2018 年 9 月 Moscow, Russia

Blood cell markers predicting long term outcome of patients with colorectal cancer
Mizuno H, Yuasa N, Takeuchi E, Miyake H, Nagai H, Yoshioka Y, Miyata K
第 30 回 World congress of International Association of Surgeons, Gastroenterologists and Oncologists 2018 年 9 月 Moscow, Russia

Electrocardiogram parameters predicting long-term outcomes in patients with colorectal cancer
Yuasa N, Takeuchi E, Miyake H, Nagai H, Minami T, Miyata K

第 30 回 World congress of International Association of Surgeons, Gastroenterologists and Oncologists 2018 年 9 月 Moscow, Russia

内頸静脈アプローチによる CV カテーテル・ポート留置後の カテーテル穿孔の 1 例
鶴田成昭,水野宏論,湯浅典博,竹内英司,後藤康友,三宅秀夫,永井英雅,吉岡裕一郎,奥野正隆,長尾拓哉,神原祐一,浅井真理子,深田浩志,杉浦孝太,宮田完志
第 296 回東海外科学会 2018 年 10 月 浜松市

バレット食道を背景に発生した低分化型腺癌の 1 例
福野貴仁,深田浩志,湯浅典博,吉岡裕一郎,竹内英司,後藤康友,三宅秀夫,永井英雅,奥野正隆,宮田完志
第 296 回東海外科学会 2018 年 10 月 浜松市

上行結腸 Micropapillary adenocarcinoma の 1 例
大見修也,浅井真理子,湯浅典博,竹内英司,三宅秀夫,永井英雅,吉岡裕一郎,宮田完志
第 296 回東海外科学会 2018 年 10 月 浜松市

虫垂 goblet cell carcinoid 5 例の臨床病理学的検討
神原祐一,湯浅典博,竹内英司,三宅秀夫,永井英雅,吉岡裕一郎,奥野正隆,田中寛,宮田完志
第 56 回日本癌治療学会学術集会 2018 年 10 月 横浜市

脾原発悪性リンパ腫 6 例の臨床病理学的検討
長尾拓哉,湯浅典博,竹内英司,三宅秀夫,永井英雅,吉岡裕一郎,宮田完志
第 56 回日本癌治療学会学術集会 2018 年 10 月 横浜市

大腸癌治癒切除症例予後予測因子としての CONUT
吉岡裕一郎,竹内英司
第 73 回日本大腸肛門病学会学術集会 2018 年 11 月 東京都

膵頭部に進展した門脈原発平滑筋肉腫の 1 例
土屋研人,奥野正隆,湯浅典博,竹内英司,後藤康友,三宅秀夫,永井英雅,吉岡裕一郎,宮田完志
第 54 回日本赤十字社医学会総会 2018 年 11 月 名古屋市

虫垂憩室炎と併存した虫垂 goblet cell carcinoid の 1 例
島本祐哉,湯浅典博,竹内英司,三宅秀夫,後藤康友,永井英雅,吉岡裕一郎,奥野正隆,長尾拓哉,浅井真理子,深田浩志,水野宏論,鶴田成昭,杉浦孝太,宮田完志
第 54 回日本赤十字社医学会総会 2018 年 11 月 名古屋市

術前に超音波診断しえた虫垂憩室炎の 1 例
池田幸陽,深田浩志,湯浅典博,竹内英司,後藤康友,三宅秀夫,永井英雅,吉岡裕一郎
第 54 回日本赤十字社医学会総会 2018 年 11 月 名古屋市

名古屋第一赤十字病院におけるピンクリボン運動への取り組み
對比地美枝[1],天野真由美[1],大路小千代[1],佐藤ひとみ[1],濱嶋なぎさ[1],太田浩美[1],櫛原秀之[2],中野祐往[3],後藤康友,野村史郎[4]
1:看護部 2:薬剤部 3:化学療法内科 4:呼吸器内科
第 54 回日本赤十字社医学会総会 2018 年 11 月 名古屋市

腹腔鏡補助下大腸全摘をおこなったサイトメガロスウイルス腸炎合併潰瘍性大腸炎，中毒巨大結腸症の 1 例
深田浩志,湯浅典博,竹内英司,三宅秀夫,永井英雅,吉岡裕一郎,奥野正隆,田中寛,宮田完志
第 80 回日本臨床外科学会総会 2018 年 11 月 東京都

内頸静脈経路中心静脈カテーテル・ポート留置 482 症例における関連合併症の検討
鶴田成昭,湯浅典博,竹内英司,後藤康友,三宅秀夫,永井英雅,吉岡裕一郎,浅井宗一郎,長尾拓哉,神原祐一,浅井真理子,深田浩志,水野宏論,杉浦孝太,宮田完志
第 80 回日本臨床外科学会総会 2018 年 11 月 東京都

Gastritis cystica profunda(GCP)を合併した胃癌の 2 例
杉浦孝太,湯浅典博,竹内英司,三宅秀夫,永井英雅,吉岡裕一郎,浅井宗一郎,宮田完志
第 80 回日本臨床外科学会総会 2018 年 11 月 東京都

神経内分泌細胞への分化を認めた食道低分化扁平上皮癌の 1 例
岡田優理奈,吉岡裕一郎,湯浅典博,竹内英司,後藤康友,三宅秀夫,永井英雅,奥野正隆,宮田完志
第 80 回日本臨床外科学会総会 2018 年 11 月 東京都

直腸切除後ドレーン抜去部に発症したヘルニア嵌頓の 1 例
太田尚正,奥野正隆,湯浅典博,竹内英司,後藤康友,三宅秀夫,永井英雅,吉岡裕一郎,宮田完志
第 80 回日本臨床外科学会総会 2018 年 11 月 東京都

緩和的胃空腸吻合術の短期治療成績
川辺佳苗,湯浅典博,竹内英司,後藤康友,三宅秀夫,永井英雅,吉岡裕一郎,奥野正隆,宮田完志
第 80 回日本臨床外科学会総会 2018 年 11 月 東京都

遠位胆管原発腺扁平上皮癌の 1 例
都島悠佑,長尾拓哉,湯浅典博,竹内英司,後藤康友,三宅秀夫,永井英雅,吉岡裕一郎,奥野正隆,神原祐一,深田浩志,浅井真理子,水野宏論,鶴田成昭,杉浦孝太,宮田完志
第 80 回日本臨床外科学会総会 2018 年 11 月 東京都

Clinical utility of long-term follow-up program in patients who underwent hematopoietic stem cell transplantation in childhood
Doisaki S[1], Maemura R[1], Yamamori A[1], Nishikado Y[2], Sakaguchi H[1], Yoshida N[1], Ando T[3], Goto Y[4], Hattori R[5], Kato K[1], Hama A[1]
1: Department of Hematology and Oncology, Children's Medical Center, Japanese Red Cross Nagoya First Hospital 2: Department of Endocrinology- Children's Medical Center, Japanese Red Cross Nagoya First Hospital 3: Department of Obstetrics and Gynecology, Japanese Red Cross Nagoya First Hospital 4: Department of Breast and Endocrine Surgery, Japanese Red Cross Nagoya First Hospital 5. Department of Urology, Japanese Red Cross Nagoya First Hospital
The 50th Annual Congress of the International Society of Paediatric Oncology (SIOP 2018) in Kyoto, Japan, 16-19 November, 2018.

手術関連多量出血死亡ゼロ化を目指す対応システムの構築
水野公雄[1,2],横田修一[2,4],永井英雅[2,5],近森清美[2,6],新井千香[2,6],園田綾[2,6],村上和代[2,7],梅基一夫[3],安田あゆ子[3],長尾能雅[3]
1:医療安全推進室・産婦人科 2:手術時多量出血対応 WG 3:名古屋大学医学部 ASUISHI プロジェクト推進室 4:麻酔科 5:一般消化器外科 6:看護部 7:輸血部
第 13 回医療の質・安全学会学術集会 2018 年 11 月 名古屋市

当院における HBOC 診療の立ち上げと課題
安藤智子[1],森山育実[2],畠山未来[2],坂堂美央子[1],後藤康友[3],尾﨑信暁[4]
1:産婦人科 2:遺伝カウンセリングセンター 3:乳腺内分泌外科 4:内分泌内科
第 54 回日本赤十字社医学会総会 2018 年 11 月 名古屋市

腹腔鏡下に腫瘍核出術を施行した胃神経鞘腫の 1 例
長尾拓哉,三宅秀夫,永井英雅,吉岡裕一郎,奥野正隆,神原祐一,深田浩志
第 31 回日本内視鏡外科学会総会 2018 年 12 月 福岡市

腹腔鏡下に切除した後腹膜 Paraganglioma の 1 例
深田浩志,湯浅典博,竹内英司,三宅秀夫,永井英雅,吉岡裕一郎,奥野正隆,田中寛,宮田完志
第 31 回日本内視鏡外科学会総会 2018 年 12 月 福岡市

心臓血管外科

亜急性期,慢性期 B 型解離性大動脈瘤に対する TEVAR での primary entry 閉鎖とその予後
澤木完成,伊藤敏明,前川厚生,所正佳,柳澤淳次,尾関貴啓,折居衛,雑賀俊行
第 48 回日本心臓血管外科学会学術総会 2018 年 2 月 名古屋市

僧帽弁位 MICS に併施する MICS Maze 手術の成績と妥当性
所正佳
第 48 回日本心臓血管外科学会学術総会 2018 年 2 月 名古屋市

Free RITA を用いた左回旋枝領域への sequential 吻合の有用性
尾関貴啓
第 48 回日本心臓血管外科学会学術総会 2018 年 2 月 名古屋市

弁輪破壊を伴う大動脈弁位感染性心内膜炎に対するウシ心膜を用いた左室流出路再建
折居衛
第 48 回日本心臓血管外科学会学術総会 2018 年 2 月 名古屋市

The ingenuity of single venous cannula from femoral vein and progress of cannula シンポジウム
Hiraki M[1], Ito T
1:臨床工学技術課
Japan MICS Summit2018(第 3 回日本低侵襲心臓手術学会学術集会) 2018 年 7 月 大阪市

胸腔鏡が拓く低侵襲手術の可能性
伊藤敏明
第 71 回日本胸部外科学会定期学術集会 2018 年 10 月 東京

心筋梗塞後心室中隔穿孔に対する、左室心内膜パッチ法による閉鎖
伊藤敏明
第 71 回日本胸部外科学会定期学術集会 2018 年 10 月 東京

MICS AVR
伊藤敏明

第 71 回日本胸部外科学会定期学術集会　2018 年 10 月　東京

MICS Mitral:My Technique and My Vision/3D Endoscope
伊藤敏明
第 71 回日本胸部外科学会定期学術集会　2018 年 10 月　東京

MICS における止血
伊藤敏明
第 71 回日本胸部外科学会定期学術集会　2018 年 10 月　東京

急性 A 型大動脈解離に対する術式検討-遠隔期 CT 所見と再手術を含む中期予後から
澤木完成
第 71 回日本胸部外科学会定期学術集会　2018 年 10 月　東京

MICS 僧帽弁手術の成績と安全性の追求～正中との比較検討～
所正佳
第 71 回日本胸部外科学会定期学術集会　2018 年 10 月　東京

MICS AVR vs 正中 AVR 手術成績と低侵襲性 -Totally Endoscopic Surgery の導入も含めて-
所正佳
第 71 回日本胸部外科学会定期学術集会　2018 年 10 月　東京

両側内胸動脈使用時の Free RITA の有用性と早期・遠隔期の術後成績の検討
尾関貴啓
第 71 回日本胸部外科学会定期学術集会　2018 年 10 月　東京

血管外科

摘出を予定して総大腿動脈にステントを留置した 2 例
徳永晴策,山本清人,錦見尚道
第 26 回日本血管外科学会東海・北陸地方会　2018 年 3 月　大垣市

呼吸器外科

肺血管造影 3D-CT による血管分枝の網羅的検討から肺葉切除定型化へ【術中血管分岐との合致率の検討と定型化達成率】
上野陽史,市川靖久,川角佑太,福本紘一,内山美佳,森正一
第 118 回日本外科学会低機器学術集会　2018 年 4 月　東京都

若年者自然気胸における PGA シート切除断端被覆の効果
上野陽史,市川靖久,川角佑太,福本紘一,内山美佳,森正一
第 35 回日本呼吸器外科学会総会　2018 年 5 月　千葉県

間質性肺炎合併気胸の検討
上野陽史,市川靖久,川角佑太,福本紘一,内山美佳,森正一
第 35 回日本呼吸器外科学会総会　2018 年 5 月　千葉県

左下葉切除後の荒蕪肺に対し残存肺全摘術を行った一例
川角佑太,市川靖久,上野陽史,福本紘一,内山美佳,森正一
第 35 回日本呼吸器外科学会総会学術集会　2018 年 5 月　千葉県

経気管支生検にて診断し気管支鏡による AMPH-B 局所療法を施行した肺ムコール症の一例
横山佑衣子[1],稲垣雅康[1],酒井麻里[1],谷本光希[1],町井春花[1],木村令[1],佐野未来[1],西山裕乃[1],篠塚怜衣[1],高納崇[1],青山大輔[1],横山俊彦[1],野村史郎[1],森正一,若松学[2],坂口大俊[2],吉田奈央[2],加藤剛二[2]
1:呼吸器内科　2:小児科
第 41 回日本呼吸器内視鏡学会学術集会　2018 年 5 月　東京都

若年者自然気胸におけるブラ切除断端 PGA シート単独被覆の再発予防効果
上野陽史,市川靖久,川角佑太,福本紘一,内山美佳,森正一
第 61 回関西胸部外科学会学術集会　2018 年 6 月　名古屋市

右側腎動静脈下縁まで進展した胸部神経節細胞腫に対して CO2 送気併用完全鏡視下に摘出し得た1例
市川靖久,川角佑太,上野陽史,福本紘一,内山美佳,森正一
第 61 回関西胸部外科学会学術集会　2018 年 6 月　名古屋市

両側アプローチにて en bloc 切除した縦隔脂肪肉腫の一例
川角佑太,市川靖久,上野陽史,福本紘一,内山美佳,森正一
第 61 回関西胸部外科学会学術集会　2018 年 6 月　名古屋市

集学的治療が奏効した肺ムコール症の一例
横山佑衣子[1],横山俊彦[1],青山大輔[1],高納崇[1],西山裕乃[1],佐野未来[1],谷本光希[1],町井春花[1],稲垣雅康[1],酒井麻里[1],野村史郎[1],加藤剛二[2],吉田奈央[2],坂口大俊[2],若松学[2],**森正一**[3]
1:呼吸器内科 2:小児科 3:呼吸器外科
第 85 回東海呼吸器感染症研究会 2018 年 9 月 名古屋市

肺良性転移性平滑筋腫症の1例
市川靖久,川角佑太,上野陽史,福本紘一,内山美佳,森正一
第 113 回日本肺癌学会中部支部学術集会 2018 年 9 月 静岡県

高齢者続発性気胸に対する手術治療の検討
上野陽史,市川靖久,川角佑太,福本紘一,内山美佳,森正一
第 71 回日本胸部外科学会定期学術集会 2018 年 10 月 東京都

肺癌に対する肺葉切除後乳び胸 17 例の検討
上野陽史,市川靖久,川角佑太,福本紘一,内山美佳,森正一
第 59 回日本肺癌学会学術集会 2018 年 11 月 東京都

受動喫煙との因果関係が推測された非喫煙者肺扁平上皮癌の一例
川角佑太,市川靖久,上野陽史,福本紘一,内山美佳,森正一
第 59 回日本肺癌学会学術集会 2018 年 11 月 東京都

形成外科

Multiple Miliary Osteomas of the Face の 1 例
林祐司,足立真実,河合朝奈
第 71 回東海形成外科学会 2018 年 2 月 名古屋

全腟閉鎖手術における剥離の工夫:電動デルマトームとフェザー採皮刀
加藤久美子[1],**足立真実**,**林祐司**,鈴木省治[1],川西秀治[1],松井宏考[1],永山洵[1],佐野友康[1],平林裕樹[1],鈴木弘一[1],服部良平[1]
1:泌尿器科
第 12 回日本骨盤臓器脱手術学会 2018 年 2 月 東京都

認知症・虚弱高齢者と子宮摘除後例を対象とした腟閉鎖術の周術期合併症
加藤久美子[1],鈴木省治[1],**足立真実**,**林祐司**,安藤良太[2],川西秀治[3],永山洵[3],松井宏考[3],加藤隆[3],平林裕樹[3],服部良平[3]
1:女性泌尿器科 2:病理部 3:泌尿器科
第 20 回日本女性骨盤底医学会 2018 年 7 月 東京都

RAZOR_TYPE DERMATOMES ENABLE QUICK AND THIN VAGINAL DISSECTION WITH LESS BLEEDING IN COLPOCLEISIS
Kato K[1], **Adachi M**[2], **Hayashi Y**[2], Ando R[3], Kawanishi H[4], Matsui H[4], Nagayama J[4], Hirabayashi H[4], Suzuki S[1], Hattori R[4]
1: Department of Female Urology, Japanese Red Cross Nagoya First Hospital 2: Department of Plastic Surgery, Japanese Red Cross Nagoya First Hospital 3: Department of Pathology, Japanese Red Cross Nagoya First Hospital 4: Department of Urology, Japanese Red Cross Nagoya First Hospital
ICS (International Continence Society 2018 年 8 月 Philadelphia

眼瞼下垂症手術およびインプラント乳房再建術について
林祐司
平成 30 年度中村区・海部医師会夜間研修会 2018 年 9 月 名古屋市

総排泄腔術後の腟狭窄に対する手術経験
安藤智子[1],**林祐司**
1:産婦人科
第 38 回日本性科学会学術集会 2018 年 9 月 名古屋市

Sister Mary Joseph's Nodule により発見された子宮体癌の 1 例
林祐司,菱田雅之
第 72 回東海形成外科学会 2018 年 11 月 名古屋市

スキン-テアの治療における皮膚縫合の利点と欠点
菱田雅之,河合朝奈,林祐司
第 54 回日本赤十字社医学会総会 2018 年 11 月 名古屋市

皮膚科

T-spot 陰性であった皮膚結核の一例
ジョン・ジンウク
第 283 回日本皮膚科学会東海地方会 2018 年 3 月 名古屋市

後天性寒冷多汗症の一例
今井聡子
第 284 回日本皮膚科学会東海地方会　2018 年 6 月　四日市市

非代謝性肝硬変症患者に発症したクリプトコッカス症の一例
今井聡子
第 286 回日本皮膚科学会東海地方会　2018 年 12 月　名古屋市

整形外科・リハビリテーション科・手外科・脊椎脊髄外科（Dr. ）

肘外傷後可動域獲得に難渋した一症例
佐藤陽[1],服部亜衣[1],西之園智子[1],**洪淑貴,堀井恵美子**
1:リハビリテーション科
第 5 回中部日本ハンドセラピィ研究会　2018 年 1 月　名古屋市

Osborne-Cotterill lesion を伴う陳旧性後外側回旋不安定性の治療経験
洪淑貴,堀井恵美子,大塚純子,杉浦洋貴,山賀崇
第 30 回肘関節学会学術集会　2018 年 2 月　東京都

尺骨近位端骨折に伴う内反肘変形の治療経験
堀井恵美子,洪淑貴,大塚純子
第 30 回日本肘関節学会　2018 年 2 月　東京

遠位上腕二頭筋腱不全断裂の 2 例
井戸洋旭,堀井恵美子,洪淑貴,大塚純子,山賀崇,長谷康弘
第 30 回日本肘関節外科学会学術集会　2018 年 2 月　東京

Reconstruction for congenital radial club hand through volar approach
Horii E, Koh S
World Symposium of Congenital Malformations on Hand and Upper Limb　2018 年 3 月　Hong Kong

Rotation Osteotomy for Congenital Radio-Ulnar Synostosis
Horii E, Koh S
World Symposium of Congenital Malformations on Hand and Upper Limb　2018 年 3 月　Hong Kong

Surgical Treatment for Kirner's Deformity - Single Osteotomy through a Palmar Approach
Koh S, Horii E, Otsuka J
11th World Symposium on Congenital Malformations of the Hand and Upper Limb　Mar 8-10, 2018　Hong Kong, China

当院の関節リウマチ患者における Tofacitinib の効果と安全性について
石川尚人
第 62 回日本リウマチ学会・総会　第 17 回 JAPAN RHEUMATOLOGY CONFERENCE　2018 年 4 月　東京都

特殊な母指多指症の臨床像と治療成績
堀井恵美子,洪淑貴
第 61 回日本手外科学会学術集会　2018 年 4 月　東京都

遠位橈尺関節変形性関節症の臨床像と治療経験
洪淑貴,堀井恵美子,大塚純子,山賀崇
第 61 回日本手外科学会学術集会　2018 年 4 月　東京都

脛骨高原骨折に対する関節内病変の検討
田中佑樹,堀井恵美子,山賀崇,井戸洋旭,長谷康弘
第 130 回中部日本整形外科災害外科学会　2018 年 4 月　愛媛県

病的骨折に対する BKP（Balloon Kyphoplasty）の治療経験
長谷康弘,八木秀樹,井戸洋旭,田中佑樹,井上英則
第 65 回東海整形外科外傷研究会　2018 年 6 月　名古屋市

膝前十字靱帯再建術における術前と術後早期の大腿四頭筋に対する質的・量的変化
高木寛人[1],山川桂子[1],打田健人[1],杉浦江美[1],**山本英樹**
1:リハビリテーション科
第 24 回日本最小侵襲整形外科学会　2018 年 11 月　名古屋市

手術加療により ADL 改善を認めた大腿骨病的骨折
長谷康弘,筑紫聡[1]
1:愛知県がんセンター

第 8 回名古屋運動器腫瘍セミナー　2018 年 11 月　名古屋市

高齢関節リウマチ患者における MTX と TNX 阻害薬治療の有効性・安全性に関する検討
石川尚人
第 18 回 JAPAN RHEUMATOLOGY CONFERENCE　第 33 回日本臨床リウマチ学会　2018 年 11 月　東京都

急性期アキレス腱断裂に対する超音波ガイド下経皮的縫合術の小経験
松浦唯
第 24 回日本最小侵襲外科学会　2018 年 11 月　名古屋市

産婦人科

不妊・不育症治療に使用する薬剤と注意点
安藤智子
平成 29 年度第 2 回愛知県病院薬剤師会　妊婦・授乳婦部会講演会　2018 年 2 月　名古屋市

治療に難渋した子宮腺肉腫卵巣転移の一例
大西主真,坂堂美央子,上田真子,江﨑正俊,木村晶子,三澤研人,福原伸彦,猪飼恵,坂田慶子,夫馬和也,西子裕規,三宅菜月,栗林ももこ,手塚敦子,齋藤愛,廣村勝彦,津田弘之,安藤智子,水野公雄
第 138 回東海産科婦人科学会　2018 年 3 月　名古屋市

妊娠中に診断し得た血管輪の一例
江﨑正俊,津田弘之,上田真子,大西主真,木村晶子,三澤研人,福原伸彦,猪飼恵,坂田慶子,夫馬和也,西子裕規,三宅菜月,栗林ももこ,手塚敦子,齋藤愛,坂堂美央子,廣村勝彦,安藤智子,水野公雄
第 138 回東海産科婦人科学会　2018 年 3 月　名古屋市

Outcome of placental abruption in 75patients: The comparison of maternal and neonatal outcomes between groups with or without maternal transfer
Onishi K, Tsuda H, Ueda M, Esaki M, Kimura A, Misawa K, Fukuhara N, Ikai M, Sakata K, Fuma K, Nishiko Y, Miyake N, Maseki Y, Kuribayashi M, Tezuka A, Saito A, Hando M, Hiromura K, Ando T, Mizuno K
第 70 回日本産科婦人科学会学術講演会　2018 年 5 月　仙台市

帝王切開できずに搬送となった 5 症例についての検討
栗林ももこ,古橋円,夫馬和也,西子裕規,三宅菜月,柵木善旭,手塚敦子,安藤智子,水野公雄
第 70 回日本産科婦人科学会学術講演会　2018 年 5 月　仙台市

妊娠中の表在子宮静脈の自然破裂によって腹腔内大量出血をきたした 2 例
三宅菜月,柵木善旭,栗林ももこ,手塚敦子,津田弘之,安藤智子,水野公雄
第 70 回日本産科婦人科学会学術講演会　2018 年 5 月　仙台市

産後出血に対する子宮収縮促進剤による出血量の比較検討
江﨑正俊,津田弘之,大西主真,上田真子,木村晶子,坂田慶子,夫馬和也,柵木善旭,手塚敦子,安藤智子,水野公雄
第 70 回日本産科婦人科学会学術講演会　2018 年 5 月　仙台市

胚移植妊娠が分娩時出血に及ぼす影響とその要因
木村晶子,安藤智子,柵木善旭,栗林ももこ,手塚敦子,齋藤愛,津田弘之,水野公雄,玉腰浩司[1]
1:名古屋大学保健学科
第 70 回日本産科婦人科学会学術講演会　2018 年 5 月　仙台市

脳神経外科病棟看護師と排尿ケアチームの連携
加藤留美子[1],伊藤真粧美[1],福山直美[1],奥田哲也[2],中村由美[3],**安藤智子**[4],服部良平[5],加藤久美子[6]
1:看護部　2:リハビリテーション科　3:業務部医事サービス第二課　4:産婦人科 5:泌尿器科　6:女性泌尿器科
第 31 回日本老年泌尿器科学会　2018 年 5 月　福井市

排尿ケアチーム介入における週間排尿日誌の有用性
伊藤真粧美[1],福山直美[1],加藤留美子[1],奥田哲也[2],中村由美[3],**安藤智子**[4],服部良平[5],加藤久美子[6]
1:看護部　2:リハビリテーション科　3:業務部医事サービス第二課　4:産婦人科　5:泌尿器科　6:女性泌尿器科
第 31 回日本老年泌尿器科学会　2018 年 5 月　福井市

排尿ケアチームによる間欠自己導尿（CIC）指導へのかかわりを振り返った一事例～排尿自立の支援に向けて～
福山直美[1],伊藤真粧美[1],加藤留美子[1],奥田哲也[2],加藤久美子[3],服部良平[4],**安藤智子**,中村由美[5]
1:看護部　2:リハビリテーション科　3:女性泌尿器科　4:泌尿器科　5:業務部医事サービス第二課
第 31 回日本老年泌尿器科学会　2018 年 5 月　福井市

生魚摂取により Edwardsiella tarda に感染し IUFD をきたした 1 例
上田真子,朝比奈録央,正橋佳樹,大西主真,奥原充香,江﨑正俊,木村晶子,三澤研人,猪飼恵,坂田慶子,夫馬和也,西子裕規,栗林ももこ,手塚敦子,齋藤愛,坂堂美央子,廣村勝彦,津田弘之,安藤智子,水野公雄

第 107 回愛知産科婦人科学会　2018 年 6 月　名古屋市

子宮筋腫核出術7年後に発症した良性子宮平滑筋腫の一例
奥原充香,朝比奈録央,正橋佳樹,上田真子,大西主真,江﨑正俊,木村晶子,三澤研人,猪飼恵,坂田慶子,夫馬和也,西子裕規,栗林ももこ,手塚敦子,齋藤愛,坂堂美央子,廣村勝彦,津田弘之,安藤智子,水野公雄
第 107 回愛知産科婦人科学会　2018 年 6 月　名古屋市

双胎経腟分娩後に発症した特発性腎出血の一例
大西主真,津田弘之,上田真子,坂田慶子,夫馬和也,西子裕規,三宅菜月,柵木善旭,栗林ももこ,手塚敦子,齋藤愛,坂堂美央子,廣村勝彦,水野公雄
第 54 回日本周産期・新生児医学会学術集会　2018 年 7 月　東京都

妊娠中に発見された全身の多発動脈瘤合併妊娠の一例
柵木善旭,水野公雄,津田弘之,廣村勝彦,齋藤愛,坂堂美央子,手塚敦子,西子裕規,三宅菜月,夫馬和也,木村晶子,大西主真,上田真子
第 54 回日本周産期・新生児医学会学術集会　2018 年 7 月　東京都

感染性心内膜炎に罹患した妊娠悪阻の 1 例
夫馬和也,津田弘之,柵木善旭,手塚敦子,水野公雄
第 54 回日本周産期・新生児医学会学術集会　2018 年 7 月　東京都

妊娠 14 週で発症した Mirror 症候群の一例
江﨑正俊,津田弘之,夫馬和也,柵木善旭,手塚敦子,水野公雄
第 54 回日本周産期・新生児医学会学術集会　2018 年 7 月　東京都

子宮体癌または子宮内膜異型増殖症において妊孕性温存療法を選択し不妊治療を施行した 8 例の転帰
齋藤愛,福原伸彦,江口智子,安藤智子
第 36 回日本受精着床学会　2018 年 7 月　千葉市

採卵後 11 日目に胎嚢が確認でき、調節卵巣刺激中の自然排卵により妊娠したことが判明した 1 例
福原伸彦,安藤智子,齋藤愛,浅田義正[1]
1:浅田レディースクリニック
第 36 回日本受精着床学会　2018 年 7 月　千葉市

卵巣転移で発見された虫垂の Goblet cell carcinoid の 1 例
伊藤茂樹[1],村井淳志[1],富家未来[1],新井綾希子[1],河合雄一[1],西子裕規[2],水野公雄[2],田中寛[3],桐山理美[4],藤野雅彦[5]
1:放射線診断科　2:産婦人科　3:一般消化器外科　4:病理部　5:細胞診分子病理診断部
第 19 回 Japanese society for the advancemant of women's imaging　2018 年 8 月　淡路市

同側に卵管間質部妊娠を反復し腹腔鏡手術を施行した一例
齋藤愛,江﨑正俊,木村晶子,猪飼恵,西子裕規,坂堂美央子,廣村勝彦,安藤智子
第 58 回日本産科婦人科内視鏡学会　2018 年 8 月　松江市

同種骨髄移植後患者における CIN3 に対する腹腔鏡下子宮全摘術後、偶発的に子宮頸部腺様基底細胞癌を認めた一例
木村晶子,廣村勝彦,江﨑正俊,猪飼恵,齋藤愛,坂堂美央子,安藤智子
第 58 回日本産科婦人科内視鏡学会　2018 年 8 月　松江市

医学的適応による女性の妊孕性温存に関する選択についての検討
三宅菜月,大西主真,江﨑正俊,猪飼恵,西子裕規,齋藤愛,安藤智子
第 63 回日本生殖医学会学術総会　2018 年 9 月　旭川市

当院における子宮頚部非扁平上皮癌 148 例の臨床的検討
坂堂美央子,大西主真,江﨑正俊,木村晶子,三澤研人,猪飼恵,夫馬和也,西子裕規,廣村勝彦,水野公雄
第 60 回日本婦人科腫瘍学会学術講演会　2018 年 9 月　京都市

Three cases of advanced and recurrent endometrial cancer with medroxyprogesterone acetate therapy
Esaki M, Hiromura K, Kimura A, Fuma K, Nishiko Y, Miyake N, Hando M, Mizuno K
17th Biennial Meeting of the International Gynecologic Cancer Society (IGCS2018)　2018 年 9 月　京都市

Lymphangioleiomyomatosis mimicking metastases of left ovarian granulosa cell tumor: A case report
Onishi K, Hiromura K, Ueda M, Esaki M, Kimura A, Misawa K, Fukuhara N, Ikai M, Sakata K, Fuma K, Nishiko Y, Miyake N, Maseki Y, Kuribayashi M, Tezuka A, Saito A, Hando M, Tsuda H, Ando T, Mizuno K
17th Biennial Meeting of the International Gynecologic Cancer Society (IGCS2018)　2018 年 9 月　京都市

総排泄腔術後の腟狭窄に対する手術経験
安藤智子,林祐司[1]
1:形成外科
第 38 回日本性科学会学術集会　2018 年 9 月　名古屋市

BEV 併用化学療法中に消化管穿孔をきたした進行・再発子宮頸癌の2症例
奥原充香,坂堂美央子,朝比奈録央,正橋佳樹,上田真子,大西主真,江﨑正俊,木村晶子,三澤研人,猪飼恵,夫馬和也,西子裕規,栗林ももこ,手塚敦子,齋藤愛,廣村勝彦,津田弘之,安藤智子,水野公雄
第 108 回愛知産科婦人科学会 2018 年 10 月 名古屋市

当院における骨盤位外回転術の成績とその成功因子についての検討
正橋佳樹,津田弘之,朝比奈録央,上田真子,大西主真,江﨑正俊,奥原充香,木村晶子,三澤研人,猪飼恵,夫馬和也,西子裕規,栗林ももこ,手塚敦子,坂堂美央子,齋藤愛,廣村勝彦,安藤智子,水野公雄
第 108 回愛知産科婦人科学会 2018 年 10 月 名古屋市

ターナー症候群女性の卵巣機能に関する検討
奥原充香,安藤智子,木村晶子,福原伸彦,猪飼恵,西子裕規,栗林ももこ,坂堂美央子,齋藤愛
第 33 回日本女性医学学会 2018 年 11 月 岐阜市

診断と治療効果判定に MRI が有用であった腸管子宮内膜症の 4 例
齋藤愛,奥原充香,木村晶子,福原伸彦,猪飼恵,西子裕規,栗林ももこ,坂堂美央子,安藤智子
第 33 回日本女性医学学会 2018 年 11 月 岐阜市

梅毒合併妊娠 5 症例の検討
栗林ももこ,安藤智子,奥原充香,木村晶子,福原伸彦,猪飼恵,西子裕規,坂堂美央子,齋藤愛
第 33 回日本女性医学学会 2018 年 11 月 岐阜市

GnRHantagonist-agonist 法による採卵 11 日目に胎嚢を確認した 1 例
安藤智子,齋藤愛
第 28 回臨床内分泌代謝 Update 2018 年 11 月 福岡市

当院における HBOC 診療の立ち上げと課題
安藤智子,森山育実[1],畠山未来[1],坂堂美央子,後藤康友[2],尾﨑信暁[3]
1:遺伝カウンセリングセンター 2:乳腺内分泌外科 3:内分泌内科
第 54 回日本赤十字社医学会総会 2018 年 11 月 名古屋市

当院のがん・生殖医療への取り組み
齋藤愛,安藤智子,江口智子,上田真子,大西主真,奥原充香,木村晶子,三澤研人,猪飼恵,夫馬和也,西子裕規,栗林ももこ,手塚敦子,坂堂美央子,廣村勝彦,津田弘之,水野公雄
第 54 回日本赤十字社医学会総会 2018 年 11 月 名古屋市

妊娠初期より絨毛膜下血腫のために入院管理を要した 12 症例の検討
夫馬和也,津田弘之,朝比奈録央,正橋佳樹,上田真子,大西主真,江﨑正俊,奥原充香,木村晶子,三澤研人,猪飼恵,夫馬和也,西子裕規,栗林ももこ,手塚敦子,坂堂美央子,齋藤愛,廣村勝彦,安藤智子,水野公雄
第 54 回日本赤十字社医学会総会 2018 年 11 月 名古屋市

超音波残尿測定器配置における病棟看護師の排尿ケア習熟度への影響
福山直美[1],伊藤真粧美[1],加藤留美子[1],井内豊子[1],中村由美[2],奥田哲也[3],安藤智子,加藤久美子[4],服部良平[5]
1:看護部 2:業務部医事サービス第二課 3:リハビリテーション科 4:女性泌尿器科 5:泌尿器科
第 54 回日本赤十字社医学会総会 2018 年 11 月 名古屋市

手術関連多量出血死亡ゼロ化を目指す対応システムの構築
水野公雄[1,2],横田修一[2,4],永井英雅[2,5],近森清美[2,6],新井千香[2,6],園田綾[2,6],村上和代[2,7],梅基一夫[3],安田あゆ子[3],長尾能雅[3]
1:医療安全推進室・産婦人科 2:手術時多量出血対応 WG 3:名古屋大学医学部 ASUISHI プロジェクト推進室 4:麻酔科 5:一般消化器外科 6:看護部 7:輸血部
第 13 回医療の質・安全学会学術集会 2018 年 11 月 名古屋市

Clinical utility of long-term follow-up program in patients who underwent hematopoietic stem cell transplantation in childhood
Doisaki S[1], Maemura R[1], Yamamori A[1], Nishikado Y[2], Sakaguchi H[1], Yoshida N[1], Ando T[3], Goto Y[4], Hattori R[5], Kato K[1], Hama A[1]
1: Department of Hematology and Oncology, Children's Medical Center, Japanese Red Cross Nagoya First Hospital 2: Department of Endocrinology- Children's Medical Center, Japanese Red Cross Nagoya First Hospital 3: Department of Obstetrics and Gynecology, Japanese Red Cross Nagoya First Hospital 4: Department of Breast and Endocrine Surgery, Japanese Red Cross Nagoya First Hospital 5. Department of Urology, Japanese Red Cross Nagoya First Hospital
The 50th Annual Congress of the International Society of Paediatric Oncology (SIOP 2018) in Kyoto, Japan, 16-19 November, 2018.

脳神経外科

椎骨動脈起始部慢性閉塞に対しステント留置を行った 1 例
服部健一
第 43 回日本脳卒中学会 2018 年 3 月 博多市

脳動脈瘤に対するステントコイル塞栓術のステント留置時の tips
和田健太郎,服部健一,岡本剛,奥村太郎,伊藤圭志,羽生健人,藤谷繁,波多野寿
第 47 回脳卒中学会総会 2018 年 3 月 福岡市

もやもや病に伴う破裂脳室内動脈瘤に対して内視鏡下にてクリッピング術を行った 1 例
和田健太郎,竹内和人[1],**伊藤圭志**,**羽生健人**,**木部祐士**,**藤谷繁**,**服部健一**,**岡本剛**,**波多野寿**
1:名古屋大学大学院医学系研究科脳神経外科学
第 47 回脳卒中学会総会 2018 年 3 月 福岡市

キアリ奇形 3 型 1 例の治療経験
伊藤圭志,**波多野寿**,**服部健一**,**岡本剛**,**藤谷繁**,**和田健太郎**,**羽生健人**,**奥村太郎**
第 94 回日本脳神経外科学会中部支部学術集会 2018 年 4 月 福井市

Subarachnoid hemorrhage phosphorylates neuronal nitric oxide synthase at Ser1412 in the dentate gyrus of the rat brain
Wada K[1], Osuka K[2], Watanabe Y[3], Usuda N[4], Fukasawa M[4], Araki Y[1], Okamoto S[1], Wakabayashi T[1]
1: Department of Neurosurgery, Nagoya University Graduate School of Medicine, Nagoya, Japan 2: Department of Neurological Surgery, Aichi Medical University, Nagakute Japan 3: High Technology Research Center, Pharmacology, Showa Phamaceutical University, Tokyo, Japan 4: Department of Anatomy Ⅱ, Fujita Health University School of Medicine, Aichi, Japan
2018 AANS Annual Scientific Meeting 2018 年 5 月 NEW ORLEANS USA

松果体腫瘍を発症した Down 症の 1 例
山下大紀[1],佐治木大知[1],山森彩子[1],前村遼[1],坂口大俊[1],吉田奈央[1],濱麻人[1],**波多野寿**,荻野浩幸[2]
1:小児科 2:名古屋市立西部医療センター陽子線治療科
第 273 回日本小児科学会東海地方会 2018 年 7 月 名古屋市

髄膜炎・敗血症後に脳梗塞を来した新生児の 1 例
羽生健人
Mt.Fuji Workshop on CVD 2018 年 8 月 名古屋市

先天性水頭症発症の 1 年後に診断された膠芽腫の 1 例
山森彩子[1],奥山美沙恵[1],山下大紀[1],佐治木大知[1],前村遼[1],坂口大俊[1],吉田奈央[1],伊藤雅文[2],**波多野寿**,濱麻人[1]
1:小児科 2:病理部
第 74 回東海小児がん研究会 2018 年 9 月 名古屋市

R-MPV 療法導入後の当院の治療成績
羽生健人
日本脳神経外科学会第 77 回学術総会 2018 年 10 月 仙台市

脳転移を手術病理組織診断によって確認した乳房外 Paget 病の一例
藤谷繁
日本脳神経外科学会第 77 回学術総会 2018 年 10 月 仙台市

当院の脳主幹動脈閉塞症に対する急性期血栓回収療法の現状
和田健太郎,**服部健一**,**岡本剛**,**奥村太郎**,**伊藤圭志**,**羽生健人**,**藤谷繁**,**波多野寿**
日本脳神経外科学会第 77 回学術総会 2018 年 10 月 仙台市

中枢神経系侵襲性アスペルギルス症の 5 例
伊藤圭志,**波多野寿**,**服部健一**,**岡本剛**,**藤谷繁**,**和田健太郎**,**羽生健人**,**奥村太郎**
日本脳神経外科学会第 77 回学術総会 2018 年 10 月 宮城市

虚血発症の脳底動脈解離が経過 1 週間で SAH となり血管内治療を行った 1 例
和田健太郎,**服部健一**,**岡本剛**,**奥村太郎**,**伊藤圭志**,**羽生健人**,**藤谷繁**,**波多野寿**
第 39 回くも膜下出血研究会 2018 年 10 月 名古屋市

MPO-ANCA 関連腎炎の寛解中に ANCA 力価の上昇を伴わずに硬膜・髄膜炎を呈した多発血管炎性肉芽腫の 1 例
本田大祐[1],髙阪勇輔[1],森盟[1],小森祥太[1],平野聡子[1],渡邉はづき[1],馬渕直紀[1],後藤洋二[1],真野和夫[1],**波多野寿**,伊藤藍[2],鷲野将也[3]
1:神経内科 2:病理部 3:腎臓内科
第 152 回日本神経学会東海北陸地方会 2018 年 11 月 名古屋市

虚血発症の脳底動脈解離が経過 1 週間で SAH となり、stent coil 治療を行った 1 例
奥村太郎
第 34 回 NPO 法人日本脳神経血管内治療学会学術総会 2018 年 11 月 仙台市

急性期血栓回収療法から脳血管内治療を始める術者が習得すべき技術とは何か？
和田健太郎,**服部健一**,**岡本剛**,**奥村太郎**,**伊藤圭志**,**羽生健人**,**藤谷繁**,**波多野寿**
第 34 回 NPO 法人日本脳神経血管内治療学会学術総会 2018 年 11 月 仙台市

脳動脈瘤塞栓術における中間カテーテルの有用性について
服部健一
第 34 回日本脳神経血管内治療学会 2018 年 11 月 仙台市

頭蓋内胚細胞腫瘍を発症した Down 症の 1 例
山下大紀[1],佐治木大知[1],前村遼[1],山森彩子[1],坂口大俊[1],吉田奈央[1],**波多野寿**[2],荻野浩幸[3],濱麻人[1]
1:小児医療センター血液腫瘍科 2:脳神経外科 3:名古屋市立西部医療センター 陽子線治療科
第 60 回日本小児血液・がん学会学術集会 2018 年 11 月 京都市

眼科

ベバシズマブ後の未熟児網膜症にレーザー治療を行い,網膜嚢胞所見を認めた一例
宇佐美欽通,小林三砂紀,佐藤英津子,濱崎咲也子[1],落合加奈代[1],大城誠[1]
1:小児科
第 43 回日本小児眼科学会総会 2018 年 3 月 名古屋市

耳鼻咽喉科

ボイスプロテーゼ 周囲より漏れを生じた 2 症例
寺田聡広,鈴木淳志
第 28 回日本頭頸部外科学会総会 学術講演会 2018 年 1 月 宇都宮市

高齢者難聴と補聴器、学会の取り組みについて
柘植勇人
平成 29 年度 補聴器販売者技技能向上研修会 2018 年 1 月 名古屋市

補聴器外来における医療連携と工夫
大西俊,柘植勇人,鈴木克尚,伊藤潤平,鈴木淳志,寺田聡広,曾根三千彦[1]
1:名古屋大学医学部耳鼻咽喉科
第 172 回日本耳鼻咽喉科学会東海地方部会連合講演会 2018 年 3 月 名古屋市

耳鳴りの治療 その本質と具体的手法
柘植勇人
Center of Excellence Ⅲ 2018 年 4 月 名古屋市

補聴器外来における工夫
大西俊,柘植勇人,鈴木克尚,伊藤潤平,鈴木淳志,寺田聡広,曾根三千彦[1]
1:名古屋大学医学部耳鼻咽喉科
第 119 回日本耳鼻咽喉科学会総会・学術講演会 2018 年 5 月 横浜市

当院におけるニボルマブ投与症例
鈴木淳志,寺田聡広
第 42 回日本頭頸部癌学会 2018 年 6 月 東京都

補聴器に関わる各種申請と補聴器店との関わり
柘植勇人
東海地方部会補聴器相談医更新講習会 2018 年 6 月 名古屋市

耳鳴に対する補聴器フィッティング:「聴覚過敏の壁」からの発展
柘植勇人,加藤大介,三宅杏季,藥師寺政美,加藤由記,曾根三千彦[1]
1:名古屋大学医学部耳鼻咽喉科
第 4 回耳鳴・難聴研究会 2018 年 7 月 東京都

中等度一側難聴の補聴器活用・方針について
加藤大介,柘植勇人,三宅杏季,藥師寺政美,加藤由記
第 4 回耳鳴・難聴研究会 2018 年 7 月 東京都

咽後膿瘍を疑われた川崎病の症例
鈴木克尚,柘植勇人,横井麻衣,石田彩乃,鈴木淳志,寺田聡広,曾根三千彦[1]
1:名古屋大学医学部耳鼻咽喉科
第 31 回日本口腔・咽頭科学会総会・学術講演会 2018 年 9 月 名古屋市

耳鳴補聴から難聴者の補聴器フィッティングへの活用
柘植勇人,加藤大介,三宅杏季,藥師寺政美,加藤由記,曾根三千彦[1]
1:名古屋大学医学部耳鼻咽喉科
第 63 回日本聴覚医学会総会・学術講演会 2018 年 10 月 神戸市

中等度一側難聴の補聴器活用についての考察
加藤大介,柘植勇人,三宅杏季,藥師寺政美,加藤由記
第 63 回日本聴覚医学会総会・学術講演会 2018 年 10 月 神戸市

中耳真珠腫に対するＺ形成を応用した外耳道形成術
柘植勇人,植田広海[1],伊藤潤平[2],曾根三千彦[2]
1:愛知医科大学医学部耳鼻咽喉科 2:名古屋大学医学部耳鼻咽喉科
第 28 回日本耳科学会総会学術講演会 2018 年 10 月 大阪市

高齢者難聴と補聴器、学会の取り組みについて
柘植勇人
平成 30 年度 補聴器販売者技技能向上研修会 2018 年 10 月 名古屋市

パネルディスカッション 領域講習 「難聴者が補聴器を満足して使用できるために」
柘植勇人
第 19 回補聴器適合研修会 2018 年 11 月 名古屋市

麻酔科

eGFR 値と 24 時間蓄尿による CCr 値の乖離に影響を与える因子を多変量解析を用いて予測した研究
森玲央那,貝沼関志[1],平井昴宏[2],鈴木章吾[2],西脇公俊[2]
1:稲沢市民病院麻酔科 2:名古屋大学医学部附属病院麻酔科
第 45 回日本集中治療医学会学術集会 2018 年 2 月 千葉市

MICS（minimally invasive cardiac surgery）における術中大動脈解離を経食道心エコーで早期に診断し得た 1 例
北尾岳,**片岡万紀子**,**森玲央那**,**杉田衣津子**
日本心臓血管麻酔学会第 23 回学術大会 2018 年 9 月 東京都

緊急肝動脈バイパス術の麻酔導入後に上部消化管出血が疑われた1例
北尾岳,**片岡万紀子**,**森玲央那**,**杉田衣津子**
日本心臓血管麻酔学会第 23 回学術大会 2018 年 9 月 東京都

肺動脈カテーテルコネクタからの血液漏出をきっかけとして判明したカテーテル損傷の2例
片岡万紀子,**北尾岳**,**森玲央那**,**杉田衣津子**
日本心臓血管麻酔学会第 23 回学術大会 2018 年 9 月 東京都

先天性気管無形成症の麻酔経験
角田翔太郎,**内山沙恵**,**横田修一**
日本小児麻酔学会第 24 回大会 2018 年 10 月 神戸市

手術関連多量出血死亡ゼロ化を目指す対応システムの構築
水野公雄[1,2],**横田修一**[2,4],永井英雅[2,5],近森清美[2,6],新井千香[2,6],園田綾[2,6],村上和代[2,7],梅基一夫[3],安田あゆ子[3],長尾能雅[3]
1:医療安全推進室・産婦人科 2:手術時多量出血対応 WG 3:名古屋大学医学部 ASUISHI プロジェクト推進室 4:麻酔科 5:一般消化器外科 6:看護部 7:輸血部
第 13 回医療の質・安全学会学術集会 2018 年 11 月 名古屋市

泌尿器科・女性泌尿器科

「世界的逆風の中にありながら，着実に根付いている和製ガラパゴス TVM」
加藤久美子
第 12 回日本骨盤臓器脱手術学会 2018 年 2 月 東京都

過活動膀胱の行動療法・薬物療法 Tips and Traps
加藤久美子
第 12 回日本骨盤臓器脱手術学会 2018 年 2 月 東京都

全腟閉鎖手術における剥離の工夫：電動デルマトームとフェザー採皮刀
加藤久美子,足立真実[1],林祐司[1],**鈴木省治**,**川西秀治**,**松井宏考**,**永山洵**,**佐野友康**,**平林裕樹**,**鈴木弘一**,**服部良平**
1:形成外科
第 12 回日本骨盤臓器脱手術学会 2018 年 2 月 東京都

女性泌尿器科の種を蒔く～尿失禁・骨盤臓器脱の初期診療と動向
加藤久美子
日本女医会愛知県支部 学術講演会 2018 年 2 月 名古屋市

3 大学関連施設におけるエンザルタミドの治療成績
平林裕樹
Prostate Cancer Meeting 2018 2018 年 3 月 名古屋市

腎細胞がんの薬物療法 ヴォトリエントの使用経験
平林裕樹
N.Y.C RCC Seminar 2018 年 3 月 名古屋市

ウレアーゼ産生菌による尿路感染症から高アンモニア血症を来し癲癇重積状態となった 1 例
川西秀治,永山洵,松井宏考,佐野友康,平林裕樹,鈴木弘一,鈴木省治,加藤久美子,服部良平
日本泌尿器科学会東海地方会 2018 年 3 月 名古屋市

増加する尿失禁・骨盤臓器脱をどう診るか
加藤久美子
第 12 回排泄ケアを考える会 2018 年 3 月 北九州市

尿失禁・頻尿と骨盤臓器脱 初期診療のポイント
加藤久美子
愛知県西部地区泌尿器科講演会 2018 年 3 月 名古屋市

経腟メッシュ手術(TVM)2000 例超の術後合併症－許容範囲か
加藤久美子,鈴木省治,川西秀治,松井宏考,永山洵,佐野友康,平林裕樹,鈴木弘一,服部良平
第 106 回日本泌尿器科学会総会 2018 年 4 月 京都市

骨盤臓器脱患者における骨盤底筋収縮の経会陰超音波による非侵襲的測定の可能性
大内みふか[1,2],橘田岳也[1],菅野由岐子[1],樋口まどか[1],築山真由子[1],東郷未緒[1], 守屋仁彦[1],**加藤久美子**,篠原信雄[1]
1:北海道大学大学院 2:北海道医療大学リハビリテーション科学部理学療法学科
第 106 回日本泌尿器科学会総会 2018 年 4 月 京都市

メッシュ手術後の子宮脱再発にリングペッサリーの使用は妥当か
鈴木省治,加藤久美子,川西秀治,永山洵,松井宏考,佐野友康,平林裕樹,鈴木弘一,服部良平
第 106 回日本泌尿器科学会総会 2018 年 4 月 京都市

当院での腹腔鏡下腎切石術の経験
川西秀治,鈴木弘一,加藤久美子,鈴木省治,平林裕樹,佐野友康,永山洵,松井宏考,服部良平
第 106 回日本泌尿器科学会総会 2018 年 4 月 京都市

腎摘除後の対側腎代償性肥大における肥大領域の検討
永山洵,吉野能[1],**服部良平**,山本徳則[1],舟橋康人[1],松川宜久[1],王成龍[2],森健策[2],後藤百万[1]
1:名古屋大学大学院 2:名古屋大学大学院情報科
第 106 回日本泌尿器科学会総会 2018 年 4 月 京都市

転移性腎盂尿路上皮癌の臨床的検討
佐野友康,**服部良平**,上平修[1],山田伸[2],辻克和[3],佐々直人[4],後藤百万[4]
1:小牧市民病院 2:岡崎市民病院 3:JCHO 中京病院 4:名古屋大学医学部附属病院
第 106 回日本泌尿器科学会総会 2018 年 4 月 京都市

7 cm 以上の腎癌に対する腹腔鏡下腎摘除術の検討
松井宏考,**服部良平**,佐々直人[1],藤田高史[1],辻克和[2],上平修[3],山田伸[4],後藤百万[1]
1: 名古屋大学大学院病態外科学講座 2:JCHO 中京病院 3:小牧市民病院 4:岡崎市民病院
第 106 回日本泌尿器科学会総会 2018 年 4 月 京都市

去勢抵抗性前立腺癌(CRPC) における二次治療のフルタミドの効果によるエンザルタミドおよびアビラテロンの効果予測について
錦見俊徳[1],加藤真史[2],山本晃之[5],小嶋一平[5],柏木佑太[4],山田浩史[1],上平修[3],**服部良平**,後藤百万[2]
1:名古屋第二赤十字病院 2:名古屋大学 3:小牧市民病院 4:岡崎市民病院 5:豊橋市民病院
第 106 回日本泌尿器科学会総会 2018 年 4 月 京都市

Evaluation of diagnostic ability in preoperative diagnosis of upper tract urothelial carcinoma —Comparison of urine cytology and UroVysion—
Sassa N[1], Hattori R[2], Tsuzuki T[2], **Sano T**[3], Nishikimi T[4], Kimura T[5], Ishida S[1], Kato M[1], Gotoh M[1]
1:Graduate School of Medicine, Nagoya University 2:Department of Pathology, School of Medicine, Aichi Medical University 3:Japanese Red Cross Nagoya Daiichi Hospital 4:Japanese Red Cross Nagoya Daini Hospital 5:Chukyo Hospital
第 106 回日本泌尿器科学会総会 2018 年 4 月 京都市

Simultaneous surgery of uterine prolapse and mesh exposure
Suzuki S, Kato K, Kawanishi H, Matsui H, Nagayama J, Sano T, Hirabayashi H, Suzuki K, Hattori R
16th UAA (16th Urological Association of Asia Congress 2018) 2018 年 4 月 Kyoto

経腟メッシュ手術(TVM)後の LUTS と合併症－どう扱うか
加藤久美子
第 28 回名古屋ウロダイ塾 2018 年 5 月 名古屋市

脳神経外科病棟看護師と排尿ケアチームの連携
加藤留美子[1],伊藤真粧美[1],福山直美[1],奥田哲也[2],中村由美[3],安藤智子[4],**服部良平**[5],**加藤久美子**[6]
1:看護部 2:リハビリテーション科 3:業務部医事サービス第二課 4:産婦人科 5:泌尿器科 6:女性泌尿器科
第 31 回日本老年泌尿器科学会 2018 年 5 月 福井市

排尿ケアチーム介入における週間排尿日誌の有用性
伊藤真粧美[1],福山直美[1],加藤留美子[1],奥田哲也[2],中村由美[3],安藤智子[4],**服部良平**[5],**加藤久美子**[6]
1:看護部 2:リハビリテーション科 3:業務部医事サービス第二課 4:産婦人科 5:泌尿器科 6:女性泌尿器科
第 31 回日本老年泌尿器科学会 2018 年 5 月 福井市

排尿ケアチームによる間欠自己導尿(CIC)指導へのかかわりを振り返った一事例～排尿自立の支援に向けて～
福山直美[1],伊藤真粧美[1],加藤留美子[1],奥田哲也[2],**加藤久美子**,**服部良平**,安藤智子[3],中村由美[4]
1:看護部 2:リハビリテーション科 3:産婦人科 4:業務部医事サービス第二課
第 31 回日本老年泌尿器科学会 2018 年 5 月 福井市

直腸癌を疑われた TVM 術後 8 年目の直腸メッシュ露出の 1 例
川西秀治,加藤久美子,永山洵,松井宏考,加藤隆,平林裕樹,鈴木省治,服部良平
第 278 回日本泌尿器科学会東海地方会 2018 年 6 月 名古屋市

Mesh exposure and chronic pain after transvaginal mesh prolapse operations: out of permissible range?
Kato K, Suzuki S, Kawanishi H, Nagayama J, Matsui H, Hirabayashi H, Hattori R
43rd Annual Meeting of International Urogynecological Association (IUGA) 2018.6.29 Vienna

第 9 回経腟メッシュ講習会「合併症」
加藤久美子
第 20 回日本女性骨盤底医学会 2018 年 7 月 東京都

直腸癌を疑われた TVM 術後 8 年目の直腸メッシュ露出の一例. 特別企画「トラブルシューティング～あなたのトラブル解決します」
川西秀治,加藤久美子,松井宏考,平林裕樹,鈴木省治,服部良平
第 20 回日本女性骨盤底医学会 2018 年 7 月 東京都

第 9 回経腟メッシュ講習会「合併症」
加藤久美子
第 20 回日本女性骨盤底医学会 2018 年 7 月 東京都

認知症・虚弱高齢者と子宮摘除後例を対象とした腟閉鎖術の周術期合併症
加藤久美子,鈴木省治,足立真実[1],林祐司[1],安藤良太[2],**川西秀治,永山洵,松井宏考,加藤隆,平林裕樹,服部良平**
1:形成外科 2:病理部
第 20 回日本女性骨盤底医学会 2018 年 7 月 東京都

VUR に対する気膀胱下 Cohen 法の経験
平林裕樹
Urology Seminar 2018 年 7 月 名古屋市

女性の尿トラブル 初期診療・紹介のポイント
加藤久美子
平成スキルアップセミナー 2018 年 7 月 名古屋市

褐色細胞腫クリーゼ発症を契機に多発性内分泌腫瘍症 2B 型と診断された1例
水谷圭吾[1],清田篤志[1],吉藤真梨子[1],岡崎美香子[1],上田一裕[1],大川哲司[2],後藤康友[3],**服部良平**,尾﨑信暁[1]
1:内分泌内科 2:岐阜県立多治見病院 3:乳腺内分泌外科
日本内科学会東海支部主催第 235 回東海地方会 2018 年 7 月 浜松市

当院における腹腔鏡下無阻血腎部分切除術の臨床的検討
平林裕樹,川西秀治,松井宏考,村松知昭,加藤隆,鈴木省治,加藤久美子,服部良平
第 32 回日本泌尿器内視鏡学会総会 2018 年 7 月 仙台市

排尿障害と性機能障害
加藤久美子
第 30 回東海ストーマリハビリテーション講習会 2018 年 8 月 名古屋市

RAZOR_TYPE DERMATOMES ENABLE QUICK AND THIN VAGINAL DISSECTION WITH LESS BLEEDING IN COLPOCLEISIS
Kato K[1], Adachi M[2], Hayashi Y[2], Ando R[3], **Kawanishi H**[4], **Matsui H**[4], **Nagayama J**[4], **Hirabayashi H**[4], **Suzuki S**[1], **Hattori R**[4]
1: Department of Female Urology, Japanese Red Cross Nagoya First Hospital 2: Department of Plastic Surgery, Japanese Red Cross Nagoya First Hospital 3: Department of Pathology, Japanese Red Cross Nagoya First Hospital 4: Department of Urology, Japanese Red Cross Nagoya First Hospital
ICS (International Continence Society 2018 年 8 月 Philadelphia

EVALUATING OF PELVIC FLOOR MUSCLE FUNCTIONS USING TWO_DIMENSIONAL TRANSPERINEAL ULTRASOUND IN PELVIC ORGAN PROLAPSE
Ouchi M[1], Kitta T[1], Kanno Y[1], Higuchi M[1], Togo M[1], Takahashi Y[1], Moriya K[1], Shinohara N[1], **Kato K**
1: Department of Urology, Hokkaido University
ICS (International Continence Society 2018 年 8 月 Philadelphia

女性の尿トラブル：頻尿・尿もれ・脱の悩みの予防と対策
加藤久美子
名古屋市教育委員会　2018 年 8 月　名古屋市

Cons 骨盤臓器脱には術式の使い分けが必要である. Pros and cons 企画「腹腔鏡下仙骨腟固定術（LSC）がベストの術式である」
加藤久美子
第 25 回日本排尿機能学会　2018 年 9 月　名古屋市

気膀胱手術
平林裕樹
第 2 回東海泌尿器科研究会　2018 年 9 月　名古屋市

女性 UUI（切迫性尿失禁）に対する治療戦略
加藤久美子
トビエース名古屋講演会　2018 年 9 月　名古屋市

女性の尿失禁と骨盤臓器脱－生活指導・薬・手術
加藤久美子
北名古屋薬剤師会　2018 年 9 月　清須市

稀な症状で発症した乳頭状腎癌の 2 例
伊藤茂樹[1],村井淳志[1],富家未来[1],河合雄一[1],**松井宏考**[2],**平林裕樹**[2],**鈴木省治**[2],**服部良平**[2],安藤良太[3],伊藤藍[3],藤野雅彦[4]
1:放射線診断科　2:泌尿器科　3:病理部　4:細胞診分子病理診断部
第 6 回 Japanese society of uroradiologicand therapeutic technology　2018 年 9 月　京都市

稀な症状で発症した乳頭状腎癌の 2 例
伊藤茂樹[1],村井淳志[1],富家未来[1],河合雄一[1],**松井宏考**[2],**平林裕樹**[2],**鈴木省治**[2],**服部良平**[2],安藤良太[3],伊藤藍[3],藤野雅彦[4]
1:放射線診断科　2:泌尿器科　3:病理部　4:細胞診分子病理診断部
第 54 回日本医学放射線学会秋季臨床大会　2018 年 10 月　福岡

腹腔鏡技術認定合格のために
服部良平
第 68 回日本泌尿器科学会中部総会　2018 年 10 月　名古屋市

The efficacy of enzalutamide for castration-resistant prostate cancer (CRPC) patients with intraductal carcinoma of the prostate (IDC-P)
Kawanishi H[1], Yamamoto A[2], Kato M[3], Hattori K[4], Nishikimi T[4], Ishikawa T[5], Yuba T[6], Suzuki A[7], **Hattori R**[1], Tsuzuki T[8], Goto M[3]
1: Japanese Red Cross Nagoya Daiichi Hospital　2: Toyohashi Municipal Hospital　3: Nagoya University Graduate School of Medicine　4: Japanese Red Cross Nagoya Daini Hospital　5: Japan Community Health Care Organization Chukyo Hospital　6: Kariya Toyota General Hospital　7: National Hospital Organization Nagoya Medical Center　8: Aichi Medical University Hospital
The 56th Annual Meeting of the Japan Society of Clinical Oncology　2018 年 10 月　横浜市

7cm 以上の腎癌における予後因子の検討
松井宏考[1],**服部良平**[1],辻克和[2],絹川常郎[2],上平修[3],山田伸[4],佐々直人[5],藤田高史[5],後藤百万[5]
1:泌尿器科　2:JCHO 中京病院　3:小牧市民病院　4:岡崎市民病院　5:名古屋大学医学部附属病院
第 68 回日本泌尿器科学会中部総会　2018 年 10 月　名古屋市

超音波残尿測定器配置における病棟看護師の排尿ケア習熟度への影響
福山直美[1],伊藤真粧美[1],加藤留美子[1],井内豊子[1],中村由美[2],奥田哲也[3],安藤智子[4],**加藤久美子**,**服部良平**
1:看護部　2:業務部医事サービス第二課　3:リハビリテーション科　4:産婦人科
第 54 回日本赤十字社医学会総会　2018 年 10 月　名古屋市

Laparoscopic partial nephrectomy for posterior hilar tumors: techniques and clinical outcomes
Hattori R
7th Emirates International Urological Conference　2018 年 11 月　Dubai

Clinical utility of long-term follow-up program in patients who underwent hematopoietic stem cell transplantation in childhood
Doisaki S[1], Maemura R[1], Yamamori A[1], Nishikado Y[2], Sakaguchi H[1], Yoshida N[1], Ando T[3], Goto Y[4], **Hattori R**[5], Kato K[1], Hama A[1]
1: Department of Hematology and Oncology, Children's Medical Center, Japanese Red Cross Nagoya First Hospital　2: Department of Endocrinology- Children's Medical Center, Japanese Red Cross Nagoya First Hospital　3: Department of Obstetrics and Gynecology, Japanese Red Cross Nagoya First Hospital　4: Department of Breast and Endocrine Surgery, Japanese Red Cross Nagoya First Hospital　5. Department of Urology, Japanese Red Cross Nagoya First Hospital
The 50th Annual Congress of the International Society of Paediatric Oncology (SIOP 2018) in Kyoto, Japan, 16-19 November, 2018.

当院における腹腔鏡下腎盂尿管切石術および腎切石術の検討
川西秀治,**平林裕樹**,**松井宏考**,**加藤隆**,**鈴木省治**,**加藤久美子**,**服部良平**
第 32 回日本泌尿器科内視鏡学会総会　2018 年 11 月　仙台市

女性尿失禁 UUI と SUI の治療戦略
加藤久美子
かかりつけ医のための排尿障害セミナー 2018 年 11 月 上田市

知って安心 女性の尿トラブル
加藤久美子
大治町保健センター講演会 2018 年 11 月 大治町

骨盤臓器脱および尿失禁手術の合併症とその対処法
加藤久美子
第 70 回西日本日本泌尿器科学会総会 2018 年 11 月 長崎市

化学療法内科

固形癌患者における中心静脈ポート術後早期のポート感染・抜去例の検討
田中寛[1],**中野祐往**,永井英雅[2],櫛原秀之[3],濱嶋なぎさ[4],天野真由美[4],野村史郎[5]
1:乳腺内分泌外科 2:一般消化器外科 3:薬剤部 4:看護部 5:呼吸器内科
第 16 回日本臨床腫瘍学会学術集会 2018 年 7 月 神戸市

名古屋第一赤十字病院におけるピンクリボン運動への取り組み
對比地美枝[1],天野真由美[1],大路小千代[1],佐藤ひとみ[1],濱嶋なぎさ[1],太田浩美[1],櫛原秀之[2],**中野祐往**,後藤康友[3],野村史郎[4]
1:看護部 2:薬剤部 3:乳腺内分泌外科 4:呼吸器内科
第 54 回日本赤十字社医学会総会 2018 年 11 月 名古屋市

放射線科

胆管癌と膵癌の同時性重複癌の 1 例
山田恵一郎,**村井淳志**,**富家未来**,**新井綾希子**,**河合雄一**,**伊藤茂樹**,吉岡裕一郎[1],安藤良太[2],藤野雅彦[3]
1:一般消化器外科 2:病理部 3:細胞診分子病理診断部
第 163 回日本医学放射線学会中部地方会 2018 年 2 月 名古屋市

腸間膜に発生した血管脂肪腫の 1 例
富家未来,**山田恵一郎**,**村井淳志**,**新井綾希子**,**河合雄一**,**伊藤茂樹**,藤野雅彦[1]
1:細胞診分子病理診断部
第 163 回日本医学放射線学会中部地方会 2018 年 2 月 名古屋市

膵頭十二指腸領域の悪性腫瘍を同時合併し術前診断が困難であった膵癌の 2 例
伊藤茂樹[1],**山田恵一郎**[1],**村井淳志**[1],**富家未来**[1],**新井綾希子**[1],**河合雄一**[1],前田真吾[2],吉岡裕一郎[2],安藤良太[3],伊藤藍[3],藤野雅彦[4]
1:放射線診断科 2:一般消化器外科 3:病理部 4:細胞診分子病理診断部
第 32 回日本腹部放射線学会 2018 年 5 月 鎌倉市

髄外造血によると考えられた肝腫瘤の 1 例
河合雄一[1],**山田恵一郎**[1],**村井淳志**[1],**富家未来**[1],**新井綾希子**[1],**伊藤茂樹**[1],藤野雅彦[2]
1:放射線診断科 2:細胞診分子病理診断部
第 32 回日本腹部放射線学会 2018 年 5 月 鎌倉市

卵巣転移で発見された虫垂の Goblet cell carcinoid の 1 例
伊藤茂樹[1],**村井淳志**[1],**富家未来**[1],**新井綾希子**[1],**河合雄一**[1],西子裕規[2],水野公雄[2],田中寛[3],桐山理美[4],藤野雅彦[5]
1: 放射線診断科 2: 産婦人科 3:一般消化器外科 4:病理部 5:細胞診分子病理診断部
第 19 回 Japanese society for the advancemant of women's imaging 2018 年 8 月 淡路市

稀な症状で発症した乳頭状腎癌の 2 例
伊藤茂樹[1],**村井淳志**[1],**富家未来**[1],**河合雄一**[1],松井宏考[2],平林裕樹[2],鈴木省治[2],服部良平[2],安藤良太[3],伊藤藍[3],藤野雅彦[4]
1:放射線診断科 2:泌尿器科 3:病理部 4:細胞診分子病理診断部
第 6 回 Japanese society of uroradiologicand therapeutic technology 2018 年 9 月 京都市

稀な症状で発症した乳頭状腎癌の 2 例
伊藤茂樹[1],**村井淳志**[1],**富家未来**[1],**河合雄一**[1],松井宏考[2],平林裕樹[2],鈴木省治[2],服部良平[2],安藤良太[3],伊藤藍[3],藤野雅彦[4]
1:放射線診断科 2:泌尿器科 3:病理部 4:細胞診分子病理診断部
第 54 回日本医学放射線学会秋季臨床大会 2018 年 10 月 福岡

精神科

家族が意思決定する過程における看護師の役割
古川結衣[1],平岩美緒[1],**丹羽早智子**
1:看護部
第 3 回 周産期精神保健研究会 2018 年 1 月 名古屋

出生から在宅への移行　－18トリソミーを中心に－
丹羽早智子,安田彩子[1]
1:小児科
第3回　周産期精神保健研究会　2018年1月　名古屋市

極低出生体重児の発達評価における乳幼児自閉症チェックリスト修正版（M-CHAT）の有用性について
中山淳[1],鬼頭修[1],橋本佑樹[1],浅井幸奈[1],濱崎咲也子[1],藤城尚純[1],落合加奈代[1],新井紗記子[1],安田彩子[1],大城誠[1],**丹羽早智子**
1:小児科
第54回日本周産期・新生児医学会学術集会　2018年7月　東京都千代田区

認知症ケアチームカンファレンス記録の現状と課題
岡田朋子[1],**鈴木小央里**,榎本伸一[2],後藤洋二[3]
1:看護部　2:医療社会事業課　3:神経内科
第54回日本赤十字社医学会総会　2018年11月　名古屋市

歯科・歯科口腔外科

下顎骨切除断端における術中迅速骨髄細胞診の検討
佐藤春樹,長縄憲亮,早川泰平,丸瀬靖之,小野翔矢,大原令子,佐久間英規,大岩伊知郎
第36回日本口腔腫瘍学会総会・学術大会　2018年1月　新潟市

当院で骨吸収抑制剤を処方された薬剤関連顎骨壊死例の臨床的検討
早川泰平,佐藤春樹,長縄憲亮,丸瀬靖之,小野翔矢,大原令子,佐久間英規,大岩伊知郎
第72回日本口腔科学会学術集会　2018年5月　名古屋市

出生時に上下顎歯槽頂に乳歯様構造物を認めた新生児の1例
丸瀬靖之,長縄憲亮,佐藤春樹,早川泰平,小野翔矢,大原令子,佐久間英規,大岩伊知郎
第43回日本口腔外科学会中部支部学術集会　2018年6月　名古屋市

当科における口腔扁平上皮癌の社会的背景に関する検討
佐藤春樹,長縄憲亮,早川泰平,丸瀬靖之,佐久間英規,大岩伊知郎
第42回日本頭頸部癌学会　2018年6月　東京都

緊急に気道確保を要した顎顔面骨骨折の臨床的検討
長縄憲亮,佐藤春樹,早川泰平,丸瀬靖之,小野翔矢,大原令子,仲谷佐奈子,佐久間英規,大岩伊知郎
第20回日本口腔顎顔面外傷学会総会・学術大会　2018年7月　福岡市

同種造血幹細胞移植患者に対するオーラルマネージメントの介入効果について-口腔常在菌による血流感染の検討-
佐久間英規,早川泰平,長縄憲亮,丸瀬靖之,佐藤春樹,大岩伊知郎
第28回日本口腔内科学会・第31回日本口腔診断学会合同学術大会　2018年9月　横浜市

当院緩和ケアセンターにおける専門的口腔衛生管理の実態
大原令子,佐藤春樹,長縄憲亮,早川泰平,丸瀬靖之,小野翔矢,仲谷佐奈子,佐久間英規,大岩伊知郎
第61回日本口腔科学会中部地方部会　2018年9月　名古屋市

新生児期の挿管後における哺乳・摂食の影響と訓練について
犬飼晃見[1],**佐久間英規**[2],坂口真那美[3]
1:リハビリテーション科　2:歯科口腔外科　3:看護部
第24回日本摂食嚥下リハビリテーション学会学術大会　2018年9月　仙台市

当科における無歯顎の下顎骨骨折例の検討
小野翔矢,佐藤春樹,長縄憲亮,早川泰平,丸瀬靖之[1],**大原令子,仲谷佐奈子,佐久間英規,大岩伊知郎**
1:九州大学大学院歯学研究院口腔顎顔面病態学講座顎顔面腫瘍制御学分野
第63回日本口腔外科学会総会・学術大会　2018年11月　幕張

当院における外来抗癌化学療法患者の口腔機能管理の現状と課題
佐久間英規,小野翔矢,丸瀬靖之,大原令子,仲谷佐奈子,早川泰平,長縄憲亮,佐藤春樹,大岩伊知郎
第54回日本赤十字社医学会総会　2018年11月　名古屋市

名古屋第一赤十字病院での入院前口腔診査について
吉田采奈,中山桂子,日比野朋美,犬飼桂子,苅谷美紅,礫石幸子,浅見真未,仲谷佐奈子,早川泰平,佐久間英規,大岩伊知郎
第54回日本赤十字社医学会総会　2018年11月　名古屋市

救急部

当院における選定療養費導入よる小児救急時間外受診患者の変化
髙本幸奈[1],佐治木大知[1],大城誠[1],北裏幸代[2],**小島俊行,花木芳洋**
1:小児科　2:業務部医事サービス第二課

第 54 回日本赤十字社医学会総会　2018 年 11 月　名古屋市

リハビリテーション科（PT・OT・ST）

肘外傷後可動域獲得に難渋した一症例
佐藤陽,**服部亜衣**,**西之園智子**,洪淑貴[1],堀井恵美子[1]
1:整形外科
第 5 回中部日本ハンドセラピィ研究会　2018 年 1 月　名古屋市

同種造血幹細胞移植患者の生存率に運動機能因子は影響するか
中村和司[1],佐藤貴彦[2],**松永佑哉**[1],**永井将貴**[1],**中山靖唯**[1],**早川勝**[1],小澤幸泰[2],宮村耕一[2]
1:リハビリテーション科　2:血液内科
第 40 回日本造血細胞移植学会総会　2018 年 2 月　札幌市

非血縁間骨髄移植と臍帯血移植における膝伸展筋力の変化の比較
永井将貴[1],佐藤貴彦[2],**中村和司**[1],**松永佑哉**[1],**藍澤洋介**[1],**中山靖唯**[1],**早川勝**[1],小澤幸泰[2],宮村耕一[2]
1:リハビリテーション科　2:血液内科
第 40 回日本造血細胞移植学会総会　2018 年 2 月　札幌市

同種造血幹細胞移植後の理学療法実施率に影響する因子の検討
松永佑哉[1],佐藤貴彦[2],**中村和司**[1],**永井将貴**[1],**中山靖唯**[1],**早川勝**[1],小澤幸泰[2],宮村耕一[2]
1:リハビリテーション科　2:血液内科
第 40 回日本造血細胞移植学会総会　2018 年 2 月　札幌市

Open ICU における理学療法士半日専従化によるリハビリテーション実施状況の変化
西川大樹
第 45 回日本集中治療医学会学術集会　2018 年 3 月　千葉市

早期からリハビリテーション介入を行い独歩にて自宅退院を果たした抗 MDA5抗体陽性皮膚筋炎に合併した急速進行性間質性肺炎の一例
西川大樹[1],**松永佑哉**[1],**永井将貴**[1],**海老原恵理**[1],**近藤希依**[1],**武藤健人**[1],**藍澤洋介**[1],**岩田彩加**[1],町井春花[2],西山裕乃[2],横山俊彦[2]
1:リハビリテーション科　2:呼吸器内科
第 5 回日本呼吸ケア・リハビリテーション学会東海地方会　2018 年 4 月　名古屋市

脳神経外科病棟看護師と排尿ケアチームの連携
加藤留美子[1],伊藤真粧美[1],福山直美[1],**奥田哲也**[2],中村由美[3],安藤智子[4],服部良平[5],加藤久美子[6]
1:看護部　2:リハビリテーション科　3:業務部医事サービス第二課　4:産婦人科 5:泌尿器科　6:女性泌尿器科
第 31 回日本老年泌尿器科学会　2018 年 5 月　福井市

排尿ケアチーム介入における週間排尿日誌の有用性
伊藤真粧美[1],福山直美[1],加藤留美子[1],**奥田哲也**[2],中村由美[3],安藤智子[4],服部良平[5],加藤久美子[6]
1:看護部　2:リハビリテーション科　3:業務部医事サービス第二課　4:産婦人科　5:泌尿器科　6:女性泌尿器科
第 31 回日本老年泌尿器科学会　2018 年 5 月　福井市

排尿ケアチームによる間欠自己導尿（CIC）指導へのかかわりを振り返った一事例～排尿自立の支援に向けて～
福山直美[1],伊藤真粧美[1],加藤留美子[1],**奥田哲也**,加藤久美子[2],服部良平[3],安藤智子[4],中村由美[5]
1:看護部　2:女性泌尿器科　3:泌尿器科　4:産婦人科　5:業務部医事サービス第二課
第 31 回日本老年泌尿器科学会　2018 年 5 月　福井市

臍帯血移植を行ったガラクトシアリドーシス患児に対するリハビリテーション治療の経験
岩田彩加[1],**中村和司**[1],**藍澤洋介**[1],**西川大樹**[1],**中山靖唯**[1],**早川勝**[1],前村遼[2],若松学[2],加藤剛二[2]
1:リハビリテーション科　2:小児医療センター血液腫瘍科
第 55 回リハビリテーション医学会学術集会　2018 年 6 月　福岡市

新生児期の挿管後における哺乳・摂食の影響と訓練について
犬飼晃見[1],佐久間英規[2],坂口真那美[3]
1:リハビリテーション科　2:歯科口腔外科　3:看護部
第 24 回日本摂食嚥下リハビリテーション学会学術大会　2018 年 9 月　仙台市

超音波残尿測定器配置における病棟看護師の排尿ケア習熟度への影響
福山直美[1],伊藤真粧美[1],加藤留美子[1],井内豊子[1],中村由美[2],**奥田哲也**,安藤智子[3],加藤久美子[4],服部良平[5]
1:看護部　2:業務部医事サービス第二課　3:産婦人科　4:女性泌尿器科　5:泌尿器科
第 54 回日本赤十字社医学会総会　2018 年 11 月　名古屋市

膝前十字靭帯再建術における術前と術後早期の大腿四頭筋に対する質的・量的変化
髙木寛人,**山川桂子**,**打田健人**,**杉浦江美**,山本英樹[1]
1:整形外科
第 24 回日本最小侵襲整形外科学会　2018 年 11 月　名古屋市

ICU における理学療法士の専従化が挿管人工呼吸器患者の離床状況に及ぼす影響
西川大樹,永井将貴,海老原恵理,武藤健人,藍澤洋介,岩田彩加
第 54 回日本赤十字社医学会総会　2018 年 11 月　名古屋市

大腿骨近位部骨折術後の最終歩行能力に影響を与える因子について―急性期病院における術後早期での検討―
海老原恵理,高木寛人,山川桂子,中山靖唯
第 45 回日本赤十字リハビリテーション協会学術集会　2018 年 11 月　鳥取市

家族へのアンケートから考える終末期患者の家族へのメンタルケアにおけるリハビリテーションの役割
藍澤洋介,村瀬完太,西川大樹,永井将貴,海老原恵理,武藤健人,岩田彩加,杉浦江美
第 8 回日本がんリハビリテーション研究会　2018 年 12 月　札幌市

病理部・細胞診分子病理診断部（Dr.・臨床検査技師）

がん治療における個別化医療
郡司昌治
平成 29 年度日臨技認定センター認定病理検査技師制度資格更新指定講習会　2018 年 1 月　東京都

GVHD の病理学的鑑別診断
伊藤雅文
第 40 回日本造血細胞移植学会総会　2018 年 2 月　札幌市

当院の造血幹細胞移植症例における病理解剖の臨床的意義についての検討
李尹河[1],川口裕佳[1],岡部基人[1],大引真理恵[1],尾﨑正英[1],吉野実世[1],新家裕朗[1],池野世新[1],佐藤貴彦[1],加賀谷裕介[1],森下喬允[1],小澤幸泰[1],伊藤藍,伊藤雅文,宮村耕一[1]
1:血液内科
第 40 回日本造血細胞移植学会総会　2018 年 2 月　札幌市

胆管癌と膵癌の同時性重複癌の 1 例
山田恵一郎[1],村井淳志[1],富家未来[1],新井綾希子[1],河合雄一[1],伊藤茂樹[1],吉岡裕一郎[2],安藤良太,藤野雅彦
1:放射線科　2:一般消化器外科
第 163 回日本医学放射線学会中部地方会　2018 年 2 月　名古屋市

腸間膜に発生した血管脂肪腫の 1 例
富家未来[1],山田恵一郎[1],村井淳志[1],新井綾希子[1],河合雄一[1],伊藤茂樹[1],藤野雅彦
1:放射線科
第 163 回日本医学放射線学会中部地方会　2018 年 2 月　名古屋市

当院の造血幹細胞移植症例における病理解剖の臨床的意義についての検討
李尹河[1],川口裕佳[1],岡部基人[1],大引真理恵[1],尾﨑正英[1],吉野実世[1],新家裕朗[1],池野世新[1],佐藤貴彦[1],加賀谷裕介[1],森下喬允[1],小澤幸泰[1],伊藤藍,伊藤雅文,宮村耕一[1]
1:血液内科
第 40 回日本造血細胞移植学会総会　2018 年 2 月　札幌市

BRAF V600E 変異解析が有用性であった甲状腺乳頭癌の一例
郡司昌治,杉山知咲季,藤瀬佳穂,山下比鶴,藤野雅彦,伊藤雅文
第 37 回日本臨床細胞学会東海連合会学術集会　2018 年 3 月　名古屋市

パラフィン切片による自動 DNA 抽出の検討
郡司昌治
第 67 回日本医学検査学会　2018 年 5 月　浜松市

パラフィン切片における magLEAD 6gC を用いた核酸抽出の自動化への検討
郡司昌治,杉山知咲季,村上佳穂
第 67 回日本医学検査学会　2018 年 5 月　浜松市

膵頭十二指腸領域の悪性腫瘍を同時合併し術前診断が困難であった膵癌の 2 例
伊藤茂樹[1],山田恵一郎[1],村井淳志[1],富家未来[1],新井綾希子[1],河合雄一[1],前田真吾[2],吉岡裕一郎[2],安藤良太[3],伊藤藍[3],藤野雅彦[4]
1:放射線診断科　2:一般消化器外科　3: 病理部　4:細胞診分子病理診断部
第 32 回日本腹部放射線学会　2018 年 5 月　鎌倉市

髄外造血によると考えられた肝腫瘤の 1 例
河合雄一[1],山田恵一郎[1],村井淳志[1],富家未来[1],新井綾希子[1],伊藤茂樹[1],藤野雅彦[2]
1:放射線診断科　2:細胞診分子病理診断部
第 32 回日本腹部放射線学会　2018 年 5 月　鎌倉市

FISH 解析が有用であった白血病細胞の二症例
杉山知咲季,郡司昌治,村上佳穂,山下比鶴,藤野雅彦,伊藤雅文
第 59 回日本臨床細胞学会総会(春期大会) 2018 年 6 月 札幌市

骨髄の細胞診と病理
伊藤雅文
第 59 回日本臨床細胞学会総会(春期大会) 2018 年 6 月 札幌市

血小板増多を呈する骨髄病変の病理診断
伊藤雅文
名古屋 ET セミナー 2018 年 6 月 名古屋市

大腸癌肝転移と鑑別困難だった空腸間膜リンパ節胚中心伸展性異形成の 1 例
谷本由佳[1],田中寛[1],湯浅典博[1],竹内英司[1],後藤康友[1],三宅秀夫[1],永井英雅[1],**安藤良太**,春田純一[2],宮田完志[1]
1:一般消化器外科 2:消化器内科
第 73 回日本消化器外科学会総会 2018 年 7 月 鹿児島市

GVHD の病理:皮膚から学ぶこと
伊藤雅文
第 42 回日本小児皮膚科学会学術大会 2018 年 7 月 東京都

個別化医療における遺伝子検査と精度管理
郡司昌治
第 58 回長野県臨床検査技師会病理組織研修会 2018 年 7 月 松本市

認知症・虚弱高齢者と子宮摘除後例を対象とした腟閉鎖術の周術期合併症
加藤久美子[1],鈴木省治[1],足立真実[2],林祐司[2],**安藤良太**,川西秀治[3],永山洵[3],松井宏考[3],加藤隆[3],平林裕樹[3],服部良平[3]
1:女性泌尿器科 2:形成外科 3:泌尿器科
第 20 回日本女性骨盤底医学会 2018 年 7 月 東京都

がん治療における個別化医療
郡司昌治
平成 30 年度日臨技認定センター 認定病理検査技師制度資格更新指定講習会 2018 年 8 月 神戸市

卵巣転移で発見された虫垂の Goblet cell carcinoid の 1 例
伊藤茂樹[1],村井淳志[1],富家未来[1],新井綾希子[1],河合雄一[1],西子裕規[2],水野公雄[2],田中寛[3],**桐山理美**[4],**藤野雅彦**[5]
1:放射線診断科 2: 産婦人科 3:一般消化器外科 4:病理部 5:細胞診分子病理診断部
第 19 回 Japanese society for the advancemant of women's imaging 2018 年 8 月 淡路市

RAZOR_TYPE DERMATOMES ENABLE QUICK AND THIN VAGINAL DISSECTION WITH LESS BLEEDING IN COLPOCLEISIS
Kato K[1], Adachi M[2], Hayashi Y[2], **Ando R**[3], Kawanishi H[4], Matsui H[4], Nagayama J[4], Hirabayashi H[4], Suzuki S[1], Hattori R[4]
1: Department of Female Urology, Japanese Red Cross Nagoya First Hospital 2: Department of Plastic Surgery, Japanese Red Cross Nagoya First Hospital 3: Department of Pathology, Japanese Red Cross Nagoya First Hospital 4: Department of Urology, Japanese Red Cross Nagoya First Hospital
ICS (International Continence Society 2018 年 8 月 Philadelphia

先天性水頭症発症の 1 年後に診断された膠芽腫の 1 例
山森彩子[1],奥山美沙恵[1],山下大紀[1],佐治木大知[1],前村遼[1],坂口大俊[1],吉田奈央[1],**伊藤雅文**,波多野寿[2],濱麻人[1]
1:小児科 2:脳神経外科
第 74 回東海小児がん研究会 2018 年 9 月 名古屋市

コンパニオン診断の実際と課題
郡司昌治
愛知県臨床検査技師会病理細胞検査研究会 基礎講座 2018 年 9 月 名古屋市

稀な症状で発症した乳頭状腎癌の 2 例
伊藤茂樹[1],村井淳志[1],富家未来[1],河合雄一[1],松井宏考[2],平林裕樹[2],鈴木省治[2],服部良平[2],**安藤良太**[3],**伊藤藍**[3],**藤野雅彦**[4]
1:放射線診断科 2:泌尿器科 3:病理部 4:細胞診分子病理診断部
第 6 回 Japanese society of uroradiologicand therapeutic technology 2018 年 9 月 京都市

稀な症状で発症した乳頭状腎癌の 2 例
伊藤茂樹[1],村井淳志[1],富家未来[1],河合雄一[1],松井宏考[2],平林裕樹[2],鈴木省治[2],服部良平[2],**安藤良太**[3],**伊藤藍**[3],**藤野雅彦**[4]
1:放射線診断科 2:泌尿器科 3:病理部 4:細胞診分子病理診断部
第 54 回日本医学放射線学会秋季臨床大会 2018 年 10 月 福岡

Myelodysplastic syndrome with trisomy 8 pathologically diagnosed intestinal Bechet disease
Ichiki T[1], Osaki M[1],Nakashima M[2], Okabe M[1], Kawaguchi Y[1], Ohbiki M[1], Lee Y[1], Goto M[1], Araie H[1], Ikeno S[1], Sato T[1], Kurashige M[3], Goto T[1], Morishita T[1], Ozawa Y[1], **Ito M**[4], Miyamura K[1]

1: Department of Hematology, Japanese Red Cross Nagoya Daiichi Hospital 2: Department of Hematology, Chutoen General Medical Center 3: Department of Diagnostic Pathology, Osaka University Hospital 4: Department of Pathology, Japanese Red Cross Nagoya Daiichi Hospital
第 80 回日本血液学会学術集会　2018 年 10 月　大阪市

骨髄増殖性腫瘍の遺伝子変異からみた診断と今後の展望－WHO 分類改定ポイントを踏まえて－
木村文彦 [1],**伊藤雅文**,桐戸敬太 [2]
1:防衛医科大学校内科学講座　2:山梨大学医学部血液・腫瘍内科
第 80 回日本血液学会学術集会　2018 年 10 月　大阪市

Establishment of a nationwide cohort for Shwachman-Diamond syndrome in Japan
Watanabe K[1], Kanegane H[2], Hamabata T[3], Kozuki K[3], Umeda K[3], Hama A[4], Okuno Y[4], Muramatsu H[4], Takahashi Y[4], Hasegawa D[5], Manabe A[5], Ohara A[6], **Ito M**, Kojima S[4], Ito E[7]
1: Depertment Hematology Oncology, Shizuoka Children's Hospital　2: Depertment Pediatrics, Tokyo Medical and Dental University　3: Depertment Pediatrics, Kyoto University　4: Depertment Pediatrics, Nagoya University　5: Depertment Pediatrics, St. Lukes International Hospital　6: Depertment Pediatrics, Toho University　7: Depertment Pediatrics, Hirosaki University
第 80 回日本血液学会学術集会　2018 年 10 月　大阪市

Bone marrow histopathology and p53 expression in patients with Fanconi anemia
Kawashima N[1], **Ito M**, Hama A[1], Okuno Y[1], Muramatsu H[1], Miwata S[1], Narita K[1], Kataoka S[1], Hamada M[1], Murakami N[1], Kojima D[1], Ichikawa D[1], Taniguchi R[1], Kitazawa H[1], Narita A[1], Nishio N[1], Kojima S[1], Takahashi Y[1]
1: Department of Pediatrics, Nagoya University
第 80 回日本血液学会学術集会　2018 年 10 月　大阪市

Clinical and molecular features of patients with triplenegative essential thrombocythemia
Inano T[1], Araki M[2], Fukuda Y[1], Morishita S[2], Ochiai T[1], Misawa K[1], **Ito M**, Yamamoto K[3], Yang Y[1], Taguchi T[1], Edahiro Y[1], Imai M[1], Gotoh A[1], Ohsaka A[2], Komatsu N[1]
1: Hematology, Juntendo University, Graduate School of Medical　2: Transfusion Medical & Stem Cell Regu, Juntendo University　3: Medical Statistics, Osaka City University
第 80 回日本血液学会学術集会　2018 年 10 月　大阪市

FISH testing in glioma
Gunji M
Abbott Molecular China Oncology Summit 2018　2018 年 10 月　China

手指衛生直接観察導入初年度の報告
吉村敦子 [1],**美濃島慎**,向山直樹 [2],西山秀樹 [3],高坂久美子 [1],黒野康正 [2],横山俊彦 [4],野村史郎 [4]
1:看護部　2:薬剤部　3:検査部　4:呼吸器内科
第 54 回日本赤十字社医学会総会　2018 年 11 月　名古屋市

形態・形質・遺伝子診断の考え方と実際
伊藤雅文
第 57 回日本臨床細胞学会秋期大会　2018 年 11 月　横浜市

PPFE の一剖検例：UIP パターンとの類似性についての検討
伊藤藍
第 64 回日本病理学会秋期特別総会　2018 年 11 月　呉市

細胞診染色標本を用いた DNA 抽出の自動化と品質の検討
郡司昌治,藤瀬佳穂,杉山知咲季,山下比鶴,藤野雅彦,伊藤雅文
第 57 回日本臨床細胞学会秋期大会　2018 年 11 月　横浜市

造血細胞移植の病理
伊藤雅文
第 57 回日本臨床細胞学会秋期大会　2018 年 11 月　横浜市

骨髄病理の基礎と診断
伊藤雅文
2018 年 IAP 病理学教育セミナー　2018 年 11 月　呉市

長時間ビデオ脳波検査が診断に有用であった 3 症例
田中伯香,伊藤修,牧俊哉,臼井理加,小島祐毅,加藤秀樹,湯浅典博
第 57 回日臨技中部圏支部医学検査学会　2018 年 11 月　津市

病理検体処理と核酸品質の関連性（部門別企画）
郡司昌治
第 57 回日臨技中部圏支部医学検査学会　2018 年 11 月　津市

MPO-ANCA 関連腎炎の寛解中に ANCA 力価の上昇を伴わずに硬膜・髄膜炎を呈した多発血管炎性肉芽腫の 1 例
本田大祐[1],髙阪勇輔[1],森盟[1],小森祥太[1],平野聡子[1],渡邉はづき[1],馬渕直紀[1],後藤洋二[1],真野和夫[1],波多野寿[2],**伊藤藍**,鷲野将也[3]
1:神経内科 2:脳神経外科 3:腎臓内科
第 152 回日本神経学会東海北陸地方会 2018 年 11 月 名古屋市

遺伝性骨髄不全症候群における骨髄形態学的特徴
濱麻人[1],長谷川大輔[2],真部淳[2],野沢和江[3],成田敦[4],奥野友介[4],村松秀城[4],高橋義行[4],渡邉健一郎[5],小原明[6],**伊藤雅文**,小島勢二[4]
1:小児科 2:聖路加国際病院小児科 3:聖路加国際病院臨床検査医学 4:名古屋大学大学院医学系研究科小児科 5:静岡県立こども病院 6:東邦大学医療センター輸血部
第 60 回日本小児血液・がん学会学術集会 2018 年 11 月 京都市

縦隔嚢胞性病変に合併した ALK positive large B cell lymphoma
小出知美,伊藤藍,安藤良太,桐山理美,藤野雅彦,伊藤雅文
第 82 回日本病理学会中部支部交見会 2018 年 12 月 名古屋市

病理分野におけるプレアナリシスの重要性(ワークショップ)
郡司昌治,杉山知咲季,村上佳穂,藤野雅彦,伊藤雅文
第 36 回日本染色体遺伝子検査学会総会学術集会 2018 年 12 月 東京都

(シンポジウム)個別化医療への病理検査の役割
郡司昌治
第 56 回日臨技中部圏支部医学検査学会 2017 年 9 月 名古屋市

センチネルリンパ節術中迅速診断における偽陰性の要因検討
広瀬美砂,古賀一輝,阿知破智,阿知波輝彦,藤野雅彦
第 53 回日本赤十字社医学会総会 2017 年 10 月 仙台市

染色標本を用いた FISH 解析の応用
杉山知咲季,郡司昌治,藤瀬佳穂,山下比鶴,藤野雅彦,伊藤雅文
第 56 回日本臨床細胞学会秋期大会 2017 年 11 月 福岡市

検査部・輸血部(Dr.・臨床検査技師)

同種造血幹細胞移植後に Bacillus cereus による敗血症から脳出血に至った 1 例
西山秀樹,池上志乃富,鈴木真由子,佐久間恵美,美濃島慎,長村陽子,大屋輝明,服部拓哉
第 29 回日本臨床微生物学会総会 2018 年 2 月 岐阜市

Vibrio cholerae01 による急性感染性腸炎の 1 例
鈴木真由子,西山秀樹,池上志乃富,美濃島慎,佐久間恵美,長村陽子,大屋輝明,服部拓哉
第 29 回日本臨床微生物学会総会 2018 年 2 月 岐阜市

長時間記録脳波が診断に有用であった 1 例
伊藤修,臼井理加,山内淳平,田中伯香,倉田貴規,牧俊哉,加藤秀樹,湯浅典博
第 67 回日本医学検査学会 2018 年 5 月 浜松市

心不全患者における呼気ガス分析の特徴
古橋沙彩,宮島悦子,柳沼莉絵,倉田貴規,加藤秀樹,湯浅典博
第 67 回日本医学検査学会 2018 年 5 月 浜松市

検査室における誤報告ーその頻度,要因,影響
橋本卓典,牧俊哉,二村亜子,加藤敦美,有吉彩,加藤秀樹,湯浅典博
第 67 回日本医学検査学会 2018 年 5 月 浜松市

間葉系幹細胞(テムセル)を使用した造血幹細胞移植後重症 GVHD の一例
山田雄一郎,古賀江利加,芝口好美,佐久間恵美,二村亜子,池口美代子,檜本和美,村上和代,遠藤美紀子,加藤秀樹,湯浅典博,小澤幸泰
第 66 回日本輸血・細胞治療学会総会 2018 年 5 月 宇都宮市

腸内細菌菌血症における血液培養陽性セット数の臨床的意義
服部拓哉
第 92 回日本感染症学会学術講演会 2018 年 5 月 岡山市

腹部超音波検査を契機に診断された右胃大網動脈瘤の 1 例
前岡悦子,二坂好美,福島侑佳,小島祐毅,橋本卓典,佐藤彩,内藤美和,蓼沼美砂,森本博俊,湯浅典博
第 39 回公益財団法人日本超音波医学会中部地方会学術集会 2018 年 10 月 名古屋市

超音波で診断し得た鼠径部膀胱ヘルニアの 8 例
森本博俊,前岡悦子,二坂好美,小島祐毅,橋本卓典,佐藤彩,蓼沼美砂,内藤美和,湯浅典博
第 40 回公益財団法人日本超音波医学会中部地方会学術集会 2018 年 10 月 名古屋市

血清・尿中 HE4 の比較検討
尾﨑靖将,加藤敦美,山森雅大,安藤由香理,永山円,加藤秀樹,湯浅典博
日本臨床検査自動化学会第 50 回大会　2018 年 10 月　神戸市

多項目自動血球分析装置 XN3000 を用いた幼若血小板比率(immature platelet fraction: IPF)測定の有用性
山中泰子,伊藤衣里子,遠藤美紀子,加藤秀樹,湯浅典博
日本臨床検査自動化学会第 50 回大会　2018 年 10 月　神戸市

不連続的に発生した電解質異常の原因
山森雅大,永山円,加藤秀樹,加藤敦美,尾﨑靖将,湯浅典博
日本臨床検査自動化学会第 50 回大会　2018 年 10 月　神戸市

Efficacy of cocktail-therapy for obstructive disease after hematopoietic stem cell transplantation
Sato T[1], **Yaginuma R**[2], Kawaguchi Y[1], Okabe M[1], Lee Y[1], Ohbiki M[1], Osaki M[1], Goto M[1], Ikeno S[1], Araie H[1], Morishita T[1], Ozawa Y[1], Miyamura K[1]
1: Dept. Hematology, Japanese Red Cross Nagoya First Hospital　2:Dept. Laboratory Medicine, Japanese Red Cross Nagoya First Hospital
第 80 回日本血液学会学術集会　2018 年 10 月　大阪市

心房細動アブレーションにおける TactiCath Sensor Enabled の有効性
柳沼莉絵,嶋野祐之 [1],**倉田貴規**,安田健一郎 [2],森下佳洋 [1],宮田紳治朗 [1],柴田義久 [1]
1:循環器内科　2:春日井市民病院循環器内科
カテーテルアブレーション関連秋季大会 2018　2018 年 11 月　宜野湾市

CD トキシン検出キットの比較検討
浅井祥之,恒川浩二郎,池上志乃富,阿知破智,山田雄一郎,北岡拓也,加藤秀樹,竹内英司,湯浅典博
第 54 回日本赤十字社医学会総会　2018 年 11 月　名古屋市

イベントレコーダーが発作性上室性頻拍の診断に有用であった 2 症例
宮島悦子,倉田貴規,吉川香織,柳沼莉絵,加藤秀樹,湯浅典博
第 54 回日本赤十字社医学会総会　2018 年 11 月　名古屋市

不規則抗体スクリーニングで酵素法のみ陽性時の運用変更とその効果
村上和代,楢本和美,二村亜子,山田雄一郎,遠藤美紀子,加藤秀樹,湯浅典博,小澤幸泰
第 54 回日本赤十字社医学会総会　2018 年 11 月　名古屋市

検査室における誤報告 100 例の検討
牧俊哉,橋本卓典,二村亜子,加藤敦美,佐藤彩,加藤秀樹,竹内英司,湯浅典博
第 13 回医療の質・安全学会学術集会　2018 年 11 月　名古屋市

大腸癌根治切除例の長期予後を予測する腫瘍マーカー
安藤由香理,北岡拓也,長村陽子,加藤秀樹,湯浅典博
第 65 回日本臨床検査医学会学術集会　2018 年 11 月　新宿区

血中プロカルシトニン超高値例の臨床細菌学的特徴
長村陽子,北岡拓也,安藤由香理,加藤秀樹,湯浅典博
第 65 回日本臨床検査医学会学術集会　2018 年 11 月　新宿区

終末期悪性腫瘍患者における 2 週間の予後を予測する血液検査データの検討
北岡拓也,長村陽子,安藤由香理,加藤秀樹,湯浅典博
第 65 回日本臨床検査医学会学術集会　2018 年 11 月　新宿区

手術関連多量出血死亡ゼロ化を目指す対応システムの構築
水野公雄 [1,2],横田修一 [2,4],永井英雅 [2,5],近森清美 [2,6],新井千香 [2,6],園田綾 [2,6],**村上和代** [2,7],梅基一夫 [3],安田あゆ子 [3],長尾能雅 [3]
1:医療安全推進室・産婦人科　2:手術時多量出血対応 WG　3:名古屋大学医学部 ASUISHI プロジェクト推進室　4:麻酔科　5:一般消化器外科　6:看護部　7:輸血部
第 13 回医療の質・安全学会学術集会　2018 年 11 月　名古屋市

手指衛生直接観察導入初年度の報告
吉村敦子 [1],美濃島慎 [2],向山直樹 [3],**西山秀樹**,高坂久美子 [1],黒野康正 [2],横山俊彦 [4],野村史郎 [4]
1:看護部　2:病理部　3:薬剤部　4:呼吸器内科
第 54 回日本赤十字社医学会総会　2018 年 11 月　名古屋市

VITEK MS による血液培養陽性検体の直接同定
美濃島慎,西山秀樹,池上志乃富,浅見さをり,宇佐見みゆき,鈴木真由子,長村陽子,服部拓哉,大屋輝明,加藤秀樹,湯浅典博
第 28 回日本臨床微生物学会総会　2017 年 1 月　長崎市

小腸間膜に原発した血管脂肪腫の 1 例
蓼沼美砂,前岡悦子,佐藤幸恵,二坂好美,小島祐毅,有吉彩,内藤美和,森本博俊,湯浅典博
第 90 回日本超音波医学会学術集会　2017 年 5 月　宇都宮市

検査技師のノンテクニカルスキル向上のための取り組み
杉浦由季,牧俊哉,加藤秀樹,湯浅典博
第 19 回日本医療マネジメント学会学術総会　2017 年 7 月　仙台市

一般検査室におけるインシデント解析
恒川浩二郎,浅井祥之,池上志乃富,山田雄一郎,加藤秀樹,湯浅典博
第 19 回日本医療マネジメント学会学術総会　2017 年 7 月　仙台市

心肺運動負荷試験を用いた心臓リハビリテーションの有用性
後藤沙絵,倉田貴規,宮島悦子,牧俊哉,加藤秀樹,湯浅典博,神谷春雄 [1]
1:循環器内科
第 23 回日本心臓リハビリテーション学会学術集会　2017 年 7 月　岐阜市

腹部超音波検査で診断しえたイレウス管による腸重積症の 1 例
森本博俊,前岡悦子,二坂好美,小島祐毅,有吉彩,蓼沼美砂,湯浅典博
第 38 回日本超音波医学会中部地方会　2017 年 9 月　金沢市

フェリチン測定機器及び試薬の変更に伴う測定時間・再検率の変化
堀田美佐,山森雅大,加藤敦美,永山円,加藤秀樹,湯浅典博
日本臨床検査自動化学会第 49 回大会　2017 年 9 月　横浜市

AABR の refer 率と聴覚障害ハイリスク因子との関連
山内淳平,伊藤修,臼井理加,加藤秀樹,湯浅典博
第 21 回日本赤十字社臨床検査技師会学術大会　2017 年 11 月　那覇市

輸血部において最近8年間に起きたインシデントの検討
檜本和美,村上和代,遠藤美紀子,二村亜子,山田雄一郎,古賀江利加,小澤幸泰,佐久間恵美,芝口好美,牧俊哉,加藤秀樹,湯浅典博
第 21 回日本赤十字社臨床検査技師会学術大会　2017 年 11 月　那覇市

大腸癌根治切除例の長期予後を予測する心電図検査所見
倉田貴規,牧俊哉,宮島悦子,柳沼莉絵,松浦菜摘,加藤秀樹,湯浅典博
第 64 回日本臨床検査医学会学術集会　2017 年 11 月　京都市

同種造血幹細胞移植後の低肺機能と関連する臨床的因子の検討
柳沼莉絵,倉田貴規,宮島悦子,牧俊哉,加藤秀樹,湯浅典博,佐藤貴彦 [1],宮村耕一 [1]
1:血液内科
第 64 回日本臨床検査医学会学術集会　2017 年 11 月　京都市

薬剤部

オピオイドの投与経路変更が行なわれた時間帯と薬剤師の関わりについての調査
野村祐司,向山直樹,成瀬徳彦,森一博
第 12 回日本緩和医療薬学会年会　2018 年 5 月　東京

救急外来における研修医の処方に対する薬剤師の疑義件数とその評価
向山直樹
第 21 回日本臨床救急医学会総会・学術集会　2018 年 5 月　名古屋市

固形癌患者における中心静脈ポート術後早期のポート感染・抜去例の検討
田中寛 [1],中野祐往 [2],永井英雅 [3],**櫛原秀之**,濱嶋なぎさ [5],天野真由美 [5],野村史郎 [6]
1:乳腺内分泌外科　2:化学療法内科　3:一般消化器外科　4:薬剤部　5:看護部
第 16 回日本臨床腫瘍学会学術集会　2018 年 7 月　神戸市

手指衛生直接観察導入初年度の報告
吉村敦子 [1],美濃島慎 [2],**向山直樹**,西山秀樹 [3],高坂久美子 [1],**黒野康正**,横山俊彦 [4],野村史郎 [4]
1:看護部　2:細胞診分子病理診断部　3:検査部　4:呼吸器内科
第 54 回日本赤十字社医学会総会　2018 年 11 月　名古屋市

当院での救急病棟における疑義照会と相談応需に関する調査
奥村英典,向山直樹,松野薫,服部哲幸,山田総,成瀬徳彦,黒野康正
第 54 回日本赤十字社医学会総会　2018 年 11 月　名古屋市

小児領域における経口抗がん剤への簡易懸濁法の導入と応用
山本侑佳,櫛原秀之,河瀬洋平,野村祐司,向山麻衣子,小山佐知子,成瀬徳彦,黒野康正
第 54 回日本赤十字社医学会総会　2018 年 11 月　名古屋市

院内処方箋への臨床検査値表示と有用性
近藤尚広,櫛原朋恵,奥田莉加,永田圭耶,伊藤彰英,新美博之,平井孝典,成瀬徳彦,黒野康正
第 54 回日本赤十字社医学会総会　2018 年 11 月　名古屋市

リネゾリド投与による血小板減少に影響を与える因子の後方視的検討
向山直樹,向山麻衣子,成瀬徳彦,黒野康正
第 28 回日本医療薬学会年会　2018 年 11 月　神戸

がんと妊孕性に対する薬剤師の意識調査と研修会の効果～今後にむけて～
小山佐知子 [1,2],牧野あずみ [2,3],松下直樹 [2,4],大島有美子 [2,5],永松秀紹 [2,6],間瀬広樹 [2,7],佐藤由美子 [2,8],築山郁人 [2,9],久田達也 [2,10],板倉由緑 [2,11]
1: 薬剤部 2:愛知県病院薬剤師会がん部会 3:みつけ内科クリニック 4:独立行政法人地域医療機能推進機構　中京病院薬剤部 5:一宮市立市民病院薬剤局 6:半田市立半田病院薬剤科 7:金沢医療センター薬剤部 8:名古屋市立西部医療センター薬剤科 9:名城大学薬学部 10:トヨタ記念病院薬剤科 11:碧南市民病院薬剤部
第 3 回日本がんサポーティブケア学会学術集会　2018 年 8 月　福岡

どうする糖尿病治療？がん治療中の患者さんと関わって
小山佐知子
第7回日本くすりと糖尿病学会学術集会　2018 年 10 月　名古屋

入院後早期からの NST 介入への取り組み
伴野広幸 [1],春田純一 [1],清田篤志 [1],**黒野康正** [1]
1:名古屋第一赤十字病院　NST
第 54 回日本赤十字社医学会総会　2018 年 10 月　名古屋市

名古屋第一赤十字病院におけるピンクリボン運動への取り組み
對比地美枝 [1],天野真由美 [1],大路小千代 [1],佐藤ひとみ [1],濱嶋なぎさ [1],太田浩美 [1],**櫛原秀之** [2],中野祐往 [3],後藤康友 [4],野村史郎 [5]
1:看護部 2:薬剤部 3:化学療法内科 4:乳腺内分泌外科 5:呼吸器内科
第 54 回日本赤十字社医学会総会　2018 年 11 月　名古屋市

医療技術部

栄養課

造血幹細胞移植前の栄養リスクの有無による移植後栄養状態の調査
林衛,伴野広幸
第 21 回日本病態栄養学会年次学術集会　2018 年 1 月　京都市

入院後早期からの NST 介入への取り組み
伴野広幸 [1],春田純一 [1],清田篤志 [1],黒野康正 [1]
1:名古屋第一赤十字病院　NST
第 54 回日本赤十字社医学会総会　2018 年 10 月　名古屋市

臨床工学技術課

植込みデバイス患者の手術時における設定について　講演
開正宏
愛知県臨床工学技士会循環器セミナー（ペースメーカセミナー応用編）　2018 年 1 月　名古屋市

自分の理想とする人工心肺システム　―ローラーポンプ vs 遠心ポンプ―　シンポジウム
蜂須賀章友
第 41 回日本体外循環技術医学会東海地方会　2018 年 2 月　伊勢市

よくわかるセミナー　透析時の酸素療法　講演
開正宏
日本血液浄化技術医学会　2018 年 4 月　名古屋市

一般社団法人熊本県臨床工学技士会の試み
濱口正和 [1,2],黒田彰紀 [1,2],山田佳央 [1],濱坂佳憲 [1,2],**開正宏** [2],皆川宗輝 [2],脇田邦彦 [2],熊谷　誠 [2]
1:一般社団法人熊本県臨床工学技士会 2:日本赤十字社臨床工学技士会
第 28 回日本臨床工学会　2018 年 5 月　青森市

高流量鼻カニューレ療法について
開正宏
大陽日酸メジャークラブメディカル会研修会　2018 年 6 月　名古屋市

人工呼吸器関連の医療材料の活用-人工呼吸器回路と HME ブースターについて-
中井悠二,開正宏
第 14 回一般社団法人愛知県臨床工学技士会学術大会　2018 年 6 月　名古屋市

呼吸の仕組みと人工呼吸　講演
開正宏
病院の機械を操作してみよう！--いのちのエンジニア体験--　2018 年 6 月　名古屋市

腹水濾過濃縮再静注法（CART）運用の現状と課題
瀧本さち,大塚規博,堂園大輔,開正宏
第 64 回日本透析医学会学術大会　2018 年 6 月　横浜市

The ingenuity of single venous cannula from femoral vein and progress of cannula　シンポジウム
Hiraki M, Ito T[1]
1:心臓血管外科
Japan MICS Summit2018(第 3 回日本低侵襲心臓手術学会学術集会)　2018 年 7 月　大阪市

人工呼吸器のグラフィックモニターとアラームについて　講義
開正宏
第 13 回人工呼吸器シミュレーショントレーニング　2018 年 7 月　名古屋市

やる意味あるの？～こうやれば,こんなに効果でます～　RST による関わりは医療安全に繋がる--臨床工学技士の立場から-
開正宏
第 40 回日本呼吸療法医学会学術集会　2018 年 8 月　東京都

CHDF に CE が関わる意義　～当院のこだわり～　テーマディスカッション
瀧本さち
第 13 回東海 CHDF 技術検討会　2018 年 8 月　名古屋市

補助循環に必要な血液ガスや酸塩基の知識　講演
開正宏
第 3 回東海補助循環の会　2018 年 8 月　名古屋市

実践で活かす酸塩基平衡-人工呼吸・人工心肺・血液浄化それぞれの観点から--　講演
開正宏
第 13 回九州臨床工学会　2018 年 9 月　長崎市

医療機器を安全に扱うための医療ガスのトラブル事例と対策　講演
開正宏
公益社団法人医療機器センター平成 30 年度 医療機器安全基礎講習会　2018 年 9 月　名古屋市

ECMO について　講義
開正宏
呼吸治療専門臨床工学技士指定講習会　2018 年 9 月　東京都

宗教的信条により輸血拒否の患者に対して体外循環に MUF を用いた MICS-AVR
開正宏,蜂須賀章友,中井悠二,落合友彌,西野遥平,山口さよ子,山鹿彰
バイタル＆Eurosets　Night in 金沢　2018 年 11 月　金沢市

CVSAP(日本心臓血管外科学会・日本心臓麻酔学会・日本体外循環技術医学会：共同企画)
低侵襲手術-チームとしてどう立ち向かうか-体外循環技士の立場から
MICS に対して体外循環はどのように臨むか
開正宏
第 43 回日本体外循環技術医学会大会　2018 年 11 月　金沢市

TEG 検査を用いた体外循環離脱直前 FFP 投与の評価
蜂須賀章友,開正宏,山鹿　彰,中井悠二,落合友彌,服部敏之
第 43 回日本体外循環技術医学会大会　2018 年 11 月　金沢市

医療ガス・電気の基礎知識　講演
開正宏
愛知県臨床工学技士会 ME セミナー　2018 年 11 月　名古屋市

静脈リザーバー各機種による特徴について
落合友彌
第 13 回 TTPC　2018 年 11 月　名古屋市

末梢血幹細胞採取における血液成分分離装置 COM.TEC と Spectra Optia の使用経験
兼浦未帆,開　正宏,瀧本さち,大塚規博,服部敏之
第 54 回日本赤十字社医学会総会　2018 年 11 月　名古屋市

非挿管用加温加湿器回路に係るコスト削減への取り組み
中井悠二,開正宏
第 54 回日本赤十字社医学会総会　2018 年 11 月　名古屋市

医療安全終わりなき戦い　想定外の出来事を想定内にするための医療安全に役立つシンポジウム-(Part2)
開正宏
第 54 回日本赤十字社医学会総会　2018 年 11 月　名古屋市

「来週から MICS をやるぞ！」と言われても困らないように　講演
開正宏
第 25 回日本体外循環技術医学会九州地方会秋季セミナー　2018 年 11 月　久留米市

MICS を開始するにあたって必要な知識と機器
開正宏
第 13 回日本体外循環技術医学会北陸地方会　2018 年 12 月　金沢市

カオリン ACT の過度な延長とセライト ACT から推察される AT3 の欠乏
蜂須賀章友,開正宏,中井悠二,落合友彌,山鹿彰,服部敏之
第 40 回日本体外循環技術医学会東海地方会　2017 年 1 月　岡崎市

人工呼吸器の基本を学ぼう!!　講演
開正宏
第 2 回愛知呼吸セミナー　呼吸管理の基礎から実践　2017 年 2 月　名古屋市

MICS 時の CK と CK-MB の値について
中井悠二
第 10 回 TTPC　2017 年 3 月　名古屋市

臨床工学技士による集中治療領域でのアセスメントと記録について
臨床工学技士も主観的客観的評価をおこないカルテへの記載をするべき時代が来た　シンポジウム
開正宏
第 44 回日本集中治療医学会学術集会　2017 年 3 月　札幌市

ハイフローセラピー　講演
開正宏
大陽日酸メジャークラブメディカル会研修会　2017 年 6 月　名古屋市

グラフィックモニターの見方　講演
開正宏
第 3 回愛知呼吸セミナー　2017 年 7 月　名古屋市

医療機器を安全に扱うための医療ガスのトラブル事例と対策　講演
開正宏
公益社団法人医療機器センター平成 29 年度　医療機器安全基礎講習会　2017 年 8 月　名古屋市

心筋保護 delnido について
中井悠二
第 11 回 TTPC　2017 年 9 月　名古屋市

HFT について　～小児から成人の適応と実際～　講演
開正宏
愛知県臨床工学技士会 ME セミナー　2017 年 9 月　名古屋市

ECMO について　講演
開正宏
呼吸治療専門臨床工学技士指定講習会　2017 年 9 月　東京都

急性血液浄化のベストプラクティス施行中のトラブル編
臨床工学技士の立場から～回路内凝固への対策やデバイス選択について～　パネルディスカッション
開正宏
第 28 回日本急性血液浄化学会学術集会　2017 年 9 月　さいたま市

業務の現状と今後の課題　パネルディスカッション
山鹿彰
日本赤十字社臨床工学技士会中部ブロック研修会　2017 年 9 月　岐阜市

右小開胸 MICS の体外循環における Pitfall を共有したい　パネルディスカッション
開正宏
第 43 回日本体外循環技術医学会大会　2017 年 10 月　札幌市

呼吸の仕組みと人工呼吸　　講演
開正宏
病院の機械を操作してみよう！--いのちのエンジニア体験--　2017 年 10 月　名古屋市

医療安全終わりなき戦い　-想定外の出来事を想定内にするための医療安全に役立つシンポジウム-
開正宏
第 54 回日本赤十字社医学会総会　2017 年 10 月　仙台市

ECMO を中心としたチーム医療～臨床工学技士の立場から～　パネルディスカッション
開正宏
第 13 回東海 RST 協力会セミナー　2017 年 12 月　岐阜市

看護部

家族が意思決定する過程における看護師の役割
古川結衣,平岩美緒,丹羽早智子[1]
1:精神科
第 3 回　周産期精神保健研究会　2018 年 1 月　名古屋

造血細胞移植センターにおける転倒・転落予防～看護師行動チェックリストの作成・実施をして～
中原大樹,吉川和代
第 40 回日本造血細胞移植学会総会　2018 年 2 月　札幌市

全身放射線照射施行時にキワニスドールを用いてプレパレーションを実施した混合表現型急性白血病の 1 事例
吉岡千波,永田有佳梨,佐伯暢隆,寺山知子,山田美穂
第 40 回日本造血細胞移植学会総会　2018 年 2 月　札幌市

脳卒中運動麻痺に対する Brunnstrom stage 導入の評価
井内豊子
第 11 回東海脳神経看護研究会　2018 年 2 月　名古屋市

院内助産施設における分娩後管理の検討-産後過多出血に焦点を当てた分析-
大島和美
第 32 回日本助産学会学術集会　2018 年 3 月　横浜市

分娩時の母体脈拍数の変化～院内助産における医師報告基準の検討～
長瀬阿佑美,山岸愛,内田志穂,柴田幸子,真野真紀子
第 32 回日本助産学会学術集会　2018 年 3 月　横浜市

院内助産システムの方針と運用・管理の実態：質問紙を用いたインタビュー調査
藤田景子[1],片岡弥恵子[2],石川紀子[1],井村真澄[3],福井トシ子[4]，唐沢泉[5]，菊地敦子[6]，日隈ふみ子[7]，松村恵子[8]，**真野真紀子**，吉留厚子[9]，工藤一子[10]，須藤桃代[11]，柏木麻衣子[3]，島田啓子[12]
1:静岡県立大学　2:聖路加国際大学　3:日本赤十字看護大学　4:看護協会　5:岐阜医療科学大学　6:慶應義塾大学病院　7:佛教大学　8:香川県立保健医療大学　9:鹿児島大学　10:秋田県看護協会　11:北海道科学大学　12:元金沢大学
第 32 回日本助産学会学術集会　2018 年 3 月　横浜市

排尿ケアチーム介入における週間排尿日誌の有用性
伊藤真粧美,福山直美,加藤留美子,奥田哲也[1],中村由美[2],安藤智子[3],服部良平[4],加藤久美子[5]
1:リハビリテーション科　2:業務部医事サービス第二課　3:産婦人科　4:泌尿器科　5:女性泌尿器科
第 31 回日本老年泌尿器科学会　2018 年 5 月　福井市

脳神経外科病棟看護師と排尿ケアチームの連携
加藤留美子,伊藤真粧美,福山直美,奥田哲也[1],中村由美[2],安藤智子[3],服部良平[4],加藤久美子[5]
1:リハビリテーション科　2:業務部医事サービス第二課　3:産婦人科　4:泌尿器科　5:女性泌尿器科
第 31 回日本老年泌尿器科学会　2018 年 5 月　福井市

排尿ケアチームにおける間欠導尿（CIC）指導への関わりを振り返った一事例
福山直美,伊藤真粧美,加藤留美子,奥田哲也[1],加藤久美子[2],服部良平[3],安藤智子[4]
1:リハビリテーション科　2:女性泌尿器科　3:泌尿器科　4:産婦人科
第 31 回日本老年泌尿器科学会　2018 年 5 月　福井市

MFICU 入院中の妊婦の心情-安静臥床にある妊婦の手浴後の語りから-
木全美智代,野口眞弓[1]

1:日本赤十字豊田看護大学
第 19 回日本赤十字看護学会学術集会　2018 年 7 月　廿日市市

固形癌患者における中心静脈ポート術後早期のポート感染・抜去例の検討
田中寛[1],中野祐往[2],永井英雅[3],櫛原秀之[4],**濱嶋なぎさ,天野真由美**,野村史郎[5]
1:乳腺内分泌外科　2:化学療法内科　3:一般消化器外科　4:薬剤部　5:呼吸器内科
第 16 回日本臨床腫瘍学会学術集会　2018 年 7 月　神戸市

新生児期の挿管後における哺乳・摂食の影響と訓練について
犬飼晃見[1],佐久間英規[2],**坂口真那美**[3]
1:リハビリテーション科　2:歯科口腔外科　3:看護部
第 24 回日本摂食嚥下リハビリテーション学会学術大会　2018 年 9 月　仙台市

認知症ケアチームカンファレンス記録の現状と課題
岡田朋子,鈴木小央里[1],榎本伸一[2],後藤洋二[3]
1:精神科　2:医療社会事業課　3:神経内科
第 54 回日本赤十字社医学会総会　2018 年 11 月　名古屋市

急性期一般病棟で多職種が協働して終末期患者の一時帰宅希望を叶えた一症例
髙橋泰代,柳田有佳,大島和美,青山昌子,安井清美
第 54 回日本赤十字社医学会総会　2018 年 11 月　名古屋市

在宅移行は希望しない人工呼吸器装着児の家族への親役割充足に向けた関わり
小瀬木由希子,中村愛,近藤美絵子,山田美穂
第 54 回日本赤十字社医学会総会　2018 年 11 月　名古屋市

当院救命救急センターICU における人工呼吸器離脱プロトコール導入後の現状
山北利恵,大岩未佳,錦戸幸,横山俊彦[1]
1:呼吸器内科
第 54 回日本赤十字社医学会総会　2018 年 11 月　名古屋市

当院集中治療室における再入室症例の要因と今後の課題
髙田恵理,錦戸幸
第 54 回日本赤十字社医学会総会　2018 年 11 月　名古屋市

高度急性期病院における院内トリアージの取り組み
柚木さよ,大鐘隆宏,髙田恵理,田辺由紀子
第 54 回日本赤十字社医学会総会　2018 年 11 月　名古屋市

せん妄患者に発生した尾骨部褥瘡の発生原因とケアの検討
西澤政子,秋江百合子
第 54 回日本赤十字社医学会総会　2018 年 11 月　名古屋市

骨突出著明な難病患者に対してチームアプローチで褥瘡が治癒した一症例
岩本充恵,下山みなみ,伊藤真粧美,大島和美,青山昌子,安井清美
第 54 回日本赤十字社医学会総会　2018 年 11 月　名古屋市

外来患者が安全に診療を受けるための看護師の関わり　RCA で導いた外来の問題点
小嶋若狭,亀頭弘子,岩城里美,須藤麻子,福山直美,佐藤ひとみ
第 54 回日本赤十字社医学会総会　2018 年 11 月　名古屋市

ハイリスク妊産婦に対する妊娠中からの継続看護を目指した環境づくり
木全美智代,鈴木明日香,藤澤麻衣子
第 54 回日本赤十字社医学会総会　2018 年 11 月　名古屋市

外来から即日入院する患者に介護介入した時間調査と原因分析
加納典子,若山由紀子,菅内美都,星ツタ子,福山直美,世古真美子,佐藤ひとみ
第 54 回日本赤十字社医学会総会　2018 年 11 月　名古屋市

母親の精神的不安に寄り添いながら在宅移行への意思決定を支えた関わり
丹羽美紗絵,南谷実希,中村愛,近藤美絵子,山田美穂
第 54 回日本赤十字社医学会総会　2018 年 11 月　名古屋市

病棟における退院支援スクリーニング方法確立への取り組み
西尾真理子,犬飼ちなみ,作間千夏
第 54 回日本赤十字社医学会総会　2018 年 11 月　名古屋市

手術手順書の更新頻度を上げる取り組み
高橋奈緒子
第 54 回日本赤十字社医学会総会　2018 年 11 月　名古屋市

超音波残尿測定器配置における病棟看護師の排尿ケア習熟度への影響
福山直美,伊藤真粧美,加藤留美子,中村由美[1],奥田哲也[2],安藤智子[3],加藤久美子[4],服部良平[5]
1:業務部医事サービス第二課　2:リハビリテーション科　3:産婦人科　4:女性泌尿器科　5:泌尿器科
第 54 回日本赤十字社医学会総会　2018 年 11 月　名古屋市

手指衛生直接観察導入初年度の報告
吉村敦子,美濃島慎[1],向山直樹[2],西山秀樹[3],高坂久美子,黒野康正[2],横山俊彦[4],野村史郎[4]
1:細胞診分子病理診断部　2:薬剤部　3:検査部　4:呼吸器内科
第 54 回日本赤十字社医学会総会　2018 年 11 月　名古屋市

名古屋第一赤十字病院におけるピンクリボン運動への取り組み
對比地三枝,天野真由美,大路小千代,佐藤ひとみ,濱嶋なぎさ,太田浩美,櫛原秀之[1],中野祐往[2],後藤康友[3],野村史郎[4]
1:薬剤部　2:化学療法内科　3:乳腺内分泌外科　4:呼吸器内科
第 54 回日本赤十字社医学会総会　2018 年 11 月　名古屋市

気持ちの辛さがある患者の現状と支援の課題～苦痛のスクリーニングから～
舘理江,服部希恵,志村みゆき,平野美枝子
第 54 回日本赤十字社医学会総会　2018 年 11 月　名古屋市

A 病院での苦痛のスクリーニングの取り組みと課題
志村みゆき,服部希恵,舘理江,平野美枝子
第 54 回日本赤十字社医学会総会　2018 年 11 月　名古屋市

NICU・GCU における 2 年計画の新人教育
門てるみ,平岩美緒
第 54 回日本赤十字社医学会総会　2018 年 11 月　名古屋市

重症度・医療・看護必要度院内研修の実際
森久明美,井内豊子,柴田幸子,作間千夏,山田美穂
第 54 回日本赤十字社医学会総会　2018 年 11 月　名古屋市

看護師個人へのフィードバックが手指衛生行動に与える効果
橋詰綾香
第 54 回日本赤十字社医学会総会　2018 年 11 月　名古屋市

経験学習の促進～「急変事例の振り返り」を通して～
安藤俊子
第 54 回日本赤十字社医学会総会　2018 年 11 月　名古屋市

NICU・GCU の特性を考えた災害対策　報告 1　報告 2
上渡めぐみ,平岩美緒
第 54 回日本赤十字社医学会総会　2018 年 11 月　名古屋市

服薬アドヒアランス向上と地域連携を目指した内服管理の検討
遠藤麻美,野村千晴,伊藤良江,清水果歩,牛山喜久恵
第 54 回日本赤十字社医学会総会　2018 年 11 月　名古屋市

バースセンター（院内助産）開設 5 年間の分娩を振り返って
柴田幸子,日置紗綾香,篠崎真麻,勝野愛理,宮腰真実,真野真紀子
第 54 回日本赤十字社医学会総会　2018 年 11 月　名古屋市

MICS におけるポジショニングの報告
馬場周作
第 54 回日本赤十字社医学会総会　2018 年 11 月　名古屋市

肺切除後に骨髄移植を行った再発性急性骨髄性白血病患児とその家族に対する内服支援
田中千恵,加藤亜沙美,中村愛,寺山知子
第 60 回日本小児血液・がん学会学術集会　2018 年 11 月　京都市

初期ケアにおける体温管理を指導の視点から考える
上渡めぐみ
第 28 回日本新生児看護学会学術集会　2018 年 11 月　東京都千代田区

手術関連多量出血死亡ゼロ化を目指す対応システムの構築
水野公雄[1,2],横田修一[2,4],永井英雅[2,5],**近森清美**[2,6],**新井千香**[2,6],**園田綾**[2,6],村上和代[2,7],梅基一夫[3],安田あゆ子[3],長尾能雅[3]
1:医療安全推進室・産婦人科 2:手術時多量出血対応 WG 3:名古屋大学医学部 ASUISHI プロジェクト推進室 4:麻酔科 5:一般消化器外科 6:看護部 7:輸血部
第 13 回医療の質・安全学会学術集会 2018 年 11 月 名古屋市

医療社会事業部

認知症ケアチームカンファレンス記録の現状と課題
岡田朋子[1],鈴木小央里[2],**榎本伸一**,後藤洋二[3]
1:看護部 2:精神科 3:神経内科
第 54 回日本赤十字社医学会総会 2018 年 11 月 名古屋市

業務部

排尿ケアチーム介入における週間排尿日誌の有用性
伊藤真粧美[1],福山直美[1],加藤留美子[1],奥田哲也[2],**中村由美**[3],安藤智子[4],服部良平[5],加藤久美子[6]
1:看護部 2:リハビリテーション科 3:業務部医事サービス第二課 4:産婦人科 5:泌尿器科 6:女性泌尿器科
第 31 回日本老年泌尿器科学会 2018 年 5 月 福井市

排尿ケアチームによる間欠自己導尿(CIC)指導へのかかわりを振り返った一事例～排尿自立の支援に向けて～
福山直美[1],伊藤真粧美[1],加藤留美子[1],奥田哲也[2],加藤久美子[3],服部良平[4],安藤智子[5],**中村由美**
1:看護部 2:リハビリテーション科 3:女性泌尿器科 4:泌尿器科 5:産婦人科
第 31 回日本老年泌尿器科学会 2018 年 5 月 福井市

脳神経外科病棟看護師と排尿ケアチームの連携
加藤留美子[1],伊藤真粧美[1],福山直美[1],奥田哲也[2],**中村由美**[3],安藤智子[4],服部良平[5],加藤久美子[6]
1:看護部 2:リハビリテーション科 3:業務部医事サービス第二課 4:産婦人科 5:泌尿器科 6:女性泌尿器科
第 31 回日本老年泌尿器科学会 2018 年 5 月 福井市

超音波残尿測定器配置における病棟看護師の排尿ケア習熟度への影響
福山直美[1],伊藤真粧美[1],加藤留美子[1],井内豊子[1],**中村由美**,奥田哲也[2],安藤智子[3],加藤久美子[4],服部良平[5]
1:看護部 2:リハビリテーション科 3:産婦人科 4:女性泌尿器科 5:泌尿器科
第 54 回日本赤十字社医学会総会 2018 年 11 月 名古屋市

当院における選定療養費導入よる小児救急時間外受診患者の変化
髙本幸奈[1],佐治木大知[1],大城誠[1],**北裏幸代**,小島俊行[2],花木芳洋[2]
1:小児科 2:救急部
第 54 回日本赤十字社医学会総会 2018 年 11 月 名古屋市

Ⅱ．業　　績

４．学術講演等記録

平成 30 年 1 月～12 月

4. 学術講演等記録

平成３０年　講習会・講演会・研修会等

日　付	種　類	テーマ	講　師	主　催
1月11日～12日	研修医技術研修			教育研修推進室
1月27日	医療コンフリクト・マネジメント研修会		武蔵野中央病院　副看護部長・元武蔵野赤十字病院　看護副部長　河上章恵 松山赤十字病院　看護副部長　友澤永子 日本赤十字社和歌山医療センター　医療安全課　課長　山野文大 名古屋第一赤十字病院　看護師長　桑原典子	教育研修推進室 医療安全推進室
2月6日	クリニカルパス講演会	『患者のQOLは看護師が守る－パスの中の看護、患者の求めるもの－』	名古屋大学医学部附属病院　メディカルITセンター　船田千秋	クリニカルパス推進チーム
2月16日	地域医療連携学術講演会	『がんを患う親を持つ子供へのサポート』	独立行政法人　国立病院機構　九州がんセンター　サイコオンコロジー科　臨床心理士　白石恵子	緩和ケア運営委員会
2月23日	総合医局学術講演会	『地震災害に備える』	慶應義塾大学　環境情報学部　准教授　大木聖子	総合医局
3月6日	臨床研究支援センター、倫理委員会、教育研修推進室合同講演会	『医学論文を紐解く統計学』	大阪市立大学大学院　医学研究科　医療管理医学講座　医療統計学　教授　新谷歩	臨床研究支援センター、倫理審査委員会、教育研修推進室
3月9日	院内感染防止対策講演会	『感染防御に関する最新の考え方』	医療法人平岩病院　病院長　大久保憲 （東京医療保健大学　名誉教授）	院内感染防止対策委員会
3月26日	医療安全管理講演会	『協働のためのコミュニケーション技術』	東京工芸大学　芸術学部　教授　大島武	医療安全推進室
4月16日	教育研修推進室講演会	『ソーリーワークス －患者安全を目指して謝罪できる環境を創る－』	鹿児島大学病院　救命救急センター　副センター長　有嶋拓郎	主催：教育研修推進室 共催：医療安全推進室
4月26日	専門医共通講習（医療経済）	『DPC制度の基礎と日常臨床における活用』	愛知県国民健康保険団体連合会　国保診療報酬審査委員会　会長　真野和夫	教育研修推進室
5月14日、15日、17日	空気感染防止対策研修会			研修管理室
5月28日	臨床研究研修会	『臨床研究に関する指針改正、法制化』 『臨床研究におけるインフォームド・コンセント』 『倫理審査申請の手続き』		主催：臨床研究・治験支援センター〈倫理審査委員会・臨床研究審査委員会〉 共催：教育研修推進室
6月5日	地域医療連携学術講演会	『がんゲノム医療の話題』	座長：名古屋第一赤十字病院　化学療法内科　部長　中野祐往 名古屋大学医学部附属病院　化学療法部　教授　安藤雄一	地域医療連携課 共催：癌化学療法委員会
6月6日	虐待対策委員会研修	BEAMS Stage1	兵庫県立尼崎総合医療センター　小児科科長 毎原敏郎	虐待対策委員会
6月11日	院内感染防止対策講演会	『周術期感染対策はどうかわるのか。 WHO,ACS,CDC 3つのガイドライン発表にともなって』	NTT東日本関東病院　副院長兼外科部長 針原康	院内感染防止対策委員会
6月18日～22日	医療安全研修会 感染対策研修会	『静脈穿刺時の神経障害発生時における対応について』 『麻薬の取り扱いについて』 『抗菌剤適正使用支援チーム（AST）活動について』	第一産婦人科　部長　水野公雄 薬剤部　係長　松田唯子 第二呼吸器内科　部長　横山俊彦	医療安全推進室 感染管理室
6月19日、21日～22日	暴言・暴力対応 コードホワイトについての研修	1.暴言・暴力に関する指針・手順（コードホワイト）について 2.職員の護身術習得（凶器携帯の不審者への対応、職員の護身術）	中村警察署	医療安全管理委員会 患者相談窓口
6月27日	医療廃棄物研修会	『廃棄物の分別と取扱い』		医療廃棄物管理委員会
7月23日		AED操作教育に関する講演会		

日　付	種　類	テーマ	講　師	主　催
8月21日	臨床研究研修会	『臨床研究に関する指針改正、法制化』 『臨床研究におけるインフォームド・コンセント』 『倫理審査申請の手続き』		主催：臨床研究・治験支援センター〈倫理審査委員会・臨床研究審査委員会〉 共催：教育研修推進室
8月25日	緩和ケア研修会			総務課
8月28日～31日	手洗い研修会			院内感染防止対策委員会
9月1日	JMECC		大雄会病院　宮部浩道	教育研究推進室
9月26日	安全衛生教育講演会	『ストレスマネジメントについて』	トヨタ自動車株式会社 統括精神科医　奥山真司	安全衛生員会
10月5日	サイエンス漢方処方セミナーin　名古屋	一般講演『当科における漢方薬使用の現状』 特別講演『がんと漢方』	一般・消化器外科　第二部長　永井英雅 医療法人徳洲会　日高徳洲会病院　院長　井齋偉矢	癌化学療法委員会
10月9日	総合医局学術講演会	『新専門医制度と地域医療について』	愛知県地域医療支援センター長　内海眞	総合医局
10月29日、10月30日～11月2日	医療安全研修会 感染対策研修会	『RRS(Rapid Response System)導入に向けて』 『RRS(Rapid Response System)について』 『医療ガスの取り扱いについて』 『小児外来診療における抗菌薬の適正使用について』	院長　宮田完志 救急部　部長　花木芳洋 臨床工学技術課　課長　服部敏之 第二小児科　副部長　吉田奈央	医療安全管理委員会 院内感染防止対策委員会
11月8日	地域医療連携学術講演会	『心不全緩和ケアの今までとこれから』	座長：緩和ケア科　部長　湯浅典博 飯塚病院　緩和ケア科　大森崇史	共催：名古屋第一赤十字病院、名古屋市中村区医師会、第一三共株式会社
11月17日	教育研修推進室研修会	『1日で学ぶ！フィジカル所見と画像検査 ～アセスメントに役立つ画像診断をリンクして解説～』	鹿児島大学病院　救命救急センター　副センター長　有嶋拓郎	教育研修推進室
11月26日	医療コンフリクト・マネジメント研修会	『患者・家族と良い関係を築くコミュニケーション』	東京海上日動メディカルサービス株式会社 メディカルリスクマネジメント室　玉利英子	主催：医療安全推進室 共催：患者相談窓口
11月27日	抗癌剤学術講演会	『肺癌・乳癌　最新のtopicと今後の展望』	日本イーライリリー株式会社 Sr Medical Advisor 江夏総太郎、坂口佐知	
11月28日	排尿ケア研修会			排尿自立支援チーム
12月10日	医療コンフリクト・マネジメント研修会		日本赤十字社 和歌山医療センター 研修課課長 山野 文大	主催：医療安全推進室 共催：患者相談窓口
12月18日	総合医局学術講演会	『超高齢社会におけるフレイルの臨床的意義を考える ～診断から予防・介入まで～』	国立長寿医療研究センター　病院長　荒井秀典	総合医局

平成３０年　その他

日　付	種　類	テーマ	講　師	主　催
1月11日	糖尿病勉強会	『糖尿病合併症について』 『口腔ケアについて』	内分泌内科　医長　清田篤志 歯科衛生士　犬飼桂子	透析予防診療チーム
1月15日	NST勉強会	『末梢静脈栄養法について』		栄養サポートチーム
1月16日	摂食・嚥下障害ケアチーム勉強会	『嚥下評価（講義と演習）』	歯科　副部長　佐久間英規	摂食・嚥下障害ケアチーム
1月22日	RST勉強会	『NPPVとV60』		呼吸器管理チーム
2月1日	糖尿病勉強会	『フットケアについて』・『シックディについて』	看護師　係長　金築美衣子	透析予防診療チーム
2月5日	認知症勉強会	『第2回　認知症の基礎講座』 ～認知症の症状のポイントとケア方法について～	認知症看護認定看護師　岡田朋子	認知症ケアチーム
2月9日	研修医勉強会	『ERのショック診療』	名古屋掖済会病院　救命救急センター　安藤裕貴	教育研修推進室
2月10日	ICLSなかむら		花木芳洋　他	救命救急業務係

日　付	種　類	テーマ	講　師	主　催
2月14日	医療安全管理ワークショップ	『急変の連絡を誤って他患者家族へ連絡』		医療安全推進チーム
2月15日	第6回事務処理I・Aレポートワークショップ	『診療費・書類代の計算を誤った事例』		医療安全管理課
2月19日	NST勉強会	『静脈栄養法に関する最新の話題』		栄養サポートチーム
3月8日	糖尿病勉強会	『運動療法』 『こんな時の対応は？』	理学療法士　松原修 看護師　早川美智代	透析予防診療チーム
3月16日		糖尿病治療を考える会 『CGMを糖尿病診療に生かす』 『糖尿病患者さんのやる気を引き出す対話法　－糖尿病コーチングー』	内分泌内科　医長　清田篤志 佐世保中央病院　糖尿病センター　センター長　松本一成	武田薬品工業株式会社
3月19日		診療報酬改定（DPC）に伴うDPC分析	グローバルヘルスコンサルティングジャパン	企画課
3月27日		平成30年度　診療報酬改定勉強会 （医事関係職員向け）	医事サービス第一課、医事サービス第二課職員	保険診療委員会
3月29日		平成30年度　診療報酬改定勉強会 （全職員向け）	副院長　保険診療委員会委員長　真野和夫	保険診療委員会
5月11日	救急勉強会		鹿児島大学病院　救命救急センター　副センター長　有嶋拓郎	教育研修推進室
5月11日		病院主事の災害医療勉強会		災害対策チーム
5月14日	NST勉強会	『経腸栄養時の下痢対策について』		栄養サポートチーム
5月22日	化学療法センター勉強会	『がん化学療法薬の安全な取り扱いについて ～薬剤師の視点から～』		癌化学療法委員会
6月1日	研修医勉強会	『腹痛患者のみかた』攻める問診＆診察実演	諏訪中央病院　総合診療科　山中克郎	教育研修推進室
6月7日	糖尿病勉強会	『カーボカウントについて』	管理栄養士　林衛	透析予防診療チーム
6月7日	緩和ケアチーム勉強会	『アドバンス・ケア・プランニング（ACP）について』	緩和ケア科医師　河合奈津子	緩和ケアチーム
6月9日	ICLS指導者講習Work Shop		花木芳洋　他	救命救急業務係
6月10日	ICLSなかむら		花木芳洋　他	救命救急業務係
6月11日	NST勉強会	『腸内細菌と栄養について』		栄養サポートチーム
6月11日	救急勉強会	『血算の読み方』	鹿児島大学病院　救命救急センター　副センター長　有嶋拓郎	教育研修推進室
6月25日	RST勉強会	『①酸素療法の基本とデバイス ②酸素療法器具の正しい選択・使用方法、ネーザルハイフローについて』	第二呼吸器内科　部長　横山俊彦	呼吸器管理チーム
6月26日	化学療法センター勉強会			癌化学療法委員会
7月9日	NST勉強会	『褥瘡対策（スキンケア）と栄養療法について』		栄養サポートチーム
7月9日	救急勉強会	『輸液療法』	鹿児島大学病院　救命救急センター　副センター長　有嶋拓郎	教育研修推進室
7月10日	RST勉強会	『人工呼吸器の構造と基本　NPW　e500』	第一呼吸器内科　副部長　青山大輔 臨床工学技術課　中井悠二	呼吸器管理チーム
7月11日	医療安全管理ワークショップ	『適用するクリニカルパスを取り間違えた事例』		医療安全推進チーム
7月20日	クリニカルパス勉強会	『パス作成の説明』 『バリアンス入力の方法　病棟での取り組み』	企画情報課　システム開発管理係長　安井元規 看護部	クリニカルパス推進チーム

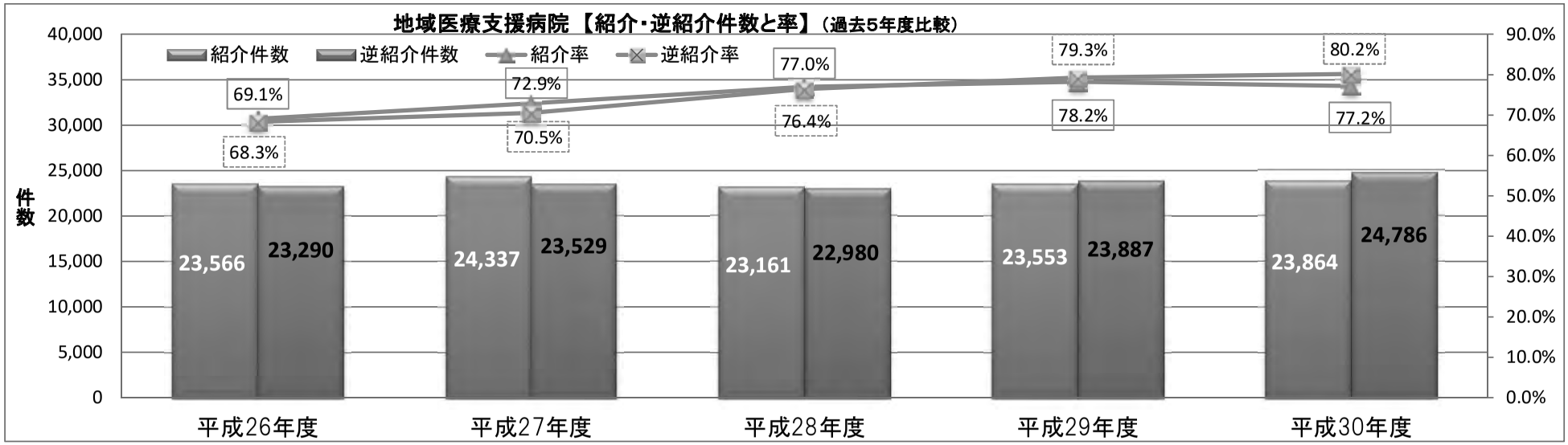
日 付	種 類	テーマ	講 師	主 催
7月24日		【平成30年7月豪雨災害】医療救護活動報告会		災害対策委員会・社会課
8月6日	救急勉強会	『栄養療法』	鹿児島大学病院 救命救急センター 副センター長 有嶋拓郎	教育研修推進室
8月9日	糖尿病勉強会	『妊娠糖尿病と周術期の血糖管理』 『検査について』	内分泌内科 部長 尾﨑信暁 臨床検査技師 一般検査係長 浅井祥之	透析予防診療チーム
8月27日	RST勉強会	『①人工呼吸器NPWe500 グラフィックモニターについて ②人工呼吸器のトラブルシューティング』	臨床工学技術課 課長 開正宏	呼吸器管理チーム
8月28日	化学療法センター勉強会			癌化学療法委員会
9月2日	ICLSなかむら		花木芳洋 他	救命救急業務係
9月3日	院内輸血勉強会	『輸血について勉強しよう！』	BIO-RAD社 学術担当 小黒博之	輸血管理および輸血療法委員会
9月7日	救急勉強会	『～演習で学ぶ～救急患者の連携』	鹿児島大学病院 救命救急センター 副センター長 有嶋拓郎	教育研修推進室
9月10日	NST勉強会	『NSTとは 栄養管理手順について』		栄養サポートチーム
9月11日	RST勉強会	『鎮痛・鎮静剤の薬剤』	薬剤部 服部哲幸	呼吸器管理チーム
9月14日		病院主事の災害医療勉強会		災害対策チーム
9月21日	研修医勉強会	『一過性意識障害』	名古屋医療センター 集中治療部 ER室長 近藤貴士郎	教育研修推進室
9月25日	化学療法センター勉強会			癌化学療法委員会
10月4日	糖尿病勉強会	『運動療法の負荷量設定と体験』	理学療法士 松原修	透析予防診療チーム
10月9日	摂食・嚥下障害ケアチーム講演会	『嚥下障害患者の嚥下食ととろみの付け方』	歯科 副部長 佐久間英規 管理栄養士 伊藤朱音	摂食・嚥下障害ケアチーム
10月10日	医療安全管理ワークショップ	『中止継続内服薬が再開となった事例』		医療安全推進チーム
10月12日	救急勉強会	『環境外傷～偶発性低体温症と熱中症～』	鹿児島大学病院 救命救急センター 副センター長 有嶋拓郎	教育研修推進室
10月15日	NST勉強会	『栄養評価法について』		栄養サポートチーム
10月16日	事務処理IAレポートワークショップ	『他患者の採血検査結果報告書を渡してしまった事例』		事務ワーキンググループ
10月19日	クリニカルパス大会	『①大腿骨近位部骨折の治療と看護』 『②気管支鏡検査パスについて』	①整形外科 松浦唯、西棟8階B 高井珠希 ②呼吸器内科 稲垣雅康	クリニカルパス推進チーム
10月23日	化学療法センター勉強会			癌化学療法委員会
10月29日	RST勉強会	『①VAP予防と口腔ケア』 『②人工呼吸器装着中の看護』	歯科 副部長 佐久間英規 救急看護認定看護師 係長 髙田恵理	呼吸器管理チーム
11月1日	糖尿病勉強会	『インスリンの使い方』	薬剤部 野村浩夫	透析予防診療チーム
11月2日	認知症勉強会	『認知症の原因疾患と病態治療』	神経内科 部長 後藤洋二	認知症ケアチーム
11月9日		病院主事の災害医療勉強会		災害対策チーム
11月9日	救急事例検討会			医療安全推進室 教育研修推進室
11月12日	NST勉強会	『経腸栄養法について』		栄養サポートチーム

日　付	種　類	テーマ	講　師	主　催
11月13日	RST勉強会	『呼吸器リハビリについて』	リハビリテーション科部　中村和司、高木寛人	呼吸器管理チーム
11月25日	ICLSなかむら		花木芳洋　他	救命救急業務係
11月27日	化学療法センター勉強会			癌化学療法委員会
12月3日	RST勉強会	『気管切開チューブについてとその取り扱い』		呼吸器管理チーム
12月17日	救急勉強会	『中毒の治療』	鹿児島大学病院　救命救急センター　副センター長　有嶋拓郎	教育研修推進室

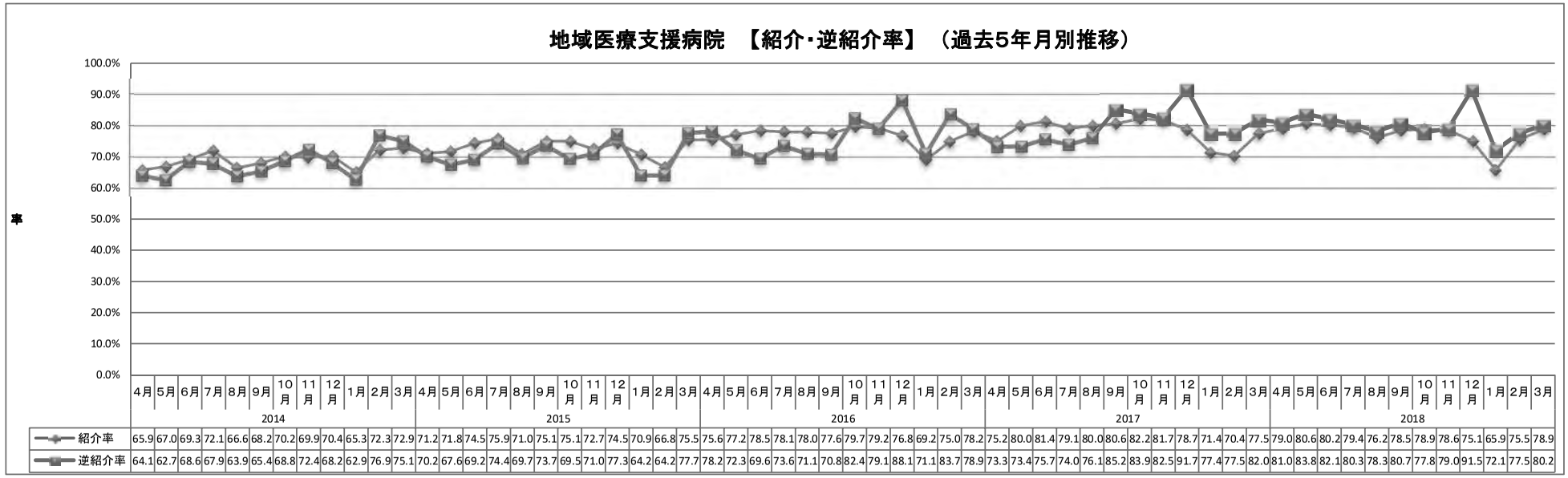
Ⅲ. 医 療 社 会 事 業 部

1. 地域医療連携室

（1）地域医療支援病院 【紹介・逆紹介件数と率】（年度別推移）



（2）地域医療支援病院 【紹介率・逆紹介率】（年度月別推移）



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
紹介率	65.9	67.0	69.3	72.1	66.6	68.2	70.2	69.9	70.4	65.3	72.3	72.9
逆紹介率	64.1	62.7	68.6	67.9	63.9	65.4	68.8	72.4	68.2	62.9	76.9	75.1

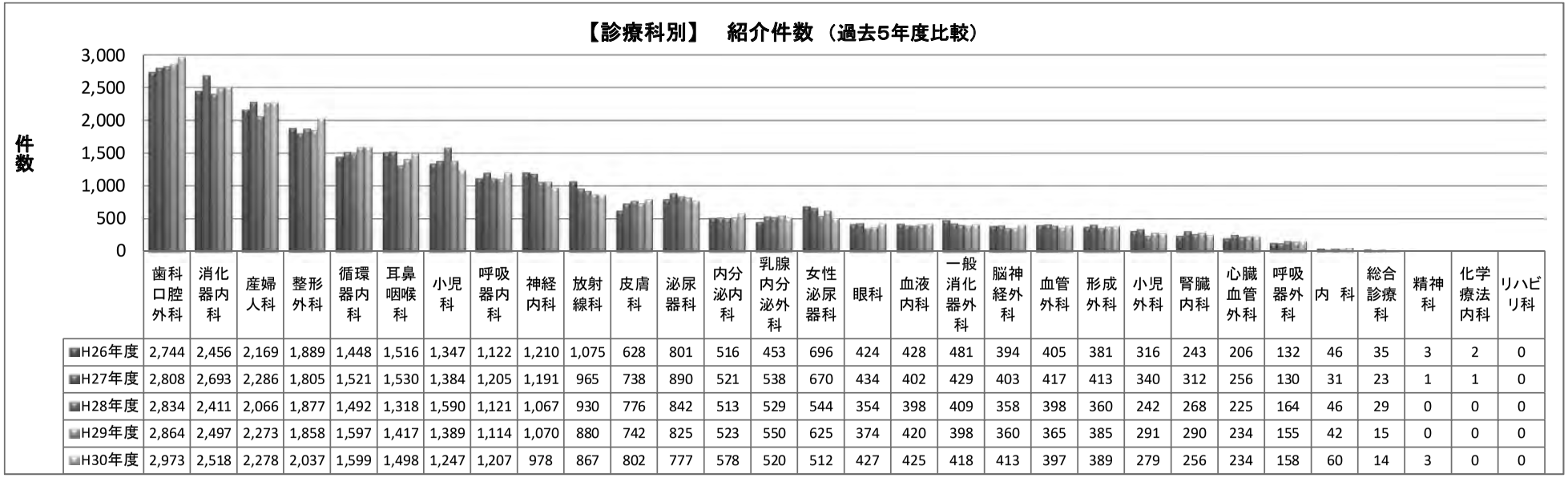
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
紹介率	71.2	71.8	74.5	75.9	71.0	75.1	75.1	72.7	74.5	70.9	66.8	75.5
逆紹介率	70.2	67.6	69.2	74.4	69.7	73.7	69.5	71.0	77.3	64.2	64.2	77.7

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
紹介率	75.6	77.2	78.5	78.1	78.0	77.6	79.7	79.2	76.8	69.2	75.0	78.2
逆紹介率	78.2	72.3	69.6	73.6	71.1	70.8	82.4	79.1	88.1	71.1	83.7	78.9

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
紹介率	75.2	80.0	81.4	79.1	80.0	80.6	82.2	81.7	78.7	71.4	70.4	77.5
逆紹介率	73.3	73.4	75.7	74.0	76.1	85.2	83.9	82.5	91.7	77.4	77.5	82.0

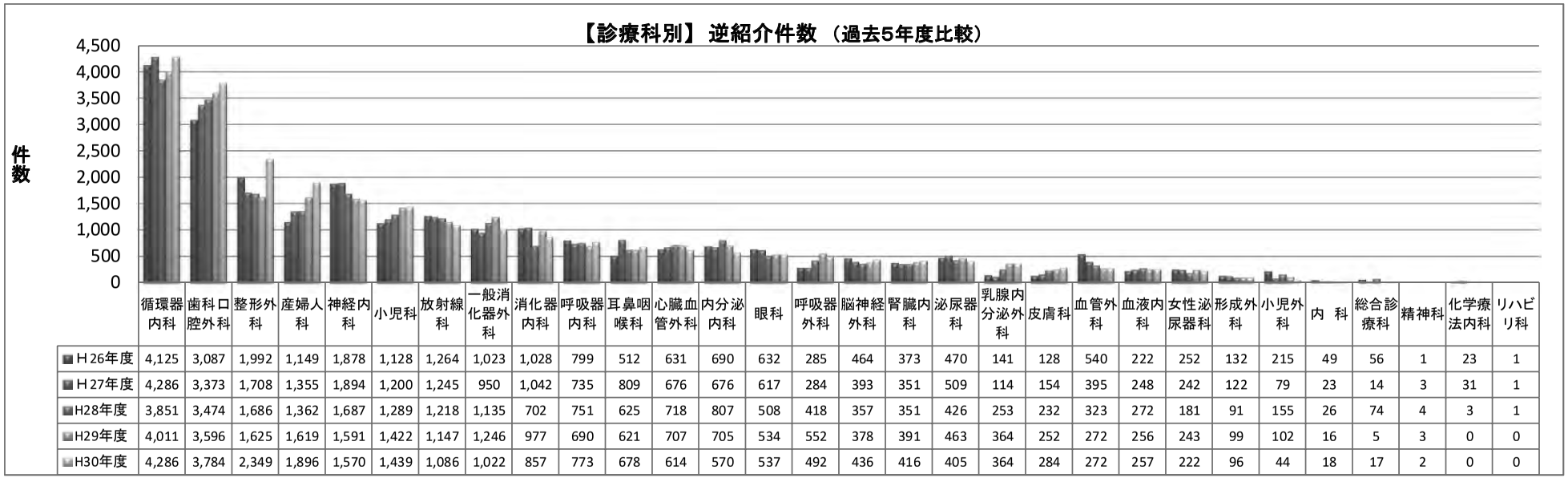
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
紹介率	79.0	80.6	80.2	79.4	76.2	78.5	78.9	78.6	75.1	65.9	75.5	78.9
逆紹介率	81.0	83.8	82.1	80.3	78.3	80.7	77.8	79.0	91.5	72.1	77.5	80.2

（3）【診療科別】紹介件数（過去5年度比較）



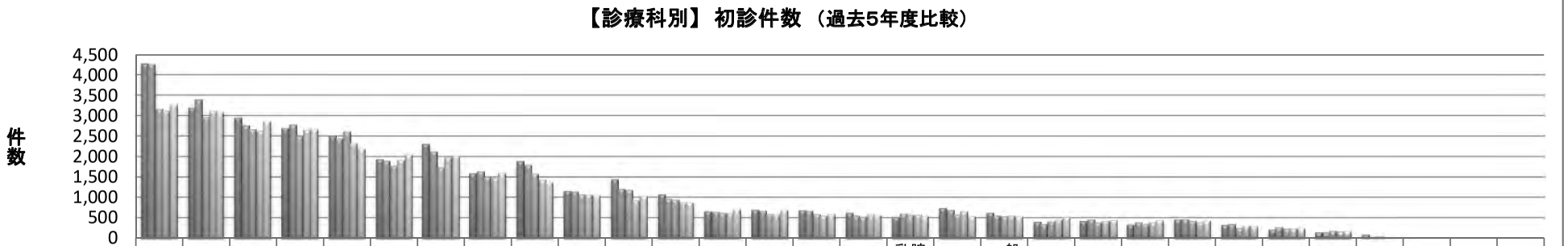
	歯科口腔外科	消化器内科	産婦人科	整形外科	循環器内科	耳鼻咽喉科	小児科	呼吸器内科	神経内科	放射線科	皮膚科	泌尿器科	内分泌内科	乳腺内分泌外科	女性泌尿器科	眼科	血液内科	一般消化器外科	脳神経外科	血管外科	形成外科	小児外科	腎臓内科	心臓血管外科	呼吸器外科	内　科	総合診療科	精神科	化学療法内科	リハビリ科
H26年度	2,744	2,456	2,169	1,889	1,448	1,516	1,347	1,122	1,210	1,075	628	801	516	453	696	424	428	481	394	405	381	316	243	206	132	46	35	3	2	0
H27年度	2,808	2,693	2,286	1,805	1,521	1,530	1,384	1,205	1,191	965	738	890	521	538	670	434	402	429	403	417	413	340	312	256	130	31	23	1	1	0
H28年度	2,834	2,411	2,066	1,877	1,492	1,318	1,590	1,121	1,067	930	776	842	513	529	544	354	398	409	358	398	360	242	268	225	164	46	29	0	0	0
H29年度	2,864	2,497	2,273	1,858	1,597	1,417	1,389	1,114	1,070	880	742	825	523	550	625	374	420	398	360	365	385	291	290	234	155	42	15	0	0	0
H30年度	2,973	2,518	2,278	2,037	1,599	1,498	1,247	1,207	978	867	802	777	578	520	512	427	425	418	413	397	389	279	256	234	158	60	14	3	0	0

（4）【診療科別】逆紹介件数（過去5年度比較）



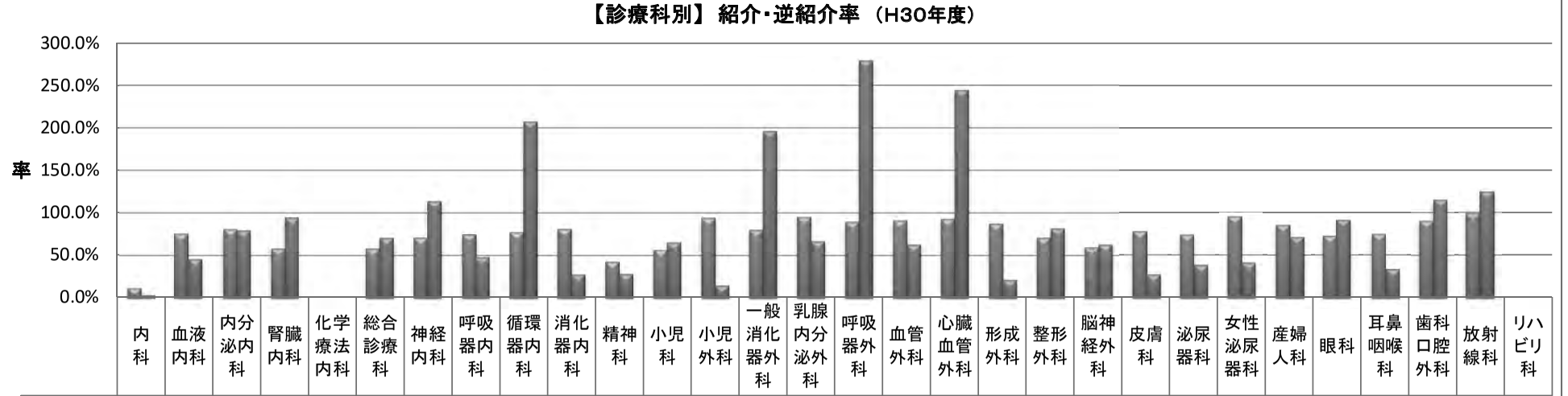
	循環器内科	歯科口腔外科	整形外科	産婦人科	神経内科	小児科	放射線科	一般消化器外科	消化器内科	呼吸器内科	耳鼻咽喉科	心臓血管外科	内分泌内科	眼科	呼吸器外科	脳神経外科	腎臓内科	泌尿器科	乳腺内分泌外科	皮膚科	血管外科	血液内科	女性泌尿器科	形成外科	小児外科	内　科	総合診療科	精神科	化学療法内科	リハビリ科
H 26年度	4,125	3,087	1,992	1,149	1,878	1,128	1,264	1,023	1,028	799	512	631	690	632	285	464	373	470	141	128	540	222	252	132	215	49	56	1	23	1
H 27年度	4,286	3,373	1,708	1,355	1,894	1,200	1,245	950	1,042	735	809	676	676	617	284	393	351	509	114	154	395	248	242	122	79	23	14	3	31	1
H28年度	3,851	3,474	1,686	1,362	1,687	1,289	1,218	1,135	702	751	625	718	807	508	418	357	351	426	253	232	323	272	181	91	155	26	74	4	3	1
H29年度	4,011	3,596	1,625	1,619	1,591	1,422	1,147	1,246	977	690	621	707	705	534	552	378	391	463	364	252	272	256	243	99	102	16	5	3	0	0
H30年度	4,286	3,784	2,349	1,896	1,570	1,439	1,086	1,022	857	773	678	614	570	537	492	436	416	405	364	284	272	257	222	96	44	18	17	2	0	0

(5)【診療科別】 初診件数 （過去5年度比較）



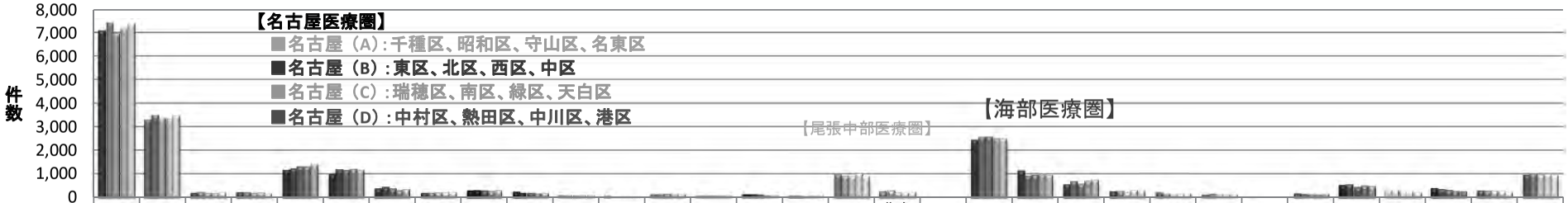
	歯科口腔外科	消化器内科	整形外科	産婦人科	小児科	循環器内科	耳鼻咽喉科	呼吸器内科	神経内科	泌尿器科	皮膚科	放射線科	内分泌内科	脳神経外科	眼科	血液内科	乳腺内分泌外科	女性泌尿器科	一般消化器外科	内科	形成外科	腎臓内科	血管外科	小児外科	心臓血管外科	呼吸器外科	総合診療科	精神科	化学療法内科	リハビリ科
H26年度	4,285	3,196	2,957	2,699	2,517	1,937	2,313	1,590	1,893	1,160	1,451	1,079	663	698	687	625	514	743	625	403	427	334	464	331	217	146	93	8	5	0
H27年度	4,272	3,405	2,766	2,785	2,444	1,905	2,131	1,641	1,799	1,149	1,211	968	645	674	672	554	596	691	558	351	464	390	470	354	270	143	36	4	1	0
H28年度	3,171	2,966	2,671	2,503	2,613	1,778	1,737	1,505	1,578	1,078	1,190	949	622	593	591	524	573	582	534	415	394	349	426	254	237	189	46	1	0	0
H29年度	3,125	3,118	2,627	2,654	2,322	1,916	1,985	1,479	1,438	1,074	933	886	619	581	554	584	577	661	555	452	423	396	396	304	242	165	25	3	0	0
H30年度	3,281	3,096	2,867	2,669	2,194	2,064	2,013	1,609	1,376	1,053	1,038	873	714	691	590	561	544	539	520	513	445	438	433	295	251	176	24	7	1	0

(6) 【診療科別】 紹介・逆紹介率 （H30年度）



	内科	血液内科	内分泌内科	腎臓内科	化学療法内科	総合診療科	神経内科	呼吸器内科	循環器内科	消化器内科	精神科	小児科	小児外科	一般消化器外科	乳腺内分泌外科	呼吸器外科	血管外科	心臓血管外科	形成外科	整形外科	脳神経外科	皮膚科	泌尿器科	女性泌尿器科	産婦人科	眼科	耳鼻咽喉科	歯科口腔外科	放射線科	リハビリ科
紹介率	11.6%	75.7%	80.9%	58.4%	0.0%	58.3%	71.0%	75.0%	77.4%	81.3%	42.8%	56.8%	94.5%	80.3%	95.5%	89.7%	91.6%	93.2%	87.4%	71.0%	59.7%	77.2%	73.7%	94.9%	85.3%	72.3%	74.4%	90.6%	99.3%	0.0%
逆紹介率	3.5%	45.8%	79.8%	94.9%	0.0%	70.8%	114.0	48.0%	207.6	27.6%	28.5%	65.5%	14.9%	196.5	66.9%	279.5	62.8%	244.6	21.5%	81.9%	63.0%	27.3%	38.4%	41.1%	71.0%	91.0%	33.6%	115.3	124.3	0.0%

(7)【地域、医療圏別】2次医療圏別紹介元動向(過去5年度比較)



	中村区	中川区	熱田区	港区	西区	中区	北区	東区	千種区	昭和区	名東区	守山区	南区	瑞穂区	緑区	天白区	清須市	北名古屋市	豊山町	あま市	大治町	津島市	蟹江町	愛西市	弥富市	飛島村	尾張東部	尾張西部	尾張北部	知多半島	西東三河	県外
H26年度	7,101	3,302	201	229	1,180	1,008	388	199	300	260	104	68	143	83	139	74	989	264	9	2,463	1,147	565	272	215	116	15	183	541	336	396	302	971
H27年度	7,424	3,490	244	230	1,243	1,196	462	210	316	209	84	41	138	84	149	68	928	303	4	2,571	931	701	274	138	163	9	152	564	331	367	290	1,023
H28年度	6,980	3,366	206	202	1,330	1,182	390	213	300	200	99	43	167	92	125	60	918	212	3	2,597	963	592	235	139	126	3	137	446	263	322	285	965
H29年度	7,190	3,357	188	219	1,321	1,215	321	221	278	177	103	45	145	97	99	70	1,012	208	4	2,516	977	726	319	140	128	17	132	512	259	282	277	998
H30年度	7,398	3,478	222	172	1,423	1,174	358	226	315	205	95	49	148	95	90	76	915	245	3	2,504	963	754	311	177	130	8	143	490	224	271	240	962

(8)【地域、医療圏別】2次医療圏別逆紹介先動向(過去5年度比較)

	中村区	中川区	港区	熱田区	西区	中区	北区	東区	昭和区	千種区	名東区	守山区	南区	瑞穂区	緑区	天白区	清須市	北名古屋市	豊山町	あま市	大治町	津島市	蟹江町	弥富市	愛西市	飛島村	尾張東部	尾張西部	尾張北部	知多半島	西東三河	県外
H26年度	7,118	3,041	242	135	1,367	835	284	140	311	324	140	63	178	144	141	84	1,049	270	6	2,505	969	571	250	132	223	8	200	518	318	443	281	926
H27年度	7,214	2,914	233	147	1,478	1,051	292	148	438	334	127	72	215	182	161	73	986	233	5	2,281	820	651	239	164	119	4	237	561	335	511	253	1,051
H28年度	6,478	3,132	208	151	1,445	999	278	193	435	364	113	52	186	133	143	71	977	208	7	2,383	835	653	240	147	136	8	303	533	349	517	310	993
H29年度	6,815	3,184	239	162	1,391	1,083	336	167	449	377	134	56	200	161	135	82	1,032	189	8	2,510	848	789	322	115	133	14	256	576	279	470	273	1,102
H30年度	7,117	3,285	261	239	1,527	994	332	166	479	354	116	64	185	153	147	86	1,074	234	5	2,545	827	787	327	143	167	10	295	613	329	479	298	1,148

（９）平成３０年度医療機器等の共同利用の実績

１　共同利用の実績
共同利用を行った医療機関延べ数（平成３０年４月～平成３１年３月）
特殊検査実績　１

検　査　項　目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
内視鏡（上部消化管）	10	13	9	11	14	14	22	15	13	10	19	11	161
脳波	1	2	2	1	0	0	3	4	1	2	1	0	17
ＭＲ（頭頸部）	47	53	40	35	33	32	48	33	34	24	31	37	447
ＭＲ（躯幹）	10	11	12	12	9	14	15	15	13	10	11	16	148
ＭＲ（四肢）	5	3	2	4	2	1	2	2	3	5	3	1	33
ＣＴ（頭頸部）	3	0	4	5	2	2	1	2	2	4	4	3	32
ＣＴ（躯幹）	32	33	30	31	33	25	33	31	29	27	25	26	355
ＣＴ（四肢）	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
６４列マルチスライスＣＴ	3	4	5	8	4	4	4	3	1	1	1	8	46
ＰＥＴ－ＣＴ	6	4	5	6	5	4	5	5	5	0	5	6	56
シンチグラム	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	2
放射線治療	6	4	0	7	6	3	3	2	2	3	2	3	41
合　　計	123	127	109	121	108	99	136	112	103	86	102	112	1,338

開設者と直接関係のない医療機関延べ数（平成３０年４月～平成３１年３月）
特殊検査実績　２

検　査　項　目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
内視鏡（上部消化管）	10	13	9	11	14	14	22	15	13	10	19	11	161
脳波	1	2	2	1	0	0	3	4	1	2	1	0	17
ＭＲ（頭頸部）	47	53	40	35	33	32	48	33	34	24	31	37	447
ＭＲ（躯幹）	10	11	12	12	9	14	15	15	13	10	11	16	148
ＭＲ（四肢）	5	3	2	4	2	1	2	2	3	5	3	1	33
ＣＴ（頭頸部）	3	0	4	5	2	2	1	2	2	4	4	3	32
ＣＴ（躯幹）	32	33	30	31	33	25	33	31	29	27	25	26	355
ＣＴ（四肢）	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
６４列マルチスライスＣＴ	3	4	5	8	4	4	4	3	1	1	1	8	46
ＰＥＴ－ＣＴ	6	4	5	6	5	4	5	5	5	0	5	6	56
シンチグラム	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	2
放射線治療	6	4	0	7	6	3	3	2	2	3	2	3	41
合　　計	123	127	109	121	108	99	136	112	103	86	102	112	1,338

２　共同利用実績（開放型病床）
共同利用による病床利用率（平成３０年４月～平成３１年３月）

区　　分	開放病床		利用した医師数	共同指導回数	利用率
	新入院患者数	入院患者延人数			
平成30年4月	3	62	3	0	41.3%
平成30年5月	0	20	0	0	12.9%
平成30年6月	2	28	3	0	18.7%
平成30年7月	1	33	1	0	21.3%
平成30年8月	2	15	2	0	9.7%
平成30年9月	2	16	2	0	10.7%
平成30年10月	5	22	5	0	14.2%
平成30年11月	2	4	2	0	2.7%
平成30年12月	1	4	1	0	2.6%
平成31年1月	2	7	2	0	4.5%
平成31年2月	7	48	7	0	34.3%
平成31年3月	4	50	4	0	32.3%
年間合計・年間病床利用率	31	309	32	0	16.9%
月平均	2.6	25.8	2.7	0.0	

（10）病診連携システム学術セミナー開催状況

①医科病診連携システム学術セミナー

回　数	開催日：会場	開催内容	講　　師	参加者（医療従事者）	
				院内	院外
第　1　回	平成11年10月23日(土) 午後3時～午後4時30分 日本赤十字愛知女子短期大学 4階階段教室	狭心症をめぐって	座長：循環器科部長　大野三良 内科側から循環器科副部長　神谷春雄 外科側から心臓外科副部長　伊藤敏明	39名	80名
第　2　回	平成12年6月24日(土) 午後2時30分～午後4時30分 名古屋第一赤十字病院 古川講堂	内視鏡　up－to－date 内視鏡的止血処置と内視鏡手術	司会：第二消化器科部長　日下部篤彦 内視鏡による異物除去 消化器科医師　佐久間晶子 主として上部消化管 第一消化器科副部長　春田純一 主として下部消化管及び胆道系 第二消化器科副部長　山口丈夫 診療所医師の立場から 竹田内科胃腸科クリニック　竹田信彦 先生	28名	53名
第　3　回	平成13年9月29日(土) 午後3時～午後5時 名古屋第一赤十字病院 古川講堂	内視鏡　up－to－date 外科系各科における今日の内視鏡治療	外科、呼吸器外科、整形外科、耳鼻咽喉科、 泌尿器科、産婦人科、脳神経外科 各科から主にVideoを中心に発表 開業医における内視鏡検査の実情 奥村胃腸科外科院長　奥村恪郎 先生	39名	51名
第　4　回	平成14年9月21日(土) 午後3時～午後5時 名古屋第一赤十字病院 古川講堂	1　Brain　attackの時代に診療の現場から 2　診断・超音波診断の有用性 ・SPECTの有用性 3　治療・外科的治療の現状 ・脳動脈瘤、脳出血の治療、 4　閉塞性脳血管障害の治療 ・リハビリテーションの効果 5　・エビデンスに基づく二次予防	司会：神経内科部長　真野和夫 脳神経外科部長　稲尾意秀 診断・超音波診断の有用性：神経内科　中野智伸 SPECTの有用性：神経内科　山下史国 脳動脈の治療：脳神経外科　西沢俊久 脳出血の治療：脳神経外科副部長　池田浩司 閉塞性脳血管障害：脳神経外科　壁谷隆介 リハビリテーションの効果：鶴舞リハビリテーション病院副院長　鄭統圭 先生 神経内科副部長　後藤洋二	32名	44名
第　5　回	平成15年10月25日(土) 午後3時～午後5時 名古屋第一赤十字病院 古川講堂	糖尿病 より良い全身管理を目ざして 1　診療所の立場から 2　糖尿病網膜症の実態、 内科医に期待したいこと 3　糖尿病性腎症の自然歴、現況と腎症管理の基本的視点 糖尿病性腎症以外の腎疾患をどう疑うか 4　冠動脈疾患の視点から見た糖尿病と その予防 5　末梢血管病変から見た糖尿病とその予防 6　まとめ	司会：第三内科部長　山守育雄 糖研会R＆Kクリニック鬼頭内科 院長 鬼頭柳三 先生 眼科医師　鈴木俊光 第二内科部長代理　市田静憲 第一循環器科副部長　佐野宏明 第一外科副部長　山本清人 第三内科部長　山守育雄	23名	49名
第　6　回	平成16年10月23日(土) 午後3時～午後5時 名古屋第一赤十字病院 古川講堂	高血圧症−合併症を防ぐには− 1　家庭医からみた高血圧症 2　高血圧と腎障害 3　高血圧と脳血管障害 4　高血圧と心臓病 5　まとめ	司会：副院長　大野三良 藤田内科小児科医院 院長　藤田淳士 先生 第二内科部長　市田静憲 脳神経外科副部長　加藤恭三 第一循環器科副部長　佐野宏明 副院長　大野三良	23名	47名
第　7　回	平成17年10月29日(土) 午後3時～午後5時 名古屋第一赤十字病院 古川講堂	「めまい」について 1「メニエール病とその注意点」 2　耳鼻科医の立場から 3　循環器科医の立場から 4　神経内科医の立場から 5　脳神経外科医の立場から 副題「脳腫瘍と椎骨動脈解離」 6　精神科医の立場から	司会：第一神経内科部長　真野和夫 吉川耳鼻咽喉科 院長　吉川兼人 先生 名古屋第一赤十字病院 耳鼻咽喉科医師　古橋篤 名古屋第一赤十字病院 第二循環器科副部長　牧野光恭 名古屋第一赤十字病院 第二神経内科部長　後藤洋二 名古屋第一赤十字病院 脳神経外科副部長　池田浩司 名古屋第一赤十字病院 精神科部長　中西雅夫	30名	61名
第　8　回	平成18年10月21日(土) 午後3時～午後5時 名古屋第一赤十字病院 内ヶ島講堂	「プライマリー・ケアで診る家庭医に必要な 小児救急の知識」 1　開業医から診た小児救急の問題点について 2　名古屋第一赤十字病院小児科の立場から (1)発熱の対処、紹介、入院の目安 (2)嘔吐、下痢などの脱水のCare、入院 回避のコツ (3)喘鳴、気道感染などの対処 3　名古屋第一赤十字病院皮膚科の立場から 「小児期発疹のあれこれ」 4　勤務医から診療所へ、診療所から勤務医 へ	座長：第四小児科部長　羽田野 爲夫 フジノ内科 藤野 均 先生 名古屋第一赤十字病院 小児科医長　丸山　幸一 名古屋第一赤十字病院 第四小児科部長　羽田野 爲夫 名古屋第一赤十字病院 第一小児科副部長　月舘 千寿子 名古屋第一赤十字病院 皮膚科部長　安藤　浩一 名古屋第一赤十字病院 第四小児科部長　羽田野 爲夫	28名	92名
第　9　回	平成19年10月20日(土) 午後6時30分～午後8時 ヒルトン名古屋　5階「扇の間」	平成20年度開始の特定健診に臨んで 座長講演 「特定健診に臨んで」 基調講演 「当院での特定健診・特定保健指導」 特別講演 1)「開業医から考える特定健診とは」 特別講演 2)「特定健診・特定保険指導とNPOのかかわり」	名古屋第一赤十字病院 副院長　大野 三良 名古屋第一赤十字病院 健診部長　野村 史郎 細川外科クリニック 院長　細川 秀一 先生 愛知県医師会 健診・保険事業理事 水上クリニック院長　水上 哲秀 先生	15名	100名

第　10　回	平成20年7月12日(土) 午後5時～午後7時 名古屋ルーセントタワー16階	【在宅医療に向けて】 Ⅰ)診療所側から 講演1 「在宅医療の病診連携における問題点」 講演2 「診療所からみた在宅医療のための病診連携」 Ⅱ)病院側から 講演1 「在宅における胃瘻管理」 講演2 「在宅における酸素療法」 講演3 「在宅における排尿管理」 講演4 「がん性疼痛・緩和ケア」	座長：名古屋第一赤十字病院 副院長　酒井　秀造 (医)心月会　じょうど医院 院長　森 光春 先生 (医)古山医院 院長　古山 明夫 先生 名古屋第一赤十字病院 消化器内科 山田 恵一 名古屋第一赤十字病院 呼吸器科部長 野村 史郎 名古屋第一赤十字病院 泌尿器科部長 村瀬 達良 名古屋第一赤十字病院 緩和ｹｱ科部長 北折 健次郎	17名	56名
第　11　回	平成21年7月11日(土) 午後5時～午後7時 名古屋ルーセントタワー16階	～日常臨床におけるうつ病対策～ 講演Ⅰ 「見逃しやすいうつ病患者とその対応」 講演Ⅱ 「うつ病の早期発見と治療」	座長：名古屋第一赤十字病院 副院長　大野 三良 中村公園メンタルクリニック 院長　佐藤 信幸 先生 名古屋大学名誉教授・愛知淑徳大学教授 (医)北林会 北林病院 名誉院長　太田 龍朗 先生	27名	70名
第　12　回	平成22年7月10日(土) 午後5時～午後7時 名鉄グランドホテル11階	「投薬禁忌の注意点」と 「がんのクリティカルパス」 講演Ⅰ 「併用注意、禁忌薬剤について」 ～各診療科からのコメントを含めて～ 講演Ⅱ 診療所側から 「がん地域連携クリティカルパスにおける 開業医の役割」 病院側から 1)「作成から運用と進捗状況について」 2)「胃癌・大腸癌の地域連携クリティカルパス について」 3)「乳癌地域連携パスの運用について」	座長：名古屋第一赤十字病院 副院長　大野 三良 名古屋第一赤十字病院 薬剤部　教育研修課長　池田 義明 座長：名古屋第一赤十字病院 第二循環器内科部長　神谷 春雄 （医）順英会　太田なごやかクリニック 院長　太田 英正 先生 名古屋第一赤十字病院 呼吸器内科部長　野村 史郎 名古屋第一赤十字病院 第二一般・消化器外科部長　竹内 英司 名古屋第一赤十字病院 乳腺・内分泌外科部長　後藤 康友	43名	87名
第　13　回	平成23年7月9日(土) 午後5時～午後7時 名鉄グランドホテル11階	～東日本大震災における医療活動と支援～ 講演Ⅰ 「医師会JMAT活動を通じて見えたもの」 講演Ⅱ 「東日本大震災(･大津波)：被災地の砦として」	座長：名古屋第一赤十字病院 救命救急センター長兼医療社会事業部長　花木 芳洋 名古屋市医師会中村区支部 副会長　細川 秀一　先生 石巻赤十字病院 院長　飯沼 一宇　先生	42名	49名
第　14　回	平成24年7月21日(土) 午後5時～午後7時 名古屋観光ホテル2階	～かかりつけ医と病院医師が相互に期待すること　～ 講演Ⅰ「診療所で診る腰痛、関節痛、しびれ ～専門医への紹介のタイミング～　」 講演Ⅱ「慢性腰痛について」 講演Ⅲ「四肢のしびれをどう診るか。 神経内科の立場から」	座長：名古屋第一赤十字病院 医療社会事業部長　花木 芳洋 名古屋市中村区医師会 副会長　谷 能之 先生 名古屋第一赤十字病院 リハビリテーション科部長　井上 英則 名古屋第一赤十字病院 副院長兼神経内科部長　真野 和夫	34名	57名
第　15　回	平成25年7月13日(土) 午後4時～午後5時30分 名古屋第一赤十字病院 バースセンター棟4階　演習室1	～認知症診療について～ 講演Ⅰ「中村区医師会の認知症疾患への 取り組みと地域連携」 講演Ⅱ「認知症の診断と治療について」	座長：名古屋第一赤十字病院 副院長兼医療社会事業部長　稲尾 意秀 中村区医師会会長 (医)古山医院院長　古山 明夫 先生 名古屋第一赤十字病院 副院長兼神経内科部長　真野 和夫	24名	35名
第　16　回	平成26年7月12日(土) 午後4時～午後5時30分 名古屋観光ホテル3階	地域連携による糖尿病診断と治療について 講演Ⅰ　中村区糖尿病研究会のこれまでの取り組み 講演Ⅱ　糖尿病性腎症はいつ紹介すべきか 講演Ⅲ　糖尿病　―最近のトピックス―	座長：名古屋第一赤十字病院 副院長兼医療社会事業部長　稲尾 意秀 名古屋市中村区医師会副会長 谷内科院長　谷 能之 先生 名古屋第一赤十字病院 腎臓内科医長　遠藤 信英 名古屋第一赤十字病院 内分泌内科部長　尾崎 信暁	27名	50名
第　17　回	平成27年7月25日(土) 午後4時～午後5時30分 名古屋観光ホテル3階	病院から在宅へ －在宅医療・介護連携の発展に向けて－ 講演Ⅰ「地域包括ケアシステムを踏まえた 中村区在宅医療・介護連携」 講演Ⅱ「糖尿病診療における病診連携」 講演Ⅲ「摂食嚥下障害の評価と口腔ケア」 講演Ⅳ「廃用症候群に対する在宅機能訓練」	座長：名古屋第一赤十字病院 副院長兼医療社会事業部長　稲尾 意秀 中村区医師会会長 (医)古山医院院長　古山 明夫 先生 名古屋第一赤十字病院 内分泌内科部長　尾崎 信暁 名古屋第一赤十字病院 歯科部長　大岩　伊知郎 名古屋第一赤十字病院 整形外科部長　大澤　良充	22名	58名
第　18　回 ※「なかむら学術セミナー」に名称変更	平成28年7月23日(土) 午後4時30分～午後6時 名古屋観光ホテル2階	1．医療事故調査制度の開始にあたって 講演Ⅰ「医療事故調査制度の現況について」 2．心原性脳塞栓症の救急治療と予防 講演Ⅱ「心房細動の根治治療を目指して」 講演Ⅲ「脳塞栓症の急性期血管内治療について」	座長：名古屋第一赤十字病院 医療安全推進チーム委員長兼第二産婦人科部長　水野 公雄 愛知県医師会理事 (医)細川外科クリニック　細川　秀一 先生 座長：名古屋第一赤十字病院 第一循環器内科部長　神谷 春雄 名古屋第一赤十字病院 第二循環器内科部長　柴田　義久 名古屋第一赤十字病院 脳卒中科副部長　岡本　剛	38名	45名
第　19　回 なかむら学術 セミナー	平成29年7月29日(土) 午後4時30分～午後6時 名古屋観光ホテル2階	消化器系疾患について 講演Ⅰ「名古屋市における胃がん検診（内視鏡検査）について 講演Ⅱ「当院における緊急内視鏡診療の現況－上部消化管出血を中心に－」 講演Ⅲ「肝疾患のup to date －B、C型肝炎について－」	座長：名古屋第一赤十字病院 第一消化器内科部長　春田　純一 名古屋市中村区医師会副会長 いいだクリニック　飯田　昌幸　先生 名古屋第一赤十字病院 第一消化器内科部長　春田　純一 名古屋第一赤十字病院 第一消化器内科副部長　土居崎　正雄	30名	48名
第　20　回 なかむら学術 セミナー	平成30年7月28日(土) 午後4時30分～午後6時 名古屋観光ホテル2階	多剤耐性に注意した抗菌剤の使い方 講演Ⅰ「抗微生物薬適正使用に関する診療所のアンケート調査結果について」 講演Ⅱ「薬剤耐性アクションプランから抗菌薬の適正使用へ」 講演Ⅲ「小児外来診療における抗菌薬の適正使用の推進」 講演Ⅳ「ASTにおける薬剤師の関わり」	座長：名古屋第一赤十字病院 副院長兼第一呼吸器内科部長　野村　史郎 名古屋市中村区医師会会長 佐々木医院院長　佐々木　國夫　先生 名古屋第一赤十字病院 副院長兼第一呼吸器内科部長　野村　史郎 名古屋第一赤十字病院 第二小児科副部長　吉田　奈央 名古屋第一赤十字病院 救急病棟業務係長（薬剤部）　向山　直樹	37名	49名

（11）平成30年度地域医療研修プログラム実績

開催年月日	曜日	時間	症例検討会・研修会・勉強会等記録	備　　考	参加者（医療従事者）	
					院　内	院　外
2018年4月16日	月	20:30 ～ 22:00	中村区・海部医師会・名古屋第一赤十字病院合同カンファランス 参加対象：医師 東棟2階　会議室 1,2	神経内科研修会・症例検討会 演者：脳神経外科部長　波多野　寿	7	17
2018年5月21日	月	20:30 ～ 22:00	中村区・海部医師会・名古屋第一赤十字病院合同カンファランス 参加対象：医師 東棟2階　会議室 1,2	一般・消化器外科研修会・症例検討会 演者：一般・消化器外科第一部長　三宅　秀夫	13	14
2018年6月18日	月	20:30 ～ 22:00	中村区・海部医師会・名古屋第一赤十字病院合同カンファランス 参加対象：医師 東棟2階　会議室 1,2	循環器内科研修会・症例検討会 演者：第一循環器内科部長　神谷　春雄	11	14
2018年7月23日	月	20:30 ～ 22:00	中村区・海部医師会・名古屋第一赤十字病院合同カンファランス 参加対象：医師 東棟2階　会議室 1,2	呼吸器内科研修会・症例検討会 演者：副院長兼第一呼吸器内科部長　野村史郎	13	15
2018年9月10日	月	20:30 ～ 22:00	中村区・海部医師会・名古屋第一赤十字病院合同カンファランス 参加対象：医師 東棟2階　会議室 1,2	形成外科研修会・症例検討会 演者：形成外科部長　林　祐司	2	10
2018年10月15日	月	20:30 ～ 22:00	中村区・海部医師会・名古屋第一赤十字病院合同カンファランス 参加対象：医師 東棟2階　会議室 1,2	循環器内科研修会・症例検討会 演者：第一循環器内科部長　神谷　春雄	9	14
2018年11月19日	月	20:30 ～ 22:00	中村区・海部医師会・名古屋第一赤十字病院合同カンファランス 参加対象：医師 東棟2階　会議室 1,2	消化器内科研修会・症例検討会 演者：副院長兼第一消化器内科部長　春田純一	8	13
2018年12月17日	月	20:30 ～ 22:00	中村区・海部医師会・名古屋第一赤十字病院合同カンファランス 参加対象：医師 東棟2階　会議室 1,2	耳鼻咽喉科研修会・症例検討会 演者：耳鼻咽喉科部長　柘植　勇人	6	9
2019年1月21日	月	20:30 ～ 22:00	中村区・海部医師会・名古屋第一赤十字病院合同カンファランス 参加対象：医師 東棟2階　会議室 1,2	呼吸器内科研修会・症例検討会 演者：副院長兼第一呼吸器内科部長　野村史郎	13	13
2019年2月18日	月	20:30 ～ 22:00	中村区・海部医師会・名古屋第一赤十字病院合同カンファランス 参加対象：医師 東棟2階　会議室 1,2	循環器内科研修会・症例検討会 演者：第一循環器内科部長　神谷　春雄	2	11
2019年3月18日	月	20:30 ～ 22:00	中村区・海部医師会・名古屋第一赤十字病院合同カンファランス 参加対象：医師 東棟2階　会議室 1,2	循環器内科研修会・症例検討会 演者：血液内科　宮村　耕一	1	13
2018年6月28日	木	20:00 ～ 21:30	第31回ANN循環器カンファランス～若手循環器の集い～ 参加対象：医師 名古屋第一赤十字病院 東棟2階 会議室1	「心不全のUp to date」 演者：名古屋第一赤十字病院 第一循環器内科部長　神谷　春雄	3	4
2018年7月26日	木	20:00 ～ 21:30	第32回ANN循環器カンファランス～若手循環器の集い～ 参加対象：医師 名古屋第一赤十字病院 東棟2階 会議室1	「心臓領域におけるPETイメージング」 演者：名古屋第一赤十字病院 第一循環器内科部長　神谷　春雄	4	4
2018年9月27日	木	20:00 ～ 21:30	第33回ANN循環器カンファランス～若手循環器の集い～ 参加対象：医師 名古屋第一赤十字病院 東棟2階 会議室1	演者：名古屋第一赤十字病院 第一循環器内科部長　神谷　春雄	1	5
2019年1月24日	木	20:00 ～ 21:30	第34回ANN循環器カンファランス～若手循環器の集い～ 参加対象：医師 名古屋第一赤十字病院 東棟2階 会議室1	演者：名古屋第一赤十字病院 第一循環器内科部長　神谷　春雄	8	4
2019年3月28日	木	20:00 ～ 21:30	第35回ANN循環器カンファランス～若手循環器の集い～ 参加対象：医師 名古屋第一赤十字病院 東棟2階 会議室1	演者：名古屋第一赤十字病院 第一循環器内科部長　神谷　春雄	2	3

開催年月日	曜日	時間	症例検討会・研修会・勉強会等記録	備　　考	参加者(医療従事者)	
					院 内	院 外
2018年4月25日	水	14:30 ～ 15:30	中村区医師会・名古屋第一赤十字病院、肺癌二重読影研修会 参加対象：医師 東棟2階　会議室 3	講師：名古屋第一赤十字病院 副院長兼第一呼吸器内科部長　野村　史郎	1	5
2018年5月23日	水	14:30 ～ 15:30	中村区医師会・名古屋第一赤十字病院、肺癌二重読影研修会 参加対象：医師 東棟2階　会議室 3	講師：名古屋第一赤十字病院 第二呼吸器内科部長　横山　俊彦	1	7
2018年6月27日	水	14:30 ～ 15:30	中村区医師会・名古屋第一赤十字病院、肺癌二重読影研修会 参加対象：医師 東棟2階　会議室 3	講師：名古屋第一赤十字病院 副院長兼第一呼吸器内科部長　野村　史郎	1	4
2018年7月25日	水	14:30 ～ 15:30	中村区医師会・名古屋第一赤十字病院、肺癌二重読影研修会 参加対象：医師 東棟2階　会議室 3	講師：名古屋第一赤十字病院 副院長兼第一呼吸器内科部長　野村　史郎	1	4
2018年8月22日	水	14:30 ～ 15:30	中村区医師会・名古屋第一赤十字病院、肺癌二重読影研修会 参加対象：医師 東棟2階　会議室 3	講師：名古屋第一赤十字病院 副院長兼第一呼吸器内科部長　野村　史郎	1	7
2018年9月26日	水	14:30 ～ 15:30	中村区医師会・名古屋第一赤十字病院、肺癌二重読影研修会 参加対象：医師 東棟2階　会議室 3	講師：名古屋第一赤十字病院 第二呼吸器内科部長　横山　俊彦	1	7
2018年10月24日	水	14:30 ～ 15:30	中村区医師会・名古屋第一赤十字病院、肺癌二重読影研修会 参加対象：医師 東棟2階　会議室 3	講師：名古屋第一赤十字病院 副院長兼第一呼吸器内科部長　野村　史郎	1	5
2018年11月28日	水	14:30 ～ 15:30	中村区医師会・名古屋第一赤十字病院、肺癌二重読影研修会 参加対象：医師 東棟2階　会議室 3	講師：名古屋第一赤十字病院 副院長兼第一呼吸器内科部長　野村　史郎	1	4
2018年12月26日	水	14:30 ～ 15:30	中村区医師会・名古屋第一赤十字病院、肺癌二重読影研修会 参加対象：医師 東棟2階　会議室 3	講師：名古屋第一赤十字病院 副院長兼第一呼吸器内科部長　野村　史郎	1	5
2019年1月23日	水	14:30 ～ 15:30	中村区医師会・名古屋第一赤十字病院、肺癌二重読影研修会 参加対象：医師 東棟2階　会議室 3	講師：名古屋第一赤十字病院 副院長兼第一呼吸器内科部長　野村　史郎	1	5
2019年2月27日	水	14:30 ～ 15:30	中村区医師会・名古屋第一赤十字病院、肺癌二重読影研修会 参加対象：医師 東棟2階　会議室 3	講師：名古屋第一赤十字病院 副院長兼第一呼吸器内科部長　野村　史郎	1	6
2019年3月27日	水	15:00 ～ 16:00	中村区医師会・名古屋第一赤十字病院、肺癌二重読影研修会 参加対象：医師 東棟2階　会議室 3	講師：名古屋第一赤十字病院 第二呼吸器内科部長　横山　俊彦	1	5
2018年5月25日	金	15:00 ～ 16:00	中村区医師会・名古屋第一赤十字病院、胃癌二重読影研修会 参加対象：医師 東棟2階　会議室 3	講師：名古屋第一赤十字病院 副院長兼第一消化器内科部長　春田　純一	1	3
2018年7月27日	金	15:00 ～ 16:00	中村区医師会・名古屋第一赤十字病院、胃癌二重読影研修会 参加対象：医師 東棟2階　会議室 3	講師：名古屋第一赤十字病院 副院長兼第一消化器内科部長　春田　純一	1	4
2018年9月28日	金	15:00 ～ 16:00	中村区医師会・名古屋第一赤十字病院、胃癌二重読影研修会 参加対象：医師 東棟2階　会議室 3	講師：名古屋第一赤十字病院 副院長兼第一消化器内科部長　春田　純一	1	4
2018年11月30日	金	15:00 ～ 16:00	中村区医師会・名古屋第一赤十字病院、胃癌二重読影研修会 参加対象：医師 東棟2階　会議室 3	講師：名古屋第一赤十字病院 副院長兼第一消化器内科部長　春田　純一	1	4
2019年1月25日	金	15:00 ～ 16:00	中村区医師会・名古屋第一赤十字病院、胃癌二重読影研修会 参加対象：医師 東棟2階　会議室 3	講師：名古屋第一赤十字病院 副院長兼第一消化器内科部長　春田　純一	1	3

開催年月日	曜日	時間	症例検討会・研修会・勉強会等記録	備　　考	参加者(医療従事者)	
					院 内	院 外
2019年3月22日	金	15:00 ～ 16:00	中村区医師会・名古屋第一赤十字病院、胃癌二重読影研修会 参加対象：医師 東棟2階　会議室 3	講師：名古屋第一赤十字病院 副院長兼第一消化器内科部長　春田　純一	1	4
2018年7月28日	土	16:30 ～ 18:00	第20回　なかむら学術セミナー 参加対象：医療従事者 名古屋観光ホテル2階　曙東の間	テーマ：「多剤耐性に注意した抗菌剤の使い方」 講演Ⅰ「抗微生物薬適正使用に関する診療所のアンケート調査結果について」 名古屋市中村区医師会長　佐々木医院　佐々木　國夫 講演Ⅱ「薬剤耐性対策アクションプランから抗菌薬の適正使用へ」 名古屋第一赤十字病院副院長兼第一呼吸器内科部長　野村　史郎 講演Ⅲ「小児外来診療における抗菌薬の適正使用の推進」 名古屋第一赤十字病院　第二小児科副部長　吉田　奈央 講演Ⅳ「ASTにおける薬剤師の関わり」 名古屋第一赤十字病院　薬剤部　救急病棟業務科会長　向山　直樹	37	49
2019年2月14日	木	17:00 ～	第16回名古屋第一赤十字病院・地域歯科医師会病診連携システム学術セミナー 参加対象：医療従事者 名古屋第一赤十字病院　バースセンター棟4階　演習室1	講演Ⅰ「口腔癌診療ガイドラインについて」 演者：名古屋第一赤十字病院 歯科口腔外科副部長　佐藤　春樹 講演Ⅱ「口腔がん手術の実際」(動画) 演者：名古屋第1赤十字病院 歯科部長兼歯科口腔外科部長　大岩　伊知郎	28	70
2018年4月21日	土	8:00 ～ 18:30	第65回ICLS研修会 参加対象：医療従事者 名古屋第一赤十字病院　内ヶ島講堂	講師：名古屋第一赤十字病院 救命救急センター長　花木 芳洋	37	4
2018年4月22日	日	8:00 ～ 18:30	第65回ICLS研修会 参加対象：医療従事者 名古屋第一赤十字病院　内ヶ島講堂	講師：名古屋第一赤十字病院 救命救急センター長　花木 芳洋	37	4
2018年6月9日	土	9:00 ～ 18:00	ICLS Work Shop 参加対象：医療従事者 名古屋第一赤十字病院　ﾊﾞｰｽｾﾝﾀｰ棟4階　演習室1	講師：名古屋第一赤十字病院 救命救急センター長　花木 芳洋	15	7
2018年6月10日	日	8:00 ～ 18:30	第66回ICLSなかむら 参加対象：医療従事者 名古屋第一赤十字病院　ﾊﾞｰｽｾﾝﾀｰ棟4階　演習室1	講師：名古屋第一赤十字病院 救命救急センター長　花木 芳洋	42	3
2018年9月2日	日	9:00 ～ 18:30	第67回ICLS研修会 参加対象：医療従事者 名古屋第一赤十字病院　ﾊﾞｰｽｾﾝﾀｰ棟4階　演習室1、研修室2.3	講師：名古屋第一赤十字病院 救命救急センター長　花木 芳洋	43	4
2018年10月25日	日	8:00 ～ 18:30	第68回ICLS研修会 参加対象：医療従事者 名古屋第一赤十字病院　内ヶ島講堂	講師：名古屋第一赤十字病院 救命救急センター長　花木 芳洋	39	4
2019年2月10日	土	8:00 ～ 19:00	第69回ICLS研修会 参加対象：医療従事者 名古屋第一赤十字病院　ﾊﾞｰｽｾﾝﾀｰ棟4階　演習室1	講師：名古屋第一赤十字病院 救命救急センター長　花木 芳洋	48	5
2018年12月11日	月	15:00 ～ 17:00	海部地区消防本部・西春日井広域事務組合消防本部合同症例検討会 参加対象：医療従事者 西春日井広域事務組合　西消防署　講堂	講師：名古屋第一赤十字病院 救命救急センター長　花木 芳洋	1	40
2019年2月14日	月	15:00 ～ 17:00	海部地区消防本部・西春日井広域事務組合消防本部合同症例検討会 参加対象：医療従事者 あま市七宝焼きアートヴィレッジ	講師：名古屋第一赤十字病院 救命救急センター長　花木 芳洋	1	35

開催年月日	曜日	時間	症例検討会・研修会・勉強会等記録	備　　考	参加者(医療従事者)	
					院 内	院 外
2018年9月1日	土	9:00 ～	JMECC 参加対象：医師 名古屋第一赤十字病院　ﾊﾞｰｽｾﾝﾀｰ棟4階　会議室他	講師：名古屋第一赤十字病院 救命救急センター長　花木 芳洋	19	4
2019年2月17日	日	9:00 ～	JMECC（内科救急・ICLS講習会） 参加対象者：医療従事者 名古屋大学医学部附属病院	講師：名古屋第一赤十字病院 救急部長　都築　通孝	1	6
2018年4月15日	日	10:30 ～ 16:00	「Cancer OF Excellence Ⅲ 名古屋」セミナー 参加対象者：医療従事者 JRゲートタワー　カンファレンス	「Cancer OF Excellence Ⅲ 名古屋」セミナー 演者：名古屋第一赤十字病院 耳鼻咽喉科　部長　柘植　勇人	1	156
2018年4月19日	木	19:00 ～ 20:00	「八事Lung Cancer Seminar」 参加対象者：医療従事者 名古屋第二赤十字病院	「八事Lung Cancer Seminar」 演者：名古屋第一赤十字病院 細胞分子病理診断部細胞分子病理検査課長　郡司　昌治	1	42
2018年4月20日	金	18:30 ～ 21:30	「第51回アブレーションカンファレンス」 参加対象者：医師 名古屋マリオットアソシアホテル　17階 「コスモス」	「アブレーション治療と薬物治療」 演者：名古屋第一赤十字病院 第三循環器内科部長　嶋野　祐之	1	129
2018年5月12日	土	17:00 ～ 18:30	「RA Specialists Meeting in NAGOYA」 参加対象者：医師 名鉄ニューグランドホテル	「整形外科医からみたRAの治療戦略」 演者：名古屋第一赤十字病院 リハビリテーション科部長　石川　尚人	1	28
2018年5月16日	水	14:00 ～ 15:00	中村区医師会研修会 参加対象者：医師 中村区休日急病診療所	中村区医師会員対象に腎臓病における知識向上ならびに 地域連携を深めるための講演 演者：名古屋第一赤十字病院 腎臓内科副部長　石川　英昭	1	11
2018年5月19日	土	14:00 ～ 18:00	「第38回東海川崎病研究会」 参加対象者：医師 名古屋国際センター　別棟ホール	東海川崎病研究会 演者：名古屋第一赤十字病院 小児科　朱　逸清	1	59
2018年6月5日	火	18:00 ～ 19:30	名古屋第一赤十字病院地域医療連携学術講演会 参加対象：医師 名古屋第一赤十字病院　東棟2階　内ヶ島講堂	「がんゲノム医療の話題」 演者：名古屋大学医学部附属病院 化学療法部　教授　安藤　雄一	83	4
2018年6月13日	水	19:00 ～ 21:00	胃がん免疫療法セミナー 参加対象者：医師 名古屋マリオットアソシアホテル	「胃がん免疫療法セミナー」 演者：名古屋第一赤十字病院 一般・消化器外科第一部　部長　三宅　秀夫	1	35
2018年6月15日	金	19:00 ～ 21:00	アクチムラキャッスルマン病難病指定記念研究会 参加対象者：医師 名古屋第一赤十字病院　内ヶ島講堂	キャッスルマン病に対するアクチムラの定期制使用の普及 演者：名古屋第一赤十字病院 血液内科　森下　喬充	1	29

開催年月日	曜日	時間	症例検討会・研修会・勉強会等記録	備　　考	参加者(医療従事者)	
					院 内	院 外
2018年6月20日	水	18:30 ～ 20:10	名古屋第一赤十字病院　産婦人科病診連携の会 参加対象:医師 名古屋第一赤十字病院　東棟2階　内ヶ島講堂	①助産院にて日齢4に発熱で発症し脳腫瘍に至った 細菌性髄膜炎の1例 ②胎児胸水に対し胎児胸腔～羊水腔シャント術を施行した1例 ③当院での腹腔鏡下子宮悪性腫瘍(子宮体がん) ～施設認定誤10症例を経験して～ 演者:名古屋第一赤十字病院 産婦人科　①藤城　尚純　②津田　弘之 ③廣村　勝彦	18	15
2018年6月21日	木	19:00 ～ 20:30	西名古屋脳卒中カンファランス 参加対象者:医師、薬剤師 名鉄グランドホテル　11階「桂の間」	「嚥下障害患者における内服薬の剤形選択」 演者:名古屋第一赤十字病院 薬剤部　永田　圭耶	1	69
2018年6月22日	金	19:00 ～ 21:00	「Gynecologic Cancer Forum in Nagoya」 参加対象者:医師 ザ　サイプレス　メルキュールホテル名古屋2階 サイプレスルーム	Gynecologic Cancer Forum in Nagoya 演者:名古屋第一赤十字病院 総合周産期母子医療センター長件第一産婦人科部長 水野　公雄	2	63
2018年6月23日	土	14:00 ～ 17:00	「中村区薬剤師会学術講演会」 参加対象者:医療従事者 アルフレッサ株式会社　名古屋西支店　会議室	「甲状腺・副甲状腺疾患の最近の知見」 演者:名古屋第一赤十字病院 内分泌内科副部長　清田　篤志	1	26
2018年7月2日	月	19:00 ～ 20:30	Hodgkin Lymphoma Seminar in Nagoya 参加対象者:医師 名古屋観光ホテル3F 「那古東」	「初回再発ホジキンリンパ腫に対するBrentuximab vedotin」 演者:名古屋第一赤十字病院 血液内科　後藤　実世	1	44
2018年7月12日	木	19:30 ～ 21:00	[第9回PSF名古屋ーADVANCE講演会」 参加対象者:医師 名古屋マリオットアソシアホテル　16階「サルビア」	[第9回PSF名古屋ーADVANCE講演会」 演者:名古屋第一赤十字病院 脳神経外科副部長　藤谷　繁	3	17
2018年7月14日	土	14:00 ～ 15:30	名古屋市西区薬剤師会 参加対象者:薬剤師 中北薬品名塚視点　3階	「間接リウマチの薬物治療について」 演者:名古屋第一赤十字病院 リハビリテーション科部長　石川　尚人	1	34
2018年7月19日	木	20:00 ～ 21:20	平成スキルアップセミナー 参加対象者:医師 名古屋東急ホテル　2階 「梅」	「女性の尿トラブル　初期診療の紹介ポイント」 演者:名古屋第一赤十字病院 女性泌尿器科　部長　加藤　久美子	1	12
2018年7月21日	土	18:00 ～ 20:00	第34回四川会研究会 参加対象者:医師 名古屋大学　基礎医学研究棟	慢性腎不全患者へのアドバンスケア 演者:名古屋第一赤十字病院 腎臓内科副部長　石川　英昭	1	150

開催年月日	曜日	時間	症例検討会・研修会・勉強会等記録	備　　考	参加者(医療従事者)	
					院　内	院　外
2018年7月22日	土	13:00 ～ 17:00	日本手術看護学会東海地区　周術期セミナー 参加対象者：医療従事者 名古屋第一赤十字病院　東棟2階　内ヶ島講堂	東海地区周術期セミナー 演者：名古屋第一赤十字病院 看護部　看護師　二宮　結花	1	154
2018年7月26日	木	18:30 ～ 21:00	第12回名古屋Urologyセミナー 参加対象者：医師 ANAクラウンプラザホテルグランコート名古屋	「VUR（膀胱尿管逆流症）に対する気膀胱下Cohen胞の頚件」 演者：名古屋第一赤十字病院 泌尿器科　平林　裕樹	1	47
2018年7月27日	金	18:45 ～ 21:00	呼吸器疾患研究会2018 参加対象者：医師 名古屋マリオットアソシアホテル	呼吸器疾患研究会2018講演 演者：名古屋第一赤十字病院 副院長兼呼吸器内科部長　野村　史郎	1	44
2018年7月27日	金	10:00 ～ 16:00	平成30年度「身体疾患をもつうつ・せん妄の理解とその対応」 参加対象者：保健師、助産師、看護師、准看護師 名古屋国際会議場　1号館　4階　141・142	せん妄の基礎知識、アセスメントとケア うつ病の基礎知識、身体疾患との関連、アセスメントとケア等 演者：名古屋第一赤十字病院 精神看護専門看護師　服部　希恵　、　井筧　理江	2	142
2018年7月28日	土	14:50 ～ 16:00	中村区薬剤師会 参加対象者：薬剤師 アルフレッサ株式会社　名古屋西支店　会議室	「てんかんの内科診療」 演者：名古屋第一赤十字病院 神経内科副部長　渡邉　はづき	1	41
2018年8月1日	水	19:00 ～ 21:00	MPN　Round Table Meeting in Aichi 参加対象者：医師 名古屋マリオットアサオシアホテル17階 「オーク」	骨髄増殖性腫瘍の診断と治療 演者：名古屋第一赤十字病院 副院長兼病理部　部長　伊藤　雅文	1	6
2018年8月2日	木	18:30 ～ 20:00	平成30年度　病診連携協議会 参加対象者：歯科医師 愛知県歯科医師会館2階　歯～とぴあホール	平成30年　度病診連携協議会 演者：名古屋第一赤十字病院 歯科口腔外科部長　大岩　伊知郎	1	66
2018年8月2日	木	19:30 ～ 20:50	第5回RA臨床セミナー 参加対象者：医師 名古屋クレストンホテル	「高齢者の関節リウマチの治療」 演者：名古屋第一赤十字病院 リハビリテーション科部長　石川　尚人	1	14
2018年8月3日	金	19:00 ～ 20:30	第18回移植と免疫を学ぶ会 参加対象者：医師 TKPガーデンシティPREMIUM名古屋ルーセントタワー ビジネスサポートセンター	血液領域の診断・研鑽「移植後免疫反応の病理」 演者：名古屋第一赤十字病院 副院長兼病理部　部長　伊藤　雅文	1	49
2018年8月4日	土	16:00 ～	名古屋市西区医師会学術講演会 参加対象者：医師 西区医師会館　大会議室	不眠に関する講演 演者：名古屋第一赤十字病院 精神科　診療相談センター長　　太田　龍朗	1	40

開催年月日	曜日	時間	症例検討会・研修会・勉強会等記録	備　　考	参加者(医療従事者)	
					院 内	院 外
2018年8月4日	土	9:00 ～ 9:40	第30回東海ストーマリハビリテーション講習会 参加対象者：医師、看護師 ウインクあいち（愛知県産業労働センター）	骨盤内手術に伴う下部尿路機能障害、性機能障害 演者：名古屋第一赤十字病院 女性泌尿器科部長　加藤　久美子	1	96
2018年8月16日	木	14:00 ～ 16:00	「平成30年度生涯教育研修会」 参加対象者：医師 愛知県医師会館　地下健康教育講堂	テーマ：「乳癌外科治療の現状と将来」 演者：名古屋第一赤十字病院 乳腺センター長　岩瀬　拓士	1	49
2018年8月18日	木	13:00 ～ 17:00	第3回東海補助循環の会 参加対象者：医療従事者 愛知県産業労働センター	補助循環の安全管理について 演者：名古屋第一赤十字病院 臨床工学課　課長　開　正宏	1	121
2018年8月24日	金	19:00 ～ 20:45	骨髄不全とPNHを考える会 参加対象者：医師 名古屋第一赤十字病院　会議室２	骨髄不全とPNHを考える会 演者：名古屋第一赤十字病院 血液内科　新家　裕朗	1	17
2018年8月25日	土	16:30 ～ 19:30	「第16回　東海血液疾患スライドカンファレンス」 参加対象者：医師 コンベンションルーム　AP名古屋　8階	「第16回　東海血液疾患スライドカンファレンス」コメンテーター 演者：名古屋第一赤十字病院 血液内科　川口　裕佳	1	41
2018年8月25日	土	16:30 ～ 18:20	リウマチ・ワークショップIN愛知　フォローアップの会 参加対象者：医療従事者 キャッスルプラザ名古屋　3階「孔雀の間　北」	リウマチ医療におけるチーム医療の実践と推進 演者：名古屋第一赤十字病院 リハビリテーション科部長　石川　尚人	1	22
2018年8月25日	土	9:00 ～ 17:00	平成30年度名古屋第一赤十字病院緩和ケア研修 参加対象者：医療従事者 内ヶ島講堂	緩和ケアの研修会	19	5
2018年8月31日	金	19:00 ～ 21:00	第2回　Epilepsy Education Seminar in 名古屋 参加対象者：医師 名古屋マリオットアソシアホテル　17階　ルピナス	「海馬硬化を伴う内側側頭葉てんかん長期経過」 演者：名古屋第一赤十字病院 神経内科　医長　本田　大祐	1	55
2018年9月6日	木	19:30 ～ 21:00	名古屋南西AF（心房細動）を考える会 参加対象者：医師 キャッスルプラザ	名古屋南西AFを考える会 演者：名古屋第一赤十字病院 循環器内科　安田　健一郎	1	29
2018年9月7日	金	19:00 ～ 20:40	Immuno-Oncology Seminar in NAGOYA 参加対象者：医療従事者 ストリングスホテル名古屋	Immuno-Oncology Seminar in NAGOYA 演者：名古屋第一赤十字病院 耳鼻咽喉科　医長　鈴木　淳志 呼吸器内科　谷本　光希 薬剤部　櫛原　秀之	1	55

開催年月日	曜日	時間	症例検討会・研修会・勉強会等記録	備　　考	参加者(医療従事者)	
					院 内	院 外
2018年9月15日	土	10:35 ～ 11:20	平成30年度医療機器安全基礎講習会 （第40回ME技術講習会） 参加対象者：ME ウインクあいち9F　901会議室	「医療機器を安全に扱うための医療ガスのトラブルと事例と対策」 演者：名古屋第一赤十字病院 臨床工学課　課長　開　正宏	1	138
2018年9月29日	土	9:30 ～ 19:30	平成30年度第1回中部ブロック統括DMAT技能維持・ロジスティクス 研修及び平成30年度第3回中部ブロックDMAT技能維持研修 参加対象者：医療従事者 独立行政法人国立病院機構名古屋医療センター	平成30年度第1回中部ブロック統括DMAT技能維持・ロジスティクス ・ロジスティクス研修1日目 演者：名古屋第一赤十字病院 救命救急センター長　花木　芳洋	1	197
2018年10月4日	木	18:00 ～ 19:30	看看連携交流会 参加対象者：　医療従事者 名古屋第一赤十字病院　東棟2階　内ヶ島講堂	演者：名古屋第一赤十字病院 摂食嚥下看護認定看護師　坂口真那美	27	27
2018年10月5日	金	17:45 ～ 19:30	サイエンス漢方セミナーin内ヶ島講堂 参加対象者：　医療従事者 名古屋第一赤十字病院　東棟2階　内ヶ島講堂	サイエンス漢方処方セミナー 演者：名古屋第一赤十字病院 一般消化器外科　第二部長　永井　英雅	1	57
2018年10月13日	日	16:00 ～ 18:00	第15回名古屋血管外科懇話会 参加対象者：医師 名古屋マリオットアソシアホテル　16F「サルビア」	第15回名古屋血管外科懇話会 演者：名古屋第一赤十字病院 血管外科　徳永　晴策	1	23
2018年10月14日	日	17:00 ～ 18:20	第18回名古屋小児科医会総会学術講演会 参加対象者：医師 中日パレス	小児脳神経外科の診療 演者：名古屋第一赤十字病院 脳神経外科部長　波多野　寿	1	50
2018年10月27日	日	14:50 ～ 16:00	「中村区薬剤師会学術講演会」 参加対象者：薬剤師 アルフレッサ株式会社　名古屋西支店　会議室	中村区薬剤師会講演会 災害時の薬剤師の役割　～過去の経験を踏まえて～ 演者：名古屋第一赤十字病院 薬剤部　服部　哲幸	3	36
2018年10月22日	月	14:50 ～ 16:00	「第27回小児医療センター症例検討会」 参加対象者：　医療従事者 名古屋第一赤十字病院　東棟2階　内ヶ島講堂	血算の異常値の見方 演者：名古屋第一赤十字病院　小児血液腫瘍科部長 濱　麻人 その他症例検討	20	18
2018年11月1日	木	19:00 ～ 20:15	ワン・ツーカンファレンス 参加対象者：医師 名古屋第一赤十字病院　バースセンター4階　研修室1	整形外科疾患における治療学 演者：名古屋第一赤十字病院 手外科部長　洪　淑貴	12	12
2018年11月3日	土	15:00 ～ 18:00	第9回名古屋/浜松てんかん合同カンファランス 参加対象者：医師 名古屋キャッスルプラザホテル	名古屋・浜松てんかん合同カンファランス 演者：名古屋第一赤十字病院 脳神経外科部長　藤谷　繁	1	61

開催年月日	曜日	時間	症例検討会・研修会・勉強会等記録	備　　考	参加者(医療従事者)	
					院　内	院　外
2018年11月3日	土	8:30 ～ 18:50	平成30年度愛知県災害医療コーディネート研修 参加対象者：医療従事者 愛知県医師会館	災害コーディネート研修 演者：名古屋第一赤十字病院 救命救急センター長　花木　芳洋	1	42
2018年11月4日	日	14:00 ～ 15:00	「MEセミナー」 参加対象者：医療従事者 八神製作所8F　サマニアンホール	医療安全セミナー「医療ガス・電気設備の安全管理について」 演者：名古屋第一赤十字病院 臨床工学課　課長　開　正宏	1	80
2018年11月8日	木	19:00 ～ 20:30	第106回ブルーと・アーベント 参加対象者：医師 名古屋大学医学部附属病院　鶴友会館	「MSC治療でGVHD抑制とGVL効果の両者が得られた移植後 早期再発ALLの一例」 演者：名古屋第一赤十字病院 血液内科　岡部　基人	1	54
2018年11月8日	木	19:00 ～ 20:30	地域医療連携学術講演会（緩和ケア運営委員会） 参加対象者：医療従事者 名古屋第一赤十字病院　東棟2階　内ヶ島講堂	「心不全緩和ケアの今までとこれから」 飯塚病院　緩和ケア科　大森崇史先生 演者：名古屋第一赤十字病院 血液内科　岡部　基人	56	12
2018年11月9日	菌	18:30 ～ 20:30	第58回東海小児造血細胞移植研究会 参加対象者：医師 名古屋第一赤十字病院　内ヶ島講堂	「ALLに対する骨髄移植後に発症した二次性脳腫瘍」 演者：名古屋第一赤十字病院 小児科　山下　大紀	1	49
2018年11月10日	土	14:45 ～ 19:10	第8回名古屋運動器腫瘍セミナー 参加対象者：医師 ヒルトン名古屋　4階 「竹園の間」	「手術加療によりADLの改善を認めた大腿骨病的骨折」 演者：名古屋第一赤十字病院 整形外科　長谷　康弘	1	64
2018年11月17日	土	15:00 ～ 19:00	第27回東海新生児研究会 参加対象者：医師 栄ガスビル　5階「ガスホール」	「第27回新生児研究会」 演者：名古屋第一赤十字病院 小児科　間宮　野里花	1	49
2018年11月18日	日	11:00 ～ 13:00	第5回東海リウマチ看護師ネットワークセミナー 参加対象者：医療従事者 中外製薬株式会社　愛知支店　8階会議室	第5回東海リウマチ看護師ネットワークセミナー 演者：名古屋第一赤十字病院 医療社会事業部　医療社会事業係長　田畑　真規子	5	60
2018年12月3日	月	13:30 ～ 16:40	救急救命士養成教育 参加対象者：救急救命士 名古屋市救急救命研修所 （昭和消防署ビル5階）	小児・新生児疾患に関する講義 演者：名古屋第一赤十字病院 第三小児科副部長　福見　大地	1	38
2018年12月14日	日	19:00 ～ 21:00	Nagoya Myeloma Seminar 参加対象者：医師 ヒルトン名古屋　竹林の間	多発性骨髄腫に関する最新医学的知見の普及 演者：名古屋第一赤十字病院 血液内科　李　尹河	6	54

開催年月日	曜日	時間	症例検討会・研修会・勉強会等記録	備　　考	参加者(医療従事者)	
					院 内	院 外
2018年12月15日	土	16:00 ～ 17:00	乳房再建を学ぶ会 参加対象者：医師 TKPガーデンシティPREMIUM名古屋新幹線口バケットルーム	「再建の時代の乳癌手術」 ～乳切なら再建の選択肢を、温存なら再建に負けない整容性を～ 演者：名古屋第一赤十字病院 乳腺センター長　岩瀬　拓士	1	11
2018年12月16日	日	10:00 ～ 16:00	薬剤師のためのスキルアップセミナー 参加対象者：医療従事者 名古屋市立大学薬学研究科・薬学部実習棟	「糖尿病薬物療法を通して多職種連携の進め方を学ぶⅡ」 演者：名古屋第一赤十字病院 薬剤部　野村　浩夫	1	30
2018年1月12日	土	8:00 ～ 19:00	第32回名古屋掖済会病院PTLS講習会 参加対象者：医療従事者 名古屋掖済会病院　救命救急ｾﾝﾀｰ4階講堂および会議室	第32回名古屋掖済会病院PTLS講習会 演者：名古屋第一赤十字病院 救命救急センター長　花木　芳洋	1	52
2019年1月13日	日	15:00 ～ 16:30	「血液浄化セミナーⅡ」 参加対象者：医療従事者 中部大学名古屋キャンパス	「安全のために知っておきたい酸素療法と酸塩基平均について」 演者：名古屋第一赤十字病院 臨床工学課　課長　開　正宏	1	100
2019年1月19日	土	15:00 ～ 17:00	公益社団法人　愛知県臨床検査技師会 　生理検査研究班　研究会 参加対象者：医療従事者 名古屋市立大学医学部研究棟11階　講義室B	「平成30年度愛臨技サーベイ開設　心電図検査」 演者：名古屋第一赤十字病院 検査部　倉田　貴規	1	81
2019年1月19日	土	14:50 ～ 18:05	「第50回愛知県糖尿病薬物療法研究会」 参加対象者：薬剤師 TKPガーデンシティPREMIUM	「第50回愛知県糖尿病薬物療法研究会」 演者：名古屋第一赤十字病院 薬剤部　小山　佐知子	2	78
2019年1月20日	日	13:50 ～ 16:20	平成30年度　第5回　愛知県病院薬剤師会　感染制御部会　学術講演会 参加対象者：薬剤師 TKPガーデンシティPREMIUM名古屋新幹線口	平成30年度　第5回　愛知県病院薬剤師会　感染制御部会　学術講演会 演者：名古屋第一赤十字病院 薬剤部　向山　直樹	4	59
2019年2月1日	金	19:00 ～ 21:00	オプチーボ頭頸部癌セミナーinTOKAI 参加対象者：医師 名古屋マリオットアソシアホテル	オプチーボ頭頸部癌セミナーinTOKAI 演者：名古屋第一赤十字病院 頭頸部外科部長　寺田　聡広	1	87
2019年2月7日	木	19:30 ～ 21:00	「CardioVascular Conference in West Nagoya」 参加対象者：医師 ストリングスホテル名古屋　3階　フローティングテラス	「CardioVascular Conference in West Nagoya」 演者：名古屋第一赤十字病院 第三循環器内科部長　嶋野　祐之 循環器内科　平松　武宏	1	42
2019年2月14日	木	19:30 ～ 21:00	B-cell Malignancy Seminar in Nagoya 参加対象者：医師 名古屋第一赤十字病院　東棟2階　会議室1．2	「MCLにおけるイブルチニブの使用頚件」 演者：名古屋第一赤十字病院 血液内科　医長　森下　喬充	7	13

開催年月日	曜日	時間	症例検討会・研修会・勉強会等記録	備　　考	参加者(医療従事者)	
					院 内	院 外
2019年2月16日	土	9:00 ～ 17:00	日本手術看護学会当会地区　内視鏡看護セミナー 参加対象者：手術看護師 名古屋第一赤十字病院	日本手術看護学会当会地区　内視鏡看護セミナー 演者：名古屋第一赤十字病院 看護師　二宮　結花 看護師　加納　朋美	2	53
2019年2月16日	土	14:15 ～ 16:00	「第4回　在宅を考える会」 －在宅で診る緩和ケアー 参加対象者：医療従事者 JPタワー名古屋ホール＆カンファレンスルームB	「緩和ケアセンターからの在宅医療への移行」 演者：名古屋第一赤十字病院 看護師長　武藤　直美	1	40
2019年2月21日	木	19:30 ～ 21:00	パーキンソン病学術講演会 ～チームでパーキンソン病を考える～ 参加対象者：医療従事者 ホテル名古屋ガーデンパレス	「パーキンソン病の嚥下機能について」(仮) 演者：名古屋第一赤十字病院 リハビリテーション科　言語療法係長　犬飼　晃見	13	71
2019年2月21日	木	19:00 ～ 21:30	第12回中村区の腎臓病を考える会 参加対象者：医療従事者 ザ　サイプレス　メルキュールホテル名古屋	第12回中村区腎臓病を考える会 演者：名古屋第一赤十字病院 臨床工学課　滝本　さち	12	26
2019年2月24日	日	10:00 ～ 11:00	医療ガス安全使用セミナー 参加対象者：医療従事者 名古屋第一赤十字病院　内ヶ島講堂	「医療ガスの安全管理」 演者：名古屋第一赤十字病院 臨床工学課　課長　開　正宏	1	24
2019年2月25日	月	19:30 ～ 21:00	Meet The Expert 参加対象者：医師 名古屋マリオットアソシアホテル	愛知県エリアにおけるガザイバの適正使用の浸透 演者：名古屋第一赤十字病院 院長補佐兼血液内科部長　宮村　耕一	13	1
2019年3月3日	日	13:00 ～ 16:00	愛知リエゾン(周産期)研修 参加対象者(医師) アイリス愛知　2階　会議室サフラン	周産期医療に特化した調整薬を担うリエゾン養成 演者：名古屋第一赤十字病院 救命救急センター長　花木　芳洋	3	10
2019年3月7日	木	19:20 ～ 21:30	「高齢者トータルマネジメント研究会」 参加対象者：医師、薬剤師 エーザイ(株)名古屋コミュニケーションオフィス	「高齢者の睡眠障害の治療～薬物療法を中心に～」 演者：名古屋第一赤十字病院 診療相談センター長　太田　龍朗	1	48
2019年3月14日	木	19:00 ～ 21:30	「第2回JAK　Meeting」 参加対象者：医療関係者 名古屋マリオットアソシアホテル	リウマチの最新情報の提供 演者：名古屋第一赤十字病院 リハビリテーション科部長　石川　尚人	1	5
2019年3月14日	木	19:00 ～ 21:00	若手医師のためのてんかん診療講演会 参加対象者：医師 名古屋マリオットアソシアホテル　16F 「アゼリア」	若手医師のためのてんかん診療講演会 演者：名古屋第一赤十字病院 神経内科　医長　本田　大祐	1	88

開催年月日	曜日	時間	症例検討会・研修会・勉強会等記録	備　　考	参加者(医療従事者)	
					院 内	院 外
2019年3月15日	金	13:00 ～ 15:00	MICS講演会 参加対象者：医師 名古屋第一赤十字病院　会議室	MICS講演会 演者：名古屋第一赤十字病院 心臓血管外科部長　伊藤敏明	1	4
2019年3月23日	土	14:50 ～ 15:50	中村区薬剤師会講演会 参加対象者：薬剤師 アルフレッサ株式会社　名古屋西支店　会議室	リウマチ医療に関する最近の知見 演者：名古屋第一赤十字病院 リハビリテーション科部長　石川　尚人	1	36
2019年3月23日	土	15:30 ～ 17:00	「平成30年度西春日井薬剤師会研修会」 参加対象者：薬剤師 清洲市民センター　302視聴覚室	「平成30年度西春日井薬剤師会研修会」 演者：名古屋第一赤十字病院 内分泌内科副部長　清田　篤志	1	23
				合計	841	4,603

２．医療社会事業課

（1） 平成30年度年間援助件数

1.ケース人数

《年度実人数》

ケースの区分	実人数
年度実人数	12,003

《月別実人数年度合計》

ケースの区分	入院・外来	実人数
月別継続ケースの年度合計		4,292
月別新規ケースの年度合計	入院	9,100
	外来	2,433
合計		15,825

月別終了ケースの年度合計	11,419

2.年度別延人数

ケースの区分	延人数
年度延人数	48,048

3.新規ケースの紹介経路

区分	実件数
医師	1,041
看護師	8,840
リハビリ職	1
その他院内職員	203
本人	587
家族・親戚縁者	388
院外関係機関	441
近隣者・知人	9
ソーシャルワーカー	23
合計	11,533

4.問題

区分	実件数
家族関係の問題	97
介護・療養生活上の問題	7,729
経済に関する問題	342
日常生活上の問題	110
就労・職場の問題	59
教育の問題	8
医療の確保に関する問題	4,683
人権に関わる問題	53
心理・情緒的問題	21
制度活用に関する問題	2,371
その他	130
合計	15,603

5.援助方法

方法		実件数
面接	本人	6,378
	家族	6,433
電話	本人	608
	家族	6,432
訪問	家族	3
	その他	2
同行・同伴・代行		97
文章・FAX		6,350
情報収集		10,039
院内協議・院内カンファレンス		34,992
院外協議・院外カンファレンス		25,737
合同カンファレンス		267
合計		97,338

6.相談援助調整内容

内容	延件数
1.家族関係に関すること	604
2.在宅介護・地域生活に関すること	35,398
3.療養生活に関すること	1,271
4.経済的問題に関すること	1,642
5.就労・職場環境に関すること	128
6.就学・教育環境に関すること	22
7.虐待・暴力・人権に関すること	435
8.受診・受療に関すること	5,054
9.転院に関すること(医療機関)	31,775
10.他施設利用に関すること	1,393
11.心理・情緒的問題に関すること	70
12.他福祉関係法利用に関すること	8,501
13.その他	409
合計	86,702

7.介入の時期

区分	実人数
1.受診	296
2.外来継続	1,662
3.入院時	236
4.入院継続	400
5.退院期	8,443
6.その他	496
合計	11,533

（２）平成３０年度科別援助件数

		家族関係に関すること	在宅介護・地域生活に関すること	療養生活に関すること	経済的問題に関すること	就労・職場環境に関すること	就学・教育環境に関すること	虐待・暴力・人権に関すること	受診・受療に関すること	転院に関すること	他施設利用に関すること	心理・情緒的問題に関すること	他福祉関係法利用に関すること	その他	小計	合計
内科	入院	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	24
	通院	0	7	0	0	0	0	0	11	0	0	0	5	0	23	
血液内科	入院	13	1,174	127	127	21	0	2	24	1,300	46	3	445	38	3,320	4,402
	通院	3	182	30	59	9	0	0	473	28	44	6	216	32	1,082	
内分泌科	入院	0	453	3	9	0	0	0	7	249	9	0	22	1	753	948
	通院	0	62	4	2	0	0	1	27	7	2	0	87	3	195	
腎臓内科	入院	2	932	19	7	0	0	0	35	735	24	0	265	8	2,027	2,381
	通院	0	74	0	9	0	0	0	37	4	0	0	224	6	354	
神経内科	入院	6	1,897	87	91	0	0	13	116	5,699	327	1	350	12	8,599	9,684
	通院	4	195	7	32	2	0	8	338	38	23	0	429	9	1,085	
循環器内科	入院	26	1,939	40	96	0	0	7	11	1,529	92	0	534	13	4,287	4,706
	通院	2	76	6	37	0	0	1	93	13	1	0	181	9	419	
呼吸器内科	入院	57	4,253	101	103	7	0	0	56	5,225	186	1	485	18	10,492	11,811
	通院	2	357	46	55	4	1	0	334	76	45	4	380	15	1,319	
消化器内科	入院	7	5,027	58	112	4	0	0	75	645	149	1	395	21	6,494	7,912
	通院	6	309	32	86	1	0	1	466	14	19	6	449	29	1,418	
一般消化器外科	入院	27	3,543	62	57	0	0	0	91	284	48	1	399	13	4,525	5,665
	通院	1	319	97	32	1	0	1	442	10	18	12	195	12	1,140	
心臓血管外科	入院	1	953	1	29	0	2	0	15	1,270	9	1	295	0	2,576	2,837
	通院	0	56	5	3	0	0	0	74	10	7	0	106	0	261	
血管外科	入院	0	172	3	3	0	0	0	0	286	0	0	19	5	488	527
	通院	0	4	0	0	0	0	1	15	11	0	0	8	0	39	
呼吸器外科	入院	0	509	32	7	2	0	0	45	317	42	0	33	0	987	1,190
	通院	0	15	49	1	1	0	0	96	4	1	0	36	0	203	
小児外科	入院	0	18	0	0	0	0	0	0	9	0	0	0	0	27	31
	通院	0	2	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	4	
整形外科	入院	1	3,997	21	42	0	0	0	57	9,730	148	0	242	10	14,248	15,057
	通院	0	204	13	51	0	0	0	70	80	10	0	368	13	809	
形成外科	入院	0	102	2	0	0	0	3	8	45	0	0	8	0	168	194
	通院	0	15	0	0	0	0	0	7	0	0	0	4	0	26	
脳神経外科	入院	5	888	75	91	0	0	31	7	3,200	12	0	254	18	4,581	4,955
	通院	0	68	13	48	1	0	19	57	16	0	0	110	42	374	
乳腺・内分泌外科	入院	0	486	54	7	2	0	0	128	50	5	0	22	4	758	1,533
	通院	2	62	134	22	6	1	0	430	9	15	17	67	10	775	
小児科	入院	38	1,742	12	44	0	6	130	13	196	52	1	266	8	2,508	3,511
	通院	18	418	19	12	8	12	97	159	8	3	1	243	5	1,003	
皮膚科	入院	0	210	2	0	0	0	0	4	108	4	0	13	0	341	506
	通院	0	47	3	5	0	0	0	46	0	0	0	64	0	165	
泌尿器科	入院	1	1,414	19	22	0	0	0	19	302	10	0	99	2	1,888	2,249
	通院	0	96	4	22	0	0	0	126	6	1	3	97	6	361	
女性泌尿器科	入院	0	93	1	0	0	0	0	2	71	0	0	2	0	169	198
	通院	0	2	0	3	0	0	0	6	3	2	0	13	0	29	
産婦人科	入院	290	1,442	19	95	11	0	55	50	85	2	4	183	4	2,240	3,287
	通院	85	358	31	84	43	0	32	247	12	12	3	135	5	1,047	
眼科	入院	0	8	0	0	0	0	10	1	0	2	0	7	0	28	152
	通院	0	10	2	2	0	0	6	48	3	0	0	45	8	124	
耳鼻咽喉科	入院	0	961	12	11	0	0	0	0	66	10	0	146	0	1,206	1,539
	通院	0	38	11	47	0	0	0	59	1	2	2	171	2	333	
歯科・口腔外科	入院	0	135	2	0	0	0	2	2	2	0	0	10	0	153	245
	通院	0	13	1	3	0	0	0	51	0	0	0	24	0	92	
総合診療科	入院	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3
	通院	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	3	
精神科	入院	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
	通院	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	2	
放射線科	入院	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	通院	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
化学療法内科	入院	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	通院	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
救急科	入院	0	3	0	9	0	0	0	0	0	0	0	43	3	58	395
	通院	6	25	7	61	0	0	8	10	10	4	1	196	9	337	
その他	入院	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	8	0	10	758
	通院	1	33	5	4	5	0	7	560	8	7	2	101	15	748	
小計	入院	474	32,351	752	962	47	8	253	768	31,404	1,177	13	4,545	178	72,932	
	通院	130	3,047	519	680	81	14	182	4,286	371	216	57	3,956	231	13,770	
合計		604	35,398	1,271	1,642	128	22	435	5,054	31,775	1,393	70	8,501	409		86,702

(3)平成30年度がん相談支援センター援助件数

1.相談者の状況

	相談形式			相談者続柄				
	面接	電話	その他	本人	家族	知人・友人	医療関係者	不明
院内患者	2,901	1,380	104	2,106	1,824	20	433	2
院外患者	34	179	52	38	86	2	139	0
計	2,935	1,559	156	2,144	1,910	22	572	2

2.現在の治療状況

診断なし	140
治療前	709
治療中	2,243
治療後	162
経過観察中	159
その他・緩和	1,192
不明	45
計	4,650

3.がんの状況

初発	2,119
再発・転移	2,292
その他	77
不明	162
計	4,650

4.対応内容

傾聴・語りの促進・支持的対応	871
助言　提案	777
情報提供	1,537
自施設受診の説明	87
他施設受診の説明	348
自施設他部門への連携	232
他施設への連携	709
その他	87
判断不明	2
計	4,650

5.相談内容

	眼 脳 神経	耳鼻 咽喉	食道	胃	大腸 小腸	肝 胆	膵	肺 縦隔 心臓	乳房	子宮 卵巣	前立腺 精巣	腎 尿管 膀胱	甲状腺 副腎	リンパ 血液	骨	皮膚	中皮腫	肉腫 腹膜 後腹膜	口腔	原発 不明	不明	計
がん検診									1	3												4
がんの検査							1	1	6		2											10
がんの治療	7	3	4	23	24	6	9	35	82	25	9	7	1	20					3	2		260
症状・副作用・後遺症		2	2	25	29	4		33	96	8	3	3		8					1			214
緩和ケア	5	3	4	43	43	36	46	55	18	27	7	15		7		8		4	4	7	8	340
臨床治験・先進医療			4		1	2		1	1	2				1								12
セカンドオピニオン	4	6	13	23	34	30	35	56	28	42	3	13	1	165			2	1	6	4	3	469
がんの治療実績 がん統計								1														1
受診方法・入院	2		1	2	6	6	2	6	6	3	3	1		13					2		1	54
転院・医療機関紹介	22	28	32	106	176	54	47	392	176	49	73	29	10	106	4	1	7		3	12	1	1,328
在宅医療	4	7	7	16	15	7	7	44	12	15	9	9	4	14					5	1		176
日常生活	8	32	13	31	85	39	27	138	45	23	14	30	5	46					7	5		548
介護・看護・養育	2				2		2	10	7	8	1	2		24								58
社会生活　就労・仕事	1		1			2		8	9	24				23								68
社会生活　学業・就学														1								1
医療費・生活費 社会保障制度	32	40	20	46	66	59	17	159	54	52	22	57	11	284	2	1	8		13	6	1	950
補完代替療法									1													1
不安　精神的苦痛		1	1	3	3	1		3	15			1		4				1				33
告知				1																		1
医療者との関係			1	3	4	1		6	5	2		1		4							1	28
患者・家族間の関係					1	2	1	12	2	3		1		8								30
知人・友人・職場の人間関係																						0
患者会・家族会 ピア情報							1							3							1	5
がん予防　喫煙・禁煙																						0
がん予防　喫煙・禁煙以外																						0
がんの遺伝					2																	2
その他	2	2	2	5	3	4	5	13	4	2		2		10								54
不明				2										1								3
計	89	124	105	329	494	253	200	973	568	288	146	171	32	742	6	10	17	6	44	37	16	4,650

国立がん研究センターがん対策情報センターが提示している相談支援センター相談記録に沿って集計しています。

援助領域の説明

援助の領域の内容については下記のような業務である。

（１）家族関係に関すること
クライエントの傷病が原因で顕在化した家族関係の悪化、家族機能の低下がクライエントの治療継続を困難にしている場合の家族関係調整を行う。

（２）在宅介護・地域生活に関すること
在宅療養を行っている、または行う予定であるクライエントに対する相談、また地域社会資源の説明及び在宅介護支援センター、地域包括支援センター、居宅介護支援事業所等、地域関係機関との調整を行う。

（３）療養生活に関すること
入院中の生活問題に対する心理・社会的援助。具体的には入院環境の整備を行う、あるいは療養中に発生する治療以外の原因による患者対患者、患者対職員といった対人関係に問題がある場合、その解決を援助する。

（４）経済的問題に関すること
クライエントが医療費・生活費に困窮している場合、保険・福祉関係法を活用し、問題解決に向けた援助や具体的調整を行う。
金銭管理等困難者について、地域福祉権利擁護事業・成年後見人等制度の利用をはかるとともに、必要者には事務管理等の援助を実施する。

（５）就労・職場環境に関すること
クライエント自身の職業選択、職場問題の相談をはじめ、クライエントの社会復帰を目的とする援助を行う。

（６）教育環境・就学に関する相談援助
クライエントに適した就園・就学への相談、クライエント自身の復学等に関する相談援助、環境調整を行う。

（７）虐待・暴力・人権に関すること
家庭内暴力、児童虐待等、身体的・精神的な人権侵害について具体的調整を行う。

（８）受診・受療に関すること
クライエントが適切な医療を受けることができるよう、クライエントへ受診に関する情報提供や調整や、医師等へ心理・社会的背景や問題の情報提供を行う。また受診・受療に関する不安解消のための援助や、医師等から依頼のあった治療拒否のクライエントに対しての援助を行う。

（９）転院に関すること
クライエントに対する他医療機関への紹介、転院の調整を行う。

(10) 他施設利用に関すること
療養可能な生活の場を確保するため、福祉施設及び介護保険施設等への入所を調整する。

(11) 心理・情緒的問題に関すること
主として面接を通し、クライエントとの間でソーシャルワークの原則に基づいた援助関係を築くことにより、クライエントのワーカビリティーを引き出す。

(12) その他福祉関係法利用に関すること
クライエントが利用できる社会保障・社会福祉制度の紹介を行う。

３．社会課

（１）　平成３０年度災害救護訓練・研修派遣実績（派遣者一覧）

Ⅰ.臨時救護・行政訓練等への協力事業

No.	区分	事業名	実施日	会場	派遣職種	人数
1	臨時救護	中村公園夏まつり	7/25（水）	中村公園	看護師	2
			7/26（木）			2
			7/27（金）			2
2	臨時救護	尾張地区LTC	7/25（水）～27（金）	春日井市	看護師（女性）	1
3	行政等訓練	中部国際空港消火救難総合訓練（図上シミュレーション）	8/2（木）	常滑市	看護師長	1
					主事	1
4	行政等訓練	愛知県津島市総合防災訓練	8/26（日）	津島市	医師	1
					看護師長	1
					看護師	2
					主事	2
5	行政等訓練	愛知県石油コンビナート等想定総合防災訓練	10/23（火）	碧南市	医師	1
					看護師長	1
					看護師	2
					主事	2
6	臨時救護	中村区区民まつり	10/27（土）	中村公園	看護師	2
7	行政訓練	平成３０年度中部管区広域緊急援助隊合同訓練	11/27（火）	知多市	医師	1
					看護師長	1
					看護師	2
					主事	2
8	臨時救護	マラソンフェスティバルナゴヤ・愛知	3月10日(日)	名古屋市	救命医療チーム医師	1
					救命医療チーム看護師	2
					救命医療チーム薬剤師	1
9	行政等訓練	愛知県医師会無線訓練	6/5、12/5	当院		2
10	日本DMATもしくは救護班	国民保護共同実働訓練	1/11(金)	豊田市	医師	1
					看護師長	3
					看護師	
					主事	2

Ⅱ.赤十字救護員としての研修・訓練

No.	区分	事業名	実施日	会場	派遣職種	人数
1	院内研修	救護員養成研修	第１日目7/20 第２日目Aグループ 7/25 第２日目Bグループ 8/29	当院	看護師 主事（事務） 薬剤師 診療放射線技師 臨床検査技師 臨床工学技士 理学療法士	43
2	支部研修	こころのケア研修会	7/13（金）	日赤愛知県支部	指導者	2
					研修生	8
			9/28（金）	日赤愛知県支部	指導者	2
					研修生	8
			2/14（木）	日赤愛知県支部	指導者	3
					研修生	8
3	支部研修	救護班要員養成研修 ※企画運営スタッフ会議 ３回程度あり	1日目 12/5（水）日帰り	日赤愛知県支部	災害医療コーディネーター	1
					災害医療ｺｰﾃﾞｨﾈｰﾄスタッフ(看護師)	1
					災害医療ｺｰﾃﾞｨﾈｰﾄスタッフ(事務系)	3
					医師	1
					看護師	3
			2日目・３日目 12/6（木）～7（金）	日赤豊田看護大	医師（研修生）	2
					研修医（研修生）	2
					看護師長（研修生）	2
					看護師（研修生）	4
					助産師（研修生）	1
					薬剤師（研修生）	1
					主事（研修生）	4

No.	区分	事業名	実施日	会場	派遣職種	人数
4	支部研修	愛知県支部災害医療コーディネートスタッフ研修	2/20（水）	日赤愛知県支部	コーディネーター	1
					日赤災害医療	2
					コーディネートスタッフ	7
5	本社研修	全国赤十字救護班研修会	第2回：10/5（金）～7（日）全ブロック対象	日赤東京都支部	スタッフ・タスク	該当者
			第3回：2/16（土）～18（月）４～６ブロック対象	日赤兵庫県支部	スタッフ・タスク	該当者
6	本社研修	日赤災害医療コーディネート研修	12/7（金）～8（土）	本社	スタッフ	1
			1/26（土）～27	本社	スタッフ	1
7	支部訓練	地域における医療救護訓練 ※企画運営スタッフ会議 ３回程度あり	9/15（土）	半田市	災害医療ｺｰﾃﾞｨﾈｰﾄ	1
					災害医療ｺｰﾃﾞｨﾈｰﾄスタッフ(看護師)	1
					災害医療ｺｰﾃﾞｨﾈｰﾄスタッフ(事務系)	1
					看護師	3
					社会係長	1
					医師（班長）	1
					看護師長	1
					看護師	2
					薬剤師	1
					主事	2
8	支部訓練	第3ブロック支部災害救護訓練	11/2（金）～3（土）	岐阜県	医師	1
					看護師長	1
					看護師	2
					主事	2

Ⅲ．院内訓練・勉強会

No.	区分	事業名	実施日	会場	職種	人数
1	院内訓練	消防総合訓練	9/19(水)	当院	実施要項のとおり	
2	院内訓練	大規模地震時医療救護活動訓練	1/31(木)	当院	実施要項のとおり	
3	院内勉強会	病院主事の災害医療勉強会	第１シリーズ：5/11、8/3、9/14 第２シリーズ：11/9、1/11、3/8	当院	実施要項のとおり	
4	院内訓練	消防訓練(各病棟)	9/28 10/26 11/30 1/25	当院	東棟５、６、７、８、西棟２、３、化療ｾﾝﾀｰ	
					西棟７、８、１０、手術室、NICU	
					西棟１１、１２、緩和ｾﾝﾀｰ	
					西棟1、5、6、救命A･B･ICU、MFICU、手術室、NICU、ﾊﾞｰｽｾﾝﾀｰ、ER	

Ⅳ．日本DMAT・愛知DMAT（DPAT含む）隊員養成研修

No.	区分	事業名	実施日	会場	派遣職種	人数
1	日本DMAT	日本DMAT隊員養成研修 (広域医療搬送研修：2.5日研修)	6/14(木)-6/16(土)	大阪医療センター	業務調整員	1
2	愛知DMAT	愛知DMAT隊員養成研修	2/16(土)･2/17(日)	愛知医科大学	ｲﾝｽﾄﾗｸﾀｰ	該当者
3	愛知DPAT	愛知県ＤＰＡＴ研修会	12/1(土)･12/2(日)	愛知県	こころのケア指導者	1

Ⅴ．日本DMAT隊員研修・訓練

No.	区分	事業名	実施日	会場	派遣職種	人数
1	日本DMAT	政府主催広域医療搬送訓練	8/4（土）	徳島県 阿南医療センター	コントローラー	1
					日本DMAT　医師	1
					日本DMAT　看護師	2
					日本DMAT　業務調整員	1
2	日本DMAT	中部ブロックDMAT実動訓練	10/13（土）～14（日） ※参集時間･場所の関係で前泊	富山県	コントローラー	1
					日本DMAT　医師	1
					日本DMAT　看護師	2
					日本DMAT　業務調整員	1
3	日本DMAT	DMAT技能維持研修	第3回：9/29(土)～30(日)	愛知県	日本DMAT隊員	該当者
4	行政訓練	南海トラフ地震時医療活動訓練 （愛知県主催）	2/3(日)	愛知県	運営協力者	1
					リエゾン	2
					DMAT隊員	1
						2
						1
						1
					主事	1
5	行政研修	愛知県災害医療コーディネート研修	1/14(月)	愛知県	ﾛｼﾞｽﾃｨｯｸ要員	2
6	行政研修	愛知県ﾘｴｿﾞﾝ(周産期)研修 （愛知県主催）	3/3(日)	愛知県	リエゾン	2

（２）病院ボランティア活動状況

１．病院ボランティア活動状況（その１）

活動項目	平成３０年度活動報告	
	具体的活動内容〔主催者等〕	備考
広報媒体等を活用した地域住民に対する共生意識・ノーマライゼーション理念の普及啓発	１．名古屋第一赤十字病院奉仕団 （１）　病院内 ①玄関案内業務(再来受付機、自動精算機含) ②入院患者案内、付き添い ③患者サロンにおける本の整理整頓 ④超音波検査室清拭タオルの整理 ⑤慢性疾患児家族宿泊施設(めばえ)清掃整理 ⑥衛生材料作成 ⑦健康教室受付、チラシ発送作業 ⑧当院機関紙等発送作業 ⑨車椅子点検整備 （２）役員会等活動 ①総会　平成３０年５月１日（火）開催 ②役員会・委員会　毎月１回開催 ③勉強会 （３）　関係各機関への協力（病院外） ①日本病院ボランティア協会との連携 ・総会及び1000時間活動表彰式に参加 ②中部善意銀行との連携 ・チャリティーバザーの協力 ③名古屋市社会福祉協議会との連携 ・団員募集の掲示とボランティア保険加入	会員約６０名が月～金に分かれ（１日１０～１６名）８時３０分～１４時まで活動
	２．同朋大学学生　「あんぱんまんサークル」 保育指導ボランティア	小児医療センター 火曜日１８時３０分～１９時３０分 １回約３名
	３．日本ホスピタルクラウン協会 ホスピタルクラウンボランティア	小児医療センター 第１，３木曜日　１５時～１７時 １回約２，３名
	４．特定非営利活動法人「ぷくぷくばるーん」 ばるーんで遊ぼう！ボランティア	小児医療センター 第２火曜日１５時～１６時 約５～７名
	５．緩和ケアセンターボランティア 個人ボランティア、音楽療法、日常生活支援 喫茶、ハンドマッサージ、傾聴ボランティア等	緩和ケアセンター（個人ボランティア） 活動日：平日

２．患者慰問活動

活動項目	平成３０年度活動報告	
	具体的活動内容〔主催者等〕	備考
その他地域福祉活動に関すること	１．小児医療センター慰問 ・クリスマス会　平成３０年１２月１９日（水） ２．緩和ケアセンター慰問 ・夏まつり　平成３０年８月２４日（金） ・クリスマス会　平成３０年１２月２１日（金） ・春の音楽祭　平成３１年３月１５日（金）	

（３） 地域福祉活動状況

１．平成３０年度赤十字健康教室開催状況

回　数	開催日	講演テーマ	講師 （職名）	参加人員
第　171　回	平成３０年 ５月３１日（木）	【がん化学療法を受けられる方へ】 ～がん診療連携拠点病院からのメッセージ～	【座長】野村　史郎 （副院長 兼 呼吸器内科部長）	約80名
		講演１　がんゲノム医療について	野村　史郎 （副院長 兼 呼吸器内科部長）	
		講演２　がんの薬物療法について	櫛原　秀之 （がん化学療法係長）	
		講演３　日常生活で気をつけること	濱嶋　なぎさ （がん相談支援センター看護師長）	
		講演４　がん治療と社会資源	浅野　賢太 （入退院支援係長）	
		講義５　がんのリハビリテーションについて	中村　和司 （がんリハビリテーション係長）	
第　172　回	平成３０年 ７月５日（木）	【緩和ケア】 ～がんによる心と身体の苦痛を和らげる医療～	【座長】湯浅　典博 （緩和ケアセンター長）	約90名
		講演１　緩和ケアとは	河合　奈津子 （緩和ケア　医師）	
		講演２　緩和ケアチーム	平野　美枝子 （緩和ケア認定看護師　看護師長）	
		講演３　緩和ケアセンター	武藤　直美 （緩和ケアセンター　看護師長）	
第　173　回	平成３０年 ９月１４日（金）	【「救急医療」こんなとき、どうする？】 ～社会で共有する緊急度・重症度の判定～	【座長】花木　芳洋 （救命救急センター長）	約100名
		講演１　尿の異常	加藤　隆 （泌尿器科　医師）	
		講演２　吐き気・嘔吐の救急疾患～その症状は本当にお腹の病気？～	土井崎　正雄 （第二消化器内科部長）	
第　174　回	平成３０年 １１月１２日 （月）	【糖尿病】	【座長】尾﨑　信暁 （内分泌内科部長）	約120名
		講演１　糖尿病診療：最近のトピックス	上田　一裕 （内分泌内科）	
		講演２　長寿の一歩は足のお手入れ	加藤　富士枝 （看護師　日本糖尿病療養指導士）	
第　175　回	平成３１年 ３月１４日（木）	【高血圧症】	【座長】神谷　春雄 （第一循環器内科部長）	約135名
		講演１　心臓と高血圧	柴田　陽平 （循環器内科部　医長）	
		講演２　減塩食について	兼子　登紀子 （管理栄養士）	
		講義３　高血圧治療とお薬	秋田　桂汰 （薬剤師）	
合　計	計５回			約525名

2. 平成30年度慢性疾患児家族宿泊施設「めばえ」利用状況

利用月 / 部屋号	月別利用日数												
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
1			11	5	31	30	31	14	31	3	24	27	207
2				27									27
3													0
5	30	30				11	31	22	31	20			175
6	16	18	30	5									69
合　計	46	48	41	37	31	41	62	36	62	23	24	27	478
備　考	総日数	365	日	×	5	=	1,825						
	利用日数	478	日		利用率	26.2	%						

編 集 後 記

このたび「平成30年病院年報」を編集・発行いたしました。

平成30年は、2月に開催された平昌五輪では日本選手団が過去最多メダルを獲得し、6月のサッカーW杯での下馬評を覆す激戦、女子テニス全米オープンでは大坂なおみ選手が日本人初の4大大会優勝を成し遂げるなど、スポーツ界での活躍が目立つ1年となりました。

11月には、第54回日本赤十字社医学会総会が当院を幹事病院として開催されました。院内外で職員の力を集約し、一致団結して医学会総会を盛況のうちに終えたことは、同年のスポーツ界の活躍に相通ずるものを感じます。

このような一年を思い浮かべながら、この病院年報に掲載されている平成30年の業績を振り返りください。

平成30年　病院年報

発行日　令和元年10月
発行者　名古屋第一赤十字病院
院長　錦見　尚道
名古屋市中村区道下町3丁目35番地
TEL(052)481-5111
編集者　広報活動委員会

委員長	伊藤雅文	副院長
副委員長	牧村　淳	企画情報課
委員	井上英則	整形外科部
	横山俊彦	呼吸器内科部
	根倉美矢子	看護部
	糸山久恵	看護部
	辛島禎史	地域医療連携課
	工藤祐介	人事課
	井上千賀子	医事サービス第一課
	山田敏人	医事サービス第二課
	水野剛希	放射線診断科部
	新井千香	看護部
	美濃島　慎	細胞診分子病理診断部
	阿部沙也佳	企画情報課
	青木綾子	管財課
	竹内晴美	薬剤部
	倉島　剛	医事サービス第一課
写真班	大野正美	放射線診断科部
	安井元規	企画情報課
	古川美佐子	薬剤部
幹事	丹羽雅俊	企画情報課

印刷所　相羽印刷株式会社
製本所　名古屋市守山区瀬古一丁目241番地

病院年報　平成三十年

名古屋第一赤十字病院